感染症発生動向調査事業報告書

－　第 43 報　－

[2024 年版]

大阪府

あ　い　さ　つ

大阪府では、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)」に基づき、感染症の発生状況を継続して把握、分析し、その結果を府民や医療関係者へ提供することにより、感染症予防及びまん延防止を図ることを目的に感染症発生動向調査事業を実施しています。実施にあたりましては、一般社団法人大阪府医師会、指定届出機関をはじめとする関係各位の多大なるご尽力とご協力を賜りました。2024 年度においても、円滑に事業を進められましたことに厚くお礼申し上げます。

2024 年は、当時の国立感染症研究所から公表された大阪・関西万博にかかる感染症のリスク評価を受け、主に 3 つの事項について関係機関と調整を進めました。1 つ目は、麻しん、疑似症、蚊媒介感染症等の対応訓練を実施し、実際に当該感染症が発生した場合の対応について関係者で再認識しました。2 つ目は、「大阪・関西万博感染症情報解析センター」を設置し、感染症の発生動向及び関連情報を一元的に集約し解析することで、サーベイランスの強化を図るスキームを確立しました。3 つ目は、有事において迅速な対応ができるよう関西広域連合を中心とした近隣府県と感染症情報の連携を構築しました。

また、2025 年 3 月には、大阪府新型インフルエンザ等対策行動計画を改定し、大阪府及び大阪健康安全基盤研究所を中心に大学・研究機関等と連携したリスク評価を行う体制構築や、双方向のリスクコミュニケーションによる府民等の適切な行動促進、実践的な訓練等に取り組みます。また、保健・医療分野については、昨年度改定した大阪府感染症予防計画と整合性を確保し、引き続き、医療機関等との協定締結や保健所の体制整備、感染症人材の育成等を進めます。

感染症を取り巻く状況は日々刻々と変化しますが、関係各位におかれましては本事業の趣旨をご理解いただき、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。あわせて、本報告書を感染症対策の資料として、また府民の健康増進の一助として、ご活用いただければ幸甚です。

本報告書の発行にあたり、感染症発生動向調査委員会の委員並びに関係各位の多大なるご尽力に対し、重ねて深く感謝の意を表します。

2025 年（令和 7 年）　8 月

大阪府健康医療部長　　西野　誠

目　　次

あいさつ
2024 年における事業概要 ---------- 1

I　2024 年に注目された感染症 ---------- 5

II　五類定点把握感染症（性感染症を除く）
1．2024 年の総括 ---------- 7
1）感染症別・週別患者報告状況 ---------- 8
2）感染症別・ブロック別患者報告状況 ---------- 12
3）感染症別・年齢別患者報告状況 ---------- 13
2.　各感染症状況報告
1）インフルエンザ／COVID-19 定点把握疾患
インフルエンザ ---------- 24
新型コロナウイルス感染症 ---------- 26
2）小児科定点把握疾患
RS ウイルス感染症 ---------- 28
咽頭結膜熱 ---------- 30
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ---------- 32
感染性胃腸炎 ---------- 34
水痘 ---------- 36
手足口病 ---------- 38
伝染性紅斑 ---------- 40
突発性発しん ---------- 42
ヘルパンギーナ ---------- 44
流行性耳下腺炎 ---------- 46
3）眼科定点把握疾患
急性出血性結膜炎 ---------- 48
流行性角結膜炎 ---------- 50
4）基幹定点報告（週報）対象疾患 ---------- 52
細菌性髄膜炎（髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌、クリプトコッカスを除く） ---------- 53
無菌性髄膜炎 ---------- 54
マイコプラズマ肺炎 ---------- 55
クラミジア肺炎（オウム病を除く） ---------- 56
感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る） ---------- 57

５）基幹定点報告（月報）対象疾患
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 ---------- 58
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 ---------- 58
薬剤耐性緑膿菌感染症 ---------- 59
2024（令和６）年　感染症の動向（大阪府医師会　府医ニュース） ---------- 60
[各感染症データ] ---------- 62

III　五類定点把握感染症（性感染症）
１）はじめに ---------- 91
２）概況 ---------- 91
３）疾患別患者数 ---------- 91
４）男女別患者数 ---------- 92
５）月別患者数 ---------- 94
６）年齢階級別患者数 ---------- 94

IV　全数把握感染症
１．一類感染症 ---------- 101
２．二類感染症 ---------- 101
３．三類感染症 ---------- 101
４．四類・五類感染症（全数把握分） ---------- 102

V　検　査　情　報
１．ウイルス検査情報（大阪府・大阪市・堺市） ---------- 107
２．細菌検査情報 ---------- 118

VI　その他
大阪感染症情報解析委員会 「今週のトピックス」 ---------- 123

VII　資　料
大阪府感染症発生動向調査事業実施要綱 ---------- 151
大阪府感染症発生動向調査委員会設置要綱 ---------- 158
大阪感染症情報解析委員会運営要綱 ---------- 161

VIII　指定届出機関一覧 ---------- 165

2024 年における事業概要

感染症発生動向調査事業は、大阪府内の医療機関及び府内の政令市・中核市の協力のもと実施している。

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、「感染症法」という。）」では、一類から五類感染症（全数把握と定点把握）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症の 116 感染症を対象とし、情報の収集、分析、提供、公開を行っている。

本事業で定点把握対象の五類感染症の発生状況を届け出る「指定届出機関（定点）」は、インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、性感染症定点、基幹定点及び疑似症定点からなっている。また、感染症法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症について、2019 年 4 月 1 日以降、定点の選定基準や届出基準が変更となった。

2024 年 12 月末の指定数は、インフルエンザ／COVID-19 定点 305、小児科定点 197、眼科定点 52、性感染症定点 64、疑似症定点 22、基幹定点 18 である。

１　患者情報の収集

2023 年 4 月 1 日から医療機関がオンライン入力により届出を行うことが努力義務となり、感染症サーベイランスシステム等の活用により、医療機関からの患者情報を収集している。全数把握対象感染症は直ちに（五類感染症にあっては一部を除いて 7 日以内に）、定点把握対象感染症は週報（一部月報）で収集し、収集した情報はコンピュータオンラインシステムにより国立感染症研究所（中央感染症情報センター）に報告している。

２　情報の解析・評価

学識経験者、医療関係団体・医療施設等の代表者、関係行政機関の職員等により構成される感染症発生動向調査に係る委員会において、収集した情報の解析・評価を行っている。

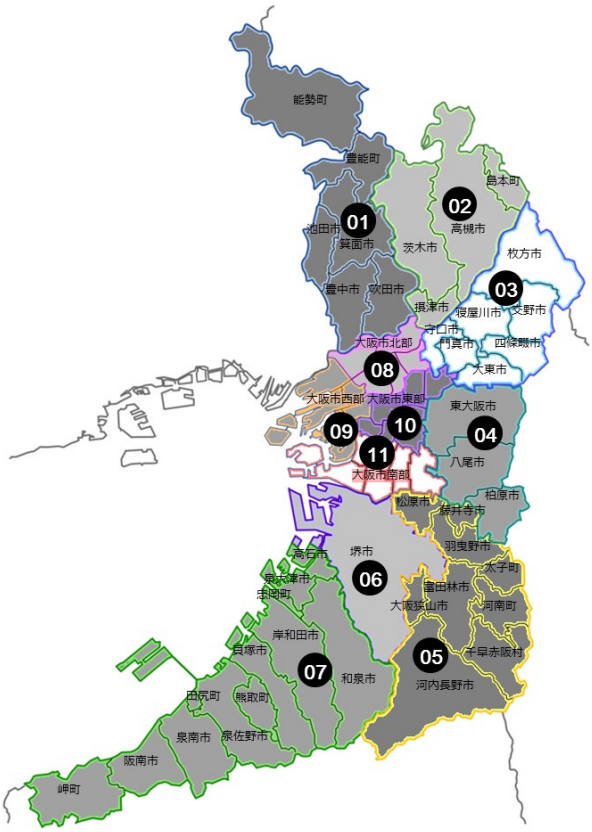
３　情報の提供・公開

大阪府は、委員会から報告された情報を全国情報と併せて週報とし、各定点医療機関、一般社団法人大阪府医師会、保健所、各市町村及び学校等関係機関に広く情報を提供している。また、大阪府感染症情報センターのホームページにも感染症情報を公開している。

４　病原体情報の収集

患者定点の中から病原体定点を選定し、これらの病原体定点から提供される検体についてウイルス検査、細菌検査を地方衛生研究所において行っている。併せて病院等が行った検査の情報収集を図っている。

ブロック地図・ブロック別人口動態



ブロック別人口動態

ブロック	市町村区分	定点数(第52週時点)							人口**	出生数**
		週報				月報		疑似症		
		内科*	小児科*	眼科	基幹	STD	基幹			
① 豊能	豊中市、池田市、吹田市、箕面市、能勢町、豊能町	14	22	5	2	8	2	2	1,059,654	7,159
② 三島	高槻市、茨木市、摂津市、島本町	10	17	4	2	6	2	1	755,990	5,278
③ 北河内	守口市、寝屋川市、門真市、枚方市、大東市、四条畷市、交野市	15	26	6	2	8	2	3	1,111,895	6,749
④ 中河内	八尾市、柏原市、東大阪市	11	17	5	2	7	2	1	810,111	4,808
⑤ 南河内	藤井寺市、松原市、羽曳野市、富田林市、大阪狭山市、河内長野市、河南町、太子町、千早赤阪村	8	18	4	2	4	2	2	571,983	2,982
⑥ 堺市	堺市	10	19	5	2	7	2	1	805,800	5,032
⑦ 泉州	和泉市、高石市、泉大津市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、田尻町、熊取町、岬町	13	21	6	2	6	2	2	858,631	5,053
⑧ 大阪市北部	北区、都島区、淀川区、東淀川区、旭区	6	14	5	1	6	1	4	711,647	4,885
⑨ 大阪市西部	福島区、此花区、西区、港区、大正区、西淀川区	5	10	2	1	2	1	2	497,030	3,207
⑩ 大阪市東部	中央区、天王寺区、浪速区、東成区、生野区、城東区、鶴見区	7	15	6	1	5	1	2	784,624	5,498
⑪ 大阪市南部	阿倍野区、住吉区、住之江区、東住吉区、平野区、西成区	9	18	4	1	5	1	2	802,169	4,727
合　計		108	197	52	18	64	18	22	8,769,534	55,378

*内科定点と小児科定点を合わせてインフルエンザ/Covid19定点とする

**人口は大阪府毎月推計人口　2025年1月1日現在に公開された数値を反映しています。

（http://www. pref.osaka.lg.jp/toukei/jinkou/jinkou-xlslist.html）

2024 年　感染症発生動向調査　カレンダー

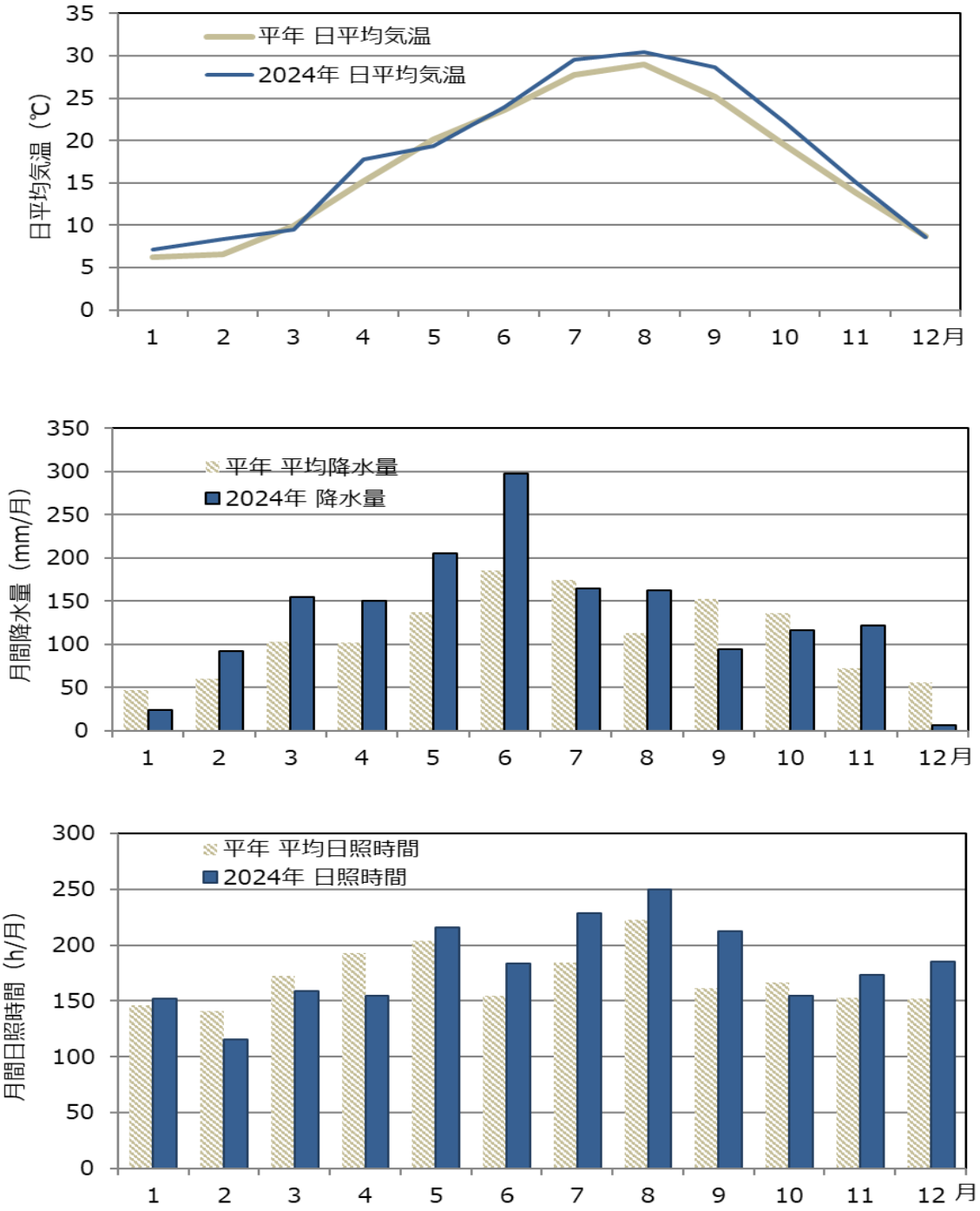
	週	月	火	水	木	金	土	日
1月	1週	1	2	3	4	5	6	7
	2週	8	9	10	11	12	13	14
	3週	15	16	17	18	19	20	21
	4週	22	23	24	25	26	27	28
	5週	29	30	31	1	2	3	4
2月	6週	5	6	7	8	9	10	11
	7週	12	13	14	15	16	17	18
	8週	19	20	21	22	23	24	25
	9週	26	27	28	29	1	2	3
3月	10週	4	5	6	7	8	9	10
	11週	11	12	13	14	15	16	17
	12週	18	19	20	21	22	23	24
	13週	25	26	27	28	29	30	31
4月	14週	1	2	3	4	5	6	7
	15週	8	9	10	11	12	13	14
	16週	15	16	17	18	19	20	21
	17週	22	23	24	25	26	27	28
	18週	29	30	1	2	3	4	5
5月	19週	6	7	8	9	10	11	12
	20週	13	14	15	16	17	18	19
	21週	20	21	22	23	24	25	26
	22週	27	28	29	30	31	1	2
6月	23週	3	4	5	6	7	8	9
	24週	10	11	12	13	14	15	16
	25週	17	18	19	20	21	22	23
	26週	24	25	26	27	28	29	30

	週	月	火	水	木	金	土	日
7月	27週	1	2	3	4	5	6	7
	28週	8	9	10	11	12	13	14
	29週	15	16	17	18	19	20	21
	30週	22	23	24	25	26	27	28
	31週	29	30	31	1	2	3	4
8月	32週	5	6	7	8	9	10	11
	33週	12	13	14	15	16	17	18
	34週	19	20	21	22	23	24	25
	35週	26	27	28	29	30	31	1
9月	36週	2	3	4	5	6	7	8
	37週	9	10	11	12	13	14	15
	38週	16	17	18	19	20	21	22
	39週	23	24	25	26	27	28	29
	40週	30	1	2	3	4	5	6
10月	41週	7	8	9	10	11	12	13
	42週	14	15	16	17	18	19	20
	43週	21	22	23	24	25	26	27
	44週	28	29	30	31	1	2	3
11月	45週	4	5	6	7	8	9	10
	46週	11	12	13	14	15	16	17
	47週	18	19	20	21	22	23	24
	48週	25	26	27	28	29	30	1
12月	49週	2	3	4	5	6	7	8
	50週	9	10	11	12	13	14	15
	51週	16	17	18	19	20	21	22
	52週	23	24	25	26	27	28	29

調査期間は月曜日から日曜日までの１週間を単位としている。
第１、第12、第30、第31、を除く毎水曜日に感染症情報解析委員会を開催した。
2024年大阪府感染症情報解析委員会開催日

大阪の気象条件

2024 年と過去 30 年間平均値の比較



大阪管区気象台　大阪府の気象　2024 年（令和 6 年）データより作成

https://www.jma-net.go.jp/osaka/kikou/osaka-kishou.html

Ⅰ　2024 年に注目された感染症

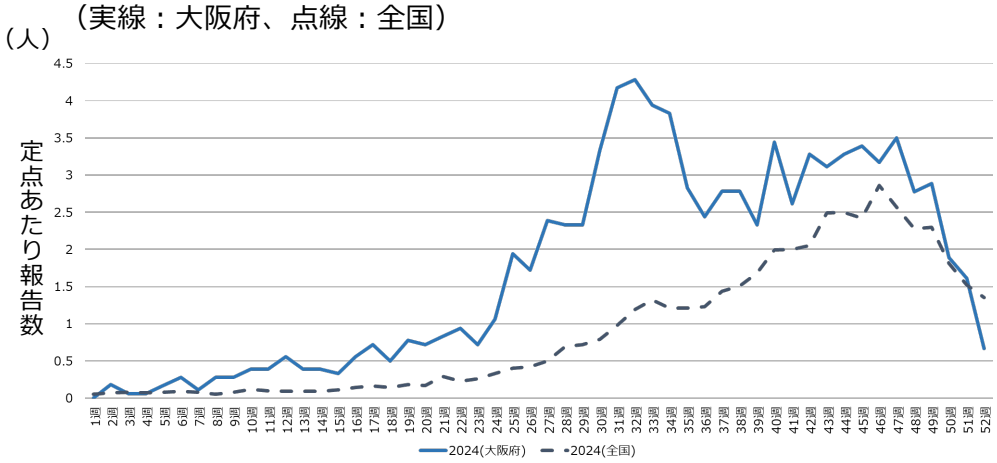
Ⅰ　2024 年に注目された感染症

●マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎について、国内外の疫学調査研究では 3～7 年程度の間隔で大きな流行が起きることが報告されている。現行の感染症発生動向調査において、大阪府では、2006 年、2011 年、2016 年をピークとした流行期があった。大阪府では新型コロナウイルス感染症の影響を受けた 2020 年以降は増加がみられなかったが、2024 年は徐々に増加傾向となり、定点あたり報告数のピークは第 32 週の 4.28 であり、以降、一時的な減少を経て高い水準を維持し、第 40 週ごろからは再度増加し、第 49 週以降に減少した(図)。日本全国では、大阪府と同様に、2006 年、2010～2012 年、2015～2016 年に顕著な報告数の増加がみられた。2020 年 4 月に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の緊急事態宣言が出された直後より、マイコプラズマ肺炎の報告数は激減し、2023 年は半ばからわずかに増加傾向がみられたが、低い値で推移した。2024 年は第 20 週付近から定点あたり報告数が増加し始め、ピークは大阪府より遅く第 46 週の 2.86 であった。2024 年の定点あたり累積報告数は全国 46.57、大阪府は 90.56 と大阪府は福井県に次いで 2 番目に高かった。

図 2024 年マイコプラズマ肺炎　週別定点あたり報告数の推移

（実線：大阪府、点線：全国）



年齢分布では、大阪府において、1999 年から 2023 年の累計報告数に占める年齢階級別の割合は、5～9 歳で最も高く 36%を占め、続いて 1～4 歳の 31%、10～14 歳の 16%であった。2024 年は 5～9 歳、1～4 歳、10～14 歳の年齢区分の報告数に占める割合がそれぞれ 38.4%、17%、および 28%であった。2024 年は、2023 年以前の平均と比較し、5～9 歳、10～14 歳の割合が高く、一方で、1～4 歳は低かった[(1)]。

現行の感染症発生動向調査では、マイコプラズマ肺炎は基幹定点医療機関から報告することとされ、症状や所見に加えて届出のために必要な検査所見を満たすことが報告基準に含まれる。大阪府においては、従来、ブロックによる報告数の偏りが指摘されてきた。医療機能の分化・連携体制による変化に伴い、診療所での診断後、患者が病院へ紹介される事例が増え、報告を

行う医療機関で診断されていない症例は報告に含まれないことなども一因と推測される。マイコプラズマ肺炎患者の発生数の実態は報告数より多い可能性があることに留意する必要がある。

マイコプラズマ肺炎の治療はマクロライド系抗生物質が第一選択とされるが、マクロライド耐性菌の増加が懸念されてきた。2000 年代に徐々に増加したマクロライド耐性菌は、2010 年代の初期には、国内分離株の 80-90%がマクロライド耐性株という状況になったが[(2)(3)]、2016 年以降、耐性率は減少した。減少の要因として、2013 年の日本小児科学会/小児呼吸器感染症診療ガイドライン作成委員会による具体的な治療指針の策定や 2016 年からの薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン等によって抗菌薬の使用が抑制され、感受性菌による発症例が増えたことや、当初増加した遺伝子系統の菌に対して集団免疫が形成され流行菌が別の遺伝子系統の菌にシフトしたことなどがあげられる[(4)]。感染症発生動向調査とは異なる全国的な研究によると、2024 年前半のマクロライド耐性率は、60%と再上昇がみられている[(5)]。別の研究では、2024 年に大阪府内の 36 の医療機関から提供され分離された *Mycoplasma.pneumoniae* の菌株において、マクロライド耐性変異率は 60.2%（127/211 例）と報告され、2018 年から 2024 年の間に耐性変異が認められた菌株 162 例中 160 例が A2063G 変異であった[(6)]。最新の大阪府内の医療機関からのマクロライド耐性菌の耐性率については後述記事(55 ページ)を参照されたい。

世界的には、マイコプラズマ肺炎の報告数は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックに伴い 2020 年から減少したが、2023 年秋以降、ヨーロッパの複数の国や、中国で増加したことが報じられた。中国では、2023 年後半に北京で発生した小児肺炎患者を対象とした研究で、肺炎症例の 77.3%がマイコプラズマ肺炎であったこと、検出されたマイコプラズマ肺炎株は全てマクロライド耐性であったことが報告されている[(7)]。マイコプラズマ肺炎の発生動向において、報告数の変動だけでなく、耐性菌の発生状況も引き続き注視される。

（文責：西田）

参考文献

1.マイコプラズマ肺炎|大阪府感染症情報センター[Internet][cited 2025 July 31] Available from:https://www.iph.pref.osaka.jp/infection/disease/20240809150148.html
2. Yoshitaka Nakamura et al. J *Infect Chemother* 2021;27:271-276.
3. Tsuyoshi Kenri et al. *Front Cell Infect Microbiol* 2020;10:385.
4. 病原体微生物検出情報 IASR Vol.45, No.1 (No.527), January 2024 マイコプラズマ肺炎　2023 年現在
5. 大石智洋 診療と新薬 2024; 61: 473-479
6. Naoyuki Miyashita et al. *Respiratory investigation*.2025;63(4);517-520
7. Yujie Chen et al.*Front Microbiol* 2024;Aug6:15:1449511.doi:10.3389/fmicb.2024.1449511.

II　五類定点把握感染症
（性感染症を除く）

II 五類定点把握感染症（性感染症を除く）

１．2024 年の総括

2024（令和 6）年の大阪府感染症発生動向調査事業における 5 類定点把握感染症（性感染症を除く）の特徴について概説する（表）。新型コロナウイルス感染症は、2023 年 5 月 8 日（第 19 週）以降、5 類定点把握感染症となり、2024 年は一年を通じて、定点あたり報告数の情報が収集できているため、本項で記載する。2024 年は、小児科定点疾患、眼科定点疾患、基幹定点疾患の総計数は 131,538 となり、2023 年　111,926 よりも、17.5%の増加であった。この理由は、（1）2024 年、咽頭結膜熱（前年比較：11,692 例減）やヘルパンギーナ（前年比較：7,096 例減）は、大幅に減少したが、その代わりに、手足口病（前年比較：30,279 例増）が大幅に、増加したため、（2）A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（前年比較：4,959 例増）が増加、（3）マイコプラズマ肺炎が大幅に増加（前年比較：1,600 例増）したため、と考えられる。

表　定点あたり年平均の週間報告

全　国			大　阪　府		
順位	感染症	定点あたり報告数	順位	感染症	定点あたり報告数
1	インフルエンザ	7.45	1	インフルエンザ	7.02
2	新型コロナウイルス感染症	6.22	2	感染性胃腸炎	4.41
3	手足口病	4.07	3	新型コロナウイルス感染症	4.31
4	感染性胃腸炎	4.03	4	手足口病	3.29
5	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.04	5	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.56
6	マイコプラズマ肺炎	0.90	6	マイコプラズマ肺炎	1.74
7	RSウイルス感染症	0.75	7	RSウイルス感染症	1.06
8	咽頭結膜熱	0.61	8	咽頭結膜熱	0.43

全国では、定点あたりの年平均の週間報告数として、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、手足口病、感染性胃腸炎、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎、RS ウイルス感染症、咽頭結膜熱の順であった。大阪府では、インフルエンザ、感染性胃腸炎、新型コロナウイルス感染症、手足口病、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎、RS ウイルス感染症、咽頭結膜熱の順であった。全国の発生動向と比較すると、新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎、手足口病の順番が異なっていた。

大阪府の発生動向について、2023 年と比較すると、インフルエンザの年平均の週間報告数が 8.18 から 7.02 へ、昨年より減少していたものの、コロナ禍前の数値（2019 年　5.63）と比べ

ると、2023 年に引き続いて、高い数値となっている。感染性胃腸炎の年平均の週間報告数が 4.45 から 4.41 へ、昨年と比べ、ほぼ横ばいであった。新型コロナウイルス感染症の年平均の週間報告数が 4.31 であり、大阪府では、3 番目であった。手足口病の年平均の週間報告数が 0.33 から 3.29 へ、昨年より、897%と著しい増加が見られた。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年平均の週間報告数が 2.09 から 2.56 へ、昨年より、22.5%と増加していた。

マイコプラズマ肺炎の年平均の週間報告数が 0.03 から 1.74 へ、昨年より、58 倍と著しい増加が見られた RS ウイルス感染症の年平均の週間報告数が 1.04 から 1.06 へ、昨年と比べ、ほぼ横ばいであった。咽頭結膜熱の年平均の週間報告数が 1.58 から 0.43 へ、昨年より、72.8%と減少していた。

（文責：本村）

１）感染症別・週別患者報告状況

「2024 年（令和 6）年の総括」で記した疾患について、定点当たり報告数の最高値が報告された週や最高値を示す（表 1）。

インフルエンザについて、2023/2024 流行シーズン時においては、第 6 週（2 月第 1 週　定点あたり報告数：29.79）となり、その後、下降し、第 17 週（4 月第 4 週　定点あたり報告数：0.74）に、非流行期となった。その後、第 40 週（9 月第 5 週　定点あたり報告数：0.84）、第 41 週（10 月第 1 週　定点あたり報告数：0.96）と増加し、流行期入りの目安 1 に近づいたが、その後、減少し、第 46 週（11 月第 2 週　定点あたり報告数：1.97）に、1 を超え、流行期入りした。第 47 週より約 2 倍で増加、第 51 週（12 月第 3 週　定点あたり報告数：45.86）で警報レベルの目安 30 を超え、第 52 週（12 月第 4 週　定点あたり報告数：67.86）となり、現行の集計法になって、最高の定点あたり報告数となった。

感染性胃腸炎は、昨年は例年と異なり、初夏に最高値となったが、2024 年は、例年通り、第 5 週（1 月第 5 週　定点あたり報告数：8.31）と、冬季に最高値を示した。

新型コロナウイルス感染症は、第 30 週（7 月第 4 週　定点あたり報告数：14.68）に、最高値に達した。2020 年以降、新型コロナウイルス感染症は、換気が不十分で、冷暖房を使用して密閉環境ができる夏、冬に報告数が増加する傾向にある。冬期では、第 5 週（1 月第 5 週　定点あたり報告数：9.36）であった。新型コロナウイルス感染症の動向は、上記の環境要因以外に、新変異株の出現、免疫の減衰などの要因も報告数の動向に影響を及ぼす。今後も、国内外における変異株の動向については、情報の収集が重要である。

手足口病は、第 28 週（7 月第 2 週　定点あたり報告数：9.93）に、最高値に達した。手足口病の動向は、2024 年の年初より、定点あたり報告数が例年よりも高く、コロナ禍以降、本格的な報告数の増加が予想されていた。第 22 週（5 月第 4 週　定点あたり報告数：6.13）に、警報レベルの目安 5 を超え、第 28 週に 9.93 となった。その後、減少傾向を呈していたが、第 33 週（8 月第 2 週　定点あたり報告数：1.78）を起点に、再度、増加に転じ、第 40 週（9 月第 5 週定点あたり報告数：5.51）に、再び、警報レベルの目安 5 を超え、第 41 週に 6.45 となった。

このように、2024 年は、二峰性のピークを形成していた。この原因は、不明であるが、第 28 週のピークのときは、コクサッキーウイルス A6 型が主要な流行株であり、第 41 週のピークのときは、コクサッキーウイルス A16 型で、流行株のウイルス型が異なっていたことが関係していると推測された。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、コロナ禍前は、6 月と 12 月に報告数がピークとなるような二峰性の流行パターンを示していたが、新型コロナウイルス感染症が流行した 2020 年以降、低水準で推移していた。2023 年の下半期より増加傾向となり、2023 年の 12 月第 2 週に最高値 5.53 に達した。2024 年の上半期も報告数が多い状況が続いており、第 20 週（5 月第 2 週　定点あたり報告数：4.59）と、最高値に達していたが、その後、徐々に減少し、第 31 週（7 月第 5 週　定点あたり報告数：1.80）より、定点あたり報告数は 1 台となった。2024 年は、コロナ禍前のように、12 月に報告数がピークとなることはなかった。

2023 年と 2024 年における感染症発生動向の増減を比較すると、小児科・眼科定点疾患の総計は 131,538 であり、前年比 17.5%増であった。2023 年に報告数が増加した咽頭結膜熱、ヘルパンギーナは、大きく減少していた。それ以外に、流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎も減少していた。咽頭結膜熱で前年比 72.5%減、ヘルパンギーナは前年比 65.2%減、流行性耳下腺炎は前年比 16.0%減、流行性角結膜炎で 8.7%減であった（表 2）。増加していた疾患は、前年比が高い順に、手足口病が前年比 903%増加、伝染性紅斑が前年比 315.8%の増加、急性出血性結膜炎が 69.2%の増加、水痘が 67.8%の増加であった。

インフルエンザは、前年比 13.1%の減少であった。2023 年は、非流行期も、定点あたり報告数 0.48~0.92 で推移し、8 月の第 3 週に流行期入りしたことが、大きな増加の原因になったが、2024 年は、定点あたり報告数のピークは、現行の集計方法になってから、最高値であったが、コロナ禍前と同じような発生動向パターンであったことから、やや減少となった。

基幹定点疾患であるマイコプラズマ肺炎は、大きな報告数の増加が見られ、前年比 53.3 倍であった。累計報告数 1,630 は、現行の集計方法になってから、最大の報告数となった。感染性胃腸炎（ロタウイルス）は、報告数は少ないものの、前年比は 3.9 倍になっている。細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎も、前年に比べ、増加していた。行動制限緩和が進み、感染症に関する報告数はコロナ禍前の水準に戻りつつある。

（文責：本村）

表1. 定点あたり報告数の最高値が報告された週および最高値（2024年）

大　阪　府				
	疾患	定点あたり報告数の最高値が報告された週	定点あたり報告数の最高値	警報レベル開始基準値
1	インフルエンザ	52週（12月第4週）	67.86	30
2	感染性胃腸炎	5週（1月第5週）	8.31	20
3	新型コロナウイルス感染症	30週（7月第4週）	14.68	
4	手足口病	28週（7月第2週）	9.93	5
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20週（5月第2週）	4.59	8

全　国				
	疾患	定点あたり報告数の最高値が報告された週	定点あたり報告数の最高値	警報レベル開始基準値
1	インフルエンザ	52週（12月第4週）	64.43	30
2	新型コロナウイルス感染症	5週（1月第5週）	16.15	
3	手足口病	28週（7月第2週）	13.36	5
4	感染性胃腸炎	3週（1月第3週）	7.63	20
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21週（5月第3週）	5.04	8

表２．2024 年と 2023 年における感染症発生動向比較

インフルエンザ定点疾患	2024 年	2023 年
インフルエンザ　↓	111,620	128,407

小児科定点疾患	2024 年	2023 年
RS ウイルス感染症　↑	10,872	10,452
咽頭結膜熱　↓	4,428	16,120
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎　↑	26,204	21,245
感染性胃腸炎　↑	45,102	44,973
水痘　↑	1,707	1,017
手足口病　↑	33,632	3,353
伝染性紅斑　↑	395	95
突発性発しん　↑	2,243	2,175
ヘルパンギーナ　↓	3,787	10,883
流行性耳下腺炎　↓	429	511
合計	128,799	110,824

眼科定点疾患	2024 年	2023 年
急性出血性結膜炎　↑	44	26
流行性角結膜炎　↓	916	1,003
合計	960	1,029

基幹定点疾患	2024 年	2023 年
細菌性髄膜炎　↑	42	9
無菌性髄膜炎　↑	43	24
マイコプラズマ肺炎　↑	1,630	30
クラミジア肺炎（オウム病を除く）　↑	15	0
感染性胃腸炎（ロタウイルス）　↑	49	10
合計	1,779	73

2）感染症別・ブロック別患者報告状況

大阪府内を 11 ブロック（1．豊能、2．三島、3．北河内、4．中河内、5．南河内、6．堺市、7．泉州、8．大阪市北部、9．大阪市西部、10．大阪市東部、11．　大阪市南部）に分け、各ブロックの構成市町村、定点数、人口、出生数を解析評価した。感染症別に、1 年間でより流行が認められた地域を定点あたりの年平均報告数を表に要約した。年平均の定点あたり報告数から地域ブロックを評価した場合、南河内は 2 疾患（インフルエンザ、感染性胃腸炎）、大阪市北部（手足口病、RS ウイルス感染症）、堺市（新型コロナウイルス感染症）、大阪市南部（A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎）、大阪市北東部（マイコプラズマ肺炎）、中河内（咽頭結膜熱）が、首位を占めていた（表 3）。

一方、三島は 3 疾患（インフルエンザ、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RS ウイルス感染症）、大阪市東部は 2 疾患（感染性胃腸炎、手足口病）、中河内（新型コロナウイルス感染症）、大阪市西部（咽頭結膜熱）、大阪市北部と大阪市南部（マイコプラズマ肺炎）で、最下位であった。

（文責：本村）

表 3．感染症別・ブロック別定点あたり報告数

インフルエンザ	
豊　能	5.38
三　島	4.96
北河内	7.60
中河内	6.77
南河内	10.00
堺　市	7.94
泉　州	7.42
大阪市北部	8.05
大阪市西部	9.62
大阪市東部	5.00
大阪市南部	5.96
合　計	7.02

感染性胃腸炎	
豊　能	4.20
三　島	4.98
北河内	4.93
中河内	5.09
南河内	6.32
堺　市	4.28
泉　州	4.48
大阪市北部	3.63
大阪市西部	3.44
大阪市東部	1.56
大阪市南部	4.56
合　計	4.41

新型コロナウイルス感染症	
豊　能	4.03
三　島	3.22
北河内	4.83
中河内	3.10
南河内	5.11
堺　市	5.42
泉　州	4.47
大阪市北部	4.62
大阪市西部	3.83
大阪市東部	4.11
大阪市南部	4.07
合　計	4.31

手足口病	
豊　能	2.63
三　島	2.69
北河内	4.48
中河内	4.41
南河内	3.39
堺　市	2.85
泉　州	2.91
大阪市北部	4.50
大阪市西部	2.62
大阪市東部	1.93
大阪市南部	3.23
合　計	3.29

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	
豊　能	1.68
三　島	1.42
北河内	3.46
中河内	2.27
南河内	2.98
堺　市	3.44
泉　州	2.56
大阪市北部	1.87
大阪市西部	2.00
大阪市東部	2.13
大阪市南部	3.71
合　計	2.56

マイコプラズマ肺炎	
豊　能	1.32
三　島	1.71
北河内	1.32
中河内	1.05
南河内	1.88
堺　市	3.38
泉　州	1.87
大阪市北部	0.00
大阪市西部	2.46
大阪市東部	3.98
大阪市南部	0.00
合　計	1.74

RS ウイルス感染症	
豊　能	0.55
三　島	0.48
北河内	1.33
中河内	1.24
南河内	1.34
堺　市	1.01
泉　州	1.02
大阪市北部	2.22
大阪市西部	1.08
大阪市東部	0.88
大阪市南部	0.78
合　計	1.06

咽頭結膜熱	
豊　能	0.23
三　島	0.23
北河内	0.44
中河内	0.73
南河内	0.69
堺　市	0.35
泉　州	0.54
大阪市北部	0.50
大阪市西部	0.20
大阪市東部	0.39
大阪市南部	0.40
合　計	0.43

（黄色は最高ブロックと定点あたり報告数、網掛けは最低ブロックと定点あたり報告数）

３）感染症別・年齢別患者報告状況

小児科定点疾患、眼科定点疾患、基幹定点疾患において、年齢報告数で最も多かった年齢は 1 歳台、次いで 10-14 歳台、20 歳以上と続く。1 歳台の報告数の多い疾患は、RS ウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病、突発性発しん、ヘルパンギーナ、であった。10-14 歳台の報告数の多い疾患は、インフルエンザ、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘であった。20 歳以上の報告数の多い疾患は、急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎であった。

2023 年に引き続き、2024 年のインフルエンザの年齢別患者報告状況は、10-14 歳台の報告数が多かった。

（文責：本村）

表４．定点あたり報告数の最高値が報告された年齢区分

疾患名	最高値が報告された年齢区分
インフルエンザ	10-14 歳台
ＲＳウイルス感染症	1 歳台
咽頭結膜熱	1 歳台
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10-14 歳台
感染性胃腸炎	1 歳台
水痘	10-14 歳台
手足口病	1 歳台
伝染性紅斑	4 歳台
突発性発しん	1 歳台
ヘルパンギーナ	1 歳台
流行性耳下腺炎	5 歳台
急性出血性結膜炎	20 歳以上
流行性角結膜炎	20 歳以上

2024 年　感染症別・週別報告状況（全国集計）

	1月					2月				3月			
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週
インフルエンザ	62,229	64,106	87,425	94,820	111,574	118,254	101,915	82,850	68,989	79,676	85,196	69,519	55,196
新型コロナウイルス感染症	34,204	44,189	60,280	73,657	79,676	67,826	49,841	39139	34458	32259	30351	25,751	25,200
RSウイルス感染症	131	198	235	358	380	438	466	661	900	1,171	1,493	1,812	2,494
咽頭結膜熱	4,524	4,526	4,001	3,881	3,602	3,347	2,857	2,643	2,994	2,748	2,593	2,199	1,971
Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	5,404	8,867	13,389	13,621	14,491	14,500	11,539	11,591	12,225	13,810	14,057	11,525	11,176
感染性胃腸炎	8,782	16,795	23,875	23,806	23,290	21,606	17,961	17,114	17,197	17,593	16,698	13,442	12,892
水痘	452	450	480	406	434	427	365	399	404	428	434	410	407
手足口病	442	411	547	626	684	590	532	593	684	550	652	522	609
伝染性紅斑	29	59	54	63	61	61	54	55	60	68	63	53	87
突発性発しん	358	643	655	638	631	578	592	591	665	634	703	657	706
ヘルパンギーナ	66	75	93	92	84	64	53	93	103	81	63	70	77
流行性耳下腺炎	43	83	100	96	91	72	90	88	85	79	79	79	81
急性出血性結膜炎	10	11	5	6	5	7	5	4	9	12	6	8	8
流行性角結膜炎	495	619	446	409	368	351	326	295	313	297	264	290	356
細菌性髄膜炎	8	5	9	8	6	8	5	6	5	9	13	11	10
無菌性髄膜炎	7	10	12	13	6	12	4	8	6	11	16	13	6
マイコプラズマ肺炎	25	35	37	33	37	42	37	26	38	56	50	41	44
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病を除く）		1	1			1	2		1	2	1	3	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	1	5	12	6	9	7	2	4	6	7	12	6

	7月					8月				9月			
	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週
インフルエンザ	1,392	1,645	1,829	1,905	1,940	1,815	1,280	1,435	1,878	2,227	2,550	2,732	3,148
新型コロナウイルス感染症	39,915	55,603	67,438	72,113	65,819	51,926	39,367	43,353	36,948	32,479	26,107	21,507	17,665
RSウイルス感染症	5,050	5,806	5,276	5,502	5,501	4,533	2,124	1,749	2,041	2,175	1,879	1,431	1,155
咽頭結膜熱	2,114	1,878	1,576	1,506	1,346	1,339	713	913	825	915	923	795	717
Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	10,730	9,437	7,491	7,107	6,396	5,885	2,963	4,916	5,506	5,920	6,515	5,582	5,146
感染性胃腸炎	12,415	11,661	9,089	8,945	8,784	8,426	4,187	7,575	8,250	9,010	9,023	7,759	7,409
水痘	716	635	492	564	491	456	342	396	377	434	405	437	396
手足口病	36,030	42,018	36,871	37,470	30,090	24,866	11,356	13,251	17,905	22,529	25,272	24,363	25,504
伝染性紅斑	321	289	388	335	355	396	211	407	504	556	657	518	577
突発性発しん	951	914	809	813	837	830	494	882	924	978	866	792	770
ヘルパンギーナ	6,761	7,616	6,137	6,615	5,335	4,109	1,635	2,178	2,567	2,544	2,258	1,571	1,222
流行性耳下腺炎	214	186	134	156	95	126	75	104	112	136	136	130	133
急性出血性結膜炎	21	24	16	19	11	7	2	13	13	12	8	8	5
流行性角結膜炎	438	384	325	352	368	311	226	380	329	313	317	287	287
細菌性髄膜炎	11	10	10	10	12	12	14	8	16	7	13	6	9
無菌性髄膜炎	12	16	16	15	18	25	12	15	16	32	25	26	24
マイコプラズマ肺炎	241	331	346	379	471	570	637	581	581	593	692	724	809
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病を除く）		1	2	3		1		1	2	2			2
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	6	5	5	2	3	8	3	5	3	2	6	3	2

報告数が0の場合には空白としている

4月					5月				6月			
14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
25,126	13,238	9,108	5,253	2,201	1,693	1,395	1,176	947	860	750	805	962
21,023	18,321	17,974	15,847	11,126	13,678	16,247	16,568	17,418	19,745	20,590	22,778	28,649
3,156	4,453	5,503	5,403	3,909	3,838	4,348	4,757	4,105	4,310	3,832	3,973	4,273
1,770	1,764	2,109	2,193	1,566	2,137	2,231	2,603	2,629	2,798	2,896	2,704	2,338
9,572	10,404	12,807	14,541	8,342	11,134	15,435	15,820	15,224	15,332	14,024	12,686	12,021
11,394	12,101	13,142	14,397	8,062	11,425	14,982	15,526	15,056	15,278	14,775	13,318	12,854
389	449	451	549	333	722	506	684	684	671	774	686	656
657	1,014	1,405	1,797	1,891	2,826	4,677	6,682	9,088	12,056	14,879	19,803	26,633
57	83	153	93	77	108	136	180	190	259	269	267	312
714	784	933	983	673	979	991	1,014	1,078	1,062	1,005	1,056	1,047
97	141	192	285	239	355	714	885	1,376	2,034	2,489	3,359	4,954
110	86	159	152	117	152	193	211	206	215	222	230	228
7	12	13	14	8	13	9	34	23	25	38	34	24
369	366	383	441	297	518	501	469	505	571	489	456	468
11	16	10	8	8	10	8	6	15	12	6	11	18
11	10	8	10	8	9	19	8	13	19	17	20	20
41	55	66	79	67	89	84	138	113	123	158	193	201
	1	1	1	1	2	3	1	1	2	2	2	
5	8	10	9	6	6	8	11	16	16	24	10	11

	10月				11月				12月				合計
40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
3,837	4,413	3,596	4,289	5,128	5,266	9,315	11,699	24,053	44,739	94,332	211,531	318,166	1,911,403
15,245	11,776	9,173	8,381	7,758	7,261	9,414	8,973	11,956	15,159	19,255	27,199	34,679	1,593,264
1,030	997	800	744	822	740	806	734	860	961	1,043	1,166	1,272	122,794
747	701	589	678	787	677	844	887	1,070	1,250	1,275	1,391	1,358	99,438
6,040	6,280	5,334	6,098	5,977	5,301	7,179	6,404	8,105	8,193	8,195	8,222	7,469	495,928
8,421	8,273	7,223	8,361	8,723	7,711	9,993	9,678	12,088	13,680	15,364	16,340	15,662	657,411
412	458	455	623	507	602	650	724	896	961	960	1,051	840	28,330
27,099	33,801	29,425	25,322	24,147	18,044	13,105	10,572	8,626	6,126	4,156	2,798	1,698	663,294
857	797	1,045	1,010	1,164	1,111	1,745	1,613	2,806	2,900	2,952	3,080	2,644	32,189
853	788	765	832	796	721	707	758	871	806	743	712	678	41,260
1,218	1,190	817	775	594	383	299	240	194	151	103	75	62	74,783
107	95	115	89	125	86	96	83	100	116	114	110	95	6,415
12	5	6	10	5	6	11	15	16	17	33	43	32	720
295	348	263	344	340	312	345	367	438	498	563	587	623	20,302
17	11	6	15	8	10	10	10	12	10	11	12	11	523
23	29	21	19	22	21	19	14	16	19	13	8	14	786
956	962	988	1,200	1,203	1,162	1,376	1,235	1,097	1,104	873	729	651	22,399
2	1	5	3	5	1	2		4		2	4		72
1	4		1	2	6	2	6	4	4	10	8	14	335

2024 年　感染症別・週別定点あたり報告状況（全国集計）

	1月					2月				3月			
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週
インフルエンザ	12.70	13.00	17.73	19.22	22.62	23.99	20.65	16.78	13.97	16.14	17.27	14.08	11.18
新型コロナウイルス感染症	6.98	8.96	12.22	14.93	16.15	13.76	10.10	7.93	6.98	6.54	6.15	5.21	5.11
RSウイルス感染症	0.04	0.06	0.08	0.11	0.12	0.14	0.15	0.21	0.29	0.37	0.48	0.58	0.80
咽頭結膜熱	1.46	1.44	1.28	1.24	1.15	1.07	0.91	0.84	0.95	0.88	0.83	0.70	0.63
Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	1.74	2.83	4.28	4.35	4.63	4.63	3.68	3.70	3.90	4.41	4.48	3.67	3.57
感染性胃腸炎	2.83	5.36	7.63	7.60	7.44	6.90	5.73	5.46	5.48	5.61	5.33	4.28	4.11
水痘	0.15	0.14	0.15	0.13	0.14	0.14	0.12	0.13	0.13	0.14	0.14	0.13	0.13
手足口病	0.14	0.13	0.17	0.20	0.22	0.19	0.17	0.19	0.22	0.18	0.21	0.17	0.19
伝染性紅斑	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03
突発性発しん	0.12	0.21	0.21	0.20	0.20	0.18	0.19	0.19	0.21	0.20	0.22	0.21	0.23
ヘルパンギーナ	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02
流行性耳下腺炎	0.01	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
急性出血性結膜炎	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01
流行性角結膜炎	0.72	0.89	0.64	0.59	0.53	0.51	0.47	0.42	0.45	0.43	0.38	0.42	0.51
細菌性髄膜炎	0.02	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.03	0.02	0.02
無菌性髄膜炎	0.01	0.02	0.03	0.03	0.01	0.02	0.01	0.02	0.01	0.02	0.03	0.03	0.01
マイコプラズマ肺炎	0.05	0.07	0.08	0.07	0.08	0.09	0.08	0.05	0.08	0.12	0.10	0.09	0.09
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病を除く）												0.01	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.01		0.01	0.02	0.01	0.02	0.01		0.01	0.01	0.01	0.02	0.01

	7月					8月				9月			
	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週
インフルエンザ	0.28	0.33	0.37	0.39	0.39	0.37	0.28	0.29	0.38	0.45	0.52	0.55	0.64
新型コロナウイルス感染症	8.08	11.25	13.63	14.58	13.30	10.62	8.48	8.80	7.47	6.57	5.29	4.36	3.57
RSウイルス感染症	1.61	1.85	1.68	1.75	1.75	1.46	0.72	0.56	0.65	0.69	0.60	0.46	0.37
咽頭結膜熱	0.67	0.60	0.50	0.48	0.43	0.43	0.24	0.29	0.26	0.29	0.29	0.25	0.23
Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	3.42	3.00	2.38	2.26	2.03	1.89	1.01	1.57	1.75	1.89	2.07	1.78	1.64
感染性胃腸炎	3.95	3.71	2.89	2.85	2.79	2.71	1.43	2.42	2.63	2.87	2.87	2.48	2.36
水痘	0.23	0.20	0.16	0.18	0.16	0.15	0.12	0.13	0.12	0.14	0.13	0.14	0.13
手足口病	11.47	13.36	11.73	11.93	9.57	7.99	3.87	4.24	5.70	7.18	8.05	7.77	8.12
伝染性紅斑	0.10	0.09	0.12	0.11	0.11	0.13	0.07	0.13	0.16	0.18	0.21	0.17	0.18
突発性発しん	0.30	0.29	0.26	0.26	0.27	0.27	0.17	0.28	0.29	0.31	0.28	0.25	0.25
ヘルパンギーナ	2.15	2.42	1.95	2.11	1.70	1.32	0.56	0.70	0.82	0.81	0.72	0.50	0.39
流行性耳下腺炎	0.07	0.06	0.04	0.05	0.03	0.04	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
急性出血性結膜炎	0.03	0.03	0.02	0.03	0.02	0.01		0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01
流行性角結膜炎	0.63	0.55	0.46	0.51	0.53	0.45	0.34	0.54	0.47	0.45	0.45	0.41	0.41
細菌性髄膜炎	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	0.01	0.03	0.01	0.02
無菌性髄膜炎	0.02	0.03	0.03	0.03	0.04	0.05	0.02	0.03	0.03	0.07	0.05	0.05	0.05
マイコプラズマ肺炎	0.50	0.69	0.72	0.79	0.98	1.19	1.32	1.21	1.21	1.23	1.44	1.51	1.68
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病を除く）				0.01									
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.01	0.01	0.01		0.01	0.02	0.01	0.01	0.01		0.01	0.01	

報告数が0の場合には空白としている

4月					5月				6月			
14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
5.09	2.69	1.85	1.07	0.45	0.34	0.28	0.24	0.19	0.17	0.15	0.16	0.19
4.26	3.72	3.64	3.22	2.28	2.77	3.28	3.35	3.52	3.99	4.17	4.61	5.79
1.01	1.42	1.76	1.73	1.26	1.22	1.38	1.51	1.31	1.37	1.22	1.27	1.36
0.57	0.56	0.67	0.70	0.50	0.68	0.71	0.83	0.84	0.89	0.92	0.86	0.74
3.06	3.32	4.09	4.65	2.69	3.55	4.91	5.04	4.85	4.88	4.46	4.04	3.83
3.64	3.86	4.19	4.61	2.60	3.64	4.77	4.94	4.80	4.86	4.70	4.25	4.09
0.12	0.14	0.14	0.18	0.11	0.23	0.16	0.22	0.22	0.21	0.25	0.22	0.21
0.21	0.32	0.45	0.58	0.61	0.90	1.49	2.13	2.90	3.83	4.74	6.31	8.48
0.02	0.03	0.05	0.03	0.02	0.03	0.04	0.06	0.06	0.08	0.09	0.09	0.10
0.23	0.25	0.30	0.31	0.22	0.31	0.32	0.32	0.34	0.34	0.32	0.34	0.33
0.03	0.05	0.06	0.09	0.08	0.11	0.23	0.28	0.44	0.65	0.79	1.07	1.58
0.04	0.03	0.05	0.05	0.04	0.05	0.06	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
0.01	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.05	0.03	0.04	0.05	0.05	0.03
0.53	0.53	0.55	0.64	0.43	0.74	0.72	0.67	0.72	0.82	0.70	0.66	0.67
0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.03	0.02	0.01	0.02	0.04
0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.04	0.02	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04
0.09	0.11	0.14	0.16	0.14	0.18	0.17	0.29	0.23	0.26	0.33	0.40	0.42
						0.01						
0.01	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	0.03	0.05	0.02	0.02

	10月				11月				12月				平均
40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
0.78	0.89	0.73	0.87	1.04	1.06	1.88	2.37	4.86	9.05	19.08	42.74	64.43	7.45
3.08	2.39	1.86	1.70	1.57	1.47	1.90	1.82	2.42	3.07	3.89	5.50	7.02	6.22
0.33	0.32	0.25	0.24	0.26	0.24	0.26	0.23	0.27	0.31	0.33	0.37	0.41	0.75
0.24	0.22	0.19	0.22	0.25	0.22	0.27	0.28	0.34	0.40	0.41	0.44	0.43	0.61
1.92	2.00	1.70	1.94	1.91	1.69	2.29	2.04	2.58	2.61	2.61	2.62	2.38	3.04
2.68	2.64	2.30	2.66	2.78	2.45	3.18	3.08	3.85	4.36	4.89	5.20	5.00	4.03
0.13	0.15	0.14	0.20	0.16	0.19	0.21	0.23	0.29	0.31	0.31	0.33	0.27	0.17
8.62	10.79	9.37	8.07	7.70	5.74	4.17	3.37	2.75	1.95	1.32	0.89	0.54	4.07
0.27	0.25	0.33	0.32	0.37	0.35	0.56	0.51	0.89	0.92	0.94	0.98	0.84	0.20
0.27	0.25	0.24	0.27	0.25	0.23	0.23	0.24	0.28	0.26	0.24	0.23	0.22	0.25
0.39	0.38	0.26	0.25	0.19	0.12	0.10	0.08	0.06	0.05	0.03	0.02	0.02	0.46
0.03	0.03	0.04	0.03	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.03	0.04
0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.05	0.06	0.05	0.02
0.42	0.50	0.38	0.49	0.49	0.45	0.49	0.53	0.63	0.71	0.81	0.84	0.89	0.56
0.04	0.02	0.01	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
0.05	0.06	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	0.03	0.03	0.04	0.03	0.02	0.03	0.03
1.99	2.00	2.05	2.49	2.50	2.42	2.86	2.57	2.28	2.30	1.81	1.52	1.35	0.90
		0.01	0.01	0.01				0.01			0.01		0.00
	0.01				0.01		0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	0.01

2024 年　感染症別・週別報告状況（大阪府内集計）

		1月					2月				3月			
		1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週
定点数	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	306	306	306	306	306	307	307	307	307	307	307	307	307
	小　児　科	197	197	197	197	197	198	198	198	198	198	198	198	198
	眼　　科	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	51
	基　　幹	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18
インフルエンザ		3,602	3,710	5,901	7,306	9,069	9,146	6,582	4,160	2,761	2,445	2,018	1,541	1,254
新型コロナウイルス感染症		1,458	1,894	2,441	2,725	2,863	2,471	1,958	1,543	1,472	1,334	1,197	1,101	1,106
RSウイルス感染症		19	21	29	53	52	68	75	133	204	307	367	441	520
咽頭結膜熱		129	175	118	100	76	102	84	72	84	82	72	71	53
Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎		303	512	715	758	814	851	569	600	617	709	658	609	501
感染性胃腸炎		488	917	1,432	1,542	1,638	1,446	1,163	1,119	1,179	1,228	1,197	1,005	928
水痘		30	30	31	27	27	28	18	16	25	26	18	28	27
手足口病		67	49	82	102	110	83	107	113	96	87	104	69	109
伝染性紅斑		1	6		1	2	4	3	2	4	2	1	1	7
突発性発しん		19	36	32	31	30	28	39	32	44	30	38	31	31
ヘルパンギーナ		15	3	9	15	10	11	14	17	10	4	8	5	6
流行性耳下腺炎		4	3	5	6	5	3	6	3	10	4	4	5	2
急性出血性結膜炎		2		1	1	1					1		1	
流行性角結膜炎		12	24	20	7	14	15	12	16	23	13	10	18	22
合計（ＲＳｳｲｰ流行性角結）		1,089	1,776	2,474	2,643	2,779	2,639	2,090	2,123	2,296	2,493	2,477	2,284	2,206
細菌性髄膜炎					3		3	2		1	1		2	
無菌性髄膜炎			1	1			1	1				1	1	1
マイコプラズマ肺炎			3	1	1	3	5	2	5	5	7	7	10	7
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病を除く）							1				1		1	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)				1							1	1	5	2
合計（細菌性髄－ﾛﾀｳｲﾙｽ）			4	3	4	3	10	5	5	6	10	9	19	10

		7月					8月				9月			
		27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週
定点数	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	305	305	306	306	306	306	306	306	306	306	306	306	306
	小　児　科	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197
	眼　　科	51	51	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
	基　　幹	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
インフルエンザ		128	150	114	139	104	89	35	82	99	132	94	111	150
新型コロナウイルス感染症		1,954	3,001	3,897	4,491	3,961	2,638	1,403	1,620	1,370	1,232	892	797	596
RSウイルス感染症		143	207	160	216	199	146	82	98	134	175	167	138	89
咽頭結膜熱		139	114	96	81	82	70	16	46	39	53	53	41	53
Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎		597	557	436	409	355	319	160	272	310	356	393	339	278
感染性胃腸炎		780	715	618	621	588	525	242	515	569	622	603	540	493
水痘		63	36	35	41	44	36	31	23	24	27	22	25	21
手足口病		1,865	1,956	1,591	1,469	1,199	933	350	526	762	925	972	888	968
伝染性紅斑		6	4	4	1	10	7	1	5	5	8	4	6	11
突発性発しん		64	50	41	39	40	37	22	45	45	53	44	50	42
ヘルパンギーナ		280	325	292	255	234	157	75	83	94	71	59	49	28
流行性耳下腺炎		18	17	10	19	7	11	4	6	10	4	7	11	9
急性出血性結膜炎			2		2					1	1	1	1	
流行性角結膜炎		14	8	7	11	14	13	9	10	11	15	14	10	17
合計（ＲＳｳｲｰ流行性角結）		3,969	3,991	3,290	3,164	2,772	2,254	992	1,629	2,004	2,310	2,339	2,098	2,009
細菌性髄膜炎		1	1	3		2	2	3	1	1		1		
無菌性髄膜炎		1	3		2		3	1	3	1	1			1
マイコプラズマ肺炎		43	42	42	60	75	77	71	69	51	44	50	50	42
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病を除く）			1	1	1						1			1
感染性胃腸炎(ロタウイルス)			3			1	3							
合計（細菌性髄－ﾛﾀｳｲﾙｽ）		45	50	46	63	78	85	75	73	53	46	51	50	44

報告数が0の場合には空白としている

4月					5月				6月			
14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
304	304	304	304	303	303	303	303	303	304	304	304	305
196	196	196	196	195	195	195	195	195	196	196	196	197
51	51	51	52	52	52	52	52	52	52	52	52	51
18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
578	391	314	224	86	109	66	76	48	40	26	42	66
993	900	974	815	501	632	704	693	664	724	950	1,006	1,320
666	774	865	600	365	335	286	250	168	133	149	124	131
66	76	78	91	78	94	99	154	167	164	178	149	137
495	506	691	779	452	571	895	829	799	873	796	723	687
806	908	998	1,107	618	920	1,124	1,179	1,116	1,091	1,004	866	867
12	39	25	28	17	46	37	41	73	34	62	39	36
94	159	209	256	231	359	581	850	1,196	1,436	1,487	1,731	1,805
	1	4	2	3	4	2	6	3		3	4	9
45	54	59	52	38	58	53	44	59	58	54	44	57
9	16	21	16	30	50	79	121	165	206	227	254	281
5	5	8	10	5	7	6	11	18	23	19	7	15
1				1	1		1	1	1	1		
17	33	27	33	18	27	18	31	25	34	28	9	12
2,216	2,571	2,985	2,974	1,856	2,472	3,180	3,517	3,790	4,053	4,008	3,950	4,037
2	2		1				1	1			1	
		1		1			1		2	2	1	
7	6	10	13	9	14	13	15	17	13	19	35	31
			1			2		1		1		
1	2	2	2	1	2	1	1	1	1	8	1	1
10	10	13	17	11	16	16	18	20	16	30	38	32

	10月				11月				12月				合計
40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
306	306	306	306	306	306	306	306	306	305	305	305	305	15,884
197	197	197	197	197	197	197	197	197	196	196	196	196	10,231
52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	2,697
18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	932
256	294	168	201	243	246	604	663	1,506	3,110	6,656	13,988	20,697	111,620
592	460	310	318	257	245	347	318	447	420	544	874	1,155	68,578
95	124	104	78	112	135	160	103	124	162	177	189	220	10,872
53	40	41	45	38	56	57	44	69	106	82	72	93	4,428
363	326	271	336	304	243	325	259	314	327	371	350	322	26,204
580	579	537	610	664	532	678	710	846	1,015	1,040	991	1,003	45,102
29	25	21	42	21	33	34	30	36	41	55	41	51	1,707
1,086	1,271	1,046	924	818	697	500	406	344	230	158	111	65	33,632
10	6	18	15	26	19	13	10	23	26	30	27	25	395
62	43	42	50	52	26	42	43	37	52	40	46	40	2,243
34	42	18	16	20	12	7	7	7	7	7	2	4	3,787
1	6	5	7	12	7	6	8	9	11	7	10	8	429
		1	4	1			2		1	8	3	2	44
22	22	20	19	5	7	24	24	19	19	16	22	26	916
2,335	2,484	2,124	2,146	2,073	1,767	1,846	1,646	1,828	1,997	1,991	1,864	1,859	129,759
				1	1		3			1	1		42
2	1				2	1		1		2	1	2	43
62	52	63	61	66	55	57	63	50	52	34	29	12	1,630
		1		1									15
								1		3	2	2	49
64	53	64	61	68	58	58	66	52	52	40	33	16	1,779

2024 年　感染症別・週別定点あたり報告状況（大阪府内集計）

		1月					2月				3月			
		1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週
定点数	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	306	306	306	306	306	307	307	307	307	307	307	307	307
	小　児　科	197	197	197	197	197	198	198	198	198	198	198	198	198
	眼　　科	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	51
	基　　幹	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18
インフルエンザ		11.77	12.12	19.28	23.88	29.64	29.79	21.44	13.55	8.99	7.96	6.57	5.02	4.08
新型コロナウイルス感染症		4.76	6.19	7.98	8.91	9.36	8.05	6.38	5.03	4.79	4.35	3.90	3.59	3.60
RSウイルス感染症		0.10	0.11	0.15	0.27	0.26	0.34	0.38	0.67	1.03	1.55	1.85	2.23	2.63
咽頭結膜熱		0.65	0.89	0.60	0.51	0.39	0.52	0.42	0.36	0.42	0.41	0.36	0.36	0.27
Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎		1.54	2.60	3.63	3.85	4.13	4.30	2.87	3.03	3.12	3.58	3.32	3.08	2.53
感染性胃腸炎		2.48	4.65	7.27	7.83	8.31	7.30	5.87	5.65	5.95	6.20	6.05	5.08	4.69
水痘		0.15	0.15	0.16	0.14	0.14	0.14	0.09	0.08	0.13	0.13	0.09	0.14	0.14
手足口病		0.34	0.25	0.42	0.52	0.56	0.42	0.54	0.57	0.48	0.44	0.53	0.35	0.55
伝染性紅斑		0.01	0.03		0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.04
突発性発しん		0.10	0.18	0.16	0.16	0.15	0.14	0.20	0.16	0.22	0.15	0.19	0.16	0.16
ヘルパンギーナ		0.08	0.02	0.05	0.08	0.05	0.06	0.07	0.09	0.05	0.02	0.04	0.03	0.03
流行性耳下腺炎		0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03	0.02	0.05	0.02	0.02	0.03	0.01
急性出血性結膜炎		0.04		0.02	0.02	0.02					0.02		0.02	
流行性角結膜炎		0.23	0.46	0.38	0.13	0.27	0.29	0.23	0.31	0.44	0.25	0.19	0.35	0.43
細菌性髄膜炎					0.18		0.17	0.11		0.06	0.06		0.11	
無菌性髄膜炎			0.06	0.06			0.06	0.06				0.06	0.06	0.06
マイコプラズマ肺炎			0.18	0.06	0.06	0.17	0.28	0.11	0.28	0.28	0.39	0.39	0.56	0.39
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病を除く）							0.06				0.06		0.06	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)				0.06							0.06	0.06	0.28	0.11

		7月					8月				9月			
		27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週
定点数	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	305	305	306	306	306	306	306	306	306	306	306	306	306
	小　児　科	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197
	眼　　科	51	51	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
	基　　幹	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
インフルエンザ		0.42	0.49	0.37	0.45	0.34	0.29	0.11	0.27	0.32	0.43	0.31	0.36	0.49
新型コロナウイルス感染症		6.41	9.84	12.74	14.68	12.94	8.62	4.58	5.29	4.48	4.03	2.92	2.60	1.95
RSウイルス感染症		0.73	1.05	0.81	1.10	1.01	0.74	0.42	0.50	0.68	0.89	0.85	0.70	0.45
咽頭結膜熱		0.71	0.58	0.49	0.41	0.42	0.36	0.08	0.23	0.20	0.27	0.27	0.21	0.27
Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎		3.03	2.83	2.21	2.08	1.80	1.62	0.81	1.38	1.57	1.81	1.99	1.72	1.41
感染性胃腸炎		3.96	3.63	3.14	3.15	2.98	2.66	1.23	2.61	2.89	3.16	3.06	2.74	2.50
水痘		0.32	0.18	0.18	0.21	0.22	0.18	0.16	0.12	0.12	0.14	0.11	0.13	0.11
手足口病		9.47	9.93	8.08	7.46	6.09	4.74	1.78	2.67	3.87	4.70	4.93	4.51	4.91
伝染性紅斑		0.03	0.02	0.02	0.01	0.05	0.04	0.01	0.03	0.03	0.04	0.02	0.03	0.06
突発性発しん		0.32	0.25	0.21	0.20	0.20	0.19	0.11	0.23	0.23	0.27	0.22	0.25	0.21
ヘルパンギーナ		1.42	1.65	1.48	1.29	1.19	0.80	0.38	0.42	0.48	0.36	0.30	0.25	0.14
流行性耳下腺炎		0.09	0.09	0.05	0.10	0.04	0.06	0.02	0.03	0.05	0.02	0.04	0.06	0.05
急性出血性結膜炎			0.04		0.04					0.02	0.02	0.02	0.02	
流行性角結膜炎		0.27	0.16	0.13	0.21	0.27	0.25	0.17	0.19	0.21	0.29	0.27	0.19	0.33
細菌性髄膜炎		0.06	0.06	0.17		0.11	0.11	0.17	0.06	0.06		0.06		
無菌性髄膜炎		0.06	0.17		0.11		0.17	0.06	0.17	0.06	0.06			0.06
マイコプラズマ肺炎		2.39	2.33	2.33	3.33	4.17	4.28	3.94	3.83	2.83	2.44	2.78	2.78	2.33
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病を除く）			0.06	0.06	0.06						0.06			0.06
感染性胃腸炎(ロタウイルス)			0.17			0.06	0.17							

報告数が0の場合には空白としている

4月					5月				6月			
14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
304	304	304	304	303	303	303	303	303	304	304	304	305
196	196	196	196	195	195	195	195	195	196	196	196	197
51	51	51	52	52	52	52	52	52	52	52	52	51
18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
1.90	1.29	1.03	0.74	0.28	0.36	0.22	0.25	0.16	0.13	0.09	0.14	0.22
3.27	2.96	3.20	2.68	1.65	2.09	2.32	2.29	2.19	2.38	3.13	3.31	4.33
3.40	3.95	4.41	3.06	1.87	1.72	1.47	1.28	0.86	0.68	0.76	0.63	0.66
0.34	0.39	0.40	0.46	0.40	0.48	0.51	0.79	0.86	0.84	0.91	0.76	0.70
2.53	2.58	3.53	3.97	2.32	2.93	4.59	4.25	4.10	4.45	4.06	3.69	3.49
4.11	4.63	5.09	5.65	3.17	4.72	5.76	6.05	5.72	5.57	5.12	4.42	4.40
0.06	0.20	0.13	0.14	0.09	0.24	0.19	0.21	0.37	0.17	0.32	0.20	0.18
0.48	0.81	1.07	1.31	1.18	1.84	2.98	4.36	6.13	7.33	7.59	8.83	9.16
	0.01	0.02	0.01	0.02	0.02	0.01	0.03	0.02		0.02	0.02	0.05
0.23	0.28	0.30	0.27	0.19	0.30	0.27	0.23	0.30	0.30	0.28	0.22	0.29
0.05	0.08	0.11	0.08	0.15	0.26	0.41	0.62	0.85	1.05	1.16	1.30	1.43
0.03	0.03	0.04	0.05	0.03	0.04	0.03	0.06	0.09	0.12	0.10	0.04	0.08
0.02				0.02	0.02		0.02	0.02	0.02	0.02		
0.33	0.65	0.53	0.63	0.35	0.52	0.35	0.60	0.48	0.65	0.54	0.17	0.24
0.11	0.11		0.06				0.06	0.06			0.06	
		0.06		0.06			0.06		0.11	0.11	0.06	
0.39	0.33	0.56	0.72	0.50	0.78	0.72	0.83	0.94	0.72	1.06	1.94	1.72
			0.06			0.11		0.06		0.06		
0.06	0.11	0.11	0.11	0.06	0.11	0.06	0.06	0.06	0.06	0.44	0.06	0.06

	10月				11月				12月				平均
40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
306	306	306	306	306	306	306	306	306	305	305	305	305	15,884
197	197	197	197	197	197	197	197	197	196	196	196	196	10,231
52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	2,697
18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	932
0.84	0.96	0.55	0.66	0.79	0.80	1.97	2.17	4.92	10.20	21.82	45.86	67.86	7.02
1.93	1.50	1.01	1.04	0.84	0.80	1.13	1.04	1.46	1.38	1.78	2.87	3.79	4.31
0.48	0.63	0.53	0.40	0.57	0.69	0.81	0.52	0.63	0.83	0.90	0.96	1.12	1.06
0.27	0.20	0.21	0.23	0.19	0.28	0.29	0.22	0.35	0.54	0.42	0.37	0.47	0.43
1.84	1.65	1.38	1.71	1.54	1.23	1.65	1.31	1.59	1.67	1.89	1.79	1.64	2.56
2.94	2.94	2.73	3.10	3.37	2.70	3.44	3.60	4.29	5.18	5.31	5.06	5.12	4.41
0.15	0.13	0.11	0.21	0.11	0.17	0.17	0.15	0.18	0.21	0.28	0.21	0.26	0.17
5.51	6.45	5.31	4.69	4.15	3.54	2.54	2.06	1.75	1.17	0.81	0.57	0.33	3.29
0.05	0.03	0.09	0.08	0.13	0.10	0.07	0.05	0.12	0.13	0.15	0.14	0.13	0.04
0.31	0.22	0.21	0.25	0.26	0.13	0.21	0.22	0.19	0.27	0.20	0.23	0.20	0.22
0.17	0.21	0.09	0.08	0.10	0.06	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.01	0.02	0.37
0.01	0.03	0.03	0.04	0.06	0.04	0.03	0.04	0.05	0.06	0.04	0.05	0.04	0.04
		0.02	0.08	0.02			0.04		0.02	0.15	0.06	0.04	0.02
0.42	0.42	0.38	0.37	0.10	0.13	0.46	0.46	0.37	0.37	0.31	0.42	0.50	0.34
				0.06	0.06		0.17			0.06	0.06		0.05
0.11	0.06				0.11	0.06		0.06		0.11	0.06	0.11	0.05
3.44	2.89	3.50	3.39	3.67	3.06	3.17	3.50	2.78	2.89	1.89	1.61	0.67	1.74
		0.06		0.06									0.02
								0.06		0.17	0.11	0.11	0.05

2024 年　感染症別・ブロック別報告状況（大阪府内集計）

（ブロック別）

疾患名	ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市北部	09 大阪市西部	10 大阪市東部	11 大阪市南部	合 計
定点数	*1　ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	1,912	1,390	2,117	1,577	1,248	1,508	1,768	1,040	780	1,140	1,404	15,884
	*2　小児科	1,184	870	1,300	1,005	832	988	1,092	728	520	776	936	10,231
	*3　眼科	256	208	312	260	208	260	309	260	104	312	208	2,697
	*4　基幹	104	104	104	104	104	104	100	52	52	52	52	932
*1	インフルエンザ	10,342	6,896	16,190	10,766	12,476	11,975	13,114	8,368	7,505	5,618	8,370	111,620
	新型コロナウイルス感染症*6	7,715	4,474	10,248	5,494	6,380	8,175	7,897	4,801	2,985	4,694	5,715	68,578
*2	RSウイルス感染症	646	412	1,728	1,259	1,119	1,001	1,117	1,619	559	682	730	10,872
	咽頭結膜熱	275	197	577	727	571	349	588	365	105	302	372	4,428
	Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	1,976	1,231	4,499	2,296	2,477	3,400	2,795	1,361	1,040	1,657	3,472	26,204
	感染性胃腸炎	4,957	4,312	6,408	5,140	5,258	4,226	4,887	2,645	1,787	1,211	4,271	45,102
	水痘	300	150	258	209	160	172	178	81	66	54	79	1,707
	手足口病	3,117	2,358	5,821	4,369	2,818	2,811	3,175	3,273	1,360	1,507	3,023	33,632
	伝染性紅斑	60	57	106	41	37	14	25	13	2	21	19	395
	突発性発しん	268	120	367	401	232	161	187	172	74	99	162	2,243
	ヘルパンギーナ	295	213	569	578	393	319	264	643	198	158	157	3,787
	流行性耳下腺炎	38	30	75	67	57	35	38	36	27	11	15	429
*3	急性出血性結膜炎	9		20	2	2	1	5	3	1	1		44
	流行性角結膜炎	103	66	119	72	94	70	103	61	26	134	68	916
合　計 (小児科、眼科定点把握)		12,044	9,146	20,547	15,161	13,218	12,559	13,362	10,272	5,245	5,837	12,368	129,759
*4	細菌性髄膜炎	1	12		18	2	2	2		2	3		42
	無菌性髄膜炎	5	7	5	14	2	8				2		43
	マイコプラズマ肺炎	137	178	137	109	196	351	187		128	207		1,630
	ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病を除く）			1	12			2					15
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	2	5	1	9	10	2		9	10		49
合計｛細菌性髄膜炎－感染性胃腸炎(ロタウイルス)｝		144	199	148	160	209	375	193		139	222		1,779
*5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	119	62	25	34	410	157	101	20	33	13	65	1,039
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	13		6		36	14	13					82
	薬剤耐性緑膿菌感染症			2				1					3
合計（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症－薬剤耐性緑膿菌感染症）		132	62	33	34	446	171	115	20	33	13	65	1,124

*1　インフルエンザ/COVID-19定点把握疾患
*2　小児科定点把握疾患
*3　眼科定点把握疾患
*4　基幹定点把握疾患（週報）
*5　基幹定点把握疾患（月報）

報告数が0の場合には空白としている

2024 年　感染症別・年齢別報告状況（大阪府内集計）

（年齢別）

	年齢区分 / 疾病名	6ヶ月未満	12ヶ月未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳から14歳	15歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から	合計
*1	インフルエンザ	493	1,234	3,742	4,121	4,528	5,488	6,150	6,860	7,138	7,462	7,080	25,252	7,023	25,049					111,620
*1	新型コロナウイルス感染症	1,132	1,644	2,387	1,330	1,040	997	1,031	1,025	1,010	1,043	1,059	5,798	3,455	45,627					68,578
*2	RSウイルス感染症	1,415	2,001	3,525	1,971	943	426	201	82	49	36	40	111	20	52					10,872
*2	咽頭結膜熱	33	302	1,235	692	507	423	379	259	153	94	69	164	24	94					4,428
*2	A群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	19	160	955	1,435	2,467	3,082	3,217	3,040	2,576	2,157	1,714	3,512	479	1,391					26,204
*2	感染性胃腸炎	603	2,937	5,893	4,821	4,249	3,961	3,734	3,184	2,634	2,434	1,991	4,792	830	3,039					45,102
*2	水痘	13	42	94	75	86	93	130	167	181	193	169	401	27	36					1,707
*2	手足口病	305	2,626	9,297	6,015	4,450	3,811	2,836	1,646	919	636	370	518	48	155					33,632
*2	伝染性紅斑		8	37	38	41	73	54	38	28	34	17	22	1	4					395
*2	突発性発しん	21	511	1,261	284	119	47													2,243
*2	ヘルパンギーナ	25	350	880	697	555	433	345	150	113	71	33	75	5	55					3,787
*2	流行性耳下腺炎	2	3	12	18	33	54	69	48	38	56	35	57	1	3					429
*3	急性出血性結膜炎			2			1					2	4		35					44
*3	流行性角結膜炎	2	4	27	29	16	34	23	12	13	10	4	29	29	684					916
	合　計	2,438	8,944	23,218	16,075	13,466	12,438	10,988	8,626	6,704	5,721	4,444	9,685	1,464	5,548					129,759
*4	細菌性髄膜炎	3		1	1			2			2		3	2	1	2	2	4	19	42
*4	無菌性髄膜炎	7	1	3				2		1		2	3	2	1	4	4	3	10	43
*4	マイコプラズマ肺炎	9	15	37	80	80	82	110	116	146	129	125	456	99	53	36	28	14	15	1,630
*4	ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病を除く）		1									1		1			1	1	10	15
*4	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	1	6	3	1	4	5	10	4	3	5	4		1	1				49
合計｛細菌性髄膜炎－感染性胃腸炎(ロタウイルス)｝		20	18	47	86	81	86	119	126	151	135	135	468	107	56	43	35	22	54	1,779
*5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	24	9	6	6	4	3	5	5	6	3	4	17	23	24	25	56	87	732	1,039
*5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	7	14	6	3	4	2	3				1			2	3	4	31	82
*5	薬剤耐性緑膿菌感染症																		3	3
合計（ﾒﾁｼﾘﾝ耐性黄色ﾌﾞﾄﾞｳ球菌感染症－薬剤耐性緑膿菌感染症）		26	16	20	12	7	7	7	8	6	3	4	18	23	24	27	59	91	766	1,124

*1　インフルエンザ/COVID-19定点把握疾患
*2　小児科定点把握疾患
*3　眼科定点把握疾患
*4　基幹定点把握疾患（週報）
*5　基幹定点把握疾患（月報）

報告数が0の場合には空白としている

2. 各感染症状況報告

1）インフルエンザ／COVID-19 定点把握疾患

●インフルエンザ

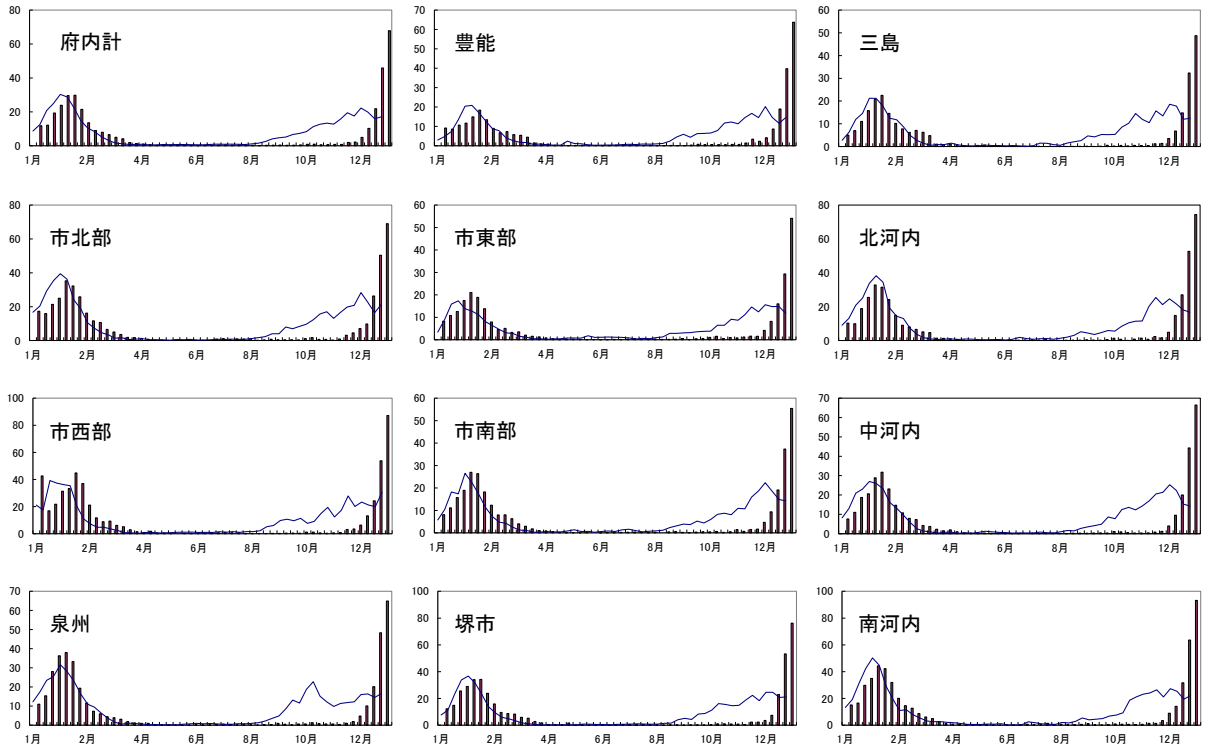
令和 6 年（2024 年）のインフルエンザの患者発生は、第 35 週までは 2023/2024 年シーズンを第 36 週以降は 2024/2025 年シーズンが反映されている。令和 6 年のインフルエンザ定点からの累積報告数は、全国 1,911,403（定点あたり累積報告数 387.22）、大阪府 111,620（定点あたり累積報告数 364.98）であり、前年（2023 年）の累積報告数（全国 2,311,261、大阪府 128,372）よりは減少がみられたものの、2014 年以降の過去 10 年間比較すると、2023 年に次いで多い値であった。また、2024 年第 52 週の定点あたり報告数（全国 64.43 大阪府 67.86）はどちらも 2000 年以降では最高値であった（図）。 なお、2024/2025 年シーズンのインフルエンザの定点あたり報告数は、全国平均値、大阪府共にこの 2024 年第 52 週が最高値で、2025 年の 1 月に入って以降は速やかな減少がみられている。

2024 年の国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると（https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/graphdata/130/index.html）、総検出数は 5,741 株（AH1pdm 2,809 株 48.9%、AH3 亜型 796 株 13.9%、A 亜型不明 12 株、B ビクトリア系統 2,062 株 35.9%、B 系統不明 62 株）であり、AH1pdm が最多を占め、次いで B 型の順であった。一方、2024 年の中で 2023/2024 年シーズンに該当する期間（2024 年 1～8 月）のインフルエンザウイルスの総検出数は 3,445 株（AH1pdm 20.0%、AH3 亜型 19.4%、B ビクトリア系統 58.7）と B ビクトリア系統が最多を占めていたのに対して、2024/2025 年シーズンの該当期間（2024 年 9～12 月）では、総検出数 2,296 株（AH1pdm 92.3%、AH3 亜型 5.6%、B ビクトリア系統 1.7%）と AH1pdm が大半を占めていた。

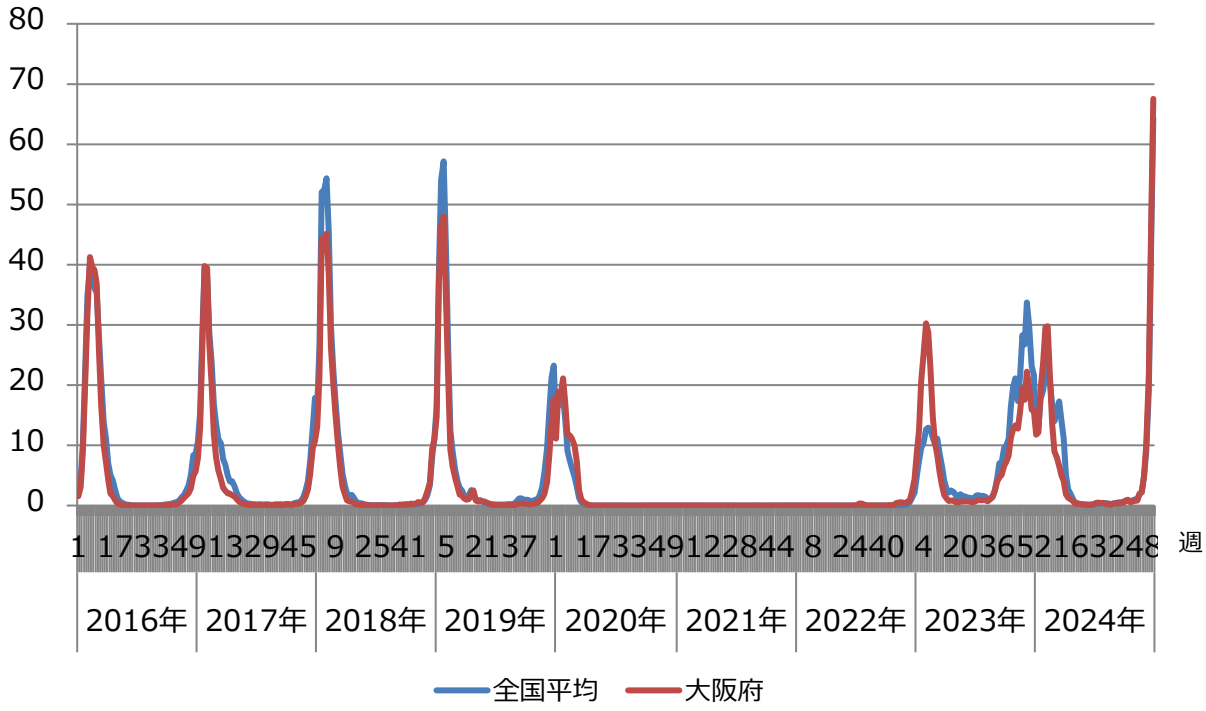
新型コロナウイルスの流行の影響か、2020 年第 12 週～2022 年第 50 週までの期間はインフルエンザの流行は見られなかったが、2023 年の累積患者報告数は過去 10 年間で最多となり、2024 年第 52 週の定点当たり報告数は過去最大の値となった。これらは、新型コロナウイルス流行の影響の減弱と、非流行期間の長期化によるインフルエンザウイルスに対する感受性者の蓄積が関与している可能性が考えられる。しかし、インフルエンザの流行規模、流行時期は新型コロナウイルスの流行がみられなかった 2019 年以前とは異なっている。2025 年以降のインフルエンザの流行が、2019 年以前の流行規模、流行時期に近づいていくのか、あるいはこれまでとは異なった状況が続いていくのか等については、これからも注意深い観察が必要であると思われる。 （文責：安井）

インフルエンザ

線（2023 年第 1 週～第 52 週）
棒（2024 年第 1 週～第 52 週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移



2016 年～2024 年のインフルエンザ定点あたり報告数週別推移（全国平均、大阪府）

●新型コロナウイルス感染症

2024 年の新型コロナウイルス感染症の患者報告数は、68,578 例で、定点あたり報告数の平均は 4.31 である。

大阪府の週別（月別）の定点あたり報告数は、2023 年第 46 週（11 月第 2 週）以降増加しており、2024 年第 5 週（1 月第 5 週）に 9.36 となった。その後減少傾向に転じ、第 18 週（4 月第 4 週）に 1.65 まで減少したが再び、増加傾向となり、第 30 週（7 月第 4 週）に最大値 14.68 となった。その後は、減少傾向で推移し、第 45 週（11 月第 1 週）0.80 と最小値となった。第 46 週（11 月第 2 週）以降は、再び、緩やかに増加している。

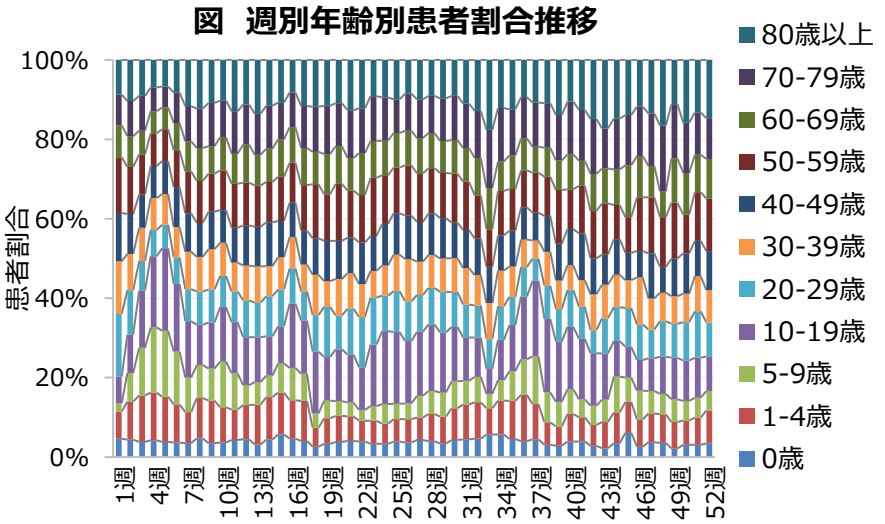
全国集計の同報告数は、第 1 週（1 月第 1 週）6.98 に始まり、第 5 週（1 月第 5 週）に 16.15 となった。その後減少傾向となり、第 18 週（5 月第 3 週）に 2.28 まで減少したが再び増加に転じ、第 30 週（7 月第 4 週）に最大値 14.58 となった。その後、減少し第 47 週（11 月第 3 週）1.82 と最小値となり、再び増加に転じている。

大阪府において、年齢別患者発生数では、多い順に、10-19 歳　9,253 例（13.5%）、50-59 歳　7,593 例（11.1%）、80 歳以上　7,294 例（10.6%）、70-79 歳　6,972 例（10.2%）、40-49 歳 6,428 例（9.4%）の順であった。一方、少ない順に、0 歳　2,776 例（4.0%）、5-9 歳 5,168 例（7.5%）、60-69 歳　5,581 例（8.1%）の順であった（図）。5-19 歳が 21.0%、70 歳以上が 20.8%を占めた。

ブロック別患者発生数では、定点あたりのブロック別年平均報告数の上位 5 ブロックは、高い順に、堺市 5.42、南河内 5.11、北河内 4.83、大阪市北部 4.65、泉州 4.47 であった。

ブロック別・週別定点あたり報告数が高かった上位 5 ブロックは、堺市　20.38（7 月第 4 週　第 30 週）、北河内　17.73（7 月第 4 週　第 30 週）、大阪市北部　16.60（7 月第 4 週　第 30 週）、南河内　15.08（7 月第 4 週　第 30 週）、泉州　14.74（7 月第 4 週　第 30 週）の順であった。

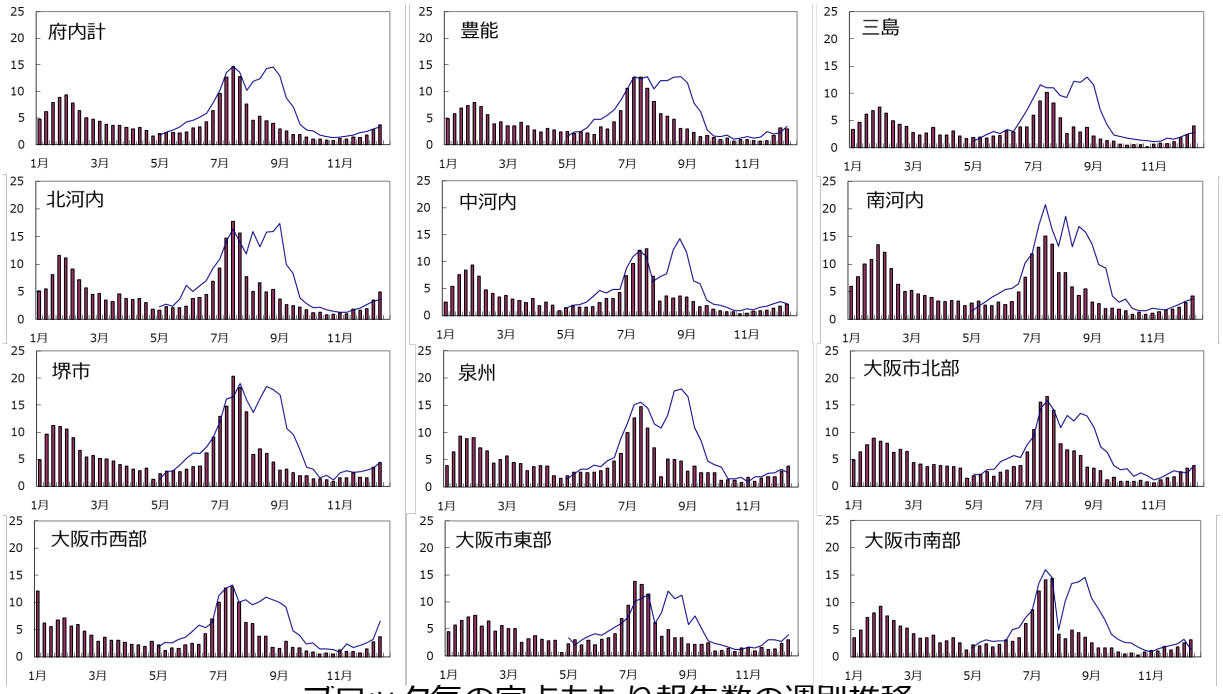
これまで、新型コロナウイルス感染症の報告数は、夏期と冬期に増加し、感染波を形成したが、2024 年も、同様の傾向が見られた。



（文責　皐月）

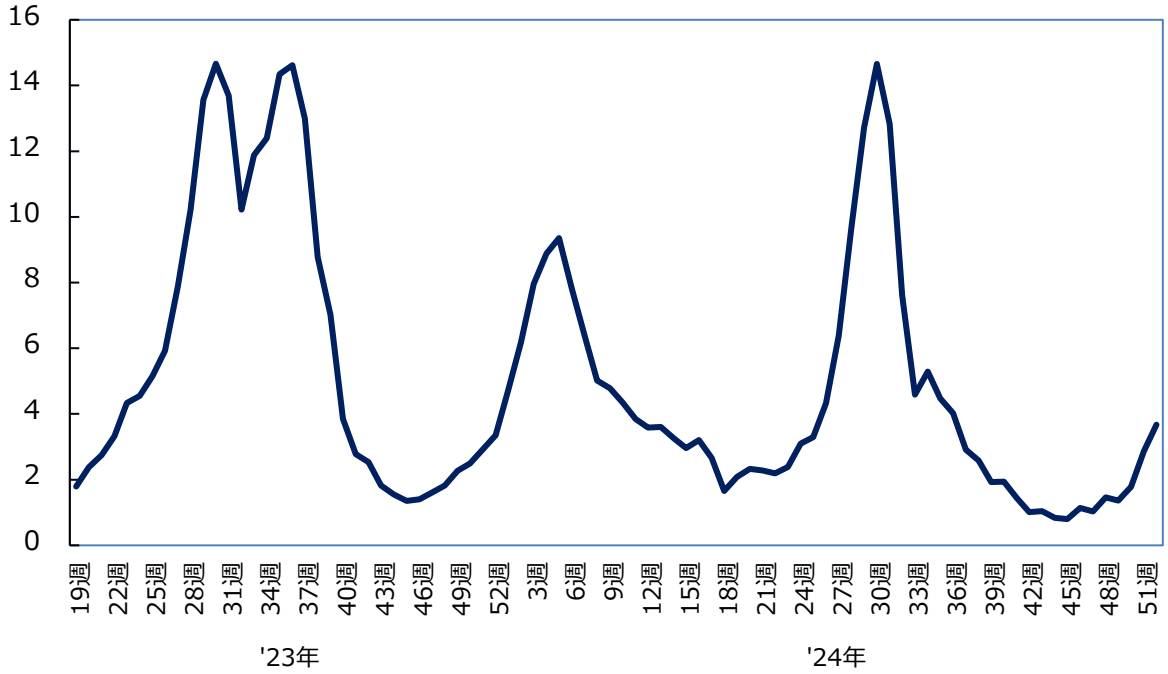
新型コロナウイルス感染症

線（2023 年第 1 週～第 52 週）
棒（2024 年第 1 週～第 52 週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2023 年 19 週～2024 年 52 週）



定点あたり新型コロナウイルス感染症報告数（府内計）の週別推移

２）小児科定点把握疾患

●RS ウイルス感染症

2024 年の RS ウイルス感染症の患者報告数は 10,872 例で、前年比 4.0%増の報告数となり、小児科・眼科定点把握疾患総報告数の 8.4%を占めた。定点あたり報告数の年平均は 1.06 で順位は第 4 位であった。

全国集計においては 122,794 例の報告で、前年比 15.6%減、小児科・眼科定点把握疾患総報告数の 5.5%を占めた。定点あたり報告数の年平均は 0.75、順位は第 4 位であった。

週別（月別）の定点あたりの報告数は、第 1 週（1 月）の 0.10 に始まり、以後増加し第 8 週（2 月）には暫定府内流行開始目安値の 0.4 を超えた。また第 9 週には 1 を超え、第 16 週（4 月）に年間最高値となる 4.41 に達した。その後減少し、第 22 週（5 月）に 0.86 となった後は、ほぼ 0.4 から 1.1 の範囲で増減を伴い推移した。第 47 週（11 月）に 0.52 となって以後増加に転じ、第 52 週（12 月）は 1.12 であった。第 21 週（5 月）に最高値となった 2023 年よりもさらに早い時期に年間最高値がみられた。

全国集計の同報告数は、第 1 週（1 月）の 0.04 に始まり第 16 週（4 月）まで増加し 1.76 となった。以後第 31 週（7 月）まで 1.22 から 1.85 の範囲で小幅な増減を繰り返し第 28 週（7 月）に年間最高値の 1.85 となった。第 32 週（8 月）以後減少し、第 47 週（11 月）に 0.23 となった。第 48 週以降は増加に転じ第 52 週（12 月）は 0.41 であった。年間最高値は第 28 週（7 月）に見られ、前年の第 27 週（7 月）とほぼ同時期であった。

年齢階層別患者発生数は、1 歳の 3,525 例が最も多く、以下 6 か月～11 か月の 2,001 例、2 歳 1,971 例、6 か月未満の 1,415 例と続く。0 歳児から 2 歳児で全体の 82.0%を占めた。

ブロック別年間患者報告数の上位 5 ブロックは③北河内（1,728 例）、⑧大阪市北部（1,619 例）、④中河内（1,259 例）、⑤南河内（1,119 例）、⑦泉州（1,117 例）であった。

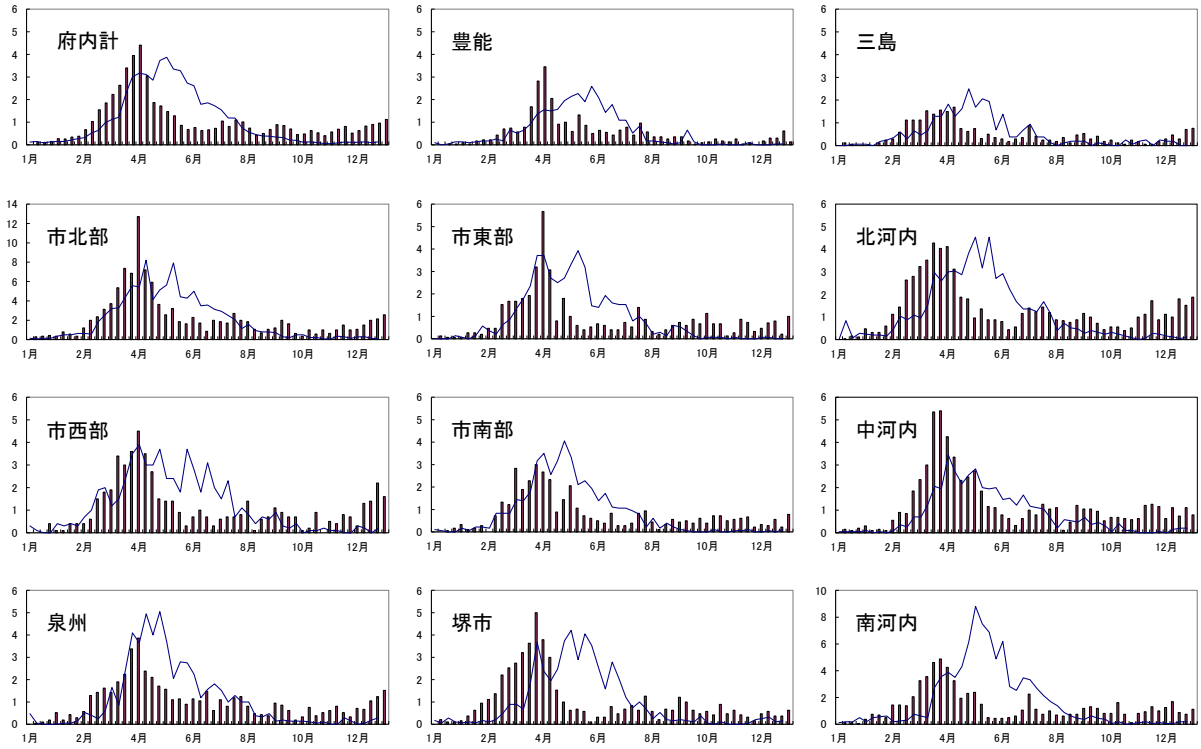
ブロック別定点あたり年間平均報告数の上位 5 ブロックは⑧大阪市北部（2.22）、⑤南河内（1.34）、③北河内（1.33）、④中河内（1.25）、⑨大阪市西部（1.08）であった。

病原体定点医療機関からの検体数は前年比 34.6%減の 34 件で、そのうち 22 検体（64.7%）からウイルスが検出された。内訳は重複例を含めて RS ウイルス A 型が 13 例、RS ウイルス B 型が 5 例、ヒトメタニューモウイルス 3 例、アデノウイルス 1 型、エンテロウイルス D68 型、型不明のライノウイルスが 1 例ずつであった。

（文責　山本）

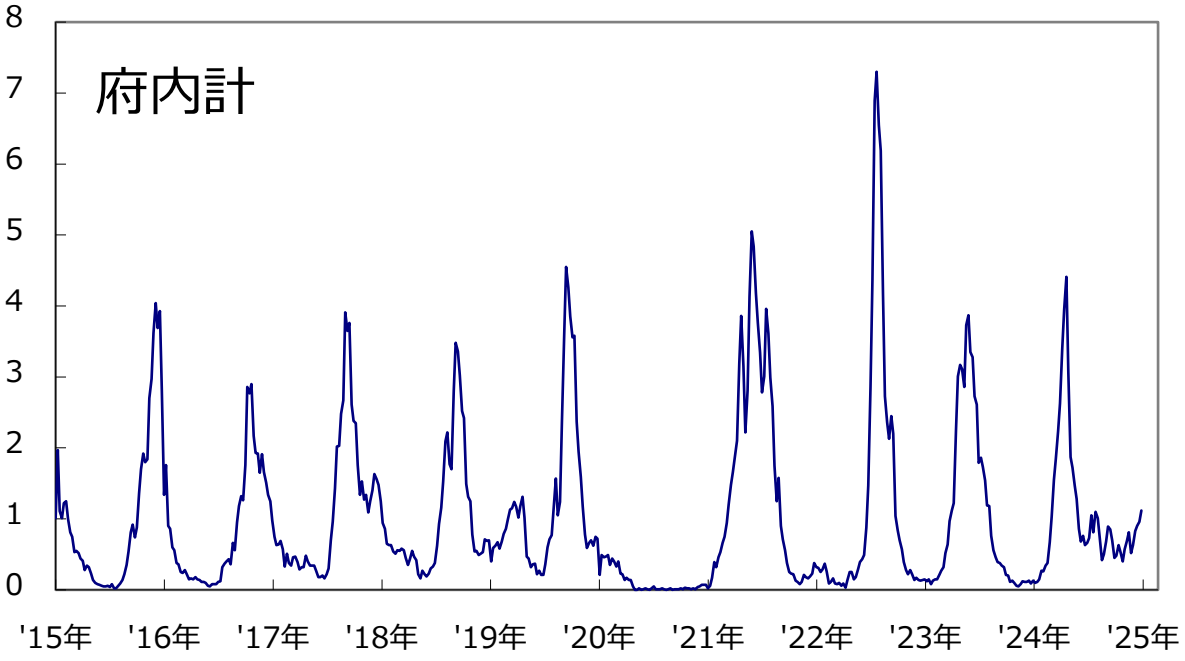
RS ウイルス感染症

線（2023 年第 1 週～第 52 週）
棒（2024 年第 1 週～第 52 週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2015 年 1 週～2024 年 52 週）



定点あたり RS ウイルス感染症報告数（府内計）の週別推移（10 年グラフ）

●咽頭結膜熱

2024 年の咽頭結膜熱の患者報告数は 4,428 例で、前年比 72.5%減、小児科・眼科定点把握疾患総報告数の 3.4%を占めた。定点あたり報告数の年平均は 0.43 で、順位は第 5 位であった。

全国集計では 99,438 例の報告で、前年比 44.2%減、小児科・眼科定点把握疾患総報告数の 4.4%%を占めた。定点あたり報告数の年平均は 0.61 で、順位は第 5 位であった。

週別（月別）の定点あたりの報告数は、第 1 週（1 月）の 0.66 に始まり第 2 週（1 月）には 0.89 となった。その後第 6 週（2 月）までは 0.5 前後で推移し、第 7 週（2 月）から第 18 週（4 月）までは 0.4 前後で推移した。第 18 週（4 月）以降緩やかに上昇し第 24 週（6 月）には年間最高の 0.91 となった。第 24 週（6 月）以降は減少傾向となり、第 32 週（8 月）以降は第 48 週（11 月）まで 0.4 未満で推移した。第 47 週（11 月）以降緩やかな上昇に転じ第 48 週（11 月）以降は 0.35 から 0.54 の範囲で推移した。2024 年最終週の第 52 週（12 月）は 0.47 であった。

全国集計の同報告数は、第 1 週（1 月）に年間最高の 1.46 で始まり、第 7 週（2 月）に 0.91 となった後は第 25 週（6 月）まで 0.50 から 0.95 の範囲で小幅な増減を繰り返し推移した。第 26 週（6 月）以後減少傾向となり、第 33 週（8 月）以降は第 47 週（11 月）まで 0.3 未満で推移し、第 42 週（10 月）には年間最低の 0.19 となった。第 47 週（11 月）以降緩やかに増加し、2024 年最終週の第 52 週（12 月）は 0.43 であった。

年齢階層別患者発生数は、1 歳児の 1,235 例が最も多く、以下 2 歳児 692 例、3 歳児 507 例、4 歳児 423 例、5 歳児の 379 例でこれらの年齢層で全体の 73.1%を占めた。

ブロック別年間患者報告数の上位 5 ブロックは④中河内（727 例）、⑦泉州（588 例）、③北河内（577 例）、⑤南河内（571 例）、⑪大阪市南部（372 例）であった。

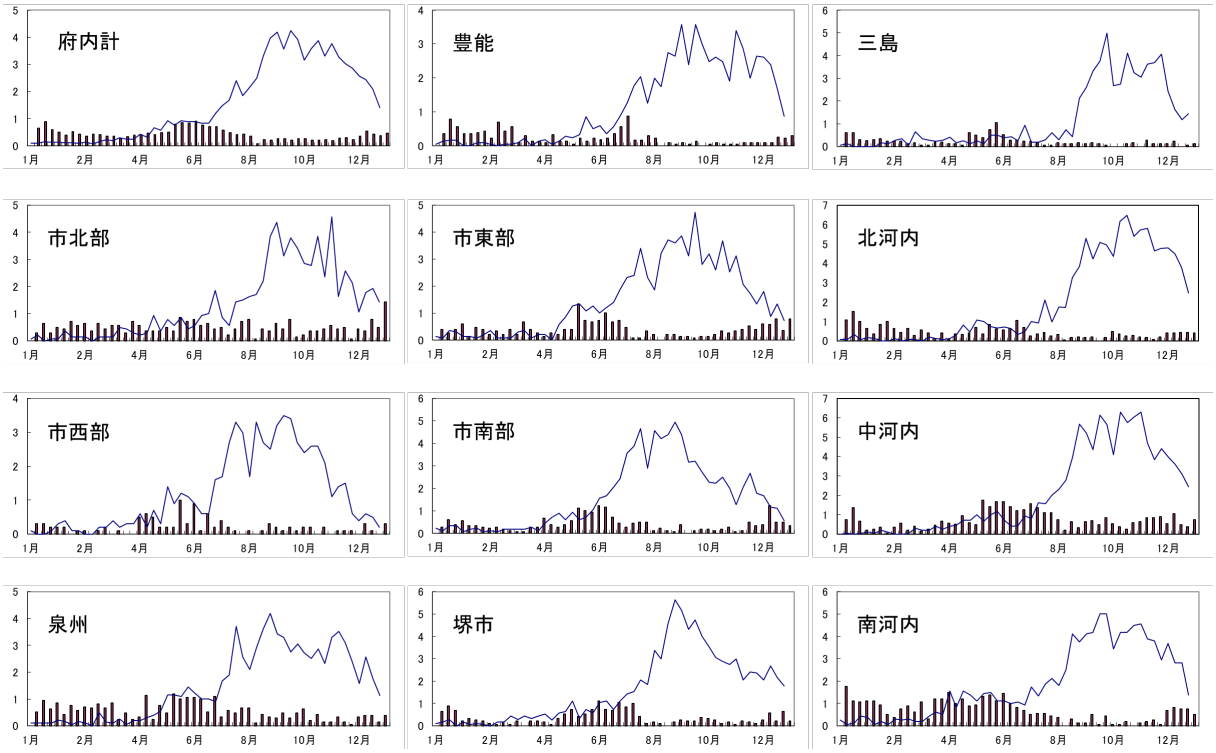
ブロック別定点あたり年間平均報告数の上位 5 ブロックは④中河内（0.73）、⑤南河内（0.69）、⑦泉州（0.54）、⑧大阪市北部（0.50）、③北河内（0.44）であった。

病原体定点医療機関からの検体数は前年比 58.8%減の 14 件で、そのうち 11 検体（78.6%）からウイルスが検出された。ヒトメタニューモウイルスの 1 例以外はアデノウイルスで、アデノウイルス 2 型 5 例、3 型 3 例、1 型 1 例、54 型 1 例であった。

（文責　山本）

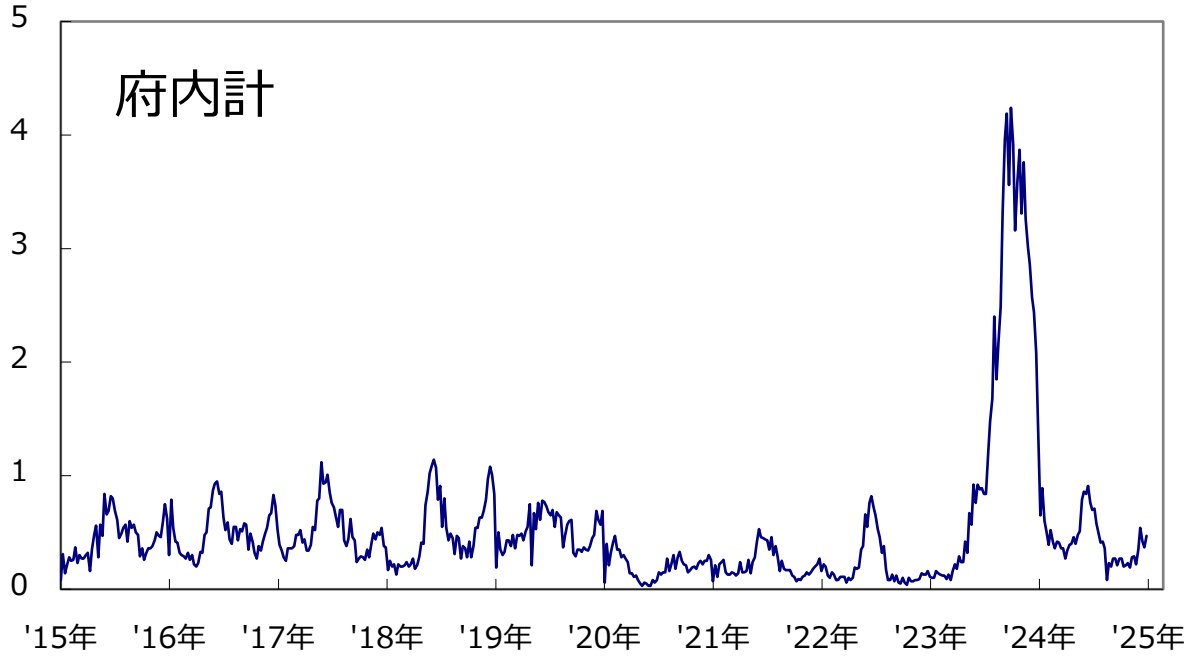
咽頭結膜熱

線（2023 年第 1 週～第 52 週）
棒（2024 年第 1 週～第 52 週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2015 年 1 週～2024 年 52 週）



定点あたり咽頭結膜熱報告数（府内計）の週別推移（10 年グラフ）

●A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2024 年の A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者報告数は 26,204 例で、前年比 23.3%増、総報告数（小児科・眼科定点報告対象疾患）の 20.2%を占めた。定点あたりの報告数の年平均は 2.56 で、順位は第 3 位であった。

全国集計では 495,928 例の報告で、前年比 86.3%増、総報告数（小児科・眼科定点報告対象疾患）の 22.1%を占めた。定点あたりの報告数の年平均は 3.04 で、順位は第 3 位であった。

週別（月別）の定点あたりの報告数の推移では、第 1 週～第 5 週（1 月）の平均は 3.15 で、その後ほぼ同じレベルで推移した。第 20 週（5 月）より増加し、第 20 週（5 月）は 4.59 で年間最高値であった。第 19 週～第 22 週（5 月）の平均は 3.97、第 23 週～第 26 週（6 月）の平均は 3.92 で、5 月・6 月ともに 1 標準偏差以上多かった。第 29 週（7 月）より減少し、第 33 週（8 月）に 0.81 と年間最低値となった。第 32 週～第 35 週（8 月）の平均は 1.35 で、その後第 52 週までほぼ同じレベルであったが、10 月・11 月は 1 標準偏差以上少なかった。

全国集計では、第 1 週～第 5 週（1 月）の平均は 3.57 で、その後若干の増減を繰り返して、第 21 週（5 月）に 5.04 と年間最高値となった。第 19 週～第 22 週（5 月）の平均は 4.59、第 23 週～第 26 週（6 月）の平均は 4.30 で、5 月・6 月ともに 1 標準偏差以上多かった。その後第 29 週（7 月）より減少して、第 33 週（8 月）に 1.01 と年間最低値となった。第 32 週～第 35 週（8 月）の平均は 1.56、第 36 週～第 40 週（9 月）の平均は 1.86、第 41 週～第 44 週（10 月）の平均は 1.89 で、8 月・9 月・10 月は 1 標準偏差以上少なかった。その後第 46 週（11 月）より増加傾向となり、第 45 週～第 48 週（11 月）は 2.15、第 49 週～第 52 週（12 月）は 2.56 となった。大阪府、全国ともに、2024 年は初夏のピークはみられたが、冬のピークは認められなかった。

年齢別患者報告数は、10～14 歳の 3,512 例が最も多かったが、以下 5 歳 3,217 例、4 歳 3,082 例、6 歳 3,040 例、7 歳 2,576 例、3 歳 2,467 例と続き、3 歳から 7 歳で全体の 54.9%を占めた。

ブロック別・年間患者報告数の上位 5 ブロックは、③北河内（4,499 例）、⑪大阪市南部（3,472 例）、⑥堺市（3,400 例）、⑦泉州（2,795 例）、⑤南河内（2,477 例）の順であった。

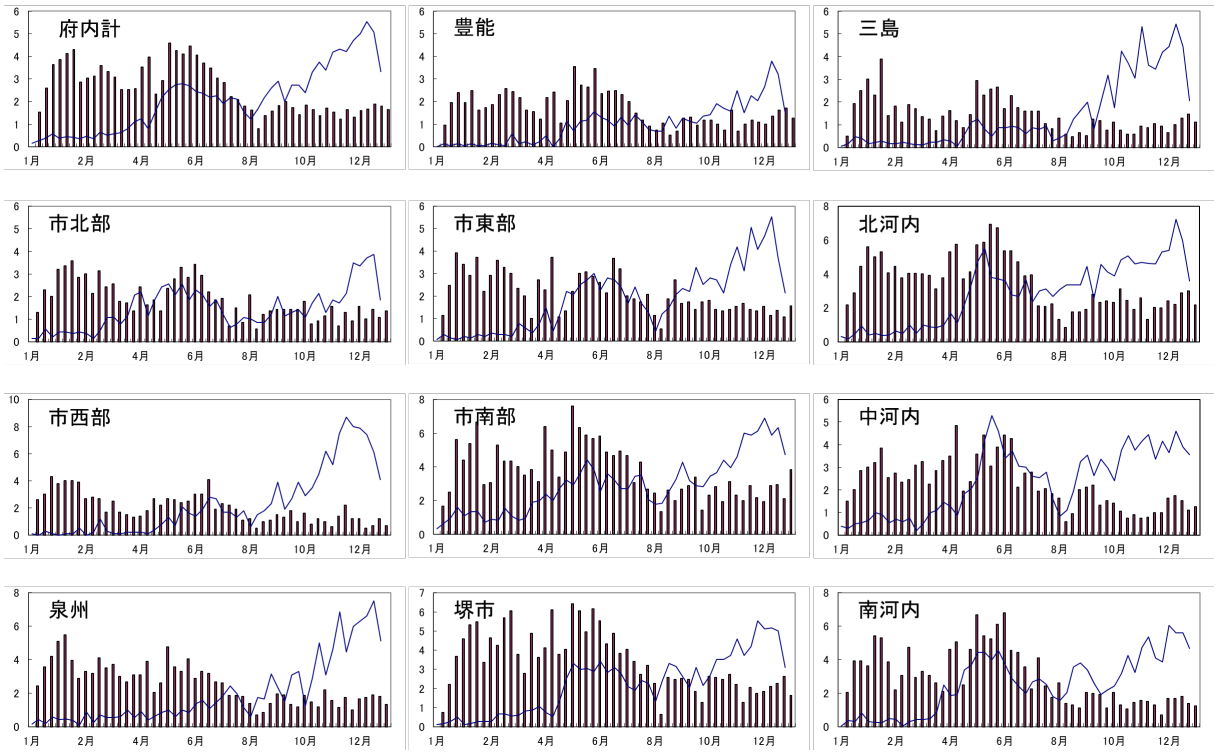
ブロック別・週別定点あたり報告数年平均の上位 5 ブロックは、⑪大阪市南部（3.71）、③北河内（3.46）、⑥堺市（3.44）、⑤南河内（2.98）、⑦泉州（2.56）の順であった。

ブロック別・週別定点あたり報告数の上位 5 ブロックは、⑪大阪市南部（第 20 週、7.61）、③北河内（第 22 週、6.92）、⑤南河内（第 24 週、6.81）、③北河内（第 23 週、6.72）、⑤南河内（第 20 週、6.69）の順であった。

（文責：冨吉）

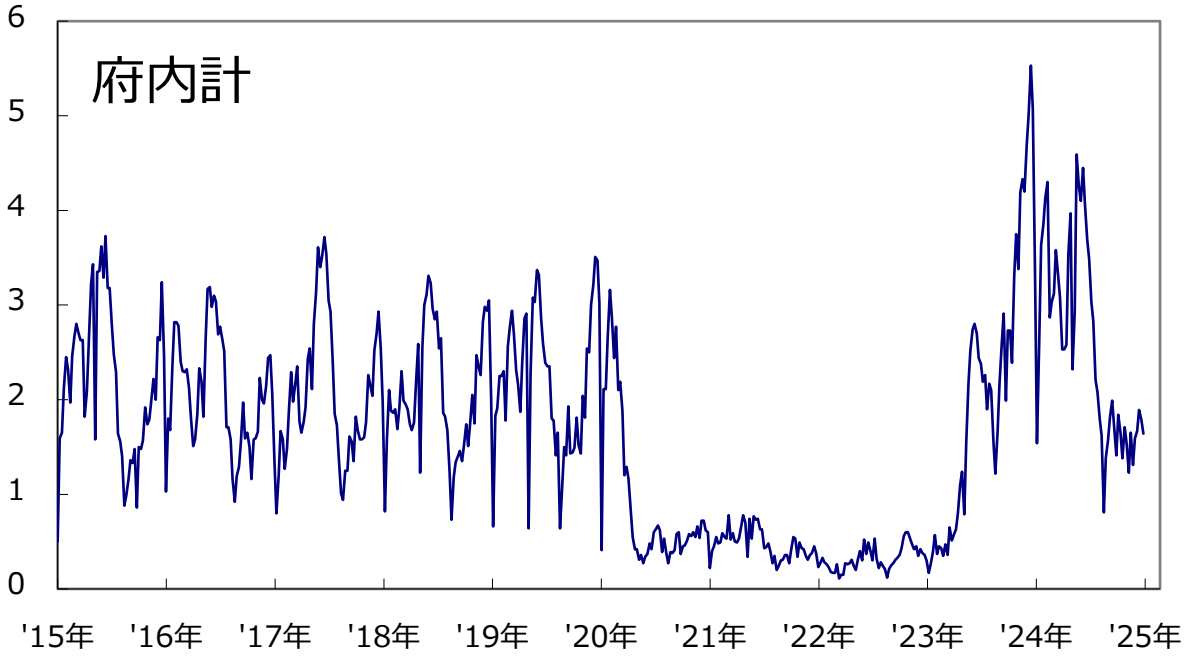
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

線（2023 年第 1 週～第 52 週）
棒（2024 年第 1 週～第 52 週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2015 年 1 週～2024 年 52 週）



定点あたり A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎報告数（府内計）の週別推移（10 年グラフ）

●感染性胃腸炎

2024 年の感染性胃腸炎の報告数は 45,102 例で、前年より 129 例、0.3%増加した。小児科・眼科定点報告対象 12 疾患総報告数の 34.8%を占め、第 1 位であった。定点あたり報告数の年平均は 4.41 で、前年 4.45 より 0.9%減少し、過去 10 年でみると 4 番目の低値であった。全国集計では報告数 657,411 例で、前年より 14.2%減少し、総報告数の 29.3%を占めた。定点あたり報告数は年平均 4.03 と前年 4.69 より 14.1%減少し、過去 10 年で 4 番目の低値であった。

定点あたり報告数を週別にみると、前年冬からの増加傾向に続き、第 5 週には年間最高値である 8.31 まで達しピークを形成した。その後、第 14 週 4.11 まで緩やかに減少した後に再び増加に転じ、第 17 週には 5.65 に達した。第 18 週は 3.17 まで減少したが、再度大きく上昇し、第 21 週には年間で 2 番目に高い値である 6.05 まで達した。その後は緩やかな減少が続き、第 33 週に年間最低値 1.23 まで低下した。第 34 週 2.61 からは緩やかに増加し続けていたが、第 47 週 3.60、第 48 週 4.29 と大きく増加し、第 50 週には 5.31 まで達した。

定点あたり報告数の月別平均値は、2 月、1 月、5 月、3 月、12 月、6 月の順で高かった。春及び夏にピークを認め、その後は例年同様秋から冬にかけて漸増する流行曲線を示した。

ブロック別定点あたり報告数のピーク値が警報開始基準値 20.0 を超えたブロックは無かった。ブロック別定点あたり報告数の年平均は、⑤南河内 6.32、④中河内 5.09、②三島 4.98、③北河内 4.93、⑪大阪市南部 4.56、⑦泉州 4.48、⑥堺市 4.28、①豊能 4.20、⑧大阪市北部 3.63、⑨大阪市西部 3.44、⑩大阪市東部 1.56 の順であった。

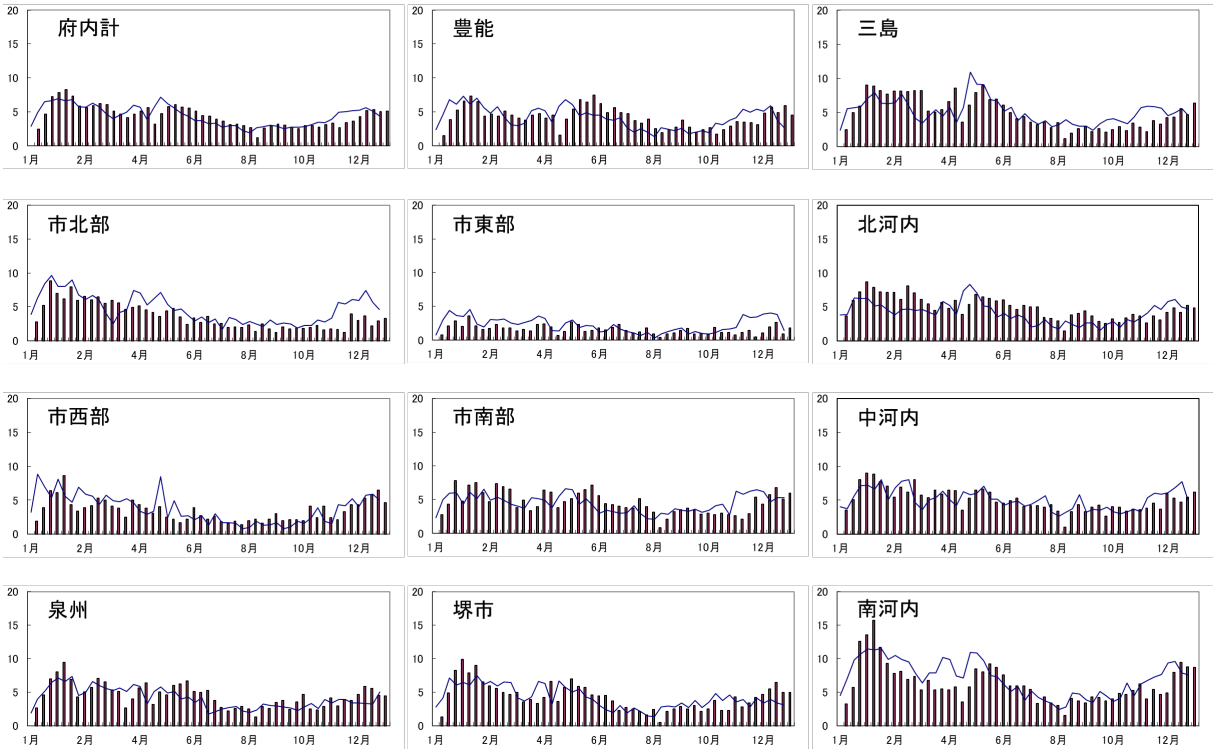
年齢別報告数（0~9 歳）は、1 歳、2 歳、3 歳、4 歳、5 歳、0 歳、6 歳、7 歳、8 歳、9 歳の順に多かった。0～4 歳の報告数は 22,464 例で全体の 49.8%を占めた。5～9 歳が 13,977 例（31.0%）、10～14 歳が 4,792 例（10.6%）、15 歳以上が 3,869 例（8.6%）であり、全体のおよそ半数を 4 歳以下が占めた。

ウイルス検出は 131 検体のうち陽性だったのは 70 検体で、陽性率 53.4%であった。病原体別でみると、ノロウイルス 50 件（陽性検体の 71.4%、うちノロウイルス GII. 4 が 21 件）、サポウイルス 7 件（陽性検体の 10.0%）、ロタウイルス 7 件（陽性検体の 10.0%）、アストロウイルス 3 件（陽性検体の 4.3%）、アデノウイルス 3 件（陽性検体の 4.3%）であった。

（文責：大野）

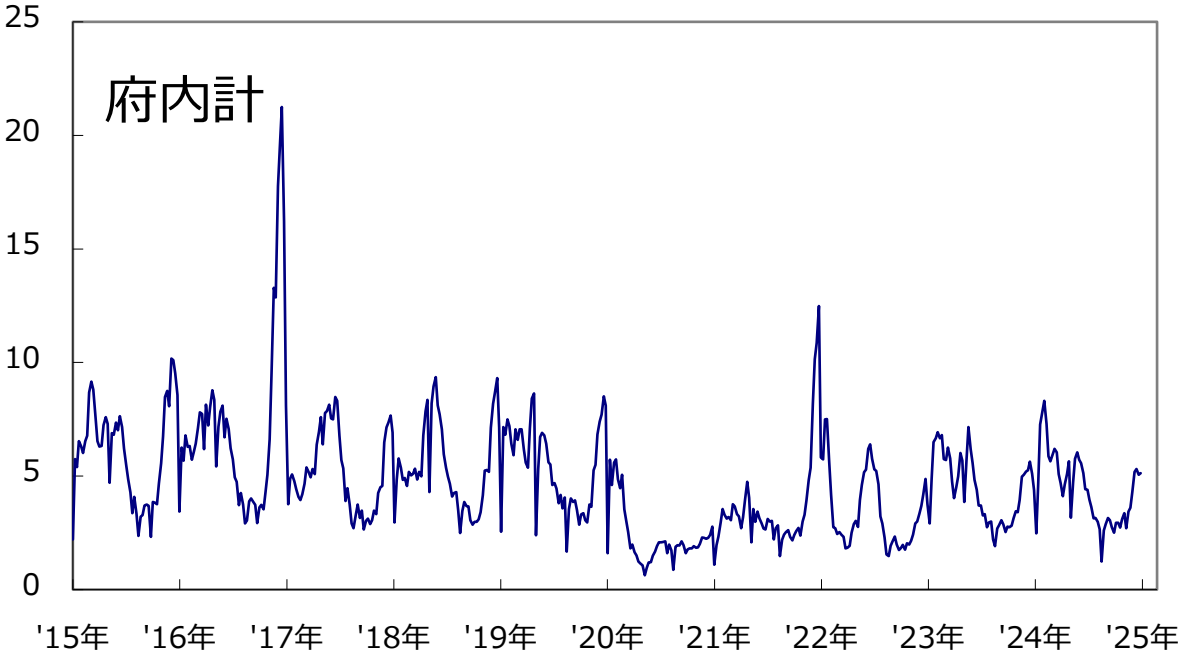
感染性胃腸炎

線（2023 年第 1 週～第 52 週）
棒（2024 年第 1 週～第 52 週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2015 年 1 週～2024 年 52 週）



定点あたり感染性胃腸炎報告数（府内計）の週別推移（10 年グラフ）

●水痘

2024 年の水痘の報告数は 1,707 例で、前年 1,017 例より 690 例、67.8%増加した。小児科・眼科定点報告対象 12 疾患総報告数の 1.3%を占め、第 8 位であった。定点あたり報告数の年平均は 0.17 で、前年 0.10 より 70.0%増加した。全国集計では報告数 28,330 例で前年 16,263 例より 12,067 例、74.2%増加した。総報告数の 1.3%を占め、定点あたり報告数は年平均 0.17 と前年 0.10 より 70.0%増加した。

定点あたり報告数を週別にみると、第 1 週の 0.15 から漸減し、年間最低値である第 14 週の 0.06 まで低下した。その後、増減を繰り返しながら漸増し 22 週に年間年間最高値 0.37 に増加した。その後、第 37 週の 0.11 に至るまで増減を繰り返しながら漸減した後、第 44 週の 0.11 までは 0.11 から 0.21 の範囲で増減した。第 45 週の 0.17 から再び増加傾向となり、50 週に 0.28 となりピークを形成した。

定点あたり報告数の月別平均値は、高い方から、5 月、12 月、7 月、6 月、11 月、1 月、8 月、10 月、9 月、3 月、4 月、2 月の順であった。新型コロナウイルス感染症流行以前に見られていたように、春に最も高いピークがあり、秋から冬にかけて漸増した二峰性の流行曲線を呈した。定点あたり報告数の年平均および年間最高値は、いずれも前年よりも高値であり、2014 年 10 月に水痘ワクチンが小児の定期接種に導入されて以降大幅に減少してきたが、2023 年に続いて増加となった。

ブロック別定点あたり報告数の年平均は、①豊能 0.25、④中河内 0.21、③北河内 0.20、⑤南河内 0.19、②三島 0.17・⑥堺市 0.17、⑦泉州 0.16、⑨大阪市西部 0.13、⑧大阪市北部 0.11、⑪大阪市南部 0.08、⑩大阪市東部 0.07 の順であった。

年齢別報告数（0~9 歳）は、多い方から、8 歳、7 歳、9 歳、6 歳、5 歳、1 歳、4 歳、3 歳、2 歳、0 歳の順であった。

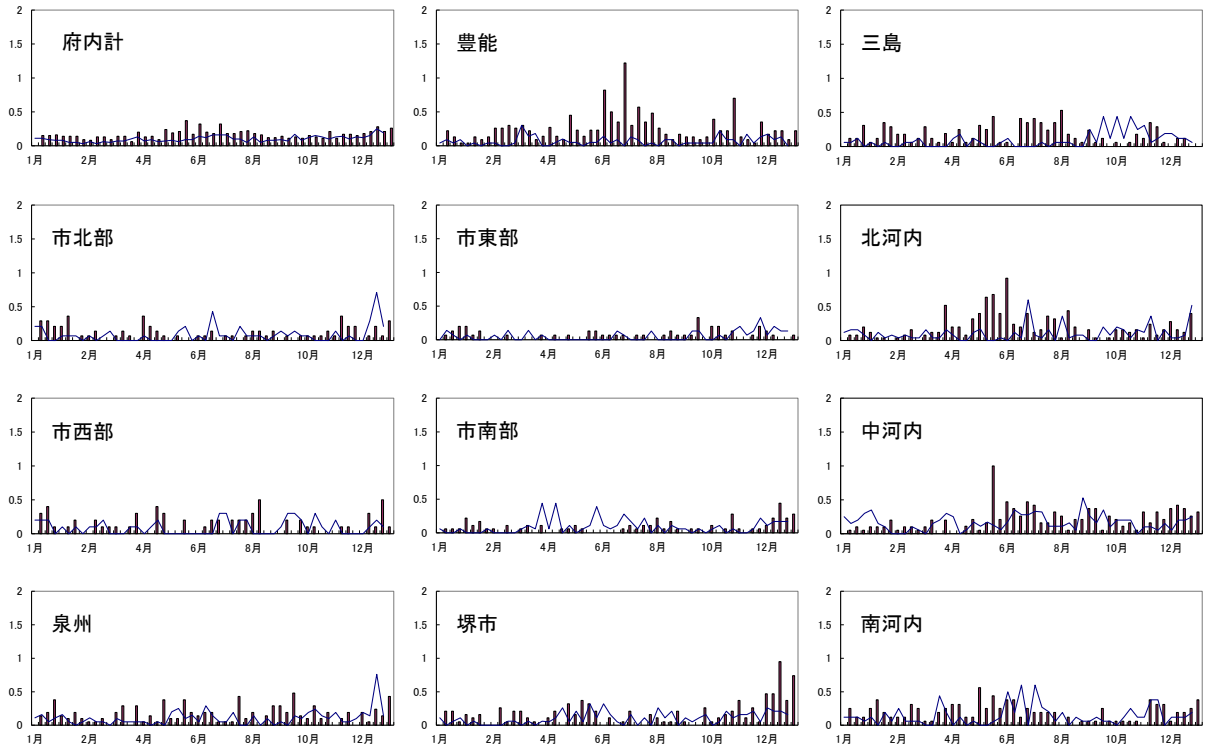
0～4 歳の報告数および全体に占める割合は、403 例(23.6%）であった。5～9 歳の報告数は 840 例（前年 432 例）と増加し、全体の 49.2%（前年 42.5%）であった。10～14 歳の報告数は 401 例（前年 226 例）と増加し、割合は全体の 23.5%（前年 22.2%）であった。15 歳以上は 63 例（前年 51 例）と増加し、割合は全体の 3.7％（前年 5.0%）であった。

咽頭拭い液 3 検体中 1 件、皮膚拭い液 2 検体中 1 件から水痘帯状疱疹ウイルスが検出され、鼻汁・鼻腔拭い液 1 検体からは検出されなかった。

（文責：康）

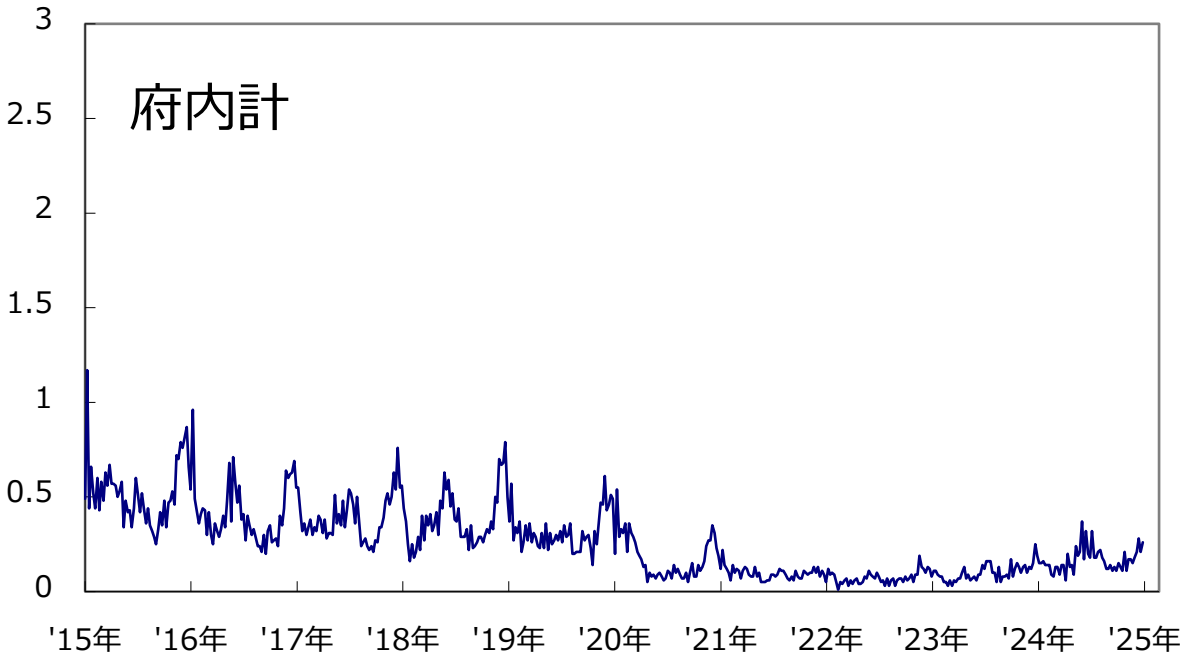
水痘

線（2023 年第 1 週～第 52 週）
棒（2024 年第 1 週～第 52 週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2015 年 1 週～2024 年 52 週）



定点あたり水痘報告数（府内計）の週別推移（10 年グラフ）

●手足口病

手足口病（hand, foot, and mouth disease：HFMD）は、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス性感染症であり、乳幼児を中心に主に夏季に流行する疾患である。主な病原ウイルスは、コクサッキーA16（CA16）、エンテロウイルス 71（EV71）であるとされてきたが、2009 年以降は患者由来ウイルスとしてコクサッキーA6（CA6）が検出されることが多くなってきている。

2024 年の手足口病の流行のピークは全国、大阪府共に第 28 週（7 月第 2 週）で、同週の定点あたり報告数の全国平均値は 13.36 と過去 10 年間（2014 年以降）では 2019 年（第 30 週：13.44）に次いで高く、大阪府は 9.93 と 2017 年（第 28 週：14.37）、2015 年（第 29 週：12.77）、2019 年（第 24 週：10.05）に次いで高い値であった。さらに 2,024 年の流行は二峰性であり、第 29 週以降第 33 週まで減少が続いた後で再び増加傾向となり、第 41 週に 2 度目の流行のピーク（定点あたり報告数全国平均値 10.79、大阪府 6.45）を迎えた。

一方、2024 年の手足口病の定点あたり報告数が 1.0 を超えている期間は全国平均 31 週間、大阪府 34 週間と流行期間は長期間に渡っていたと考えられる。また、流行の規模を示す 2024 年の定点あたり累積報告数は全国平均値 211.85（総患者報告数 663,294）、大阪府 171.59（総患者報告数 33,632）といずれも 2004 年以降の過去 20 年間と比べても最多であった。

2024 年の国内における手足口病由来ウイルスの総検出数は 1,363 検体であり、CA6 が 577 検体（42.3%）、次いで CA16（513 検体、37.6%）、EV71（108 検体、7.9%）、CA10（54 検体、4.0%）の順であった。第 28 週をピークとした流行の第一峰時の流行の中心ウイルスは CA6 であり、第 41 週のピークとした第二峰時の流行の中心ウイルスは CA16 であった（図）。

2024 年の手足口病は CA6 と CA16 の主に 2 種類のウイルスによる二峰性の混合流行であり、どちらの流行もその規模が大きかったために、過去 20 年間と比較しても最大の流行となった。

2009 年以降 2019 年までは、CA6 による手足口病の比較的規模の大きな流行が隔年でみられていたが、新型コロナの流行開始以降 2023 年まではみられなくなっていた。CA16 を中心とした流行も、2019 年以降はある程度の規模の流行は見られていなかったことから、両ウイルスによる感受性者が年数を経て蓄積していたことが、2024 年の手足口病の大きな流行発生の一因となったのではと思われる。

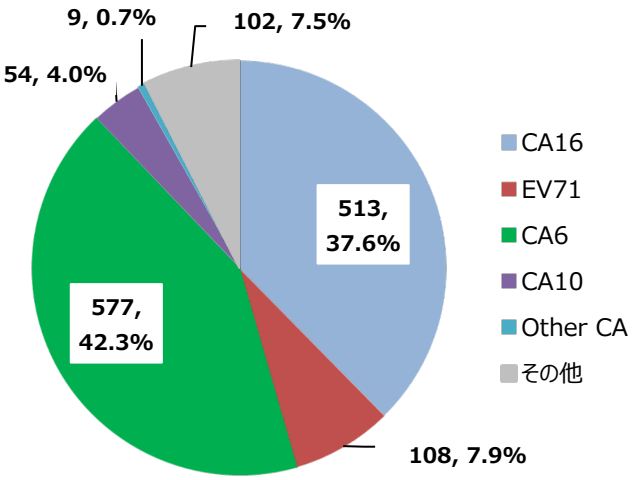
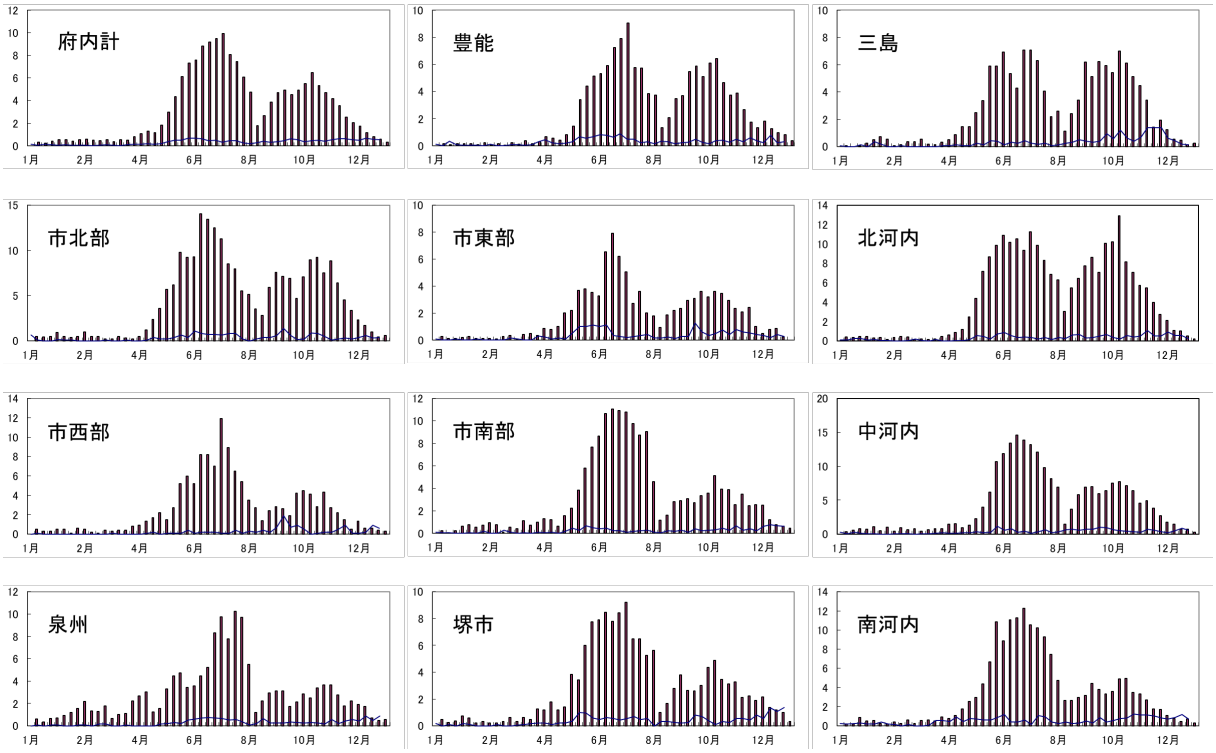


図 2024年手足口病患者由来ウイルス検出状況（全国） 総検出数=1,363

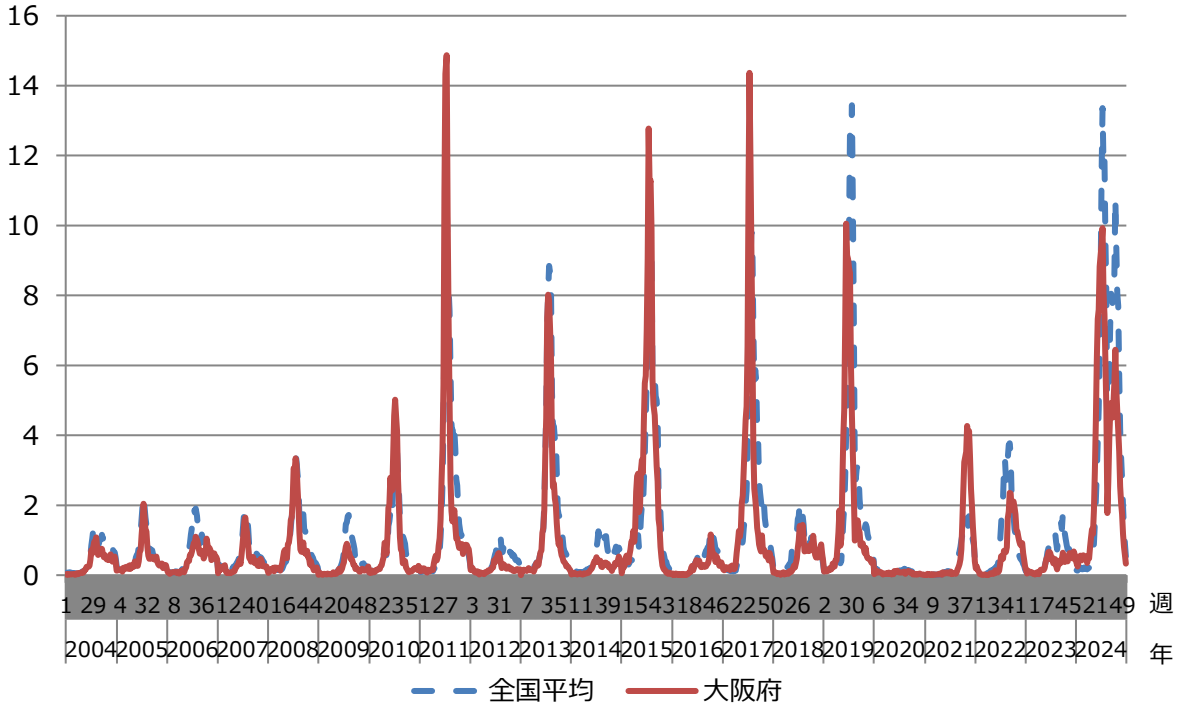
(文責：安井)

手足口病

線（2023 年第 1 週～第 52 週）
棒（2024 年第 1 週～第 52 週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移



2004～2024 年の手足口病定点あたり報告数週別推移（全国平均、大阪府）

●伝染性紅斑

2024 年の伝染性紅斑の報告数は 395 例で、前年の 95 例より 300 例、315.8%増加した。小児科・眼科定点報告対象 12 疾患総報告数の 0.3%を占め、第 11 位であった。定点あたり報告数の年平均は 0.04 で、前年 0.01 より 4 倍に増加した。全国集計では報告数 32,189 例で前年 2,220 例より約 15 倍に増加し、総報告数の 1.4%を占めた。定点あたり報告数は年平均 0.20 と前年 0.01 より 20 倍に増加した。

定点あたり報告数を週別にみると、第 1 週から第 23 週までは小刻みに増減し 0～0.04 で推移したが、その後漸増し 24 週から 37 週までは 0.01～0.05 で推移した。その後増減を繰り返しながら急増し 44 週には 0.13 でピークを形成し、47 週 0.05 まで低下するも再び増加し 50 週に年間最高値である 0.15 となった。その後 52 週 0.13 まで漸減した。

定点あたり報告数の月別平均値は、12 月、11 月、10 月、9 月、8 月、7 月、6 月、5 月、2 月、3 月、4 月、1 月の順で多く、秋から冬にかけて増加する傾向がみられた。
過去 10 年では、2011 年、2015 年、2019 年とおよそ 4 年毎に比較的大規模な流行がおこっていた。2020 年以降は減少が続いていたが、本年の定点あたり報告数の年平均および年間最高値は 2020 年以降で初めて増加に転じ、2 番目に高値となった。

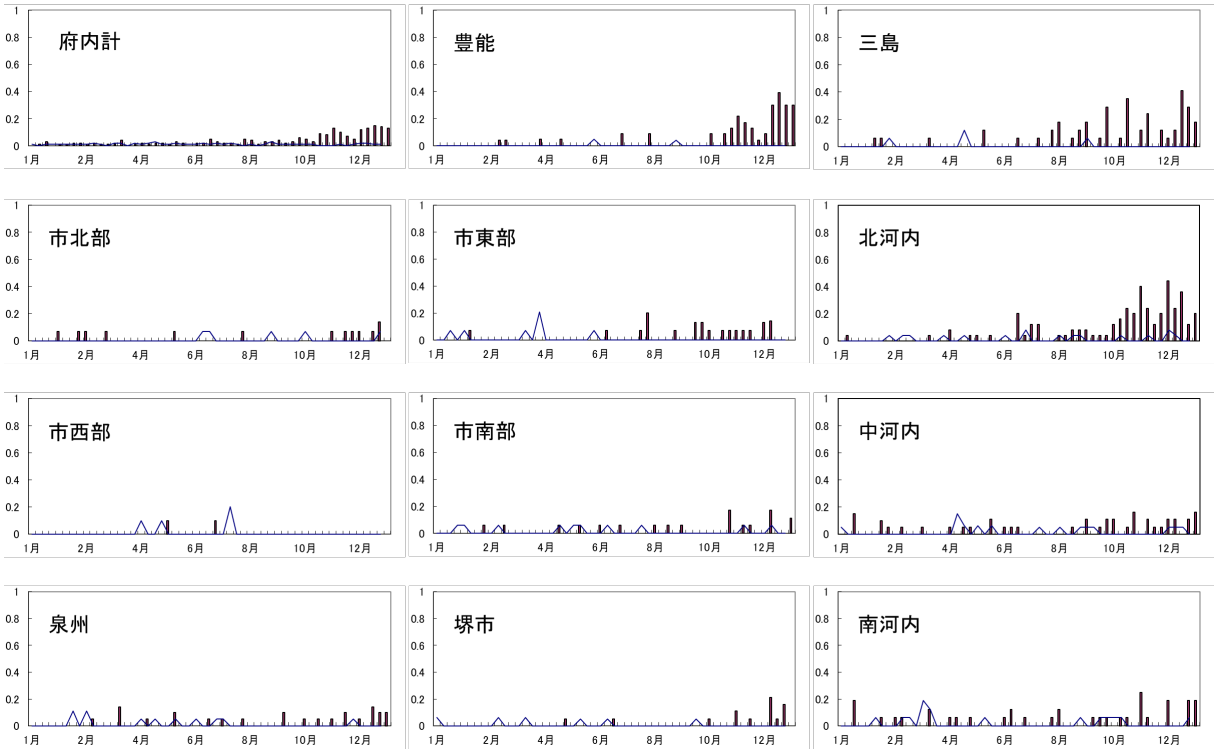
ブロック別定点あたり報告数の年平均は、③北河内 0.08、②三島 0.06、③豊能 0.05、⑤南河内 0.04・④中河内 0.04、⑩大阪市東部 0.03、⑦泉州 0.02・⑧大阪市北部 0.02・⑪大阪市南部 0.02、⑥堺市 0.01、⑨大阪市西部 0.00 の順であった。

年齢別報告数（0~9 歳）は、４歳、５歳、３歳、２歳・６歳、１歳、８歳、７歳、９歳、０歳の順に多かった。0～4 歳の報告数は 197 例で全体の 49.9%を占めた。5~9 歳、10～14 歳、15 歳以上の報告数と割合はそれぞれ 171 例（43.3%）、22 例（5.6%）、5 例(1.3%)であった。

（文責：康）

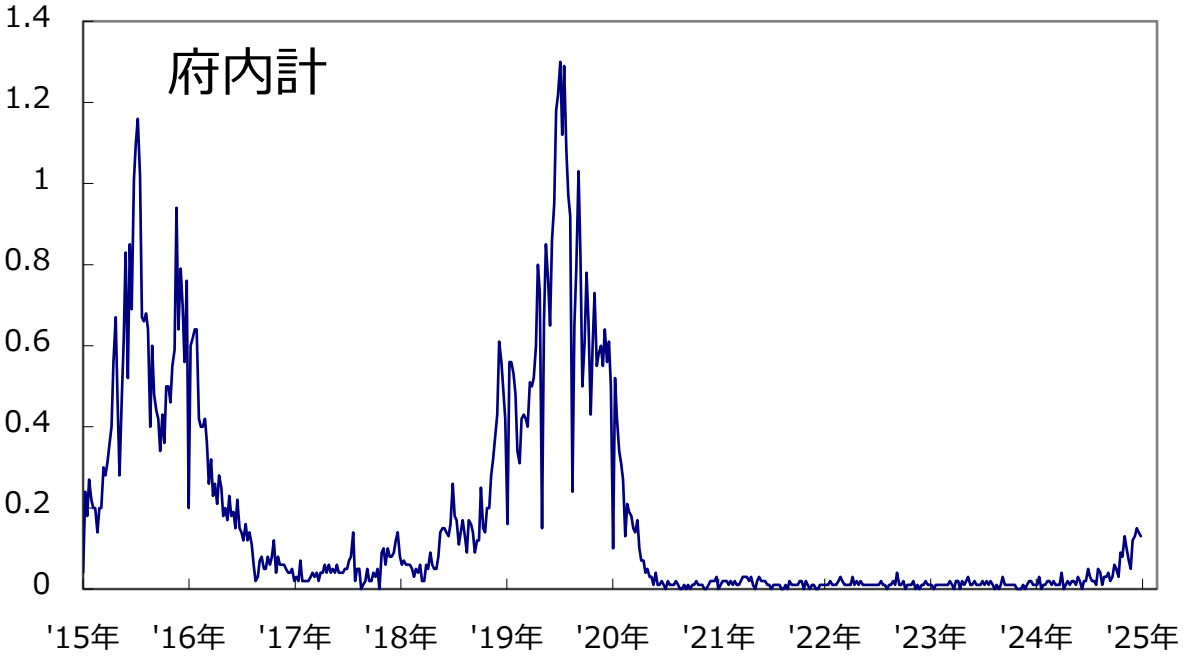
伝染性紅斑

線（2023 年第 1 週～第 52 週）
棒（2024 年第 1 週～第 52 週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2015 年 1 週～2024 年 52 週）



定点あたり伝染性紅斑報告数（府内計）の週別推移（10 年グラフ）

●突発性発しん

2024 年の突発性発しんの患者報告数は 2,243 例で、前年比 3.1%増、総報告数（小児科・眼科定点報告対象疾患）の 1.7%を占めた。定点あたりの報告数の年平均は 0.22 で、順位は第 8 位であった。

全国集計では 41,260 例の報告で、前年比%1.1%増、総報告数（小児科・眼科定点報告対象疾患）の 1.8%を占めた。定点あたりの報告数の年平均は 0.25 で、順位は第 8 位であった。

月別（週別）の定点あたりの報告数の推移では、年間を通じてほぼ標準偏差内の変動で、1 月・2 月・3 月（第 1 週から第 13 週）が 1 標準偏差以上少なく、5 月・6 月（第 19 週から第 26 週）が 1 標準偏差以上多かった。年間最低値は第 1 週の 0.10 で、年間最高値は第 27 週の 0.32 であった。

全国集計でも、年間を通じてほぼ標準偏差内の変動で、1 月・2 月（第 1 週から第 9 週）が 1 標準偏差以上少なく、5 月・6 月（第 19 週から第 26 週）が 1 標準偏差以上多かった。年間最低値は第 1 週の 0.12 で、年間最高値は第 22 週・第 23 週・第 25 週の 0.34 であった。

本疾患は、季節性がなく、毎週の定点あたり報告数が一定しているといわれているが、大阪でも全国でも、1 月から 2 月に比べて 5 月から 6 月の方が報告数が多い傾向がみられた。

年齢別患者報告数は、1 歳の 1,261 例が最も多く、6 ヶ月以上 12 ヶ月未満が 511 例、6 ヶ月未満が 21 例、2 歳が 284 例であり、0 歳と 1 歳で全体の 79.9%、2 歳を含めると 92.6%を占めた。

ブロック別・年間患者報告数の上位 5 ブロックは、④中河内（401 例）、③北河内（367 例）、①豊能（268 例）、⑤南河内（232 例）、⑦泉州（187 例）の順であった。

ブロック別・週別定点あたり報告数年平均の上位 5 ブロックは、④中河内（0.40）、③北河内（0.28）、⑤南河内（0.28）、⑧大阪市北部（0.24）、①豊能（0.23）、下位 6 ブロックは、⑩大阪市東部（0.13）、②三島（0.14）、⑪大阪市西部（0.14）、⑥堺市(0.16)、⑪大阪市南部（0.17）、⑦泉州（0.17）で、最上位と最下位では 2 標準偏差以上の差があった。

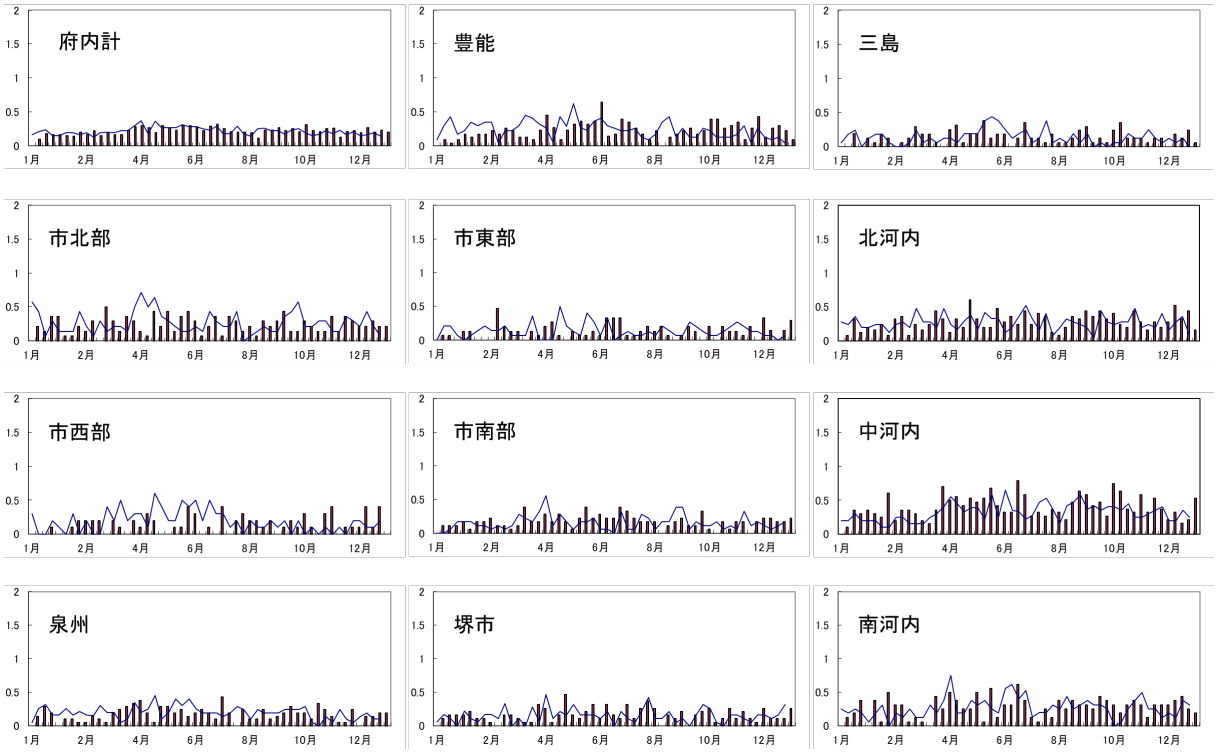
本疾患の特性としてブロック間の差が比較的生じにくいと考えられているが、例年上位と下位では差があり、定点医療機関における受診患者年齢に偏りがないかどうかなど検討が必要と考える。

病原体定点医療機関からのウイルス検体の提出は 13 検体あり、HHV6（型別不明）が 3 例、ヒトメタニューモが 2 例、アデノ 3 型・HHV7 が各 1 例検出されている。

（文責：冨吉）

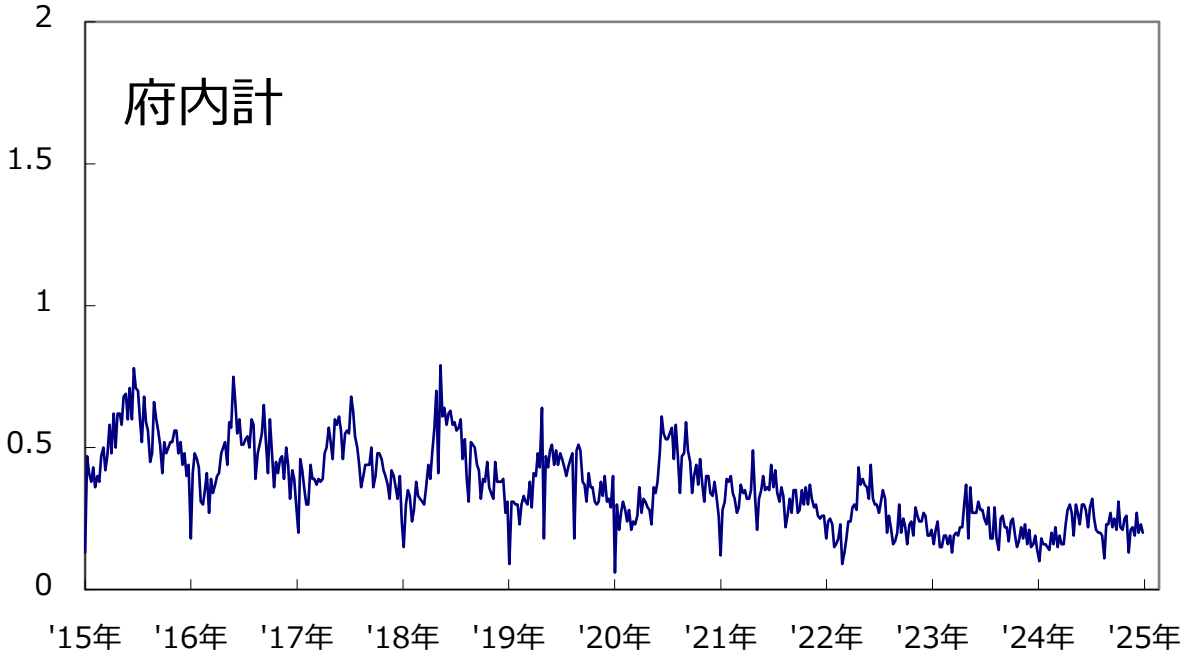
突発性発しん

線（2023 年第 1 週～第 52 週）
棒（2024 年第 1 週～第 52 週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2015 年 1 週～2024 年 52 週）



定点あたり突発性発しん報告数（府内計）の週別推移（10 年グラフ）

●ヘルパンギーナ

本疾患は、大阪府では、6-7 月ごろピークを迎える夏型感染症である。過去、2014 年（9,704 例）、2016 年（8,563 例）と隔年で報告数の増加が認められていたが、2017 年以降、2017 年（4,967 例）、2018 年（5,293 例）、2019 年（5,756 例）と推移し、コロナ禍となった 2020 年以降は、新しい生活様式への変化（手洗い、マスクの着用、身体的距離の確保、密閉、密集、密接の回避）に伴い、2020 年（1,554 例）、2021 年（2,517 例）、2022 年（1,988 例）と低値で推移していた。ところが、2023 年の報告数は、10,766 例となり、7 年ぶりに、報告数の増加が認められた。大阪府では、コクサッキーウイルス A10 型、コクサッキーウイルス A2 型、コクサッキーウイルス A4 型が、多く検出されており、国立感染症研究所の病原体検出情報による、国内での検出ウイルスの種類と一致していた。

2024 年は、3,787 例で、前年比 65.2%の減少であった。2024 年は、大阪府における小児科定点当たり報告数の年平均は 0.37 で、順位は 8 位であった。日本全国における小児科定点当たり報告数の年平均は 0.46 で、順位は 9 位である。

大阪府の週別（月別）の定点あたり報告数の推移では、1 月第 1 週（第 1 週）から 4 月第 1 週（第 15 週）まで 0.01～0.10 で推移していたが、7 月第 2 週（第 28 週）に 1.65 と最高値に達した。2023 年は、6 月第 3 週（第 25 週）に 7.69 を記録していたが、2024 年は、例年通りの水準であった。その後、減少に転じ、10 月第 2 週（第 42 週）から、0.10 を下回っている。全国的には、4 月第 5 週（第 18 週）0.08 を起点として増加し、7 月第 2 週（第 28 週）に、2.42 となり最大値に到達した。その後、減少に転じ、12 月第 4 週（第 52 週）には 0.02 まで減少した。

大阪府において、年齢別患者発生数では、多い順に、1 歳　880 例（23.2%）、2 歳　697 例（18.4%）、3 歳　555 例（14.7%）、4 歳　433 例（11.4%）、1 歳未満　375 例（9.9%）の順であった。

ブロック別患者発生数では、定点あたりのブロック別年平均報告数の上位 5 ブロックは、高い順に、⑧大阪市北部　0.88、④中河内 0.58、⑤南河内　0.47、③北河内　0.44、⑨大阪市西部 0.38 であった。

ブロック別・週別定点あたり報告数が高かった上位 5 ブロックは、⑧大阪市北部　5.71（6 月第 4 週　第 26 週）、⑤南河内　2.94（7 月第 4 週　第 30 週）、④中河内　2.68（7 月第 3 週　第 29 週）、③北河内　2.64（7 月第 2 週　第 28 週）、⑨大阪市西部 2.00（7 月第 3 週　第 29 週）の順で、警報レベル開始基準値 6.00 を上回っているブロックはなかった。

病原体検出は、多い順に、ヒトメタニューモウイルス（3）、コクサッキーウイルス A6 型（1）、コクサッキーウイルス A10 型（1）、エコーウイルス（1）、エンテロウイルス A71 型（1）、エンテロウイルス D68 型（1）、ライノウイルス　型不明（1）が検出された。昨年よりも、検出数が少なく、2024 年は、コクサッキーウイルス A2 型やコクサッキーウイルス A4 型が検出されなかった。

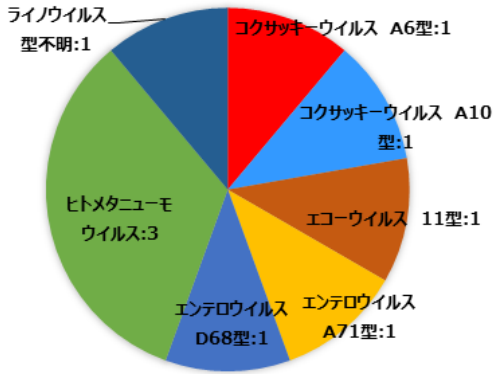
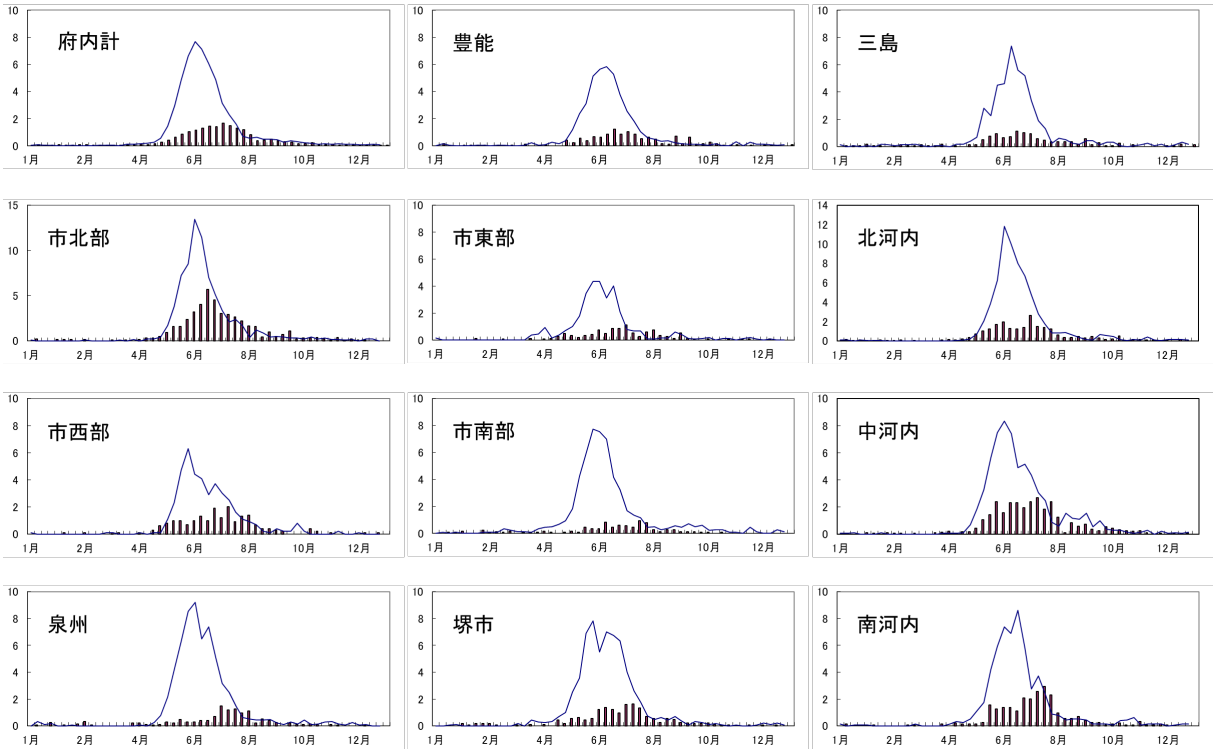


図　大阪府のヘルパンギーナ患者由来ウイルスの検出状況（2024 年、総検出数(9)）

（文責：本村）

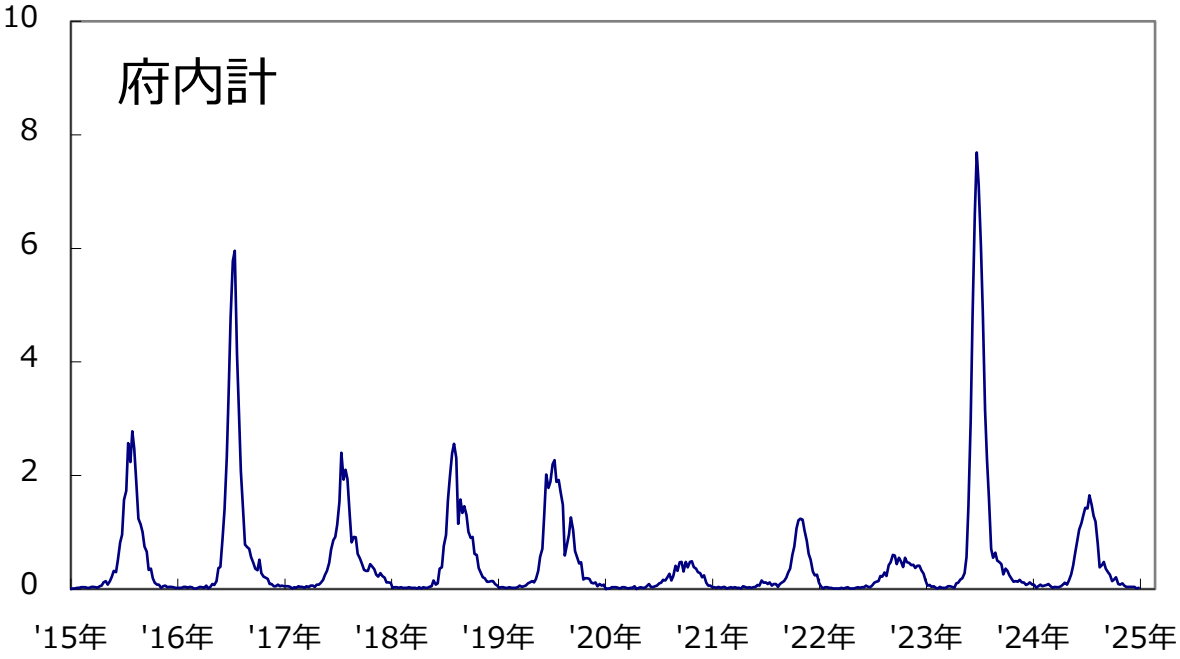
ヘルパンギーナ

線（2023 年第 1 週～第 52 週）
棒（2024 年第 1 週～第 52 週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2015 年 1 週～2024 年 52 週）



定点あたりヘルパンギーナ報告数（府内計）の週別推移（10 年グラフ）

●流行性耳下腺炎

2024 年の流行性耳下腺炎の患者報告数は 429 例で、前年比 16.0%減、総報告数（小児科・眼科定点報告対象疾患）の 0.3%を占めた。定点あたりの報告数の年平均は 0.04 で、順位は第 10 位であった。過去 10 年間で最も大きな流行となった 2016（平成 28）年の 1.39 から減少が続き、2019 年以降は 0.1 未満となっている。

全国集計では 6,415 例の報告で、前年比 6.6%減、総報告数（小児科・眼科定点報告対象疾患）の 0.3%を占めた。定点あたりの報告数の年平均は 0.04 で、順位は第 11 位であった。

週別（月別）の定点あたりの報告数の推移では、年間を通じて流行はみられず、年間最高値は第 23 週（6 月）の 0.12、年間最低値は第 13 週（3 月）と第 40 週（9 月）の 0.01 であった。全国集計でも、年間を通じて 0.01 から 0.07 で経過した。

年齢別患者報告数は、5 歳の 69 例が最も多く、以下 10 歳から 14 歳 57 例、8 歳 56 例、4 歳 54 例、6 歳 48 例、7 歳 38 例、9 歳 35 例、3 歳 33 例と続き、3 歳から 8 歳で全体の 69.5%を占めた。

ブロック別・週別年間患者報告数の上位 5 ブロックは、③北河内（75 例）、④中河内（67 例）、⑤南河内（57 例）、①豊能（38 例）、⑦泉州（38 例）の順であった。

ブロック別・定点あたり報告数年平均の上位 6 ブロックは、④中河内（0.07）、⑤南河内（0.07）、③北河内（0.06）、⑧大阪市北部（0.05）、⑨大阪市西部（0.05）順であった。

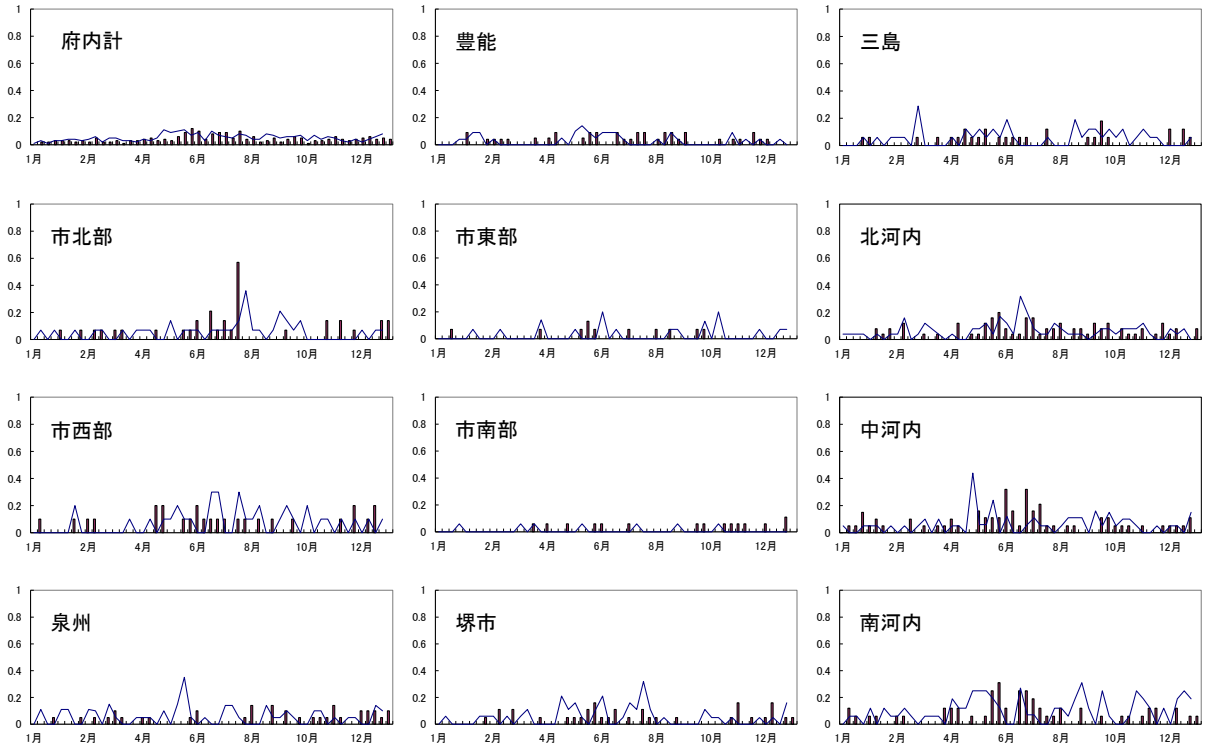
ブロック別・週別定点あたりの報告数の上位 5 ブロックは、⑧大阪市北部（第 30 週、0.57）、④中河内（第 27 週、0.32）、④中河内（第 24 週、0.32）、⑤南河内（第 23 週、0.31）、⑤南河内（第 22 週、0.25）、⑤南河内（第 26 週、0.25）、⑤南河内（第 27 週、0.25）の順であった。

病原体定点医療機関からのウイルス検体の提出は 4 検体あったが、陽性検体はなかった。

（文責：冨吉）

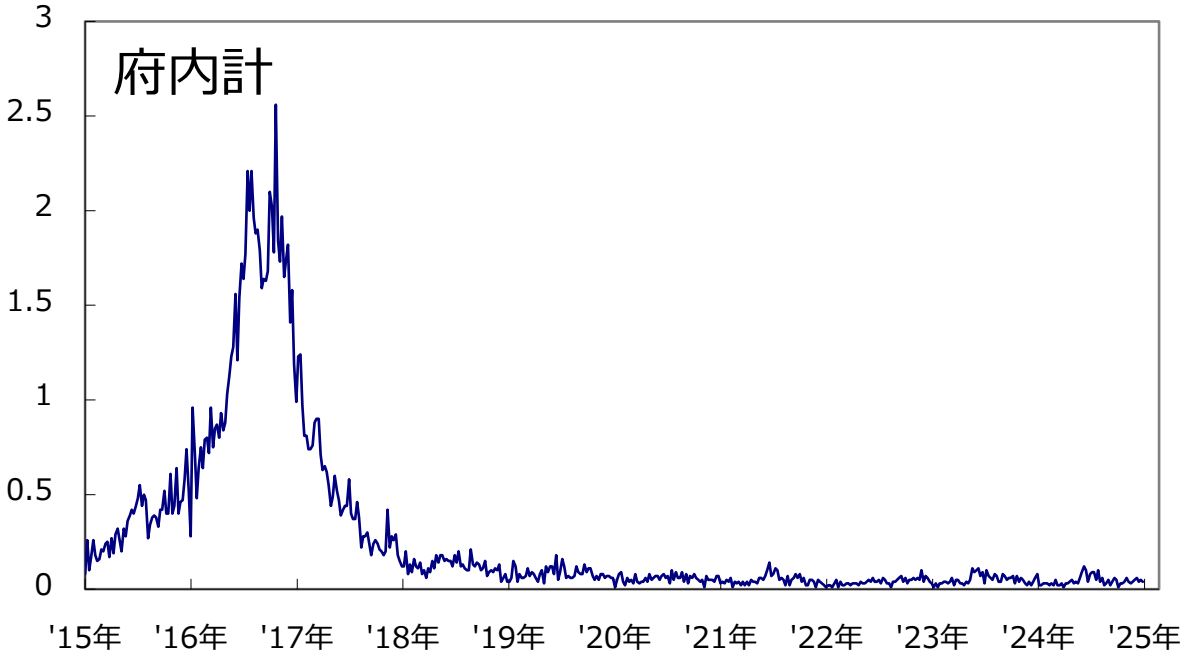
流行性耳下腺炎

線（2023 年第 1 週～第 52 週）
棒（2024 年第 1 週～第 52 週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2015 年 1 週～2024 年 52 週）



定点あたり流行性耳下腺炎報告数（府内計）の週別推移（10 年グラフ）

３）眼科定点把握疾患

●急性出血性結膜炎

2024 年（令和 6 年）の急性出血性結膜炎の報告数は 44 例で、前年の 69.2%増しとなり、眼科医療機関における定点あたりの報告数は 0.02 であった。

府内合計による週別定点あたり報告数は最高が第 50 週の 0.15 で、以下第 43 週の 0.08、第 51 週の 0.06 が続いた。報告の無い週が 25 週あった。

ブロック別の年間平均で週別定点あたり報告数が高かったのは、北河内の 0.06 で以下、豊能の 0.03、泉州の 0.02 であった。三島と大阪市南部のブロックからは報告が無かった。

年齢別では、流行性角結膜炎と同様に成人の報告が多く、20 歳以上の報告数が 35 例と、全体の 79.5%を占めた。

本年の大阪府内の定点あたりの報告数は全国集計と同じであった。

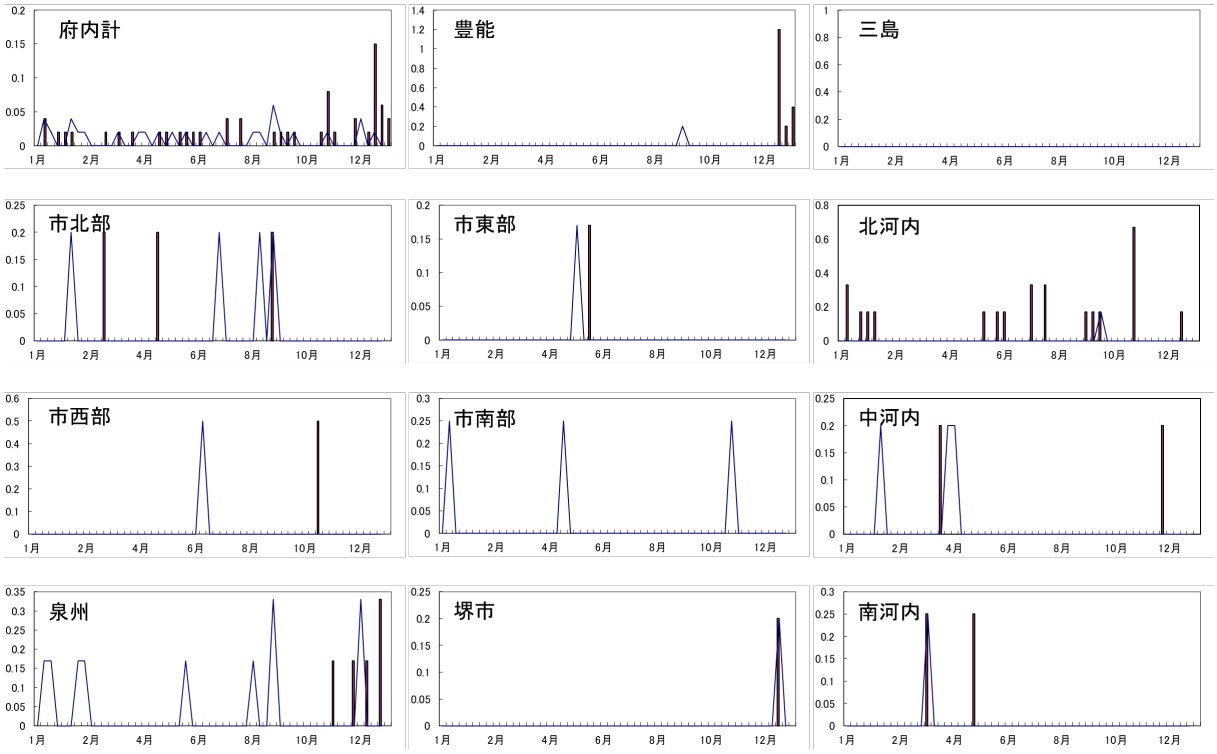
最近 7 年間の眼科医療機関における定点あたりの急性出血性結膜炎報告数

	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
大阪府	0.02	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.02
全　国	0.01	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01	0.02

（文責　宮浦）

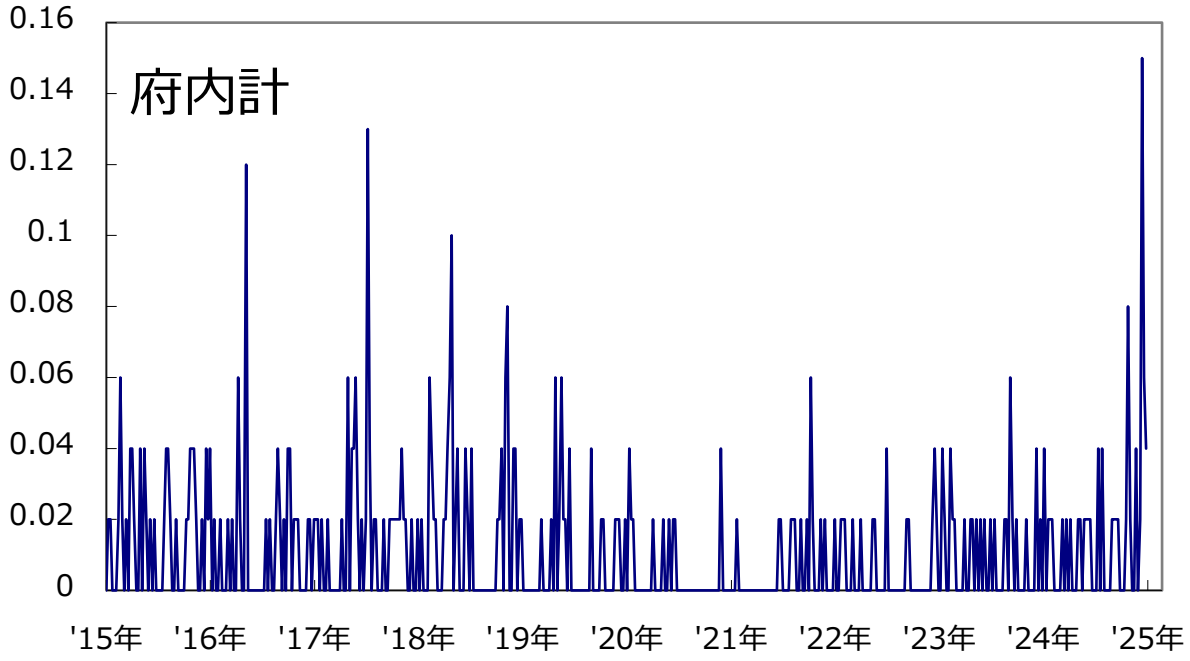
急性出血性結膜炎

線（2023 年第 1 週～第 52 週）
棒（2024 年第 1 週～第 52 週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2015 年 1 週～2024 年 52 週）



定点あたり急性出血性結膜炎報告数（府内計）の週別推移（10 年グラフ）

●流行性角結膜炎

2024 年（令和 6 年）の流行性角結膜炎の報告数は 916 例で、前年の 8.7%減となり、眼科医療機関における定点あたり報告数は 0.34 であった。

府内合計による週別定点あたりの報告数で最も多かったのは、第 15 週と第 23 週の 0.65 で、以下第 17 週の 0.63、第 21 週の 0.60 が続いた。前年同様に定点あたりの報告数が 1.0 を超えた週はなかった。月別発生件数については、 4 月（第 14 週から第 18 週までの 5 週）が年間の 14.0%と最も多く、次いで 5 月（第 19 週から第 22 週までの 4 週）の 11.0%、 6 月（第 22 週から第 26 週の 5 週間）と、12 月（第 49 週から第 52 週の 4 週間）の 9.1%の報告数があった。本疾患は夏型感染症とされているが、本年は春の報告が多かった。

ブロック別で週別定点当たり報告数が最も多かったのは堺市の第 41 週、大阪市西部の第 12 週、大阪市南部の第 22 週の 2.00 で、次いで豊能の第 16 週、三島の第 15 週、大阪市南部の第 17 週の 1.75、さらに北河内の第 2 週、、南河内の第 19 週、大阪市南部の第 15 週の 1.50 が続いた。

ブロック別の年間平均で週別定点あたり報告数が最も多かったのは南河内の 0.45 で、次いで大阪市東部の 0.43、豊能の 0.41 の順であった。最も低かったのは大阪市北部の 0.23 であった。

年齢別では、例年 20 歳以上の報告数が多く、本年も 684 例と全体の 74.7%を占めた。

本年も、大阪府内の定点あたりの報告数は、全国集計よりも低かった。

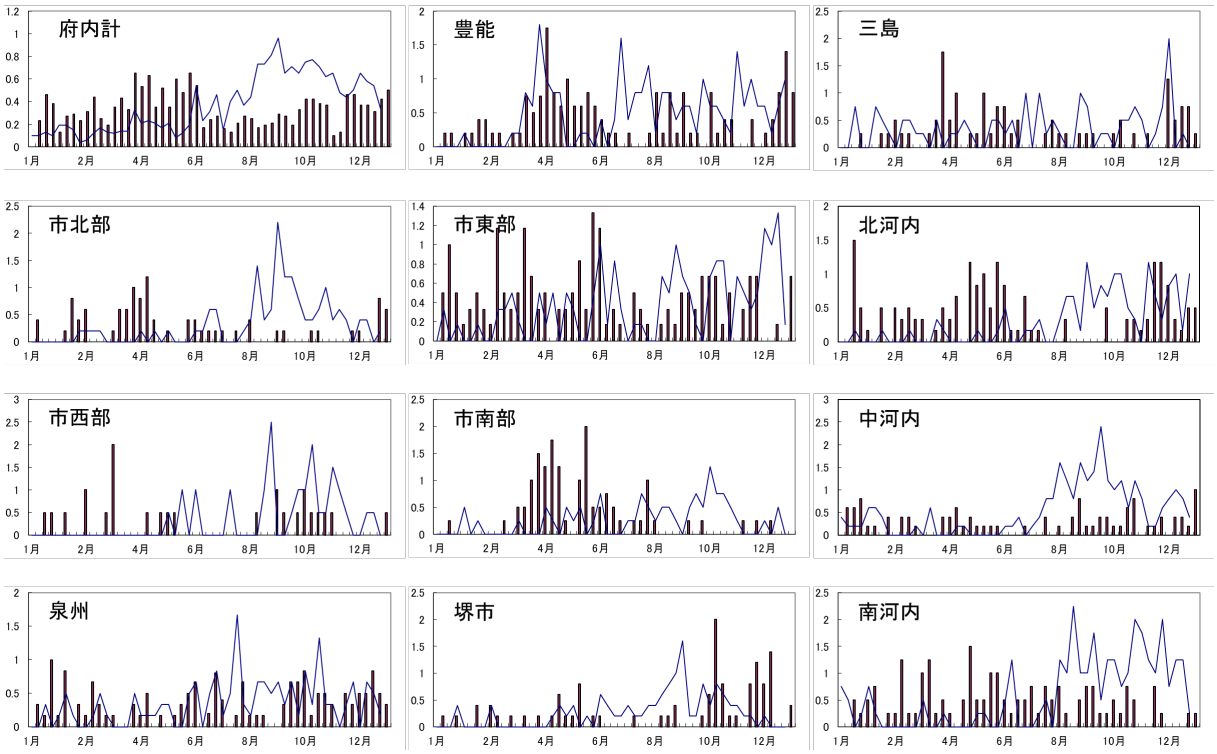
最近 7 年間の眼科医療機関における定点あたりの流行性角結膜炎報告数

	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
大阪府	0.48	0.32	0.13	0.10	0.12	0.37	0.34
全　国	0.85	0.64	0.25	0.19	0.18	0.50	0.56

（文責　宮浦）

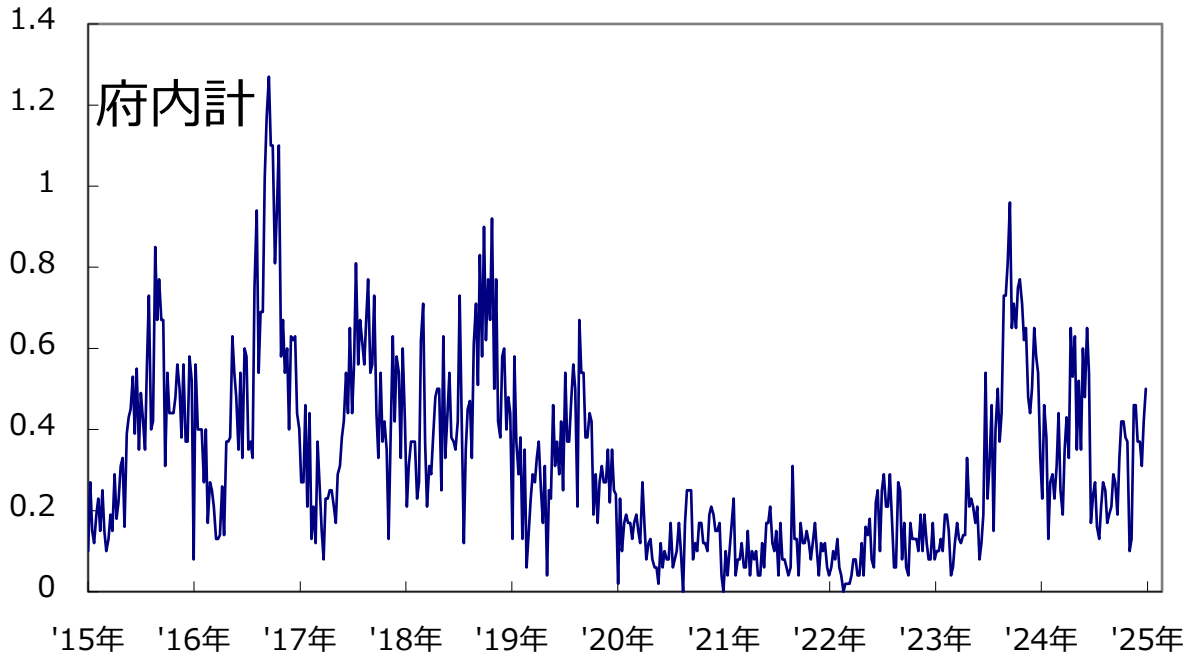
流行性角結膜炎

線（2023 年第 1 週～第 52 週）
棒（2024 年第 1 週～第 52 週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2015 年 1 週～2024 年 52 週）



定点あたり流行性角結膜炎報告数（府内計）の週別推移（10 年グラフ）

４）基幹定点報告（週報）対象疾患

基幹病院定点報告（週報）対象疾患は、5 類感染症の中の細菌性髄膜炎（2013 年 4 月から髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌による、髄膜炎を含む侵襲性感染症が、2014 年 9 月から播種性クリプトコッカス症が全数報告疾患となったので、本項の対象疾患から除く。）、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎 （オウム病を除く）、及び、2013 年 10 月から報告対象となった感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る、以下ロタウイルス胃腸炎）の 5 疾患である。

表　基幹病院定点報告（週報）対象疾患のブロック別報告数および定点あたり報告数

ブロック	（年）	(1) 豊能	(2) 三島	(3) 北河内	(4) 中河内	(5) 南河内	(6) 堺	(7) 泉州	大阪市	合計	定点あたり累積 大阪	定点あたり累積 全国	定点数 (大阪)
細菌性髄膜炎	2019 年	2	7			1		8		18	1.10	1.00	16
	2020 年	1	2	2			4		1	10	0.61	0.85	16
	2021 年		4				5		1	10	0.61	0.77	16
	2022 年		3	1					1	5	0.31	0.64	16
	2023 年		6	1			2			9	0.53	0.85	17
	2024 年		12		18	20	2	2	5	42	2.33	1.09	18
無菌性髄膜炎	2019 年	7	1		2		20	1		31	1.90	1.69	16
	2020 年	5	3			1	5		1	15	0.92	0.95	16
	2021 年	4			2	4	6			16	0.98	0.96	16
	2022 年	2	3			2	8		1	16	0.98	0.90	16
	2023 年	2	3		1	3	11		4	24	1.41	1.48	17
	2024 年	5	7	5	14	2	8		2	43	2.39	1.63	18
マイコプラズマ肺炎	2019 年	6	24	30	13	2	31	10	13	129	7.91	12.67	16
	2020 年	14	20	12	6	1	24	1	15	93	5.71	7.36	16
	2021 年	1			2		1		1	5	0.31	1.39	16
	2022 年	2						1		3	0.18	0.82	16
	2023 年	1	2			3	14	1	9	30	1.76	2.24	17
	2024 年	137	178	137	109	196	351	187	335	1630	90.56	46.57	18

クラミジア肺炎（オウム病を除く）	2019 年	1					1			1	0.06	0.20	16
	2020 年									1	0.06	0.12	16
	2021 年										0.00	0.05	16
	2022 年										0.00	0.07	16
	2023 年										0.00	0.05	17
	2024 年			1	12			2		15	0.83	0.15	18

感染性胃腸炎（ロタウイルス）	2019 年	52	48	9	20	49	55	85	64	382	23.88	9.80	16
	2020 年	0	1	0	0	1	4	0	0	6	0.37	0.52	16
	2021 年	1	1	0	0	0	0	0	3	5	0.31	0.19	16
	2022 年	1	1	0	0	0	1	0	0	3	0.18	0.21	16
	2023 年			0	0	6	3	0	1	10	0.59	0.32	17
	2024 年	1	2	5	1	9	10	2	19	49	2.72	0.70	18

表には 2019 年～2024 年の大阪府・市の各基幹定点からの報告数を示した。基幹病院数は 18 である。1999 年の事業開始時から基幹定点間で報告症例数の差が大きく、ブロック別の検討はしなかった。また、2020 年以後は新型コロナウイルス感染症の流行のため、感染症の疫学に大きな影響がみられている。

以下に、各疾患について述べる。

●細菌性髄膜炎
（髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌、クリプトコッカスを除く）

2024 年は 42 例が報告され、定点あたり 2.33、2023 年は 9 例で定点あたり 0.53 であった。9 基幹定点から各々18 例(この基幹定点の症例では検出細菌の記載例はなかった)、11 例、3 例、2 例(4 基幹定点)、1 例(2 基幹定点)が報告された。年齢は 0 歳 3 例、1～4 歳 2 例、5～9 歳 4 例、10～19 歳 5 例、20～29 歳 1 例、30～39 歳 2 例、40～49 歳 2 例、50～59 歳 4 例、60～69 歳 2 例、70～79 歳 12 例、80～89 歳 5 例で、男女比は 22:20、月別には 7 月 7 例、8 月 7 例、2 月 6 例、4 月 5 例が多かった。原因菌は肺炎マイコプラズマ 3 例(すべて髄液以外の検査で陽性)、リステリア菌 Listeria monocytogenes 2 例、B 群レンサ球菌 Streptococcus agalactiae 2 例、黄色ブドウ球菌、大腸菌、肺炎桿菌、Klebsiella(Enterobacter) aerogenes、肺炎球菌が各 1 例で、30 例では細菌は検出されなかった。原因菌の検査方法はリステリアは核酸検出、他の多くは培養検査であった。髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ

菌、クリプトコッカスによる髄膜炎は 5 類全数報告を参照されたい。肺炎マイコプラズマを細菌性髄膜炎とすべきか、議論があろう。

全国集計では 2024 年は 523 例の報告があり、定点あたり 1.09、2023 年は定点あたり 0.85 であった。原因菌には肺炎マイコプラズマ8.6%、B群レンサ球菌7.8%、黄色ブドウ球菌5.3%、肺炎球菌 3.1%、リステリア菌 2.9%、大腸菌 2.7%、肺炎桿菌 2.1%などが多い。原因菌不明やウイルス記載例などが 52.4%であった。髄液の微生物のマルチプレックス遺伝子検査を導入するなど、原因菌検索の改善が必要である。

●無菌性髄膜炎

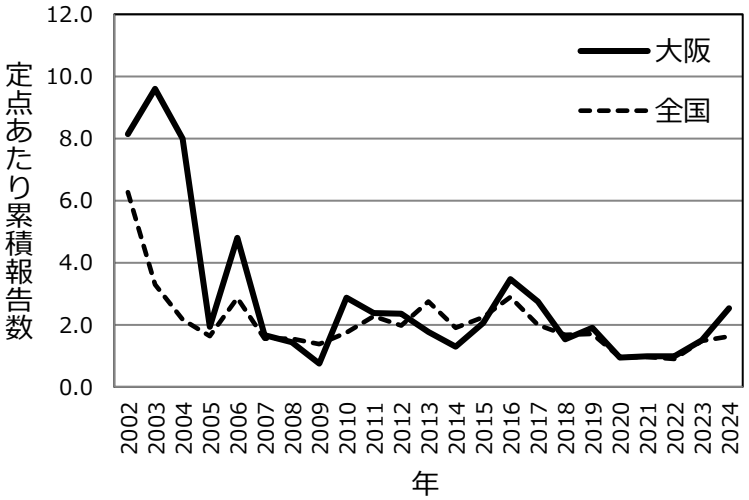
2024 年は 9 基幹定点から基幹定点別の報告数は 12 例、7 例(2 基幹定点)、 5 例(2 基幹定点)、など、合計 43 例が報告され、定点あたり 2.39 で 2023 年は 24 例、定点あたり 1.41 であった。年齢は 0 歳 8 例、1～4 歳 3 例、5～9 歳 5 例、10～19 歳 5 例、20～29 歳 1 例、30～39 歳 4 例、40～49 歳 4 例、50～59 歳 3 例、60～69 歳 2 例、70～79 歳 5 例、80～89 歳 3 例で、性別は男女が 25:18 であった。8 月 8 例、7 月 6 例、6 月と 12 月各 5 例が多かった。

原因病原体はエンテロウイルス(型不明)4 例、ヒトヘルペスウイルス 6 型、肺炎マイコプラズマ各 1 例、陰性・記載なし 37 例であった。

一方、本報告書のウイルス検査結果では無菌性髄膜炎 70 症例の髄液からライノウイルス C 型 1 例のみ検出され、便・咽頭などからのべ 9 株が検出され、エコーウイルス 9 型 3 例、ライノウイルス C 型 4 例などであった。

全国集計では 2024 年は 786 例定点あたり 1.63、2023 年は定点あたり 1.48 であった。原因病原体は VZV16.3%、エンテロウイルス型不明など 15.0%、HSV1 1.5%、 HSV2 2.5%、HSV6 型 2.3%などである。国立感染症研究所の IASR のデータをみると 2024 年の無菌性髄膜炎 189 例から CB5 が 27.3%、エコーウイルス 11 型 18.5%、コクサッキーウイルス B3 7.9%、コクサッキーウイルス A16 5.8%、などが検出されている。

図 無菌性髄膜炎年別基幹定点あたり累積報告数



●マイコプラズマ肺炎

1,630 例の報告があり定点あたり 90.56 で、2011 年の 96.13 に次ぐ大きな流行で、2023 年の 1.76 から大幅に増加した。年齢分布は 0～4 歳 18.6%、5～9 歳 38.4%、10～14 歳 28.0%、15～19 歳 6.1%、20 歳以上 9.0%であった。週別では第 25 週から報告数が 30 を超え、第 32 週の 77 をピークに、第 51 週まで 30 を超えていた。月別には 8 月 16.4%、7 月 16.1%、9 月 15.2%と多く、1～5 月は各月 5%未満と少なかった。本疾患は流行年では 7 月頃から増加し、年明けに減少する傾向がある。大阪では本疾患は 2006 年、2011 年、2016 年をピークとする流行を繰り返しており、2020 年は増加することが予測されていたが、2020 年は新型コロナ感染症下の感染症対策の影響か、本感染症は減少し、2023 年秋からごくわずかに増加を見たが、2024 年は 8 年ぶりの流行で、2011 年に匹敵する大きな流行となった。

検査材料は鼻腔よりも咽頭ぬぐい液の検出率が高いとされるが、診断方法は核酸検出（PCR・LAMP 等）54.0%、抗原検出 33.3%、抗体検出 12.1%であった。

因みに、大阪市内の本事業の定点ではない A 病院小児科では抗菌薬服用前の患者検体について川崎医大小児科でマクロライド耐性率を検査したところ、2025 年 5 月～8 月の 34 例中 19 例 55.9%が耐性であった。

全国集計では 2024 年は定点あたり 46.57 で、2023 年の 2.24 の 19.8 倍であった。

図　マイコプラズマ肺炎年齢別報告数（大阪府）

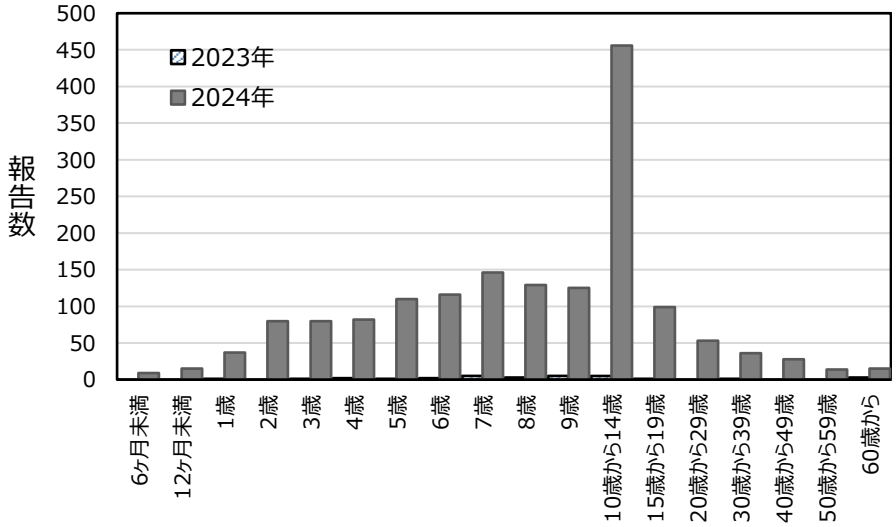


図　マイコプラズマ肺炎週別報告数

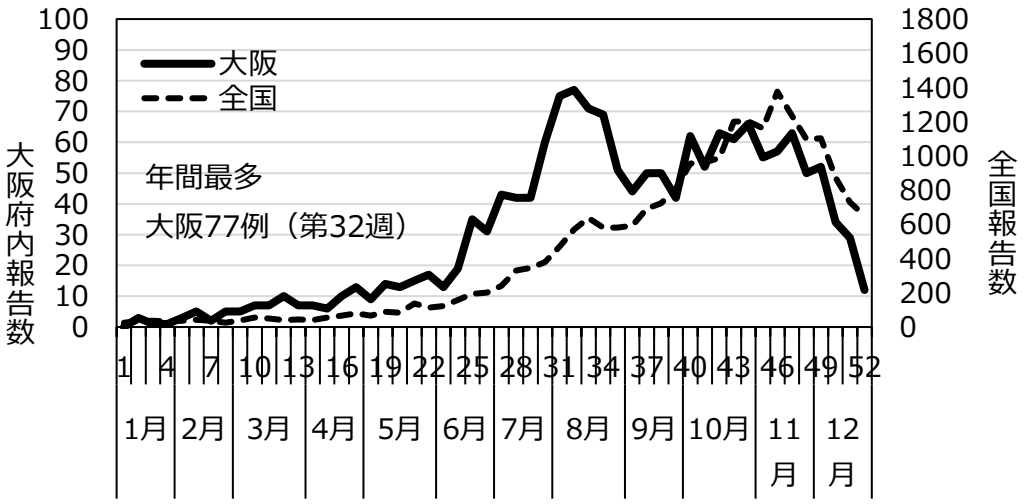
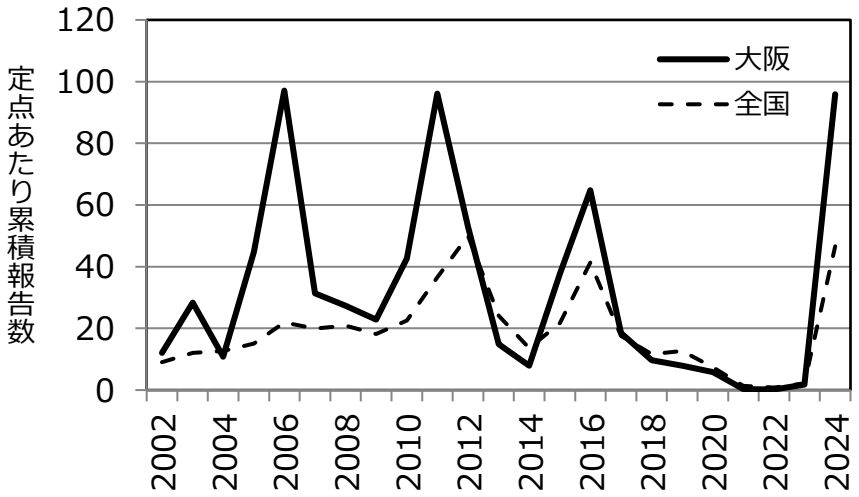


図　マイコプラズマ肺炎年別基幹定点あたり累積報告数



●クラミジア肺炎（オウム病を除く）

クラミジア・トラコマチス（*Chlamydia trachomatis*）による新生児期の肺炎と肺炎クラミジア(*Chlamydophila*（*Chlamydia*）*pneumoniae*）による肺炎が含まれる。オウム病(*Chlamydophila* (*Chlamydia*) *psittaci*)は 4 類全数報告感染症である。

2021 年以後は報告がなかったが、2024 年は 15 例の報告があった。しかし、2 例は遺伝子検査で肺炎マイコプラズマのみの検出であり、これを除く 13 例、定点あたり 0.72 についてみ

ると、全例が抗体検査で診断され、12 例は 1 基幹定点からの報告で、年齢は 17 歳の 1 例以外は 40 歳以上で、69%は 70 歳以上であった。上述の A 病院小児科 Filmarray®呼吸器パネル検査では 2021 年以後、2022 年の 1 例のみの検出であったが、2024 年は 1224 例中 9 例(0.7%、4 人は家族内症例)検出され、年齢は 0～11 歳であった。

全国集計では定点あたり 0.15 の報告であった。

新型コロナウイルス感染症の流行後に、マルチプレックス RTPCR 法による Filmarray®など多種類の呼吸器感染症のウイルス､細菌の核酸検出が可能な診断機器の普及がすすんでおり、抗体価による方法よりも正確な診断が期待できる。

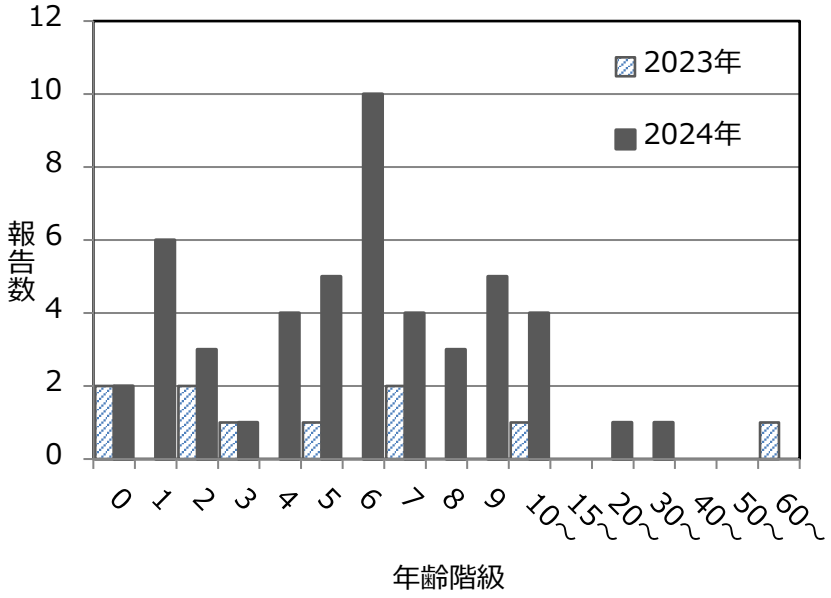
●感染性胃腸炎

（病原体がロタウイルスであるものに限る、以下ロタウイルス胃腸炎）

2011～2012 年に認可され、2020 年 10 月から定期接種となった 2 種類のロタウイルスワクチンで感染症例は激減、さらに、COVID-19 パンデミックの影響とおもわれる減少がみられていた。2024 年 49 例の報告で、定点あたり 2.72 で、2023 年の 4.6 倍であった。年齢分布は 0～4 歳 32.7%、5～9 歳 55.1%、10～14 歳 8.2%で、月別には 6 月 22.4%と多く、3～8 月で 81.6%を占めた。5 基幹定点から全体の 83.7%の報告があった。全国では定点当たり 0.70 と少数の報告であった。本調査はワクチン任意接種の開始後の 2013 年途中から始まり、2014 年～2019 年の報告数は定点あたり 13.5、17.2、23.9、14.8、14.06、23.88 であったが、2020 年以後は 0.5 以下と減少していた。

（文責：塩見）

図 感染性胃腸炎（ロタウイルス）年齢別報告数（大阪府）



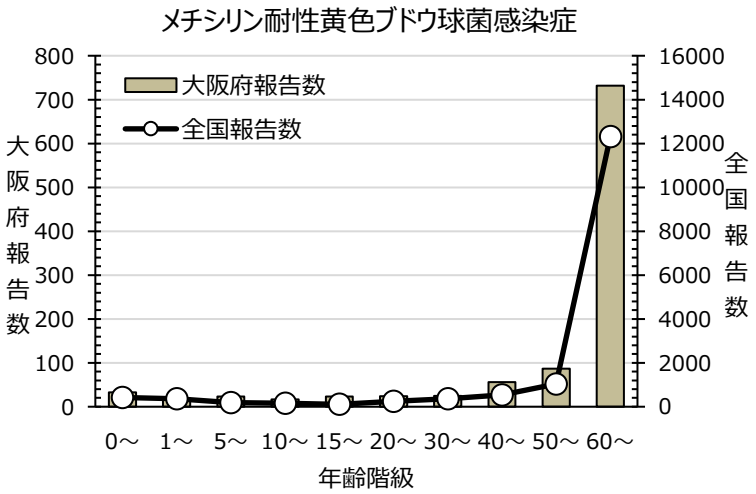
5）基幹定点報告（月報）対象疾患

基幹定点報告(月報)対象感染症は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症の 3 疾患である。基幹定点報告(月報)対象感染症を報告する大阪府内の基幹病院定点数は第 52 週時点で 18 であった。これら薬剤耐性菌は、抗菌薬の不適切な使用を背景として、薬剤耐性菌が世界的に増加する一方、新たな抗菌薬開発は減少にあり、国際社会でも大きな課題となっている。

●メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

大阪府全 11 ブロックから前年比 20.8%増の 1,039 例の報告があり、定点あたり報告数は 57.22 であった。年齢別構成は 0 歳児 33 例、1～4 歳児 19 例、5～9 歳児 23 例、10～14 歳 17 例、15～19 歳 23 例、20～29 歳 24 例、30～39 歳 25 例、40～49 歳 56 例、50～59 歳 87 例、60 歳以上 732 例であった。60 歳以上が 70.4%を占め、前年同様の分布であった。

全国情報(NESID 年報 2025 年 3 月 12 日現在)では前年比 1.4%増の 15,744 例の報告があり、定点あたりの報告数は 32.80 と大阪府より少なかった。全国の年齢別構成をみると 60 歳以上が 12,319 例と 78.2%を占めた。大阪府内の報告数は全国の 6.6%であった。

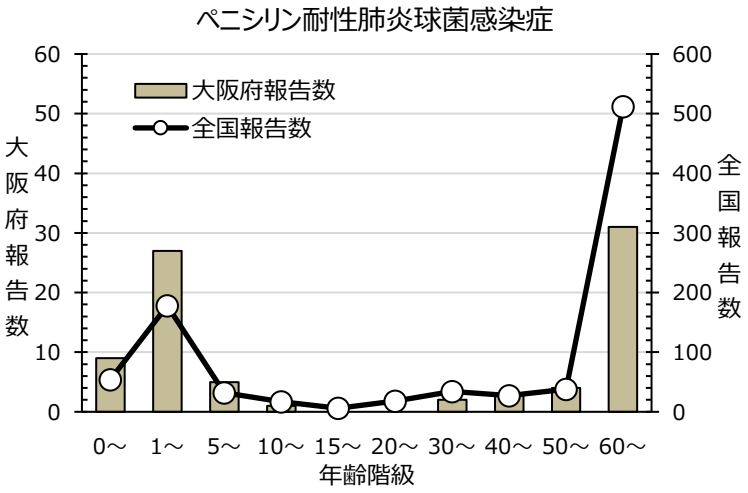


●ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

⑤南河内 36 例、⑥堺市 14 例、①豊能 13 例、⑦泉州 13 例、③北河内 6 例の 5 ブロックから、前年比 13.7%減の 82 例の報告があり、定点あたり報告数は 4.56 であった。0 歳児 9 例、1～4 歳児 27 例、5～9 歳児 5 例、10～14 歳 1 例、15～19 歳 0 例、20～29 歳 0 例、30～39 歳 2 例、40～49 歳 3 例、50～59 歳 4 例、60 歳以上 31 例であった。、前年同様に 0～4 歳児と 60

歳以上の年齢群での報告数が多く、それぞれ 43.9%、37.8%であった。

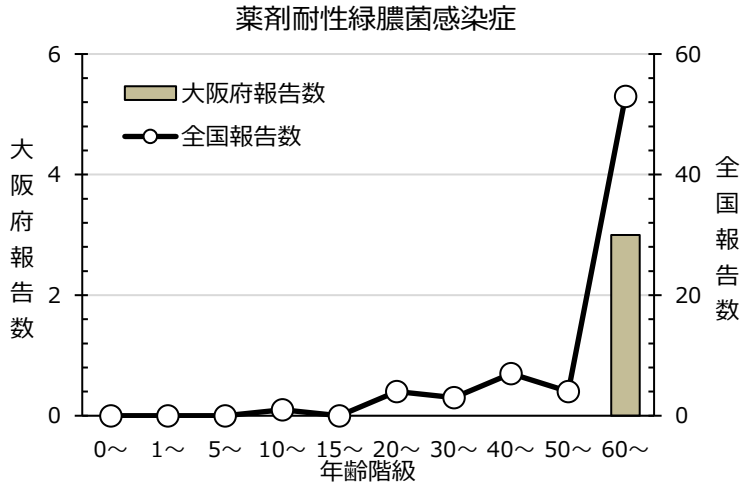
全国情報（NESID 年報）では前年比 9.4%減の 916 例、定点当たり報告数は 1.91 と大阪府より少なかった。全国の年齢別構成をみると大阪府と同様に 0~4 歳児と 60 歳以上が多く、それぞれ 25.3%、55.9%であった。大阪府内の報告数は全国の 9.0%であった。



●薬剤耐性緑膿菌感染症

③北河内 2 例、⑦泉州 1 例の 2 ブロックから、前年から 2 例減の 3 例の報告があり、定点あたり報告数は 1.67 であった。年齢別構成は、60 歳以上 3 例であった。

全国情報（NESID 年報）では前年比 25.8%減の 72 例の報告があり、定点当たり報告数は 0.15 と大阪府と同様であった。全国の年齢別構成をみると 60 歳以上が 53 例と 73.6%を占めた。大阪府内の報告数は全国の 4.2%であった。



（文責：平井）

2025 年 6 月 4 日　大阪府医師会より、府医ニュースとして掲載した。

（第３１１０号）（昭和25年９月７日第三種郵便物認可）　大阪府医ニュース　２０２５年（令和７年）６月４日（毎週水曜日発行、但し第２週を除く）（８）

2024（令和６）年　感染症の動向

大阪府・大阪市・堺市・東大阪市・高槻市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・吹田市
感染症発生動向調査委員会

感染症発生動向調査事業は医師会、大阪府、大阪市、堺市、東大阪市、高槻市、豊中市、枚方市、八尾市・寝屋川市・吹田市の密接な連携の下に実施されている。大阪府感染症情報解析委員会は毎週水曜日に開催され、定点の先生方からの毎週の患者情報と、大阪健康安全基盤研究所、堺市衛生研究所の病原体検出情報とをあわせて解析・評価し、還元している。2024年の感染症発生動向調査結果の概要を報告する。

はじめに

2024年第52週時点の大阪府の小児科定点は196、インフルエンザ定点は305、眼科定点は52、基幹病院定点は18であり、前年とほぼ同様である。小児科・眼科定点疾患の１年間の患者報告数の総計は129,759人で前年より16.0%増加した。インフルエンザを除く疾患別では感染性胃腸炎が１位であり、次いで手足口病、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ＲＳウイルス感染症、咽頭結膜熱の順である。第６位以下は、ヘルパンギーナ、突発性発しん、水痘、流行性角結膜炎、流行性耳下腺炎、伝染性紅斑、急性出血性結膜炎であった。上位５疾患はそれぞれ全体の34.8%、25.9%、20.2%、8.4%、3.4%で５疾患の合計が全体の92.7%を占めた。

感染性胃腸炎

第１位の感染性胃腸炎の患者報告数は45,102人で、前年に比し0.3%増加し、定点あたり報告数は4.41であった。年齢別では１歳で5,893人（13.1%）と最も多く、２歳が4,821人（10.7%）、３歳が4,249人（9.4%）、４歳が3,961人（8.8%）の順であり、１～４歳までで全体の42.0%を占めた。季節別では春期（３月～５月）に29.1%、夏期（６月～８月）に20.0%、秋期（９月～11月）に17.7%、冬期（12月～２月）に22.3%と春期と冬期に多かった。週別定点あたり報告数では第５週（8.31）にピークがあった。検出されたウイルスは、ノロウイルスが50株、サポウイルスが７株、ロタウイルスが７株、アストロウイルスが３株、ライノウイルスが１株であった（図１）。基幹定点医療機関からの届出でロタウイルス感染性胃腸炎の報告数は49人であった。

手足口病

第２位の手足口病は33,632人で、前年に比し10倍になり、定点あたり3.29であった。年齢別では１歳が9,297人（27.6%）で最も多く、２歳が6,015人（17.9%）、３歳が4,450人（13.2%）、４歳が3,811人（11.3%）、５歳が2,836人（8.4%）、６～12カ月未満が2,626人（7.8%）と続き、６カ月～５歳までで、全体の86.3%を占めた。季節別では春期に12.8%、夏期に50.9%、秋期に32.2%、冬期に4.1%であり、夏期に多い。週別定点あたり報告数では第28週（9.93）、第41週（6.45）にピークがあった。検出されたウイルスは、コクサッキーＡ６が30株、コクサッキーＡ16が12株、コクサッキーＡ10が２株、ライノウイルスが７株、エンテロウイルス71が６株、ヒトメタニューモウイルスが２株、その他が３株であった（図２）。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第３位のＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は26,204人で、前年に比し23.3%増加し、定点あたり2.56であった。年齢別では５歳が3,217人（12.3%）で最も多く、４歳が3,082人（11.8%）、６歳が3,040人（11.6%）、７歳が2,576人（9.8%）と続き、４～７歳までで全体の45.5%を占めた。季節別では春期に32.4%、夏期に24.8%、秋期に15.7%、冬期に27.1%であり、春期に多かった。週別定点あたり報告数では第６週（4.30）と第20週（4.59）にピークがあった。

ＲＳウイルス感染症

第４位のＲＳウイルス感染症は10,872人で、前年に比し4.0%増加し、定点あたり報告数は1.06であった。年齢別では１歳が3,525人（32.4%）で最も多く、６～12カ月未満が2,001人（18.4%）、２歳が1,971人（18.1%）、０～６カ月未満が1,415人（13.0%）、３歳が943人（8.7%）、４歳が426人（3.9%）の順であった。０～２歳までで全体の82.0%を占め、３～４歳が12.6%であった。新型コロナウイルス感染症流行前の2019年までは０～２歳で毎年85%以上を占めており、2020年にＲＳウイルスの流行がなかった影響が2021年～2023年に引き続き、罹患年齢に反映されている。季節別では春期に54.7%、夏期に17.7%、秋期に14.8%、冬期に12.9%であり、春期に多かった。週別定点あたり報告数では、第16週（4.41）にピークがあった。

咽頭結膜熱

第５位の咽頭結膜熱の患者報告数は4,428人で、前年に比し72.5%減少し、定点あたり報告数は0.43であった。年齢別では１歳で1,235人（27.9%）と最も多く、２歳が692人（15.6%）、３歳が507人（11.4%）、４歳が423人（9.6%）、５歳が379人（8.6%）の順であり、１～５歳までで全体の73.1%を占めた。春期に26.7%、夏期に29.6%、秋期に14.5%、冬期に29.2%と夏期と冬期に多かった。週別定点あたり報告数では第２週（0.89）、第24週（0.91）に小さなピークがあった。検出されたウイルスは、アデノウイルス２型が５株、アデノウイルス３型が３株、アデノウイルス１型が１株、アデノウイルス54型が１株、ヒトメタニューモウイルスが１株であった。

インフルエンザ

インフルエンザの患者報告数は111,620人で前年に比し13.1%減少し、定点あたり7.02であった。年齢別では10～14歳が25,252人（22.6%）と最も多く、20歳以上が25,049人（22.4%）、８歳が7,462人（6.7%）、７歳が7,138人（6.4%）と続いた。週別定点あたり報告数では、2023年第33週（1.10）から流行期に入り、第６週（29.79）でピークとなり、第17週（0.74）で収束した。その後第46週（1.97）から流行期に入り、第51週（45.86）から急激に増加し、第52週（67.86）にピークとなった。インフルエンザウイルスの検出はＡＨ１pdmが165株、ＡＨ３が39株、Ｂ（Victoria）が122株であった。

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症の患者報告数は68,578人で、定点あたり報告数は4.31であった。年齢別では20歳以上が45,672人（66.5%）と最も多く、10～14歳が5,798人（8.5%）、15～19歳が3,455人（5.0%）、１歳が2,387人（3.5%）の順であり、成人の占める割合が高かった。春期に16.9%、夏期に41.3%、秋期に9.9%、冬期に31.8%と夏期と冬期に多かった。週別定点あたり報告数では第５週（9.36）、第30週（14.68）にピークがあった。

おわりに

1982（昭和57）年に感染症発生動向調査事業を開始して42年が経過しました。この間、関係各位のご理解・ご支援により、貴重な調査結果が集積されています。これらの調査結果の解析や発信が医療や感染症対策に資し、府民の健康・安心・安全に寄与しています。2025年もご理解・ご支援の程よろしくお願いいたします。

報告　東野　博彦（河内医師会）

図１：感染性腸炎ウイルス分離状況

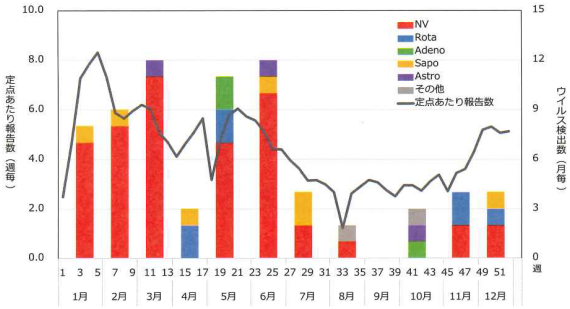
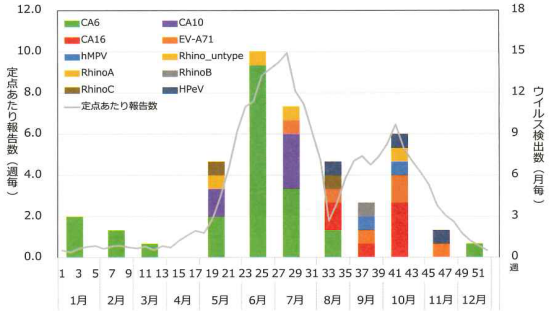


図２：手足口病ウイルス分離状況



[各感染症データ]

インフルエンザ

1）ブロック別・週別報告状況

ブロック	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	338	318	393	431	552	681	497	332	248	269	213	199	165	52	34	31	8	6	4	6	9	7	6	2	4	11
三 島	130	182	287	411	539	607	393	275	209	167	191	169	129	27	21	27	18	12	2	13	17	10	5	3	2	2
北河内	421	407	772	1,046	1,346	1,292	992	611	372	330	272	211	193	56	53	41	29	13	4	11	3	7			8	11
中河内	236	342	580	639	895	984	717	455	333	245	225	131	116	71	48	62	31	12	10	6	10	5	11	2	2	1
南河内	363	398	716	838	1,062	1,013	766	482	350	306	209	149	119	64	29	20	19	4	12	3	15	6	2	1	4	9
堺 市	355	430	742	839	986	991	691	460	277	251	241	170	151	81	52	18	17	10	48	4	8	1	3	2	3	9
泉 州	373	523	955	1,235	1,292	1,133	659	397	250	202	152	133	108	65	43	33	33	6	6	8	3	2	1	8	6	6
大阪市北部	347	318	428	500	705	644	516	324	232	214	132	101	71	37	35	26	16	7	4	1	4	2	6	3	4	
大阪市西部	639	253	326	470	500	673	555	317	175	132	140	92	77	43	21	13	27	7	7	2		2	3	2	3	9
大阪市東部	181	238	277	385	463	416	304	174	99	112	73	77	45	34	28	19	10	1	8	8	4	1	3	1	2	4
大阪市南部	219	301	425	512	729	712	492	333	216	217	170	109	80	48	27	24	16	8	4	4	3	5		2	4	4
合 計	3,602	3,710	5,901	7,306	9,069	9,146	6,582	4,160	2,761	2,445	2,018	1,541	1,254	578	391	314	224	86	109	66	76	48	40	26	42	66

2）ブロック別・週別定点あたり報告状況

ブロック	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	9.14	8.60	10.62	11.65	14.92	18.41	13.43	8.97	6.70	7.27	5.76	5.38	4.46	1.44	0.94	0.86	0.22	0.17	0.11	0.17	0.25	0.19	0.17	0.06	0.11	0.30
三 島	5.00	7.00	11.04	15.81	20.73	22.48	14.56	10.19	7.74	6.19	7.07	6.26	4.78	1.04	0.81	1.04	0.69	0.46	0.08	0.50	0.65	0.39	0.19	0.11	0.07	0.07
北河内	10.27	9.93	18.83	25.51	32.83	31.51	24.20	14.90	9.07	8.05	6.63	5.15	4.71	1.40	1.33	1.03	0.73	0.33	0.10	0.28	0.08	0.18			0.20	0.28
中河内	7.61	11.03	18.71	20.61	28.87	31.74	23.13	14.68	10.74	7.90	7.26	4.23	3.74	2.29	1.55	2.00	1.00	0.40	0.33	0.20	0.33	0.17	0.37	0.07	0.07	0.03
南河内	15.13	16.58	29.83	34.92	44.25	42.21	31.92	20.08	14.58	12.75	8.71	6.21	4.96	2.67	1.21	0.83	0.79	0.17	0.50	0.13	0.63	0.25	0.08	0.04	0.17	0.38
堺 市	12.24	14.83	25.59	28.93	34.00	34.17	23.83	15.86	9.55	8.66	8.31	5.86	5.21	2.79	1.79	0.62	0.59	0.35	1.66	0.14	0.28	0.03	0.10	0.07	0.10	0.31
泉 州	10.97	15.38	28.09	36.32	38.00	33.32	19.38	11.68	7.35	5.94	4.47	3.91	3.18	1.91	1.27	0.97	0.97	0.18	0.18	0.24	0.09	0.06	0.03	0.24	0.18	0.18
大阪市北部	17.35	15.90	21.40	25.00	35.25	32.20	25.80	16.20	11.60	10.70	6.60	5.05	3.55	1.85	1.75	1.30	0.80	0.35	0.20	0.05	0.20	0.10	0.30	0.15	0.20	
大阪市西部	42.60	16.87	21.73	31.33	33.33	44.87	37.00	21.13	11.67	8.80	9.33	6.13	5.13	2.87	1.40	0.87	1.80	0.47	0.47	0.13		0.13	0.20	0.13	0.20	0.60
大阪市東部	8.23	10.82	12.59	17.50	21.05	18.91	13.82	7.91	4.50	5.09	3.32	3.50	2.05	1.55	1.27	0.86	0.46	0.05	0.36	0.36	0.18	0.05	0.14	0.05	0.09	0.18
大阪市南部	8.11	11.15	15.74	18.96	27.00	26.37	18.22	12.33	8.00	8.04	6.30	4.04	2.96	1.78	1.00	0.89	0.59	0.30	0.15	0.15	0.11	0.19		0.07	0.15	0.15
合 計	11.77	12.12	19.28	23.88	29.64	29.79	21.44	13.55	8.99	7.96	6.57	5.02	4.08	1.90	1.29	1.03	0.74	0.28	0.36	0.22	0.25	0.16	0.13	0.09	0.14	0.22

3）年齢別・週別報告状況

年 齢	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
－5ヶ月	32	21	24	21	23	33	15	12	10	11	9	6	6	2	6		1	3	3							1
－11ヶ月	52	66	61	72	58	65	61	43	31	22	24	8	14	10	5	3	6	1		2		1	1			1
1歳	128	176	176	176	193	181	194	106	105	55	51	35	36	30	24	26	11	1	2		4	2	1	3	1	3
2	163	186	276	238	207	233	197	133	77	75	43	37	62	28	32	11	11	4	6	4	3		2		1	2
3	156	180	275	241	278	290	223	170	108	108	68	59	50	32	20	13	15	6	1	1	4	4			1	2
4	128	173	309	282	372	374	297	213	156	122	96	78	67	36	23	12	6	6	1	7	9	1				3
5	116	163	357	414	486	525	430	248	175	164	133	63	77	38	26	11	13	6	4	1	7	3	2	3	1	2
6	86	146	365	456	658	712	484	348	231	236	167	108	66	30	19	21	7	1	1	4	4	4	2			1
7	88	182	396	608	761	833	544	330	232	210	168	96	81	36	25	19	11	1	1	7	4		1		1	2
8	80	172	431	641	792	827	558	359	276	183	155	124	93	38	27	16	9	3	2	7	5	2	6			1
9	93	143	388	585	836	863	563	326	215	211	173	80	85	27	20	18	9	3	4	2	9	2	3		1	2
10－14	415	576	1,338	2,158	2,877	2,785	1,928	1,141	681	652	568	506	289	79	53	61	39	14	10	7	9	10	5	2	10	5
15－19	243	288	428	528	641	556	365	258	124	116	90	101	94	49	35	37	28	7	5	2	5	2	5	3	8	7
20－	1,822	1,238	1,077	886	887	869	723	473	340	280	273	240	234	143	76	66	58	30	69	22	13	17	12	15	18	34
合 計	3,602	3,710	5,901	7,306	9,069	9,146	6,582	4,160	2,761	2,445	2,018	1,541	1,254	578	391	314	224	86	109	66	76	48	40	26	42	66

報告数が0の場合には空白としている

[各感染症データ]

インフルエンザ

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
19	14	10	6	9	4	4	7	5	3	14	27	20	24	22	20	25	25	52	127	85	152	319	702	1,471	2,360	10,342
4	3	3		1	4	1	1	3	5	1	5	15	6	14	7	13	12	12	33	37	95	184	399	874	1,316	6,896
16	20	13	27	2	5	7	11	9	19	13	10	27	56	33	5	35	58	32	98	68	202	607	1,106	2,159	3,051	16,190
	9	5	7	9	4	1	8	9	7	11	13	11	34	28	17	11	10	12	24	37	120	286	600	1,330	1,994	10,766
19	14	11	34	15	18	9	10	16	30	9	4	11	23	18	17	12	16	33	34	83	216	339	761	1,527	2,238	12,476
18	16	15	14	17	8	1	9	5	1	6	7	3	15	30	29	28	26	16	67	67	104	215	663	1,545	2,210	11,975
14	20	15	8	19	7	3	9	12	34	18	8	23	22	46	30	22	22	13	35	64	162	342	684	1,643	2,207	13,114
17	23	11	20	19	22	3	8	15	10	10	10	8	23	35	14	14	7	18	62	91	141	196	526	1,008	1,380	8,368
11	15	10	9	1	2	2	2	3	4	6	7	6	18	17	9	5	9	12	47	52	95	197	363	807	1,308	7,505
3	8	10	6	8	7	4	4	6	12	2	10	12	23	34	13	22	19	27	36	34	92	172	336	615	1,136	5,618
7	8	11	8	4	8		13	16	7	4	10	14	12	17	7	14	39	19	41	45	127	253	516	1,009	1,497	8,370
128	150	114	139	104	89	35	82	99	132	94	111	150	256	294	168	201	243	246	604	663	1,506	3,110	6,656	13,988	20,697	111,620

7月					8月				9月					10月				11月				12月				平均
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
0.51	0.38	0.27	0.16	0.24	0.11	0.11	0.19	0.14	0.08	0.38	0.73	0.54	0.65	0.60	0.54	0.68	0.68	1.41	3.43	2.30	4.11	8.62	18.97	39.76	63.78	5.38
0.15	0.11	0.11		0.04	0.15	0.04	0.04	0.11	0.19	0.04	0.19	0.56	0.22	0.52	0.26	0.48	0.44	0.44	1.22	1.37	3.52	6.82	14.78	32.37	48.74	4.96
0.40	0.50	0.32	0.66	0.05	0.12	0.17	0.27	0.22	0.46	0.32	0.24	0.66	1.37	0.81	0.12	0.85	1.42	0.78	2.39	1.66	4.93	14.81	26.98	52.66	74.42	7.60
	0.30	0.17	0.23	0.30	0.13	0.03	0.27	0.30	0.23	0.37	0.43	0.37	1.13	0.93	0.57	0.37	0.33	0.40	0.80	1.23	4.00	9.53	20.00	44.33	66.47	6.77
0.79	0.58	0.46	1.42	0.63	0.75	0.38	0.42	0.67	1.25	0.38	0.17	0.46	0.96	0.75	0.71	0.50	0.67	1.38	1.42	3.46	9.00	14.13	31.71	63.63	93.25	10.00
0.62	0.55	0.52	0.48	0.59	0.28	0.03	0.31	0.17	0.03	0.21	0.24	0.10	0.52	1.03	1.00	0.97	0.90	0.55	2.31	2.31	3.59	7.41	22.86	53.28	76.21	7.94
0.41	0.59	0.44	0.24	0.56	0.21	0.09	0.27	0.35	1.00	0.53	0.24	0.68	0.65	1.35	0.88	0.65	0.65	0.38	1.03	1.88	4.77	10.06	20.12	48.32	64.91	7.42
0.85	1.15	0.55	1.00	0.95	1.10	0.15	0.40	0.75	0.50	0.50	0.50	0.40	1.15	1.75	0.70	0.70	0.35	0.90	3.10	4.55	7.05	9.80	26.30	50.40	69.00	8.05
0.73	1.00	0.67	0.60	0.07	0.13	0.13	0.13	0.20	0.27	0.40	0.47	0.40	1.20	1.13	0.60	0.33	0.60	0.80	3.13	3.47	6.33	13.13	24.20	53.80	87.20	9.62
0.14	0.36	0.46	0.27	0.36	0.32	0.18	0.18	0.27	0.55	0.09	0.46	0.55	1.05	1.55	0.59	1.00	0.86	1.23	1.64	1.55	4.18	8.19	16.00	29.29	54.10	5.00
0.26	0.30	0.41	0.30	0.15	0.30		0.48	0.59	0.26	0.15	0.37	0.52	0.44	0.63	0.26	0.52	1.44	0.70	1.52	1.67	4.70	9.37	19.11	37.37	55.44	5.96
0.42	0.49	0.37	0.45	0.34	0.29	0.11	0.27	0.32	0.43	0.31	0.36	0.49	0.84	0.96	0.55	0.66	0.79	0.80	1.97	2.17	4.92	10.20	21.82	45.86	67.86	7.02

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
	1				1							1	4	4		1		5	3	1	7	9	20	66	131	493
	2	1	1	1	4	1		3		2	2	5	2	6	4	2	2	1	5	8	23	20	76	149	307	1,234
11	5	6	4	8	7		5	3	4	4	3	7	13	14	8	10	9	15	25	26	50	99	246	522	918	3,742
7	10	2	6	4	6		5	9	11	7	5	5	16	11	5	20	12	12	27	16	43	98	239	547	967	4,121
5	6	3	11	6	6		5	2	3	7	8	4	13	22	6	14	20	10	40	28	57	130	257	614	946	4,528
12	12	4	3	9	7	5	3	5	12	7	5	11	10	19	7	6	14	10	40	28	79	191	376	759	1,083	5,488
7	10	5	6	9	6	2	7	6	16	5	1	9	12	10	7	17	19	19	38	37	102	169	356	744	1,063	6,150
7	6	5	7	3	3		2	11	14	7	4	3	13	11	8	17	13	15	36	21	85	201	403	790	1,018	6,860
15	7	10	7	3	2	1	5	6	9	7	8	10	11	10	8	6	4	8	27	39	104	172	355	740	927	7,138
2	7	7	9	1	3	1	7	4	12	6	6	11	17	15	9	6	22	20	31	47	91	204	377	742	998	7,462
2	9	3	12	6	3		2	7	11	5	4	3	11	16	12	11	12	8	27	39	66	210	349	685	906	7,080
19	19	21	15	13	8	3	4	14	10	14	21	13	56	52	26	29	34	38	93	131	287	655	1,460	2,720	3,279	25,252
5	10	7	5	4	1	3	5	1	7	2	7	12	19	18	15	12	21	19	44	65	112	169	447	849	1,139	7,023
36	46	40	53	37	32	19	32	28	23	21	37	56	59	86	53	50	61	66	168	177	400	783	1,695	4,061	7,015	25,049
128	150	114	139	104	89	35	82	99	132	94	111	150	256	294	168	201	243	246	604	663	1,506	3,110	6,656	13,988	20,697	111,620

[各感染症データ]

新型コロナウイルス感染症

1）ブロック別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月				5月					6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	183	216	255	272	293	266	208	144	161	130	133	156	130	101	87	110	101	87	91	75	88	79	68	121	108	161
三 島	87	120	159	176	195	177	134	116	105	75	63	74	101	60	60	81	56	44	49	50	46	56	60	83	79	102
北河内	210	227	330	475	457	372	295	233	183	190	142	132	189	151	141	150	130	72	64	92	85	83	96	149	159	181
中河内	77	169	235	261	290	227	149	128	106	115	95	85	74	97	58	78	59	27	43	53	48	48	49	73	95	94
南河内	144	186	240	260	325	292	220	151	121	125	110	103	94	79	76	82	78	58	71	80	62	59	75	63	77	118
堺 市	141	279	326	319	307	261	192	157	165	148	147	136	115	108	91	82	96	37	66	81	84	79	92	106	108	178
泉 州	135	218	316	300	309	246	224	151	173	194	153	148	102	128	134	130	69	56	69	92	92	90	93	108	119	161
大阪市北部	96	127	153	177	167	159	125	136	129	88	82	73	79	76	74	73	66	29	39	44	53	36	52	59	73	77
大阪市西部	181	93	83	101	107	90	89	73	60	42	54	46	45	40	34	33	28	42	33	17	25	23	33	37	34	64
大阪市東部	101	128	149	166	164	148	142	101	126	112	111	55	69	83	67	62	64	14	49	66	45	63	44	67	73	90
大阪市南部	103	131	195	218	249	233	180	153	143	115	107	93	108	70	78	93	68	35	58	54	65	48	62	84	81	94
合 計	1,458	1,894	2,441	2,725	2,863	2,471	1,958	1,543	1,472	1,334	1,197	1,101	1,106	993	900	974	815	501	632	704	693	664	724	950	1,006	1,320

2）ブロック別・週別定点あたり報告状況

	1月					2月				3月				4月				5月					6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	4.95	5.84	6.89	7.35	7.92	7.19	5.62	3.89	4.35	3.51	3.59	4.22	3.51	2.81	2.42	3.06	2.81	2.42	2.53	2.08	2.44	2.19	1.89	3.36	3.00	4.35
三 島	3.35	4.62	6.12	6.77	7.50	6.56	4.96	4.30	3.89	2.78	2.33	2.74	3.74	2.31	2.31	3.12	2.15	1.69	1.88	1.92	1.77	2.15	2.22	3.07	2.93	3.78
北河内	5.12	5.54	8.05	11.59	11.15	9.07	7.20	5.68	4.46	4.63	3.46	3.22	4.61	3.78	3.53	3.75	3.25	1.80	1.60	2.30	2.13	2.08	2.40	3.73	3.98	4.53
中河内	2.48	5.45	7.58	8.42	9.35	7.32	4.81	4.13	3.42	3.71	3.06	2.74	2.39	3.13	1.87	2.52	1.90	0.90	1.43	1.77	1.60	1.60	1.63	2.43	3.17	3.13
南河内	6.00	7.75	10.00	10.83	13.54	12.17	9.17	6.29	5.04	5.21	4.58	4.29	3.92	3.29	3.17	3.42	3.25	2.42	2.96	3.33	2.58	2.46	3.13	2.63	3.21	4.92
堺 市	4.86	9.62	11.24	11.00	10.59	9.00	6.62	5.41	5.69	5.10	5.07	4.69	3.97	3.72	3.14	2.83	3.31	1.28	2.28	2.79	2.90	2.72	3.17	3.66	3.72	6.14
泉 州	3.97	6.41	9.29	8.82	9.09	7.24	6.59	4.44	5.09	5.71	4.50	4.35	3.00	3.76	3.94	3.82	2.03	1.65	2.03	2.71	2.71	2.65	2.74	3.18	3.50	4.74
大阪市北部	4.80	6.35	7.65	8.85	8.35	7.95	6.25	6.80	6.45	4.40	4.10	3.65	3.95	3.80	3.70	3.65	3.30	1.45	1.95	2.20	2.65	1.80	2.60	2.95	3.65	3.85
大阪市西部	12.07	6.20	5.53	6.73	7.13	6.00	5.93	4.87	4.00	2.80	3.60	3.07	3.00	2.67	2.27	2.20	1.87	2.80	2.20	1.13	1.67	1.53	2.20	2.47	2.27	4.27
大阪市東部	4.59	5.82	6.77	7.55	7.45	6.73	6.45	4.59	5.73	5.09	5.05	2.50	3.14	3.77	3.05	2.82	2.91	0.64	2.23	3.00	2.05	2.86	2.00	3.05	3.32	4.09
大阪市南部	3.81	4.85	7.22	8.07	9.22	8.63	6.67	5.67	5.30	4.26	3.96	3.44	4.00	2.59	2.89	3.44	2.52	1.30	2.15	2.00	2.41	1.78	2.30	3.11	3.00	3.48
合 計	4.76	6.19	7.98	8.91	9.36	8.05	6.38	5.03	4.79	4.35	3.90	3.59	3.60	3.27	2.96	3.20	2.68	1.65	2.09	2.32	2.29	2.19	2.38	3.13	3.31	4.33

3）年齢別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月				5月					6月			
年 齢	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
0	68	84	93	115	109	90	69	73	52	49	52	49	35	44	51	45	33	13	21	27	28	26	24	32	39	48
1～4	99	181	285	327	327	238	152	157	157	118	91	95	111	106	95	94	82	24	41	46	43	35	42	48	57	78
5～9	31	135	293	448	475	329	171	127	119	154	109	55	63	54	66	80	56	18	28	26	24	18	27	47	39	52
10～19	98	184	352	488	595	420	278	157	171	183	155	133	125	98	84	157	109	78	69	92	84	71	112	174	182	208
20～29	230	212	181	179	169	165	158	130	122	104	92	102	96	100	84	87	60	46	80	60	80	84	86	85	103	132
30～39	193	173	205	221	221	189	185	134	149	112	87	97	101	75	73	77	55	51	41	65	62	55	48	72	93	140
40～49	177	190	206	220	238	248	188	131	139	109	105	111	110	110	82	84	70	46	64	67	62	70	64	100	104	145
50～59	204	225	245	223	230	230	208	163	141	134	132	119	115	101	100	98	93	68	74	101	82	79	106	116	116	167
60～69	118	146	145	151	156	169	148	128	103	111	91	105	86	83	85	87	76	41	64	67	57	70	67	83	88	114
70～79	113	168	215	164	151	189	173	154	160	123	128	111	114	107	83	85	86	57	77	76	83	75	82	103	85	124
80～	127	196	221	189	192	204	228	189	159	137	155	124	150	115	97	80	95	59	73	77	88	81	66	90	100	112
合計	1,458	1,894	2,441	2,725	2,863	2,471	1,958	1,543	1,472	1,334	1,197	1,101	1,106	993	900	974	815	501	632	704	693	664	724	950	1,006	1,320

報告数が0の場合には空白としている

[各感染症データ]

新型コロナウイルス感染症

7月					8月				9月				10月					11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
238	392	468	471	394	301	215	197	176	113	110	87	57	64	49	36	48	26	35	37	28	24	28	63	119	115	7,715
107	161	228	275	221	167	70	102	77	101	59	48	36	33	17	12	16	15	6	17	25	20	31	49	66	107	4,474
275	370	609	727	642	390	206	272	204	220	149	108	101	91	70	49	52	33	35	49	42	76	67	78	142	203	10,248
129	221	291	364	373	239	80	108	97	108	103	77	49	55	36	27	22	20	11	14	24	28	30	40	51	64	5,494
183	284	313	362	327	229	202	141	103	132	74	67	45	49	43	36	22	30	22	26	33	39	43	53	72	101	6,380
263	375	428	591	529	424	171	199	175	130	87	90	73	55	57	40	39	33	25	45	44	72	48	44	101	136	8,175
211	341	430	501	403	261	64	175	173	161	99	130	89	89	93	42	45	42	31	60	35	56	63	63	98	132	7,897
127	210	311	331	281	175	135	130	113	70	67	57	29	32	19	18	17	21	16	13	24	31	35	53	67	77	4,801
104	151	189	193	150	111	91	56	56	26	23	42	26	25	18	13	8	10	8	19	14	14	11	23	41	56	2,985
152	246	305	296	254	154	80	107	76	74	51	48	46	54	24	22	30	17	33	35	21	35	26	28	48	73	4,694
165	250	325	380	387	187	89	133	120	97	70	43	45	45	34	15	19	10	23	32	28	52	38	50	69	91	5,715
1,954	3,001	3,897	4,491	3,961	2,638	1,403	1,620	1,370	1,232	892	797	596	592	460	310	318	257	245	347	318	447	420	544	874	1,155	68,578

7月					8月				9月				10月					11月				12月				平均
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
6.43	10.59	12.65	12.73	10.65	8.14	5.81	5.32	4.76	3.05	2.97	2.35	1.54	1.73	1.32	0.97	1.30	0.70	0.95	1.00	0.76	0.65	0.76	1.70	3.22	3.11	4.03
3.96	5.96	8.44	10.19	8.19	6.19	2.59	3.78	2.85	3.74	2.19	1.78	1.33	1.22	0.63	0.44	0.59	0.56	0.22	0.63	0.93	0.74	1.15	1.81	2.44	3.96	3.22
6.88	9.25	14.85	17.73	15.66	9.51	5.02	6.63	4.98	5.37	3.63	2.63	2.46	2.22	1.71	1.20	1.27	0.80	0.85	1.20	1.02	1.85	1.63	1.90	3.46	4.95	4.83
4.30	7.37	9.70	12.13	12.43	7.97	2.67	3.60	3.23	3.60	3.43	2.57	1.63	1.83	1.20	0.90	0.73	0.67	0.37	0.47	0.80	0.93	1.00	1.33	1.70	2.13	3.10
7.63	11.83	13.04	15.08	13.63	9.54	8.42	5.88	4.29	5.50	3.08	2.79	1.88	2.04	1.79	1.50	0.92	1.25	0.92	1.08	1.38	1.63	1.79	2.21	3.00	4.21	5.11
9.07	12.93	14.76	20.38	18.24	14.62	5.90	6.86	6.03	4.48	3.00	3.10	2.52	1.90	1.97	1.38	1.34	1.14	0.86	1.55	1.52	2.48	1.66	1.52	3.48	4.69	5.42
6.21	10.03	12.65	14.74	11.85	7.68	1.88	5.15	5.09	4.74	2.91	3.82	2.62	2.62	2.74	1.24	1.32	1.24	0.91	1.76	1.03	1.65	1.85	1.85	2.88	3.88	4.47
6.35	10.50	15.55	16.55	14.05	8.75	6.75	6.50	5.65	3.50	3.35	2.85	1.45	1.60	0.95	0.90	0.85	1.05	0.80	0.65	1.20	1.55	1.75	2.65	3.35	3.85	4.62
6.93	10.07	12.60	12.87	10.00	7.40	6.07	3.73	3.73	1.73	1.53	2.80	1.73	1.67	1.20	0.87	0.53	0.67	0.53	1.27	0.93	0.93	0.73	1.53	2.73	3.73	3.83
6.91	11.18	13.86	13.45	11.55	7.00	3.64	4.86	3.45	3.36	2.32	2.18	2.09	2.45	1.09	1.00	1.36	0.77	1.50	1.59	0.95	1.59	1.24	1.33	2.29	3.48	4.11
6.11	9.26	12.04	14.07	14.33	6.93	3.30	4.93	4.44	3.59	2.59	1.59	1.67	1.67	1.26	0.56	0.70	0.37	0.85	1.19	1.04	1.93	1.41	1.85	2.56	3.37	4.07
6.41	9.84	12.74	14.68	12.94	8.62	4.58	5.29	4.48	4.03	2.92	2.60	1.95	1.93	1.50	1.01	1.04	0.84	0.80	1.13	1.04	1.46	1.38	1.78	2.87	3.79	4.31

7月					8月				9月				10月					11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
84	119	135	193	178	122	80	92	62	49	40	25	17	23	18	9	7	9	15	9	12	16	9	17	27	40	2,776
111	207	261	359	346	242	92	138	132	144	79	45	29	41	28	16	21	20	19	24	23	32	28	33	60	95	5,754
106	173	236	305	237	169	51	84	102	110	107	60	37	37	21	15	18	23	15	25	18	23	24	27	44	57	5,168
316	504	591	616	430	260	88	164	159	195	170	147	90	93	70	41	37	23	19	27	26	42	44	55	88	101	9,253
181	276	399	394	330	214	106	137	98	91	50	67	49	55	37	18	28	22	24	31	23	40	36	53	102	98	5,986
163	248	327	383	363	202	127	146	105	86	40	68	43	37	31	28	27	21	17	41	25	32	29	39	77	94	5,773
196	314	394	402	382	241	128	143	123	100	63	72	55	54	54	28	24	23	17	23	36	29	40	55	78	114	6,428
239	342	445	552	481	287	133	181	144	114	90	78	81	59	55	37	41	22	22	47	45	56	59	53	107	153	7,593
173	265	314	382	334	249	145	121	115	99	58	59	44	52	29	29	28	23	32	36	25	29	47	57	82	115	5,581
191	280	417	498	446	314	206	218	159	128	99	89	68	79	59	43	32	33	31	43	42	74	57	69	93	118	6,972
194	273	378	407	434	338	247	196	171	116	96	87	83	62	58	46	55	38	34	41	43	74	47	86	116	170	7,294
1,954	3,001	3,897	4,491	3,961	2,638	1,403	1,620	1,370	1,232	892	797	596	592	460	310	318	257	245	347	318	447	420	544	874	1,155	68,578

[各感染症データ]

RS ウイルス感染症

1）ブロック別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊　能		1	1	2	1	4	5	5	10	16	17	13	18	37	62	76	45	20	22	13	29	19	11	14	12	10
三　島	2	1				2	4	5	10	19	19	19	26	22	25	24	27	12	10	12	5	8	6	5	3	5
北河内	1	4	3	12	8	8	15	28	36	66	70	81	88	107	101	103	78	47	45	24	34	22	22	20	11	14
中河内	3	2	4	6	2	3	2	11	18	17	37	47	60	107	108	85	67	44	47	52	35	22	21	15	12	6
南河内	2	2	1	6	12	11	8	23	23	22	33	52	57	74	78	68	52	31	37	38	24	8	7	7	8	10
堺　市	4	2	2	3	7	12	18	21	26	42	48	52	61	69	95	72	57	29	19	12	13	11	2	6	6	15
泉　州	1	2	4	11	4	9	6	12	27	30	34	30	40	47	71	81	50	44	36	33	23	24	19	24	22	31
大阪市北部	4	5	6	5	11	8	5	17	28	33	44	52	75	103	96	178	101	83	51	36	45	26	23	32	24	12
大阪市西部			4	1	1	4	4	4	6	15	18	19	34	30	36	45	35	27	15	14	14	9	3	7	10	7
大阪市東部	2	1	1	1	4	4	3	7	7	23	25	25	27	29	48	85	46	12	27	15	9	6	8	10	9	6
大阪市南部		1	3	6	2	3	5		13	24	22	51	34	41	54	48	42	16	26	37	19	13	11	9	7	15
合　計	19	21	29	53	52	68	75	133	204	307	367	441	520	666	774	865	600	365	335	286	250	168	133	149	124	131

2）ブロック別・週別定点あたり報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊　能		0.04	0.04	0.09	0.04	0.17	0.22	0.22	0.43	0.70	0.74	0.57	0.78	1.68	2.82	3.45	2.05	0.91	1.00	0.59	1.32	0.86	0.50	0.64	0.55	0.43
三　島	0.13	0.06				0.12	0.24	0.29	0.59	1.12	1.12	1.12	1.53	1.38	1.56	1.50	1.69	0.75	0.63	0.75	0.31	0.50	0.35	0.29	0.18	0.29
北河内	0.04	0.16	0.12	0.48	0.32	0.32	0.60	1.12	1.44	2.64	2.80	3.24	3.52	4.28	4.04	4.12	3.12	1.88	1.80	0.96	1.36	0.88	0.88	0.80	0.44	0.56
中河内	0.15	0.10	0.20	0.30	0.10	0.15	0.10	0.55	0.90	0.85	1.85	2.35	3.00	5.35	5.40	4.25	3.35	2.32	2.47	2.74	1.84	1.16	1.11	0.79	0.63	0.32
南河内	0.13	0.13	0.06	0.38	0.75	0.69	0.50	1.44	1.44	1.38	2.06	3.25	3.56	4.63	4.88	4.25	3.25	1.94	2.31	2.38	1.50	0.50	0.44	0.44	0.50	0.63
堺　市	0.21	0.11	0.11	0.16	0.37	0.63	0.95	1.11	1.37	2.21	2.53	2.74	3.21	3.63	5.00	3.79	3.00	1.53	1.00	0.63	0.68	0.58	0.11	0.32	0.32	0.79
泉　州	0.05	0.10	0.19	0.52	0.19	0.43	0.29	0.57	1.29	1.43	1.62	1.43	1.90	2.24	3.38	3.86	2.38	2.10	1.71	1.57	1.10	1.14	0.90	1.14	1.05	1.48
大阪市北部	0.29	0.36	0.43	0.36	0.79	0.57	0.36	1.21	2.00	2.36	3.14	3.71	5.36	7.36	6.86	12.71	7.21	5.93	3.64	2.57	3.21	1.86	1.64	2.29	1.71	0.86
大阪市西部			0.40	0.10	0.10	0.40	0.40	0.40	0.60	1.50	1.80	1.90	3.40	3.00	3.60	4.50	3.50	2.70	1.50	1.40	1.40	0.90	0.30	0.70	1.00	0.70
大阪市東部	0.13	0.07	0.07	0.07	0.27	0.27	0.20	0.47	0.47	1.53	1.67	1.67	1.80	1.93	3.20	5.67	3.07	0.80	1.80	1.00	0.60	0.40	0.53	0.67	0.60	0.40
大阪市南部		0.06	0.17	0.33	0.11	0.17	0.28		0.72	1.33	1.22	2.83	1.89	2.28	3.00	2.67	2.33	0.89	1.44	2.06	1.06	0.72	0.61	0.50	0.39	0.83
合　計	0.10	0.11	0.15	0.27	0.26	0.34	0.38	0.67	1.03	1.55	1.85	2.23	2.63	3.40	3.95	4.41	3.06	1.87	1.72	1.47	1.28	0.86	0.68	0.76	0.63	0.66

3）年齢別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
年　齢	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
－5ヶ月	7	4	2	5	9	15	12	21	31	40	38	65	87	95	79	81	71	45	53	35	30	27	15	17	17	13
－11ヶ月	1	3	5	7	6	9	12	23	39	54	49	76	83	114	134	153	121	80	80	59	63	34	27	40	27	31
1歳	5	9	7	17	14	16	23	39	57	82	106	119	136	198	291	285	200	114	104	88	77	58	42	41	43	45
2	3	2	6	7	11	13	18	32	44	65	78	93	116	156	151	209	100	57	44	47	35	19	15	23	14	19
3	2	1	4	8	6	7	5	9	14	34	49	33	49	62	76	81	68	36	30	28	25	17	16	10	7	10
4			2	5	3	2	5	3	3	16	25	30	19	23	21	27	22	17	11	13	12	8	7	6	8	5
5				1	1	3		2	6	9	11	12	15	8	11	17	12	4	3	4	3	3	7	2	2	5
6		1		1		2		2	4	1	6	5	7	1	5	2	1	2	2	2	1	1	3	1	3	
7						1			2	1	3	3	1	3	1			2	2	2	2			2		
8					1				1	3				1		1	2	1	2	1						
9			1	1				1		2	1	1	4	1	2	5	2	2						1		
10－14		1	1	1				1	3		1	3		2	2	3	1	1	3	6		1		2	2	3
15－19	1				1									1					1					2		
20－			1									1	3	1	1	1		4		1	2		1	2	1	
合　計	19	21	29	53	52	68	75	133	204	307	367	441	520	666	774	865	600	365	335	286	250	168	133	149	124	131

報告数が0の場合には空白としている

[各感染症データ]

RS ウイルス感染症

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
15	18	10	22	13	8	8	6	8	8	4	1	2	3	6	4	3	6	1	2		4	7	7	14	3	646
6	15	7	4	4	3	6	2	8	9	5	7	3	4	2	1	4	3	1	1	3	5	8	5	12	13	412
29	35	31	36	30	22	21	19	22	29	25	18	11	14	14	10	13	25	28	43	22	28	25	45	38	47	1,728
12	19	15	24	20	21	2	9	23	20	20	18	10	13	13	12	11	12	23	24	22	12	21	14	21	15	1,259
17	36	18	12	16	11	10	12	12	19	21	19	13	13	26	12	2	13	15	21	16	20	27	14	12	18	1,119
9	13	16	12	24	11	4	13	12	23	19	12	9	11	8	17	9	12	8	6	3	9	11	7	7	12	1,001
13	23	17	25	26	17	10	9	8	20	18	13	4	7	16	8	11	13	17	11	7	15	14	22	26	32	1,117
28	26	24	38	28	26	15	10	15	17	28	23	9	5	14	8	14	9	14	21	14	15	21	28	30	36	1,619
3	6	7	7	8	14	1	6	7	11	9	7	7	1	2	9		5	4	8	7	3	13	14	22	16	559
6	11	8	21	13	5	3	6	9	11	9	13	10	17	10	10	2	4	13	11	5	7	10	11	3	14	682
5	5	7	15	17	8	2	6	10	8	9	7	11	7	13	13	9	10	11	12	4	6	5	10	4	14	730
143	207	160	216	199	146	82	98	134	175	167	138	89	95	124	104	78	112	135	160	103	124	162	177	189	220	10,872

7月					8月				9月					10月				11月				12月				平均
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
0.65	0.78	0.43	0.96	0.57	0.35	0.35	0.26	0.35	0.35	0.17	0.04	0.09	0.13	0.26	0.17	0.13	0.26	0.04	0.09		0.17	0.30	0.30	0.61	0.13	0.55
0.35	0.88	0.41	0.24	0.24	0.18	0.35	0.12	0.47	0.53	0.29	0.41	0.18	0.24	0.12	0.06	0.24	0.18	0.06	0.06	0.18	0.29	0.47	0.29	0.71	0.76	0.48
1.16	1.40	1.24	1.44	1.20	0.88	0.84	0.76	0.88	1.16	1.00	0.72	0.44	0.56	0.56	0.40	0.52	1.00	1.12	1.72	0.88	1.12	1.00	1.80	1.52	1.88	1.33
0.63	1.00	0.79	1.26	1.05	1.11	0.11	0.47	1.21	1.05	1.05	0.95	0.53	0.68	0.68	0.63	0.58	0.63	1.21	1.26	1.16	0.63	1.11	0.74	1.11	0.79	1.24
1.06	2.25	1.13	0.75	1.00	0.69	0.63	0.75	0.75	1.19	1.31	1.19	0.81	0.81	1.63	0.75	0.13	0.81	0.94	1.31	1.00	1.25	1.69	0.88	0.75	1.13	1.34
0.47	0.68	0.84	0.63	1.26	0.58	0.21	0.68	0.63	1.21	1.00	0.63	0.47	0.58	0.42	0.89	0.47	0.63	0.42	0.32	0.16	0.47	0.58	0.37	0.37	0.63	1.01
0.62	1.10	0.81	1.19	1.24	0.81	0.48	0.43	0.38	0.95	0.86	0.62	0.19	0.33	0.76	0.38	0.52	0.62	0.81	0.52	0.33	0.71	0.67	1.05	1.24	1.52	1.02
2.00	1.86	1.71	2.71	2.00	1.86	1.07	0.71	1.07	1.21	2.00	1.64	0.64	0.36	1.00	0.57	1.00	0.64	1.00	1.50	1.00	1.07	1.50	2.00	2.14	2.57	2.22
0.30	0.60	0.70	0.70	0.80	1.40	0.10	0.60	0.70	1.10	0.90	0.70	0.70	0.10	0.20	0.90		0.50	0.40	0.80	0.70	0.30	1.30	1.40	2.20	1.60	1.08
0.40	0.73	0.53	1.40	0.87	0.33	0.20	0.40	0.60	0.73	0.60	0.87	0.67	1.13	0.67	0.67	0.13	0.27	0.87	0.73	0.33	0.47	0.71	0.79	0.21	1.00	0.88
0.28	0.28	0.39	0.83	0.94	0.44	0.11	0.33	0.56	0.44	0.50	0.39	0.61	0.39	0.72	0.72	0.50	0.56	0.61	0.67	0.22	0.33	0.28	0.56	0.22	0.78	0.78
0.73	1.05	0.81	1.10	1.01	0.74	0.42	0.50	0.68	0.89	0.85	0.70	0.45	0.48	0.63	0.53	0.40	0.57	0.69	0.81	0.52	0.63	0.83	0.90	0.96	1.12	1.06

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
14	31	18	21	25	14	21	13	13	17	26	29	13	6	20	15	17	13	24	15	15	10	22	19	33	37	1,415
28	35	25	49	35	31	9	20	25	32	32	23	14	21	27	24	11	17	22	35	13	21	24	28	30	40	2,001
51	61	69	71	78	57	34	39	59	70	63	53	38	41	45	43	25	36	41	54	34	41	56	48	49	53	3,525
30	32	22	39	29	26	13	15	26	36	25	11	11	13	20	10	12	26	12	29	17	17	30	27	32	34	1,971
12	24	12	21	11	10		3	5	8	12	10	5	4	6	3	2	6	9	10	8	12	12	17	12	22	943
4	12	3	5	9	4	1	5	3	7	3	3	2	3	2	1	3	5	5	3	3	6	6	16	8	11	426
	5	3	4	4	1			1	1	5	2	1	1	1		1	3	4	3		1	5	6	5	3	201
2				1	1				1		1	2	1			1		3		1			5	4	6	82
		2	1	2				2	1		1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	2	3		49
		1	1		1		1		1						1	1	1	4	2	1	1	1	1	2	3	36
1	1		2							1		1		1	1	1		2		1			1		3	40
1	2	4	1	3		3	1		1		2		4		2	2	3	5	5	4	9	2	6	7	7	111
	2			1	1											1		2		3	2			1	1	20
	2	1	1	1		1	1				3	1		1	3	1	1	1	3	2	3	3	1	3		52
143	207	160	216	199	146	82	98	134	175	167	138	89	95	124	104	78	112	135	160	103	124	162	177	189	220	10,872

[各感染症データ]

咽頭結膜熱

1）ブロック別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	8	18	13	8	8	9	10	5	16	10	13	2	7	3	3	2	7	3	3	1	5	3	5	4	5	8
三 島	10	10	5	4	5	6	4	4	4	2	3	1	1	3	3	2	2	1	10	8	6	12	18	9	5	5
北河内	27	38	25	16	9	21	25	16	11	16	7	14	10	3	10	2	9	8	10	17	9	21	15	14	16	26
中河内	15	27	13	4	5	7	1	7	11	4	8	3	5	9	13	11	10	18	11	9	33	27	32	32	27	23
南河内	28	18	17	18	18	15	8	6	12	14	10	17	5	19	19	24	16	19	14	15	21	22	18	23	16	13
堺 市	12	17	13	4	6	5	4	2	1	3	1	4		4	4	3	1	6	10	14	8	10	14	21	14	13
泉 州	11	20	13	18	9	16	12	15	14	17	14	18	5	10	5	7	24	5	16	10	25	21	22	22	21	11
大阪市北部	4	9	4	7	6	10	8	9	5	9	6	8	8	4	10	8	5	5	5	7	5	12	10	11	8	9
大阪市西部	3	3	2	2	2		1	1		1	2		1			5	6	5	2	2	2	10	3	9	1	6
大阪市東部	6	4	6	9	2	7	6	3	5	3	6	3	10	6	4	2	4	3	6	6	20	11	10	11	15	10
大阪市南部	5	11	7	10	6	6	5	4	5	3	2	1	1	5	5	12	7	5	7	10	20	18	17	22	21	13
合 計	129	175	118	100	76	102	84	72	84	82	72	71	53	66	76	78	91	78	94	99	154	167	164	178	149	137

2）ブロック別・週別定点あたり報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	0.35	0.78	0.57	0.35	0.35	0.39	0.44	0.22	0.70	0.44	0.57	0.09	0.30	0.14	0.14	0.09	0.32	0.14	0.14	0.05	0.23	0.14	0.23	0.18	0.23	0.35
三 島	0.63	0.63	0.31	0.25	0.31	0.35	0.24	0.24	0.24	0.12	0.18	0.06	0.06	0.19	0.19	0.13	0.13	0.06	0.63	0.50	0.38	0.75	1.06	0.53	0.29	0.29
北河内	1.08	1.52	1.00	0.64	0.36	0.84	1.00	0.64	0.44	0.64	0.28	0.56	0.40	0.12	0.40	0.08	0.36	0.32	0.40	0.68	0.36	0.84	0.60	0.56	0.64	1.04
中河内	0.75	1.35	0.65	0.20	0.25	0.35	0.05	0.35	0.55	0.20	0.40	0.15	0.25	0.45	0.65	0.55	0.50	0.95	0.58	0.47	1.74	1.42	1.68	1.68	1.42	1.21
南河内	1.75	1.13	1.06	1.13	1.13	0.94	0.50	0.38	0.75	0.88	0.63	1.06	0.31	1.19	1.19	1.50	1.00	1.19	0.88	0.94	1.31	1.38	1.13	1.44	1.00	0.81
堺 市	0.63	0.90	0.68	0.21	0.32	0.26	0.21	0.11	0.05	0.16	0.05	0.21		0.21	0.21	0.16	0.05	0.32	0.53	0.74	0.42	0.53	0.74	1.11	0.74	0.68
泉 州	0.52	0.95	0.62	0.86	0.43	0.76	0.57	0.71	0.67	0.81	0.67	0.86	0.24	0.48	0.24	0.33	1.14	0.24	0.76	0.48	1.19	1.00	1.05	1.05	1.00	0.52
大阪市北部	0.29	0.64	0.29	0.50	0.43	0.71	0.57	0.64	0.36	0.64	0.43	0.57	0.57	0.29	0.71	0.57	0.36	0.36	0.36	0.50	0.36	0.86	0.71	0.79	0.57	0.64
大阪市西部	0.30	0.30	0.20	0.20	0.20		0.10	0.10		0.10	0.20		0.10			0.50	0.60	0.50	0.20	0.20	0.20	1.00	0.30	0.90	0.10	0.60
大阪市東部	0.40	0.27	0.40	0.60	0.13	0.47	0.40	0.20	0.33	0.20	0.40	0.20	0.67	0.40	0.27	0.13	0.27	0.20	0.40	0.40	1.33	0.73	0.67	0.73	1.00	0.67
大阪市南部	0.28	0.61	0.39	0.56	0.33	0.33	0.28	0.22	0.28	0.17	0.11	0.06	0.06	0.28	0.28	0.67	0.39	0.28	0.39	0.56	1.11	1.00	0.94	1.22	1.17	0.72
合 計	0.65	0.89	0.60	0.51	0.39	0.52	0.42	0.36	0.42	0.41	0.36	0.36	0.27	0.34	0.39	0.40	0.46	0.40	0.48	0.51	0.79	0.86	0.84	0.91	0.76	0.70

3）年齢別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
年 齢	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
－5ヶ月	2	3		1			1	2			2	2					1		1			1	1	1		
－11ヶ月	3	7	8	4	4	4	1	1	2	6	3	3	2	3	3	3	4	9	13	12	17	32	18	15	17	10
1歳	18	26	21	17	17	17	11	12	13	13	16	13	12	12	16	23	35	26	32	42	62	66	65	64	64	56
2	19	28	11	13	12	13	16	11	10	13	14	12	8	16	10	17	6	11	19	15	29	17	24	28	20	19
3	17	29	14	15	8	23	12	14	11	10	9	10	6	7	6	8	14	6	13	12	12	16	11	18	11	12
4	19	21	17	11	5	9	12	10	14	12	6	7	5	6	9	6	8	6	6	6	5	9	15	16	13	8
5	19	18	10	10	7	10	8	7	11	7	7	4	6	8	13	8	8	8	5	1	9	5	8	15	10	12
6	14	10	9	7	3	8	10	6	12	10	7	5	8	3	6	6	6	1		2	7	9	6	5	4	4
7	9	12	8	6	6	5	6	2	6	4	3	7		3	2	1	3	2	1	2	5	2	3	4	3	5
8	1	4	5	7	3	4	2	1		3	1		1	1	2		3	4	1	1	2	4	3	3		1
9	2	6	2	6	3	2		3	1			1	3		2	2	2	1	1	3	2	2	2	2	1	
10－14	4	7	8	3	4	3	4	3	3	3	2	3	2	5	4	3	1	2	1	2	2	2	6	7	3	2
15－19		1			1	1									1	1		1	1						2	1
20－	2	3	5		3	3	1		1	1	2	4		2	2			1		1	2	2	2		1	7
合 計	129	175	118	100	76	102	84	72	84	82	72	71	53	66	76	78	91	78	94	99	154	167	164	178	149	137

報告数が0の場合には空白としている

[各感染症データ]

咽頭結膜熱

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
13	20	4	4	7	5		2	1	2	1	3		1	2	1	1	1	2	2	2	2	2	6	5	7	275
4	4	3	1	1	3	2	2	3	2	3	2	1			2	3		5	2	2	2	4		1	2	197
17	6	9	11	6	8	1	4	5	4	5		4	12	9	6	7	5	4	2	5	10	10	11	11	10	577
24	30	26	21	21	14	4	12	6	12	13	9	16	10	7	5	11	12	16	16	17	10	20	9	7	14	727
11	8	9	9	7	6		5	2	2	8	1	7	1	1	3		2	3	4	1	11	13	12	12	8	571
20	16	19	8	2	3	2		3	5	4	4	7	6	5	2	3	1	4	3	2	5	11	4	12	4	349
23	7	12	10	14	14	2	9	7	6	10	6	10	13	4	9	3	3	7	3	1	7	8	8	3	8	588
6	7	3	6	10	11	1	6	5	9	6	11	2	3	5	5	6	8	6	7	1	6	5	11	7	20	365
2	4	2	1		1		1	3	2	1	2	1	2	2		2		1	1	1		3	1		3	105
11	7	1	1	5	3		3	3	2	2	1	2	2	3	5	4	5	6	8	6	9	8	11	5	11	302
8	5	8	9	9	2	4	2	1	7		2	3	3	2	3	5	1	2	9	6	7	22	9	9	6	372
139	114	96	81	82	70	16	46	39	53	53	41	53	53	40	41	45	38	56	57	44	69	106	82	72	93	4,428

7月					8月				9月					10月				11月				12月				平均
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
0.57	0.87	0.17	0.17	0.30	0.22		0.09	0.04	0.09	0.04	0.13		0.04	0.09	0.04	0.04	0.04	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.26	0.22	0.30	0.23
0.24	0.24	0.18	0.06	0.06	0.18	0.12	0.12	0.18	0.12	0.18	0.12	0.06			0.12	0.18		0.29	0.12	0.12	0.12	0.24		0.06	0.12	0.23
0.68	0.24	0.36	0.44	0.24	0.32	0.04	0.16	0.20	0.16	0.20		0.16	0.48	0.36	0.24	0.28	0.20	0.16	0.08	0.20	0.40	0.40	0.44	0.44	0.40	0.44
1.26	1.58	1.37	1.11	1.11	0.74	0.21	0.63	0.32	0.63	0.68	0.47	0.84	0.53	0.37	0.26	0.58	0.63	0.84	0.84	0.90	0.53	1.05	0.47	0.37	0.74	0.73
0.69	0.50	0.56	0.56	0.44	0.38		0.31	0.13	0.13	0.50	0.06	0.44	0.06	0.06	0.19		0.13	0.19	0.25	0.06	0.69	0.81	0.75	0.75	0.50	0.69
1.05	0.84	1.00	0.42	0.11	0.16	0.11		0.16	0.26	0.21	0.21	0.37	0.32	0.26	0.11	0.16	0.05	0.21	0.16	0.11	0.26	0.58	0.21	0.63	0.21	0.35
1.10	0.33	0.57	0.48	0.67	0.67	0.10	0.43	0.33	0.29	0.48	0.29	0.48	0.62	0.19	0.43	0.14	0.14	0.33	0.14	0.05	0.33	0.38	0.38	0.14	0.38	0.54
0.43	0.50	0.21	0.43	0.71	0.79	0.07	0.43	0.36	0.64	0.43	0.79	0.14	0.21	0.36	0.36	0.43	0.57	0.43	0.50	0.07	0.43	0.36	0.79	0.50	1.43	0.50
0.20	0.40	0.20	0.10		0.10		0.10	0.30	0.20	0.10	0.20	0.10	0.20	0.20		0.20		0.10	0.10	0.10		0.30	0.10		0.30	0.20
0.73	0.47	0.07	0.07	0.33	0.20		0.20	0.20	0.13	0.13	0.07	0.13	0.13	0.20	0.33	0.27	0.33	0.40	0.53	0.40	0.60	0.57	0.79	0.36	0.79	0.39
0.44	0.28	0.44	0.50	0.50	0.11	0.22	0.11	0.06	0.39		0.11	0.17	0.17	0.11	0.17	0.28	0.06	0.11	0.50	0.33	0.39	1.22	0.50	0.50	0.33	0.40
0.71	0.58	0.49	0.41	0.42	0.36	0.08	0.23	0.20	0.27	0.27	0.21	0.27	0.27	0.20	0.21	0.23	0.19	0.28	0.29	0.22	0.35	0.54	0.42	0.37	0.47	0.43

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
		1		2	1	1			1		1	1				2	2						1	1	1	33
9	15	9	5	5	3	2	3	2	1	2	2	2	1	2	1	2	2	6	2		1	6	7		8	302
49	39	35	23	24	17	7	9	8	8	14	8	11	17	10	11	13	9	16	14	13	26	25	19	19	22	1,235
22	15	20	14	10	17	2	10	7	12	10	4	7	5	8	5	2	6	6	13	8	10	20	18	13	17	692
13	14	11	13	9	7	2	4	6	14	4	5	8	2	4	6	2	4	3	4	6	9	12	5	8	8	507
19	12	8	8	11	7		8		3	6	6	9	8	2	6	2	3	4	7	3	2	10	5	8	5	423
13	6	5	5	8	6		4	4	3	7	2	7	9	4	4	9	2	4	6	5	7	7	4	6	8	379
3	5	6	2	2	3	1	3	4	2	5	5	2	3	4	3	4	2	5	2	1	6	7	8		3	259
7	1		1	1	2		2	1	2			2	1	2	1		2	3		1	2	3	3	3	3	153
	1	1	3	6	1			2	1	3		1	1	1	1	2			2			5	2	4		94
1	2		1		1							1	2			3	1	1	2	1		1	1		2	69
1	2		2	2	3	1	3	5	4	2	3	1	2	1	2	1	2	4	3	3	4	4	5	4	11	164
	1			1	1				1		1		2	1				1	2	1		2				24
2	1		4	1	1				1		4	1		1	1	3	3	3		2	2	4	4	6	5	94
139	114	96	81	82	70	16	46	39	53	53	41	53	53	40	41	45	38	56	57	44	69	106	82	72	93	4,428

[各感染症データ]

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

1）ブロック別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	22	45	55	45	57	37	40	43	53	59	56	50	37	34	27	48	53	23	45	78	60	58	76	52	54	57
三 島	8	31	40	48	37	66	24	31	19	32	29	23	21	12	22	26	19	14	23	47	37	41	45	29	39	30
北河内	54	72	111	140	125	133	102	111	94	101	101	100	98	78	94	133	144	93	103	143	147	173	168	134	134	118
中河内	30	40	57	60	64	77	51	55	47	49	62	65	45	57	66	70	97	37	45	68	84	58	74	84	81	40
南河内	33	63	63	58	87	85	62	35	49	76	47	53	49	42	34	74	81	40	74	107	87	84	98	109	73	71
堺 市	14	42	70	87	101	104	64	88	81	108	115	72	53	93	69	78	116	72	77	122	115	94	117	105	82	93
泉 州	51	75	88	107	115	83	61	69	67	86	74	78	63	56	65	65	82	43	55	100	75	69	85	61	69	67
大阪市北部	18	32	28	45	47	50	40	42	30	44	34	36	25	24	19	34	23	26	19	33	39	46	40	48	41	31
大阪市西部	26	30	43	38	40	40	39	27	28	27	17	25	17	15	13	14	18	27	22	27	26	24	25	30	30	41
大阪市東部	17	37	59	51	44	56	33	44	54	49	45	35	30	15	41	34	56	16	20	33	45	46	43	39	32	55
大阪市南部	30	45	101	79	97	120	53	55	95	78	78	72	63	69	56	115	90	61	88	137	114	106	102	105	88	84
合 計	303	512	715	758	814	851	569	600	617	709	658	609	501	495	506	691	779	452	571	895	829	799	873	796	723	687

2）ブロック別・週別定点あたり報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	0.96	1.96	2.39	1.96	2.48	1.61	1.74	1.87	2.30	2.57	2.44	2.17	1.61	1.55	1.23	2.18	2.41	1.05	2.05	3.55	2.73	2.64	3.46	2.36	2.46	2.48
三 島	0.50	1.94	2.50	3.00	2.31	3.88	1.41	1.82	1.12	1.88	1.71	1.35	1.24	0.75	1.38	1.63	1.19	0.88	1.44	2.94	2.31	2.56	2.65	1.71	2.29	1.77
北河内	2.16	2.88	4.44	5.60	5.00	5.32	4.08	4.44	3.76	4.04	4.04	4.00	3.92	3.12	3.76	5.32	5.76	3.72	4.12	5.72	5.88	6.92	6.72	5.36	5.36	4.72
中河内	1.50	2.00	2.85	3.00	3.20	3.85	2.55	2.75	2.35	2.45	3.10	3.25	2.25	2.85	3.30	3.50	4.85	1.95	2.37	3.58	4.42	3.05	3.90	4.42	4.26	2.11
南河内	2.06	3.94	3.94	3.63	5.44	5.31	3.88	2.19	3.06	4.75	2.94	3.31	3.06	2.63	2.13	4.63	5.06	2.50	4.63	6.69	5.44	5.25	6.13	6.81	4.56	4.44
堺 市	0.74	2.21	3.68	4.58	5.32	5.47	3.37	4.63	4.26	5.68	6.05	3.79	2.79	4.90	3.63	4.11	6.11	3.79	4.05	6.42	6.05	4.95	6.16	5.53	4.32	4.90
泉 州	2.43	3.57	4.19	5.10	5.48	3.95	2.91	3.29	3.19	4.10	3.52	3.71	3.00	2.67	3.10	3.10	3.91	2.05	2.62	4.76	3.57	3.29	4.05	2.91	3.29	3.19
大阪市北部	1.29	2.29	2.00	3.21	3.36	3.57	2.86	3.00	2.14	3.14	2.43	2.57	1.79	1.71	1.36	2.43	1.64	1.86	1.36	2.36	2.79	3.29	2.86	3.43	2.93	2.21
大阪市西部	2.60	3.00	4.30	3.80	4.00	4.00	3.90	2.70	2.80	2.70	1.70	2.50	1.70	1.50	1.30	1.40	1.80	2.70	2.20	2.70	2.60	2.40	2.50	3.00	3.00	4.10
大阪市東部	1.13	2.47	3.93	3.40	2.93	3.73	2.20	2.93	3.60	3.27	3.00	2.33	2.00	1.00	2.73	2.27	3.73	1.07	1.33	2.20	3.00	3.07	2.87	2.60	2.13	3.67
大阪市南部	1.67	2.50	5.61	4.39	5.39	6.67	2.94	3.06	5.28	4.33	4.33	4.00	3.50	3.83	3.11	6.39	5.00	3.39	4.89	7.61	6.33	5.89	5.67	5.83	4.89	4.67
合 計	1.54	2.60	3.63	3.85	4.13	4.30	2.87	3.03	3.12	3.58	3.32	3.08	2.53	2.53	2.58	3.53	3.97	2.32	2.93	4.59	4.25	4.10	4.45	4.06	3.69	3.49

3）年齢別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
年 齢	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
－5ヶ月	1				2	1	1	3				1								1	1		1		1	1
－11ヶ月	6	2	1	3	1		3	3	2	3	5		2	3	4	5	5	5	3	8	10	4	3	8	4	5
1歳	12	18	21	18	10	30	19	16	20	18	22	23	22	23	38	36	45	24	28	37	32	34	37	25	34	18
2	16	29	39	30	46	46	20	33	39	39	42	41	31	42	49	39	40	31	35	38	48	43	47	52	42	37
3	25	43	55	71	75	75	32	69	66	54	56	68	44	63	51	64	87	49	73	102	83	67	89	74	80	65
4	24	50	65	95	89	96	70	74	70	82	85	66	75	57	68	97	93	65	54	100	110	96	99	98	82	73
5	31	51	106	102	103	90	69	78	76	96	100	70	68	73	62	83	87	41	64	107	98	99	104	94	91	93
6	33	60	91	103	106	107	71	67	78	99	78	69	61	54	50	92	83	43	59	111	91	99	104	90	69	85
7	31	44	74	79	83	106	74	53	57	72	82	58	40	43	37	57	90	37	58	91	87	78	100	81	76	69
8	21	47	61	66	82	79	53	58	51	64	61	45	38	42	25	60	56	30	47	68	70	56	85	63	65	64
9	27	42	46	63	63	47	46	41	38	48	39	41	25	26	30	48	54	33	28	62	47	50	70	50	38	38
10－14	44	71	94	89	106	131	81	76	87	94	64	87	60	46	59	69	104	50	84	117	103	124	89	108	83	88
15－19	8	16	18	16	13	17	12	5	10	9	4	9	4	7	6	9	10	11	9	12	14	10	5	16	20	15
20－	24	39	44	23	35	26	18	24	23	31	20	31	31	16	27	32	25	33	29	41	35	39	40	37	38	36
合 計	303	512	715	758	814	851	569	600	617	709	658	609	501	495	506	691	779	452	571	895	829	799	873	796	723	687

報告数が0の場合には空白としている

[各感染症データ]

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
53	46	34	27	21	17	24	12	16	29	30	22	27	27	23	17	37	16	23	27	25	23	31	37	39	29	1,976
27	27	27	18	14	22	10	8	11	9	21	20	13	19	13	10	10	16	15	18	16	11	17	22	25	19	1,231
97	99	53	52	56	33	21	44	44	48	70	58	60	58	78	61	48	65	33	51	50	60	55	72	75	54	4,499
52	53	37	39	35	31	11	18	38	40	42	25	29	27	20	14	17	14	15	19	19	31	33	29	21	24	2,296
57	36	66	39	28	42	22	21	18	33	32	31	18	33	21	17	23	25	24	21	11	27	27	29	22	20	2,477
73	77	65	52	61	43	12	49	47	48	47	35	24	50	49	47	52	42	24	39	33	35	40	43	50	31	3,400
56	55	39	39	38	29	15	18	29	41	40	28	25	39	31	25	46	33	24	37	21	35	37	40	38	28	2,795
26	27	10	21	12	29	8	17	19	20	20	20	20	25	11	13	16	22	10	18	13	22	14	20	15	19	1,361
19	23	22	19	11	12	5	10	11	15	13	18	10	16	8	12	10	6	14	22	12	12	5	7	12	7	1,040
48	30	28	26	31	17	8	28	41	25	26	21	26	27	21	20	21	23	25	21	20	23	16	19	15	22	1,657
89	84	55	77	48	44	24	47	36	48	52	61	26	42	51	35	56	42	36	52	39	35	52	53	38	69	3,472
597	557	436	409	355	319	160	272	310	356	393	339	278	363	326	271	336	304	243	325	259	314	327	371	350	322	26,204

7月					8月				9月					10月				11月				12月				平均
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
2.30	2.00	1.48	1.17	0.91	0.74	1.04	0.52	0.70	1.26	1.30	0.96	1.17	1.17	1.00	0.74	1.61	0.70	1.00	1.17	1.09	1.00	1.35	1.61	1.70	1.26	1.68
1.59	1.59	1.59	1.06	0.82	1.29	0.59	0.47	0.65	0.53	1.24	1.18	0.77	1.12	0.77	0.59	0.59	0.94	0.88	1.06	0.94	0.65	1.00	1.29	1.47	1.12	1.42
3.88	3.96	2.12	2.08	2.24	1.32	0.84	1.76	1.76	1.92	2.80	2.32	2.40	2.32	3.12	2.44	1.92	2.60	1.32	2.04	2.00	2.40	2.20	2.88	3.00	2.16	3.46
2.74	2.79	1.95	2.05	1.84	1.63	0.58	0.95	2.00	2.11	2.21	1.32	1.53	1.42	1.05	0.74	0.90	0.74	0.79	1.00	1.00	1.63	1.74	1.53	1.11	1.26	2.27
3.56	2.25	4.13	2.44	1.75	2.63	1.38	1.31	1.13	2.06	2.00	1.94	1.13	2.06	1.31	1.06	1.44	1.56	1.50	1.31	0.69	1.69	1.69	1.81	1.38	1.25	2.98
3.84	4.05	3.42	2.74	3.21	2.26	0.63	2.58	2.47	2.53	2.47	1.84	1.26	2.63	2.58	2.47	2.74	2.21	1.26	2.05	1.74	1.84	2.11	2.26	2.63	1.63	3.44
2.67	2.62	1.86	1.86	1.81	1.38	0.71	0.86	1.38	1.95	1.91	1.33	1.19	1.86	1.48	1.19	2.19	1.57	1.14	1.76	1.00	1.67	1.76	1.91	1.81	1.33	2.56
1.86	1.93	0.71	1.50	0.86	2.07	0.57	1.21	1.36	1.43	1.43	1.43	1.43	1.79	0.79	0.93	1.14	1.57	0.71	1.29	0.93	1.57	1.00	1.43	1.07	1.36	1.87
1.90	2.30	2.20	1.90	1.10	1.20	0.50	1.00	1.10	1.50	1.30	1.80	1.00	1.60	0.80	1.20	1.00	0.60	1.40	2.20	1.20	1.20	0.50	0.70	1.20	0.70	2.00
3.20	2.00	1.87	1.73	2.07	1.13	0.53	1.87	2.73	1.67	1.73	1.40	1.73	1.80	1.40	1.33	1.40	1.53	1.67	1.40	1.33	1.53	1.14	1.36	1.07	1.57	2.13
4.94	4.67	3.06	4.28	2.67	2.44	1.33	2.61	2.00	2.67	2.89	3.39	1.44	2.33	2.83	1.94	3.11	2.33	2.00	2.89	2.17	1.94	2.89	2.94	2.11	3.83	3.71
3.03	2.83	2.21	2.08	1.80	1.62	0.81	1.38	1.57	1.81	1.99	1.72	1.41	1.84	1.65	1.38	1.71	1.54	1.23	1.65	1.31	1.59	1.67	1.89	1.79	1.64	2.56

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
			2	1										1								1				19
	5	5	6	6	3	1		2	4	2	4	4	4		1	2	1	2	2		3	1	2	1	1	160
29	18	25	15	19	19	2	9	15	10	14	8	10	13	7	7	17	7	4	7	3	5	10	10	5	7	955
30	26	33	24	22	16	6	16	17	21	20	17	14	19	12	15	17	9	11	4	16	10	15	17	18	16	1,435
55	61	44	44	34	44	18	20	30	35	36	25	22	29	26	29	20	14	21	24	22	26	19	31	32	26	2,467
73	66	56	54	48	41	21	33	40	46	50	32	36	33	30	24	39	40	25	33	25	46	33	41	44	40	3,082
69	72	60	51	41	40	16	36	37	43	45	40	35	48	48	25	32	40	29	49	26	30	39	49	41	40	3,217
77	66	50	52	34	32	17	29	33	42	51	37	37	38	38	32	30	35	23	35	29	36	42	30	30	32	3,040
53	54	49	32	26	31	16	32	28	35	34	31	11	37	33	26	33	37	27	27	23	38	23	30	34	19	2,576
46	33	19	33	32	18	8	26	18	19	29	26	20	27	26	27	29	27	15	35	23	30	38	44	25	27	2,157
32	33	14	23	14	16	13	13	15	24	20	23	21	26	33	20	23	19	17	25	25	27	27	27	26	18	1,714
86	82	54	39	51	37	27	38	45	48	54	56	41	58	43	44	55	46	43	60	39	43	46	62	55	52	3,512
8	14	6	5	5	4	2	8	5	4	9	14	8	13	9	3	7	8	8	7	10	8	7	7	5	10	479
39	27	21	29	22	18	13	12	25	25	29	26	19	18	20	18	32	21	18	17	18	12	26	21	34	34	1,391
597	557	436	409	355	319	160	272	310	356	393	339	278	363	326	271	336	304	243	325	259	314	327	371	350	322	26,204

[各感染症データ]

感染性胃腸炎

1）ブロック別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊　能	34	88	120	151	168	150	101	107	100	117	104	93	87	100	104	90	99	35	87	119	150	142	164	136	107	130
三　島	40	79	95	144	142	139	131	138	138	137	139	139	88	81	87	106	137	57	97	127	143	110	118	103	84	70
北河内	92	148	181	218	196	180	178	179	153	202	176	153	136	111	141	120	149	98	134	171	162	157	147	151	130	115
中河内	71	102	161	180	177	154	141	109	138	123	161	115	107	129	117	130	128	67	101	123	126	117	89	86	93	100
南河内	52	91	201	217	252	187	149	125	130	110	118	85	108	85	88	86	93	57	93	136	128	148	139	122	95	95
堺　市	25	93	157	188	150	171	124	113	106	95	89	95	68	75	63	81	126	69	109	133	112	109	87	85	86	70
泉　州	55	96	147	169	198	145	90	106	120	149	138	113	107	55	84	119	134	67	106	96	127	131	141	108	105	111
大阪市北部	39	73	124	98	87	111	83	92	84	91	77	83	78	65	69	72	64	59	50	62	67	49	34	47	38	50
大阪市西部	19	39	64	61	86	43	34	39	42	53	50	41	38	25	50	43	38	31	40	25	22	17	22	39	27	22
大阪市東部	11	31	42	30	54	31	24	26	35	27	27	20	23	20	34	36	29	10	19	40	35	19	21	27	22	28
大阪市南部	50	77	140	86	128	135	108	85	133	124	118	68	88	60	71	115	110	68	84	92	107	117	129	100	79	76
合　計	488	917	1,432	1,542	1,638	1,446	1,163	1,119	1,179	1,228	1,197	1,005	928	806	908	998	1,107	618	920	1,124	1,179	1,116	1,091	1,004	866	867

2）ブロック別・週別定点あたり報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊　能	1.48	3.83	5.22	6.57	7.30	6.52	4.39	4.65	4.35	5.09	4.52	4.04	3.78	4.55	4.73	4.09	4.50	1.59	3.96	5.41	6.82	6.46	7.46	6.18	4.86	5.65
三　島	2.50	4.94	5.94	9.00	8.88	8.18	7.71	8.12	8.12	8.06	8.18	8.18	5.18	5.06	5.44	6.63	8.56	3.56	6.06	7.94	8.94	6.88	6.94	6.06	4.94	4.12
北河内	3.68	5.92	7.24	8.72	7.84	7.20	7.12	7.16	6.12	8.08	7.04	6.12	5.44	4.44	5.64	4.80	5.96	3.92	5.36	6.84	6.48	6.28	5.88	6.04	5.20	4.60
中河内	3.55	5.10	8.05	9.00	8.85	7.70	7.05	5.45	6.90	6.15	8.05	5.75	5.35	6.45	5.85	6.50	6.40	3.53	5.32	6.47	6.63	6.16	4.68	4.53	4.90	5.26
南河内	3.25	5.69	12.56	13.56	15.75	11.69	9.31	7.81	8.13	6.88	7.38	5.31	6.75	5.31	5.50	5.38	5.81	3.56	5.81	8.50	8.00	9.25	8.69	7.63	5.94	5.94
堺　市	1.32	4.90	8.26	9.90	7.90	9.00	6.53	5.95	5.58	5.00	4.68	5.00	3.58	3.95	3.32	4.26	6.63	3.63	5.74	7.00	5.90	5.74	4.58	4.47	4.53	3.68
泉　州	2.62	4.57	7.00	8.05	9.43	6.91	4.29	5.05	5.71	7.10	6.57	5.38	5.10	2.62	4.00	5.67	6.38	3.19	5.05	4.57	6.05	6.24	6.71	5.14	5.00	5.29
大阪市北部	2.79	5.21	8.86	7.00	6.21	7.93	5.93	6.57	6.00	6.50	5.50	5.93	5.57	4.64	4.93	5.14	4.57	4.21	3.57	4.43	4.79	3.50	2.43	3.36	2.71	3.57
大阪市西部	1.90	3.90	6.40	6.10	8.60	4.30	3.40	3.90	4.20	5.30	5.00	4.10	3.80	2.50	5.00	4.30	3.80	3.10	4.00	2.50	2.20	1.70	2.20	3.90	2.70	2.20
大阪市東部	0.73	2.07	2.80	2.00	3.60	2.07	1.60	1.73	2.33	1.80	1.80	1.33	1.53	1.33	2.27	2.40	1.93	0.67	1.27	2.67	2.33	1.27	1.40	1.80	1.47	1.87
大阪市南部	2.78	4.28	7.78	4.78	7.11	7.50	6.00	4.72	7.39	6.89	6.56	3.78	4.89	3.33	3.94	6.39	6.11	3.78	4.67	5.11	5.94	6.50	7.17	5.56	4.39	4.22
合　計	2.48	4.65	7.27	7.83	8.31	7.30	5.87	5.65	5.95	6.20	6.05	5.08	4.69	4.11	4.63	5.09	5.65	3.17	4.72	5.76	6.05	5.72	5.57	5.12	4.42	4.40

3）年齢別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
年　齢	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
－5ヶ月	7	12	23	12	14	20	11	9	11	12	6	14	12	17	10	18	24	12	20	13	13	18	13	8	14	10
－11ヶ月	33	64	79	87	81	71	65	55	60	69	75	47	58	45	63	85	60	40	63	75	83	71	68	52	69	61
1歳	81	127	211	213	205	195	140	118	112	142	114	123	86	86	131	125	131	76	91	139	139	139	140	111	109	113
2	59	121	179	175	186	180	141	124	122	135	104	94	100	92	89	79	110	51	73	81	115	107	99	95	70	82
3	52	90	133	134	159	119	119	107	101	100	102	90	102	75	79	93	110	56	72	106	105	92	92	102	82	74
4	36	81	146	158	163	130	108	93	108	104	109	102	80	58	76	97	99	69	61	108	86	97	96	98	75	75
5	21	67	110	144	148	123	104	100	103	119	128	76	90	59	91	84	111	51	63	109	108	102	93	72	68	88
6	28	57	88	133	145	118	76	92	100	100	111	90	65	62	56	51	88	47	71	80	82	73	72	73	74	57
7	21	36	89	85	87	94	68	63	75	72	80	68	57	56	56	71	82	28	60	78	96	71	98	70	55	45
8	25	43	63	80	86	75	65	70	73	81	64	61	45	43	42	79	66	37	67	69	79	64	71	64	59	50
9	12	49	69	58	75	58	42	59	54	57	65	34	44	38	40	37	41	20	54	62	53	68	54	58	24	37
10－14	51	92	127	133	148	134	116	126	136	139	128	115	87	90	91	89	103	60	118	129	144	145	104	119	84	97
15－19	11	12	25	25	32	26	28	17	28	20	19	14	21	21	16	19	15	12	15	19	14	7	14	24	15	17
20－	51	66	90	105	109	103	80	86	96	78	92	77	81	64	68	71	67	59	92	56	62	62	77	58	68	61
合　計	488	917	1,432	1,542	1,638	1,446	1,163	1,119	1,179	1,228	1,197	1,005	928	806	908	998	1,107	618	920	1,124	1,179	1,116	1,091	1,004	866	867

報告数が0の場合には空白としている

[各感染症データ]

感染性胃腸炎

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
112	109	85	77	91	58	45	54	63	87	63	47	55	61	40	54	67	81	80	78	72	111	131	113	136	104	4,957
75	61	55	61	47	59	19	33	45	49	37	44	36	42	49	40	58	48	37	64	56	72	73	95	80	108	4,312
131	125	124	86	83	74	36	96	100	110	91	71	64	80	67	85	98	92	65	92	77	105	122	104	130	122	6,408
77	79	80	75	82	64	19	63	82	63	75	81	50	77	75	64	69	68	73	87	69	113	100	89	104	117	5,140
95	87	53	69	55	49	24	65	59	54	69	68	59	64	77	75	84	100	64	87	75	78	127	151	141	139	5,258
43	52	47	41	31	46	9	41	47	55	47	57	41	47	72	43	43	82	53	64	80	89	104	123	95	95	4,226
79	58	47	54	60	52	28	61	54	73	79	51	75	98	52	49	61	87	62	82	79	99	124	117	95	94	4,887
35	36	28	29	27	33	19	35	24	17	29	24	26	25	28	32	22	24	23	17	55	42	51	31	41	46	2,645
26	18	16	19	14	20	22	16	22	30	20	21	21	20	41	24	41	24	21	33	43	43	53	58	65	46	1,787
35	21	16	18	27	14	6	13	16	21	26	14	15	12	28	17	17	11	17	21	7	16	27	37	13	25	1,211
72	69	67	92	71	56	15	38	57	63	67	62	51	54	50	54	50	47	37	53	97	78	103	122	91	107	4,271
780	715	618	621	588	525	242	515	569	622	603	540	493	580	579	537	610	664	532	678	710	846	1,015	1,040	991	1,003	45,102

7月					8月				9月					10月				11月				12月				平均
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
4.87	4.74	3.70	3.35	3.96	2.52	1.96	2.35	2.74	3.78	2.74	2.04	2.39	2.65	1.74	2.35	2.91	3.52	3.48	3.39	3.13	4.83	5.70	4.91	5.91	4.52	4.20
4.41	3.59	3.24	3.59	2.77	3.47	1.12	1.94	2.65	2.88	2.18	2.59	2.12	2.47	2.88	2.35	3.41	2.82	2.18	3.77	3.29	4.24	4.29	5.59	4.71	6.35	4.98
5.24	5.00	4.96	3.44	3.32	2.96	1.44	3.84	4.00	4.40	3.64	2.84	2.56	3.20	2.68	3.40	3.92	3.68	2.60	3.68	3.08	4.20	4.88	4.16	5.20	4.88	4.93
4.05	4.16	4.21	3.95	4.32	3.37	1.00	3.32	4.32	3.32	3.95	4.26	2.63	4.05	3.95	3.37	3.63	3.58	3.84	4.58	3.63	5.95	5.26	4.68	5.47	6.16	5.09
5.94	5.44	3.31	4.31	3.44	3.06	1.50	4.06	3.69	3.38	4.31	4.25	3.69	4.00	4.81	4.69	5.25	6.25	4.00	5.44	4.69	4.88	7.94	9.44	8.81	8.69	6.32
2.26	2.74	2.47	2.16	1.63	2.42	0.47	2.16	2.47	2.90	2.47	3.00	2.16	2.47	3.79	2.26	2.26	4.32	2.79	3.37	4.21	4.68	5.47	6.47	5.00	5.00	4.28
3.76	2.76	2.24	2.57	2.86	2.48	1.33	2.91	2.57	3.48	3.76	2.43	3.57	4.67	2.48	2.33	2.91	4.14	2.95	3.91	3.76	4.71	5.91	5.57	4.52	4.48	4.48
2.50	2.57	2.00	2.07	1.93	2.36	1.36	2.50	1.71	1.21	2.07	1.71	1.86	1.79	2.00	2.29	1.57	1.71	1.64	1.21	3.93	3.00	3.64	2.21	2.93	3.29	3.63
2.60	1.80	1.60	1.90	1.40	2.00	2.20	1.60	2.20	3.00	2.00	2.10	2.10	2.00	4.10	2.40	4.10	2.40	2.10	3.30	4.30	4.30	5.30	5.80	6.50	4.60	3.44
2.33	1.40	1.07	1.20	1.80	0.93	0.40	0.87	1.07	1.40	1.73	0.93	1.00	0.80	1.87	1.13	1.13	0.73	1.13	1.40	0.47	1.07	1.93	2.64	0.93	1.79	1.56
4.00	3.83	3.72	5.11	3.94	3.11	0.83	2.11	3.17	3.50	3.72	3.44	2.83	3.00	2.78	3.00	2.78	2.61	2.06	2.94	5.39	4.33	5.72	6.78	5.06	5.94	4.56
3.96	3.63	3.14	3.15	2.98	2.66	1.23	2.61	2.89	3.16	3.06	2.74	2.50	2.94	2.94	2.73	3.10	3.37	2.70	3.44	3.60	4.29	5.18	5.31	5.06	5.12	4.41

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
9	10	7	9	11	5	5	6	8	9	8	10	10	7	14	6	11	7	10	9	12	8	17	15	10	17	603
55	60	47	54	57	37	25	51	50	49	51	46	42	45	40	34	41	48	36	54	50	55	52	57	55	67	2,937
102	140	112	82	90	97	32	73	108	127	90	86	65	71	81	85	82	89	75	93	91	110	130	128	130	127	5,893
78	68	62	75	71	63	24	52	70	64	71	62	55	63	80	58	58	83	66	81	89	94	109	128	117	117	4,821
71	65	57	51	61	47	11	53	54	61	63	49	48	47	59	46	46	68	52	91	69	89	119	109	97	120	4,249
70	55	57	59	36	45	12	28	46	34	50	43	44	37	46	51	62	58	44	58	63	81	99	92	97	81	3,961
48	42	43	56	36	41	21	24	33	41	35	33	35	44	48	34	56	57	37	45	71	81	96	88	68	89	3,734
47	40	39	47	27	32	12	36	34	35	25	37	31	29	34	31	41	52	33	39	42	71	61	70	69	81	3,184
49	43	36	24	26	23	17	22	19	31	22	18	18	34	29	31	28	30	20	35	37	40	57	53	66	65	2,634
43	38	36	22	25	25	5	24	23	23	28	25	15	35	25	27	25	16	19	33	38	32	49	69	73	40	2,434
40	32	23	24	25	18	14	22	26	26	35	22	11	26	27	27	24	29	15	28	23	41	51	50	40	30	1,991
104	78	57	66	55	44	28	56	60	63	73	62	60	80	62	66	75	58	71	70	75	81	108	130	111	94	4,792
16	10	8	8	12	14	5	14	17	20	19	9	13	22	8	9	17	13	12	9	10	17	16	18	16	12	830
48	34	34	44	56	34	31	54	21	39	33	38	46	40	26	32	44	56	42	33	40	46	51	33	42	63	3,039
780	715	618	621	588	525	242	515	569	622	603	540	493	580	579	537	610	664	532	678	710	846	1,015	1,040	991	1,003	45,102

[各感染症データ]

水痘

1）ブロック別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	5	3	1	1	3	2	3	6	6	7	6	7	5	2	3	6	3	2	10	5	3	5	5	18	11	8
三 島	2	2	5	1	2	6	5	3	3	1	2	5	2	1	3	1	4	1	2	5	4	7	1	1		7
北河内	2	2	5	3	1	1		1	2	4		2	3	3	13	5	5	2	8	10	16	17	10	23	6	5
中河内	1	2	1	2	2	2	4	1	2	2	1	2	4		4			2	4	1	3	19	4	9	7	5
南河内	4	2	2	4	6	3	2	2	2	5	4	1	1	3	4	5	5	2	2	9	4	7	4	6	6	2
堺 市	4	4	1	3	2	3			5	1	4	4	2	1		2	4		6	3	7	6	4		2	
泉 州	3	4	8	3	2	4	2	1	1	2		4	6		6	1	3	1	8	2	2	8	4	3	4	4
大阪市北部	4	4	3	3	5		1	1	2			1	2	1		5	3	2	1		1			1	1	2
大阪市西部	3	4	1		1	2			2	1	1	1		1	3			4	3			2			1	2
大阪市東部	1	2	3	3	1	2				1					1		1		1			2	2	1	1	1
大阪市南部	1	1	1	4	2	3	1	1		2		1	2		2			1	1	2	1					
合 計	30	30	31	27	27	28	18	16	25	26	18	28	27	12	39	25	28	17	46	37	41	73	34	62	39	36

2）ブロック別・週別定点あたり報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	0.22	0.13	0.04	0.04	0.13	0.09	0.13	0.26	0.26	0.30	0.26	0.30	0.22	0.09	0.14	0.27	0.14	0.09	0.46	0.23	0.14	0.23	0.23	0.82	0.50	0.35
三 島	0.13	0.13	0.31	0.06	0.13	0.35	0.29	0.18	0.18	0.06	0.12	0.29	0.12	0.06	0.19	0.06	0.25	0.06	0.13	0.31	0.25	0.44	0.06	0.06		0.41
北河内	0.08	0.08	0.20	0.12	0.04	0.04		0.04	0.08	0.16		0.08	0.12	0.12	0.52	0.20	0.20	0.08	0.32	0.40	0.64	0.68	0.40	0.92	0.24	0.20
中河内	0.05	0.10	0.05	0.10	0.10	0.10	0.20	0.05	0.10	0.10	0.05	0.10	0.20		0.20			0.11	0.21	0.05	0.16	1.00	0.21	0.47	0.37	0.26
南河内	0.25	0.13	0.13	0.25	0.38	0.19	0.13	0.13	0.13	0.31	0.25	0.06	0.06	0.19	0.25	0.31	0.31	0.13	0.13	0.56	0.25	0.44	0.25	0.38	0.38	0.13
堺 市	0.21	0.21	0.05	0.16	0.11	0.16			0.26	0.05	0.21	0.21	0.11	0.05		0.11	0.21		0.32	0.16	0.37	0.32	0.21		0.11	
泉 州	0.14	0.19	0.38	0.14	0.10	0.19	0.10	0.05	0.05	0.10		0.19	0.29		0.29	0.05	0.14	0.05	0.38	0.10	0.10	0.38	0.19	0.14	0.19	0.19
大阪市北部	0.29	0.29	0.21	0.21	0.36		0.07	0.07	0.14			0.07	0.14	0.07		0.36	0.21	0.14	0.07		0.07			0.07	0.07	0.14
大阪市西部	0.30	0.40	0.10		0.10	0.20			0.20	0.10	0.10	0.10		0.10	0.30			0.40	0.30			0.20			0.10	0.20
大阪市東部	0.07	0.13	0.20	0.20	0.07	0.13				0.07					0.07		0.07		0.07			0.13	0.13	0.07	0.07	0.07
大阪市南部	0.06	0.06	0.06	0.22	0.11	0.17	0.06	0.06		0.11		0.06	0.11		0.11			0.06	0.06	0.11	0.06					
合 計	0.15	0.15	0.16	0.14	0.14	0.14	0.09	0.08	0.13	0.13	0.09	0.14	0.14	0.06	0.20	0.13	0.14	0.09	0.24	0.19	0.21	0.37	0.17	0.32	0.20	0.18

3）年齢別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
年 齢	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
－5ヶ月		2						1			1	1			1									1	1	
－11ヶ月	1	2	1		1		1	1				2					1		1	1	2	1	2	2		2
1歳			3	5	2	3		1		1	1		4	3	1		3	2	3	2	2	2			3	
2	3			3	5	2	1					2	1	1	2	1	2	1	3	4		3	2	1	2	
3	2	1	2	1	2	2			1	1			1	1	3				2	4	2	10	1	1		
4	1	5		1	3		1		2	1			2		2	2	4			2		2	3	2		
5	3	2	3	2	2	2				1	1	2	1		3	4	1	1	6	3	3	3	3	2	1	1
6	2	2	5	4		2	5		1	8	2	3			6	1	3	2	7	3	4	6	2	5	8	2
7	1	4	4	2	5	3	2		3	2	1	2	5	1	4	8	2	2	5	3	3	11	3	9	3	8
8	3	3	3	3	5	6	1		4	4	3	4	3	2	5	2	4	2	6	2	8	7	3	10	6	3
9	2	3	3			2	2	5	3	1	3	2	4	4	6	1	1	1	3	4	6	9	4	6	5	7
10－14	11	6	7	6	2	5	5	5	10	5	6	10	6		3	6	6	6	7	9	11	15	10	21	6	13
15－19								1	1								1		2			2	1	1	2	
20－	1					1		2		2					3				1			2		1	2	
合 計	30	30	31	27	27	28	18	16	25	26	18	28	27	12	39	25	28	17	46	37	41	73	34	62	39	36

報告数が0の場合には空白としている

[各感染症データ]

水痘

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
28	7	13	8	11	6	4	2	4	3	3	2	3	9	5	5	16	3	2	1	8	4	5	5	2	5	300
6	7	6	4	6	9	3	2	1	4	1	2		1		1	3	2	6	5	1		2	2			150
10	3	4	9	8	1	11	5		4	1		1	4	4	3	4	1	6	2	4	7	4	3	10		258
9	8	3	3	6	5	1	4	4	7	7	1	5	4	2	3	1	6	3	6	4	7	8	7	5	6	209
4	3	3	3	3		2		1	1	1	4	1	1	1	1	1		6	5	5	1	3	3	4	6	160
1	4			3	2	1	1	4	1			5	1	2	3	4	7	2	5	1	9	9	18	7	14	172
1	1	1	9	2	4		3	6	6	4	10	3	2	6	2	4		2	4		4	1	5	3	9	178
	1	1		1	2	2	1	2		1		1	1	1	1	2	1	5	3	3		1	3	1	4	81
2		2	2	2	3	5				2		2	1	1				1	1			3	1	5	1	66
1		1	1			1	2	1	1	1	5		3	3	1	2			1	3	2	1			1	54
1	2	1	2	2	4	1	3	1		1	1		2		1	5	1		1	1	2	4	8	4	5	79
63	36	35	41	44	36	31	23	24	27	22	25	21	29	25	21	42	21	33	34	30	36	41	55	41	51	1,707

7月					8月				9月					10月				11月				12月				平均
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
1.22	0.30	0.57	0.35	0.48	0.26	0.17	0.09	0.17	0.13	0.13	0.09	0.13	0.39	0.22	0.22	0.70	0.13	0.09	0.04	0.35	0.17	0.22	0.22	0.09	0.22	0.25
0.35	0.41	0.35	0.24	0.35	0.53	0.18	0.12	0.06	0.24	0.06	0.12		0.06		0.06	0.18	0.12	0.35	0.29	0.06		0.12	0.12			0.17
0.40	0.12	0.16	0.36	0.32	0.04	0.44	0.20		0.16	0.04		0.04	0.16	0.16	0.12	0.16	0.04	0.24	0.08	0.16	0.28	0.16	0.12	0.40		0.20
0.47	0.42	0.16	0.16	0.32	0.26	0.05	0.21	0.21	0.37	0.37	0.05	0.26	0.21	0.11	0.16	0.05	0.32	0.16	0.32	0.21	0.37	0.42	0.37	0.26	0.32	0.21
0.25	0.19	0.19	0.19	0.19		0.13		0.06	0.06	0.06	0.25	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06		0.38	0.31	0.31	0.06	0.19	0.19	0.25	0.38	0.19
0.05	0.21			0.16	0.11	0.05	0.05	0.21	0.05			0.26	0.05	0.11	0.16	0.21	0.37	0.11	0.26	0.05	0.47	0.47	0.95	0.37	0.74	0.17
0.05	0.05	0.05	0.43	0.10	0.19		0.14	0.29	0.29	0.19	0.48	0.14	0.10	0.29	0.10	0.19		0.10	0.19		0.19	0.05	0.24	0.14	0.43	0.16
	0.07	0.07		0.07	0.14	0.14	0.07	0.14		0.07		0.07	0.07	0.07	0.07	0.14	0.07	0.36	0.21	0.21		0.07	0.21	0.07	0.29	0.11
0.20		0.20	0.20	0.20	0.30	0.50				0.20		0.20	0.10	0.10				0.10	0.10			0.30	0.10	0.50	0.10	0.13
0.07		0.07	0.07			0.07	0.13	0.07	0.07	0.07	0.33		0.20	0.20	0.07	0.13			0.07	0.20	0.13	0.07			0.07	0.07
0.06	0.11	0.06	0.11	0.11	0.22	0.06	0.17	0.06		0.06	0.06		0.11		0.06	0.28	0.06		0.06	0.06	0.11	0.22	0.44	0.22	0.28	0.08
0.32	0.18	0.18	0.21	0.22	0.18	0.16	0.12	0.12	0.14	0.11	0.13	0.11	0.15	0.13	0.11	0.21	0.11	0.17	0.17	0.15	0.18	0.21	0.28	0.21	0.26	0.17

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
1				2				1		1																13
3		1		1				2		1	2	1	1			1		2	1			2	2		1	42
7	1	4	1	2	3		1	4	3	1	2	1	2	1		4	1	4	2	2		1	1	1	4	94
3	3	1	1	3	4		1			2		2	2	1	1	3		1	2	1	1	1	1		2	75
5	3	2	3	1	3	3	1		5	1	2		1	1	1	1		2			1	1	5	4	3	86
3	2	3	4	2	3	1	3		1		1		1	3	3	6	4	3	2	3	1		4	3	4	93
1	3	3	7	6	5	6	1	3		1	1	2	1	2	2	4	2	5	2	4	3	3	6	5	2	130
5	2		5	5	4	4	2	1	4	2	3	1	3	2		5	2	1	6	1	6	5	5	7	3	167
9	5	5	4	2	3	2	2	3	5	1		1	1	4	2	3	3	2	6	2	3	3	5	3	6	181
7	5	2		6	2	1	5	2	3	2	3	4	5	3	2	2	2	4	2	3	3	8	7	4	4	193
10	6	7	4	3	3	3	2	1		2	2	3		1	2	1	1	1	2	3	4	4	7	2	8	169
8	5	6	12	7	4	7	2	5	4	7	8	4	12	5	6	12	5	6	7	11	11	13	12	11	14	401
1	1	1		3	1	2	1		2	1							1				1			1		27
				1	1	2	2	2			1	2		2	2			2	2		2					36
63	36	35	41	44	36	31	23	24	27	22	25	21	29	25	21	42	21	33	34	30	36	41	55	41	51	1,707

[各感染症データ]

手足口病

1）ブロック別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	4	2	4	4	4	2	5	2	4	1	5	3	9	3	7	15	12	9	18	32	75	97	113	117	130	166
三 島	1		1	4	8	12	9	1	2	6	6	9	3	2	5	8	14	23	23	40	54	94	100	118	91	73
北河内	10	8	11	11	7	8	3	8	11	10	3	5	4	5	11	15	21	29	62	109	179	217	247	272	254	263
中河内	7	12	15	14	22	10	20	8	19	13	15	9	13	16	16	29	30	18	25	43	75	118	203	226	255	277
南河内	3	3	14	8	9	4	3	6	4	10	4	9	10	8	15	12	17	28	41	47	70	107	174	142	177	180
堺 市	9	5	7	14	11	4	6	4	4	6	12	6	12	9	24	22	34	22	27	73	65	114	147	150	161	148
泉 州	13	7	14	15	19	25	33	46	28	27	37	14	21	23	47	56	64	26	33	69	94	99	72	75	94	110
大阪市北部	7	6	7	13	7	5	7	14	7	7	3	3	7	4	3	7	17	33	50	80	87	137	129	130	197	188
大阪市西部	5	3	3	5	5	1	6	5	2	1	4	3	4	4	8	9	13	17	22	15	27	52	60	52	82	82
大阪市東部	4	2	2	3	4	2	2	2	1	4	5	1	6	7	5	13	12	15	30	33	55	57	53	49	98	119
大阪市南部	4	1	4	11	14	10	13	17	14	2	10	7	20	13	18	23	22	11	28	40	69	104	138	156	192	199
合 計	67	49	82	102	110	83	107	113	96	87	104	69	109	94	159	209	256	231	359	581	850	1,196	1,436	1,487	1,731	1,805

2）ブロック別・週別定点あたり報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	0.17	0.09	0.17	0.17	0.17	0.09	0.22	0.09	0.17	0.04	0.22	0.13	0.39	0.14	0.32	0.68	0.55	0.41	0.82	1.46	3.41	4.41	5.14	5.32	5.91	7.22
三 島	0.06		0.06	0.25	0.50	0.71	0.53	0.06	0.12	0.35	0.35	0.53	0.18	0.13	0.31	0.50	0.88	1.44	1.44	2.50	3.38	5.88	5.88	6.94	5.35	4.29
北河内	0.40	0.32	0.44	0.44	0.28	0.32	0.12	0.32	0.44	0.40	0.12	0.20	0.16	0.20	0.44	0.60	0.84	1.16	2.48	4.36	7.16	8.68	9.88	10.88	10.16	10.52
中河内	0.35	0.60	0.75	0.70	1.10	0.50	1.00	0.40	0.95	0.65	0.75	0.45	0.65	0.80	0.80	1.45	1.50	0.95	1.32	2.26	3.95	6.21	10.68	11.90	13.42	14.58
南河内	0.19	0.19	0.88	0.50	0.56	0.25	0.19	0.38	0.25	0.63	0.25	0.56	0.63	0.50	0.94	0.75	1.06	1.75	2.56	2.94	4.38	6.69	10.88	8.88	11.06	11.25
堺 市	0.47	0.26	0.37	0.74	0.58	0.21	0.32	0.21	0.21	0.32	0.63	0.32	0.63	0.47	1.26	1.16	1.79	1.16	1.42	3.84	3.42	6.00	7.74	7.90	8.47	7.79
泉 州	0.62	0.33	0.67	0.71	0.91	1.19	1.57	2.19	1.33	1.29	1.76	0.67	1.00	1.10	2.24	2.67	3.05	1.24	1.57	3.29	4.48	4.71	3.43	3.57	4.48	5.24
大阪市北部	0.50	0.43	0.50	0.93	0.50	0.36	0.50	1.00	0.50	0.50	0.21	0.21	0.50	0.29	0.21	0.50	1.21	2.36	3.57	5.71	6.21	9.79	9.21	9.29	14.07	13.43
大阪市西部	0.50	0.30	0.30	0.50	0.50	0.10	0.60	0.50	0.20	0.10	0.40	0.30	0.40	0.40	0.80	0.90	1.30	1.70	2.20	1.50	2.70	5.20	6.00	5.20	8.20	8.20
大阪市東部	0.27	0.13	0.13	0.20	0.27	0.13	0.13	0.13	0.07	0.27	0.33	0.07	0.40	0.47	0.33	0.87	0.80	1.00	2.00	2.20	3.67	3.80	3.53	3.27	6.53	7.93
大阪市南部	0.22	0.06	0.22	0.61	0.78	0.56	0.72	0.94	0.78	0.11	0.56	0.39	1.11	0.72	1.00	1.28	1.22	0.61	1.56	2.22	3.83	5.78	7.67	8.67	10.67	11.06
合 計	0.34	0.25	0.42	0.52	0.56	0.42	0.54	0.57	0.48	0.44	0.53	0.35	0.55	0.48	0.81	1.07	1.31	1.18	1.84	2.98	4.36	6.13	7.33	7.59	8.83	9.16

3）年齢別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
年 齢	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
－5ヶ月	2		1	2		3		3	1				2	2		1	2	2	5	6	5	7	13	14	18	17
－11ヶ月	5	3	8	4	8	3	7	8	7	7	7	8	7	9	11	24	33	24	43	65	107	127	149	170	200	172
1歳	29	22	38	51	49	26	45	44	34	31	38	22	37	27	68	102	116	103	142	283	354	450	464	514	585	557
2	16	10	13	24	22	28	22	25	19	22	31	20	32	21	30	36	48	47	69	109	188	272	328	292	378	352
3	6	6	6	10	14	10	14	17	14	15	13	7	10	15	17	13	24	22	30	55	76	126	197	192	203	264
4	3	2	8	6	3	7	6	9	7	6	6	5	10	10	20	14	10	14	31	30	51	113	114	151	143	180
5	1	1	2	1	4	3	3	1	4	2	6	2	4	2	7	8	13	8	17	23	37	58	85	79	101	128
6		1	2	3	6	1	6	3	6	2	3	3	4	1	2	5	4	7	4		10	14	36	31	33	58
7	2	2					1	2	1	1			2	3	2	3	2	3	9	4	6	12	17	14	33	24
8	1		2		1							1	1	2		1	2		2	2	7	8	15	12	16	18
9		1	1		1	2	1			1						2			1		3	1	6	7	5	10
10－14			1						2					2	2			1	2	2	3	6	8	9	11	14
15－19					1														1					1		2
20－	2	1		1	1		2	1	1			1					2		3	2	3	2	4	1	5	9
合 計	67	49	82	102	110	83	107	113	96	87	104	69	109	94	159	209	256	231	359	581	850	1,196	1,436	1,487	1,731	1,805

報告数が0の場合には空白としている

[各感染症データ]

手足口病

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
182	208	133	132	88	86	31	48	80	85	126	135	117	140	148	107	86	89	61	40	31	42	29	22	19	9	3,117
120	120	107	69	37	44	19	41	58	105	87	106	101	92	119	104	87	76	58	24	33	21	9	8	2	4	2,358
234	281	247	208	172	157	76	137	161	194	215	177	251	256	322	204	176	143	137	99	68	53	27	25	13	5	5,821
263	251	229	186	155	131	27	69	110	132	133	113	122	142	147	135	121	86	94	72	51	33	28	13	13	5	4,369
196	169	164	149	119	76	42	42	47	51	71	61	53	57	78	79	56	53	43	28	27	17	12	7	11	5	2,818
160	175	123	123	100	107	19	32	53	72	50	49	57	83	93	66	59	62	40	42	36	41	26	22	19	6	2,811
175	205	163	215	204	115	25	47	62	65	65	36	45	60	52	71	77	77	58	37	47	40	36	15	10	12	3,175
175	158	119	111	77	72	49	39	83	106	100	97	66	99	125	129	105	124	90	63	47	32	24	14	6	8	3,273
70	119	89	65	54	35	27	14	24	28	26	19	42	45	41	28	43	27	22	15	5	13	6	6	4	3	1,360
93	76	41	54	30	27	14	28	33	35	44	46	54	48	54	52	44	35	31	36	15	7	11	12	3		1,507
197	194	176	157	163	83	21	29	51	52	55	49	60	64	92	71	70	46	63	44	46	45	22	14	11	8	3,023
1,865	1,956	1,591	1,469	1,199	933	350	526	762	925	972	888	968	1,086	1,271	1,046	924	818	697	500	406	344	230	158	111	65	33,632

7月					8月				9月					10月				11月				12月				平均
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
7.91	9.04	5.78	5.74	3.83	3.74	1.35	2.09	3.48	3.70	5.48	5.87	5.09	6.09	6.44	4.65	3.74	3.87	2.65	1.74	1.35	1.83	1.26	0.96	0.83	0.39	2.63
7.06	7.06	6.29	4.06	2.18	2.59	1.12	2.41	3.41	6.18	5.12	6.24	5.94	5.41	7.00	6.12	5.12	4.47	3.41	1.41	1.94	1.24	0.53	0.47	0.12	0.24	2.69
9.36	11.24	9.88	8.32	6.88	6.28	3.04	5.48	6.44	7.76	8.60	7.08	10.04	10.24	12.88	8.16	7.04	5.72	5.48	3.96	2.72	2.12	1.08	1.00	0.52	0.20	4.48
13.84	13.21	12.05	9.79	8.16	6.90	1.42	3.63	5.79	6.95	7.00	5.95	6.42	7.47	7.74	7.11	6.37	4.53	4.95	3.79	2.68	1.74	1.47	0.68	0.68	0.26	4.41
12.25	10.56	10.25	9.31	7.44	4.75	2.63	2.63	2.94	3.19	4.44	3.81	3.31	3.56	4.88	4.94	3.50	3.31	2.69	1.75	1.69	1.06	0.75	0.44	0.69	0.31	3.39
8.42	9.21	6.47	6.47	5.26	5.63	1.00	1.68	2.79	3.79	2.63	2.58	3.00	4.37	4.90	3.47	3.11	3.26	2.11	2.21	1.90	2.16	1.37	1.16	1.00	0.32	2.85
8.33	9.76	7.76	10.24	9.71	5.48	1.19	2.24	2.95	3.10	3.10	1.71	2.14	2.86	2.48	3.38	3.67	3.67	2.76	1.76	2.24	1.91	1.71	0.71	0.48	0.57	2.91
12.50	11.29	8.50	7.93	5.50	5.14	3.50	2.79	5.93	7.57	7.14	6.93	4.71	7.07	8.93	9.21	7.50	8.86	6.43	4.50	3.36	2.29	1.71	1.00	0.43	0.57	4.50
7.00	11.90	8.90	6.50	5.40	3.50	2.70	1.40	2.40	2.80	2.60	1.90	4.20	4.50	4.10	2.80	4.30	2.70	2.20	1.50	0.50	1.30	0.60	0.60	0.40	0.30	2.62
6.20	5.07	2.73	3.60	2.00	1.80	0.93	1.87	2.20	2.33	2.93	3.07	3.60	3.20	3.60	3.47	2.93	2.33	2.07	2.40	1.00	0.47	0.79	0.86	0.21		1.93
10.94	10.78	9.78	8.72	9.06	4.61	1.17	1.61	2.83	2.89	3.06	2.72	3.33	3.56	5.11	3.94	3.89	2.56	3.50	2.44	2.56	2.50	1.22	0.78	0.61	0.44	3.23
9.47	9.93	8.08	7.46	6.09	4.74	1.78	2.67	3.87	4.70	4.93	4.51	4.91	5.51	6.45	5.31	4.69	4.15	3.54	2.54	2.06	1.75	1.17	0.81	0.57	0.33	3.29

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
13	16	17	7	18	7	4	7	7	6	13	7	9	10	14	6	11	4	7	3	6	3	2	1		1	305
170	170	128	98	73	66	27	46	56	53	47	53	53	66	73	53	40	39	40	17	18	10	4	4	3	3	2,626
555	492	401	349	283	223	94	116	224	240	240	202	200	247	274	173	165	156	121	96	79	57	29	28	15	7	9,297
342	276	239	265	211	152	56	93	137	175	171	134	160	156	201	170	130	110	101	68	60	56	40	27	22	9	6,015
268	288	229	227	169	132	40	67	98	127	128	138	140	126	168	155	137	99	101	72	57	38	25	18	17	10	4,450
206	278	194	160	162	121	42	56	85	123	134	116	125	144	155	150	129	108	95	71	60	65	34	22	12	5	3,811
144	187	176	159	123	107	37	42	63	70	93	76	109	111	126	128	96	102	75	57	43	45	31	14	7	15	2,836
78	81	84	89	72	47	11	24	31	61	69	60	60	92	104	92	64	74	46	33	26	29	29	23	14	8	1,646
36	72	40	44	20	25	6	16	17	26	32	37	35	55	54	38	46	44	40	25	26	12	12	8	9	1	919
20	41	32	25	32	17	11	14	10	15	15	28	28	28	49	27	31	30	30	17	9	12	11	6	5	2	636
13	26	18	19	20	12	6	12	12	9	11	14	14	12	23	16	34	11	10	12	5	8	6	1	2	2	370
14	23	23	20	14	15	12	23	17	10	14	16	27	27	23	28	30	29	25	27	14	9	5	5	4	1	518
	2	4			1		3	3	2	2		3	4	2	5	2	6	1	1	1		1				48
6	4	6	7	2	8	4	7	2	8	3	7	5	8	5	5	9	6	5	1	2		1	1	1	1	155
1,865	1,956	1,591	1,469	1,199	933	350	526	762	925	972	888	968	1,086	1,271	1,046	924	818	697	500	406	344	230	158	111	65	33,632

[各感染症データ]

伝染性紅斑

1）ブロック別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊　能									1	1					1			1								
三　島					1	1							1								2					1
北河内	1												1			2			1	1		1				5
中河内		3				2	1		1			1				1		1	1			2		1	1	1
南河内		3				1		1	1				2			1	1		1					1	2	
堺　市																			1							1
泉　州									1				3				1				2					1
大阪市北部				1			1	1			1										1					
大阪市西部																				1						
大阪市東部					1																				1	
大阪市南部							1			1								1			1			1		
合　計	1	6		1	2	4	3	2	4	2	1	1	7		1	4	2	3	4	2	6	3		3	4	9

2）ブロック別・週別定点あたり報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊　能									0.04	0.04					0.05			0.05								
三　島					0.06	0.06							0.06								0.13					0.06
北河内	0.04												0.04			0.08			0.04	0.04		0.04				0.20
中河内		0.15				0.10	0.05		0.05			0.05				0.05		0.05	0.05			0.11		0.05	0.05	0.05
南河内		0.19				0.06		0.06	0.06				0.13			0.06	0.06		0.06					0.06	0.13	
堺　市																			0.05							0.05
泉　州									0.05				0.14				0.05				0.10					0.05
大阪市北部				0.07			0.07	0.07			0.07										0.07					
大阪市西部																				0.10						
大阪市東部					0.07																				0.07	
大阪市南部							0.06			0.06								0.06			0.06			0.06		
合　計	0.01	0.03		0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.04		0.01	0.02	0.01	0.02	0.02	0.01	0.03	0.02		0.02	0.02	0.05

3）年齢別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
年　齢	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
－５ヶ月																										
－11ヶ月																					2					
1歳		2			1			1			1		1			2			1						1	1
2		2		1			1			1									1	1				1	3	3
3		1			1							1						1	1		2	1				1
4						1		1					1		1	1	1	1						2		1
5	1					1			1									1			2					2
6							1		1				1						1							1
7									1																	
8		1					1									1										
9						1							2							1		1				
10－14										1			1				1									
15－19									1																	
20－						1							1									1				
合　計	1	6		1	2	4	3	2	4	2	1	1	7		1	4	2	3	4	2	6	3		3	4	9

報告数が0の場合には空白としている

[各感染症データ]

伝染性紅斑

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
2				2									2		2	3	5	4	3	1	2	7	9	7	7	60
		1		2	3		1	2	3		1	5		1	6		2	4		2	1	2	7	5	3	57
1	3	3			1	1	2	2	2	1	1	1	3	4	6	5	10	6	3	5	11	6	9	3	5	106
							1		2		1	2	2		1	3		2	1	1	2	2		2	3	41
1				1	2					1	1	1		1	1		4	1			3			3	3	37
													1				2		1			4	1	3		14
	1			1						2			1		1		1		2		1		3	2	2	25
				1													1		1	1	1		1	2		13
1																										2
			1	3				1			2	2	1		1	1	1	1	1		2	2				21
1					1		1		1							3		1	1			3			2	19
6	4	4	1	10	7	1	5	5	8	4	6	11	10	6	18	15	26	19	13	10	23	26	30	27	25	395

7月					8月				9月					10月				11月				12月				平均
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
0.09				0.09									0.09		0.09	0.13	0.22	0.17	0.13	0.04	0.09	0.30	0.39	0.30	0.30	0.05
		0.06		0.12	0.18		0.06	0.12	0.18		0.06	0.29		0.06	0.35		0.12	0.24		0.12	0.06	0.12	0.41	0.29	0.18	0.06
0.04	0.12	0.12			0.04	0.04	0.08	0.08	0.08	0.04	0.04	0.04	0.12	0.16	0.24	0.20	0.40	0.24	0.12	0.20	0.44	0.24	0.36	0.12	0.20	0.08
							0.05		0.11		0.05	0.11	0.11		0.05	0.16		0.11	0.05	0.05	0.11	0.11		0.11	0.16	0.04
0.06				0.06	0.13					0.06	0.06	0.06		0.06	0.06		0.25	0.06			0.19			0.19	0.19	0.04
													0.05				0.11		0.05			0.21	0.05	0.16		0.01
	0.05			0.05						0.10			0.05		0.05		0.05		0.10		0.05		0.14	0.10	0.10	0.02
				0.07													0.07		0.07	0.07	0.07		0.07	0.14		0.02
0.10																										0.00
			0.07	0.20				0.07			0.13	0.13	0.07		0.07	0.07	0.07	0.07	0.07		0.13	0.14				0.03
0.06					0.06		0.06		0.06							0.17		0.06	0.06			0.17			0.11	0.02
0.03	0.02	0.02	0.01	0.05	0.04	0.01	0.03	0.03	0.04	0.02	0.03	0.06	0.05	0.03	0.09	0.08	0.13	0.10	0.07	0.05	0.12	0.13	0.15	0.14	0.13	0.04

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
	1							1	2								1						1			8
3	1	1		1	2					1	1	1				2	5	2	1	1		1	2		1	37
1		1		2						1	1	2	1	1	2	3	1	2	1		1		3		1	38
1		1		2	1		2	1	2	1			1	1	1	1	3	1	1	1	3	2		5	1	41
		1	1	2	2				1		3	2	3	2	4	1	4	4	5	2	4	7	9	3	3	73
					1			1		1		2	2	1	5	2	3	3	3	2	4	7	4	1	4	54
				2								2	1		5	1	7	2	1		2	4	1	5		38
							1					1				4	1	3			4	2	4	4	3	28
1				1			1	1	2		1		1	1	1	1	1	1		2	1	2	4	2	7	34
	1					1		1					1							1	3		1	1	2	17
	1				1				1			1						1	1	1	1	1	1	6	3	22
																										1
							1																			4
6	4	4	1	10	7	1	5	5	8	4	6	11	10	6	18	15	26	19	13	10	23	26	30	27	25	395

[各感染症データ]

突発性発しん

1）ブロック別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	2	1	2	4	3	4	4	5	4	6	5	3	3	2	5	10	6	2	5	7	8	7	8	14	3	4
三 島		3		2	1	3	2		1	2	5	3	3	1		4	5	1	3	3	6	2	3	3		2
北河内	2	8	3	5	4	6	2	8	9	2	6	4	6	11	8	3	8	5	15	8	5	5	12	7	9	6
中河内	2	7	6	7	6	5	12	4	7	7	6	4	3	7	14	10	11	8	10	9	10	13	8	6	6	15
南河内	2	3	6		6	1	8	5	5	1	2	1		7	4	8	6	4	4	8	1	9	2	5	5	10
堺 市	2	3	3	3	4	2	2	1		3	3	2	1	1	6	5	1	3	9	3	2	4	6	2	6	3
泉 州	3	6	4		2	2	1	1	3	2	1	4	5	6	7	8	4	1	6	6	4	5	3	4	5	4
大阪市北部	3	2	5	5	1	1	3	2	4		7	4	2	5	4	2	1	6	3	6	2	5	6	4	1	3
大阪市西部			1			1	2	2	2	2		2	1		2	1	3	2			1	1	4	3		1
大阪市東部	1	1		2	2				7	3	2	2		2	1	3	4	1		2	1	1	2	1	5	5
大阪市南部	2	2	2	3	1	3	3	4	2	2	1	2	7	3	3	5	3	5	3	1	4	7	4	5	4	4
合 計	19	36	32	31	30	28	39	32	44	30	38	31	31	45	54	59	52	38	58	53	44	59	58	54	44	57

2）ブロック別・週別定点あたり報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	0.09	0.04	0.09	0.17	0.13	0.17	0.17	0.22	0.17	0.26	0.22	0.13	0.13	0.09	0.23	0.46	0.27	0.09	0.23	0.32	0.36	0.32	0.36	0.64	0.14	0.17
三 島		0.19		0.13	0.06	0.18	0.12		0.06	0.12	0.29	0.18	0.18	0.06		0.25	0.31	0.06	0.19	0.19	0.38	0.13	0.18	0.18		0.12
北河内	0.08	0.32	0.12	0.20	0.16	0.24	0.08	0.32	0.36	0.08	0.24	0.16	0.24	0.44	0.32	0.12	0.32	0.20	0.60	0.32	0.20	0.20	0.48	0.28	0.36	0.24
中河内	0.10	0.35	0.30	0.35	0.30	0.25	0.60	0.20	0.35	0.35	0.30	0.20	0.15	0.35	0.70	0.50	0.55	0.42	0.53	0.47	0.53	0.68	0.42	0.32	0.32	0.79
南河内	0.13	0.19	0.38		0.38	0.06	0.50	0.31	0.31	0.06	0.13	0.06		0.44	0.25	0.50	0.38	0.25	0.25	0.50	0.06	0.56	0.13	0.31	0.31	0.63
堺 市	0.11	0.16	0.16	0.16	0.21	0.11	0.11	0.05		0.16	0.16	0.11	0.05	0.05	0.32	0.26	0.05	0.16	0.47	0.16	0.11	0.21	0.32	0.11	0.32	0.16
泉 州	0.14	0.29	0.19		0.10	0.10	0.05	0.05	0.14	0.10	0.05	0.19	0.24	0.29	0.33	0.38	0.19	0.05	0.29	0.29	0.19	0.24	0.14	0.19	0.24	0.19
大阪市北部	0.21	0.14	0.36	0.36	0.07	0.07	0.21	0.14	0.29		0.50	0.29	0.14	0.36	0.29	0.14	0.07	0.43	0.21	0.43	0.14	0.36	0.43	0.29	0.07	0.21
大阪市西部			0.10			0.10	0.20	0.20	0.20	0.20		0.20	0.10		0.20	0.10	0.30	0.20			0.10	0.10	0.40	0.30		0.10
大阪市東部	0.07	0.07		0.13	0.13				0.47	0.20	0.13	0.13		0.13	0.07	0.20	0.27	0.07		0.13	0.07	0.07	0.13	0.07	0.33	0.33
大阪市南部	0.11	0.11	0.11	0.17	0.06	0.17	0.17	0.22	0.11	0.11	0.06	0.11	0.39	0.17	0.17	0.28	0.17	0.28	0.17	0.06	0.22	0.39	0.22	0.28	0.22	0.22
合 計	0.10	0.18	0.16	0.16	0.15	0.14	0.20	0.16	0.22	0.15	0.19	0.16	0.16	0.23	0.28	0.30	0.27	0.19	0.30	0.27	0.23	0.30	0.30	0.28	0.22	0.29

3）年齢別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
年 齢	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
－5ヶ月											1			1	2		1			1		1		2		
－11ヶ月	6	11	4	7	10	7	4	6	10	6	14	9	5	14	14	12	11	11	18	13	11	14	15	15	9	14
1歳	10	19	23	18	17	18	31	17	23	17	14	19	20	25	28	37	31	19	33	30	27	27	30	27	19	34
2	2	5	3	5	1	2	2	8	7	5	6	2	3	2	8	7	6	6	6	5	3	11	11	5	8	7
3	1		2		2	1	1	1	3	2	2	1	2	3	2	2	1	2	1	2	3	4		2	5	2
4		1		1			1		1		1		1			1	2			2		2	2	3	3	
5																										
6																										
7																										
8																										
9																										
10－14																										
15－19																										
20－																										
合 計	19	36	32	31	30	28	39	32	44	30	38	31	31	45	54	59	52	38	58	53	44	59	58	54	44	57

報告数が0の場合には空白としている

[各感染症データ]

突発性発しん

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
9	8	6	4	2	5		3	4	5	6	4	5	9	9	6	7	8	2	6	10	3	6	7	5	2	268
6	2	2	1	3	1	1	2	4	5	1	2	1	4	6	2	2	2	1	2	2		3	2	4	1	120
11	6	10	9	3	2	5	9	8	11	9	11	8	10	6	5	11	7	4	7	5	7	13	8	11	4	367
11	5	6	5	7	6	4	9	12	11	8	9	5	14	12	7	6	11	6	10	7	4	6	3	4	10	401
6	2	1	4	2	6	4	6	5	5	4	7	6	5	3	5	6	5	2	5	5	5	6	7	4	3	232
2	6	2	5	7	5		3	2	4		3	4	5	1	2	5	2	4	2	1	5	2	2	2	5	161
2	9	4		5	2	2	5	2	3	4	6	4	4	2	7	5	3	1	1	5		3	3	4	4	187
5	1	5	4	2	3	1	4	3	4	6	2	2	4	3	2	2	5	2	5	4	3	3	4	3	3	172
	4		2	3	2	2	1	2		1	2	1	3	1		3	4		1	1	1	4	1	4		74
5	1	1	2	3	2	3	1		1	3	2		3		3	2	2	1	3		5	2		2	4	99
7	6	4	3	3	3		2	3	4	2	2	6	1		3	1	3	3		3	4	4	3	3	4	162
64	50	41	39	40	37	22	45	45	53	44	50	42	62	43	42	50	52	26	42	43	37	52	40	46	40	2,243

7月					8月				9月					10月				11月				12月				平均
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
0.39	0.35	0.26	0.17	0.09	0.22		0.13	0.17	0.22	0.26	0.17	0.22	0.39	0.39	0.26	0.30	0.35	0.09	0.26	0.44	0.13	0.26	0.30	0.22	0.09	0.23
0.35	0.12	0.12	0.06	0.18	0.06	0.06	0.12	0.24	0.29	0.06	0.12	0.06	0.24	0.35	0.12	0.12	0.12	0.06	0.12	0.12		0.18	0.12	0.24	0.06	0.14
0.44	0.24	0.40	0.36	0.12	0.08	0.20	0.36	0.32	0.44	0.36	0.44	0.32	0.40	0.24	0.20	0.44	0.28	0.16	0.28	0.20	0.28	0.52	0.32	0.44	0.16	0.28
0.58	0.26	0.32	0.26	0.37	0.32	0.21	0.47	0.63	0.58	0.42	0.47	0.26	0.74	0.63	0.37	0.32	0.58	0.32	0.53	0.37	0.21	0.32	0.16	0.21	0.53	0.40
0.38	0.13	0.06	0.25	0.13	0.38	0.25	0.38	0.31	0.31	0.25	0.44	0.38	0.31	0.19	0.31	0.38	0.31	0.13	0.31	0.31	0.31	0.38	0.44	0.25	0.19	0.28
0.11	0.32	0.11	0.26	0.37	0.26		0.16	0.11	0.21		0.16	0.21	0.26	0.05	0.11	0.26	0.11	0.21	0.11	0.05	0.26	0.11	0.11	0.11	0.26	0.16
0.10	0.43	0.19		0.24	0.10	0.10	0.24	0.10	0.14	0.19	0.29	0.19	0.19	0.10	0.33	0.24	0.14	0.05	0.05	0.24		0.14	0.14	0.19	0.19	0.17
0.36	0.07	0.36	0.29	0.14	0.21	0.07	0.29	0.21	0.29	0.43	0.14	0.14	0.29	0.21	0.14	0.14	0.36	0.14	0.36	0.29	0.21	0.21	0.29	0.21	0.21	0.24
	0.40		0.20	0.30	0.20	0.20	0.10	0.20		0.10	0.20	0.10	0.30	0.10		0.30	0.40		0.10	0.10	0.10	0.40	0.10	0.40		0.14
0.33	0.07	0.07	0.13	0.20	0.13	0.20	0.07		0.07	0.20	0.13		0.20		0.20	0.13	0.13	0.07	0.20		0.33	0.14		0.14	0.29	0.13
0.39	0.33	0.22	0.17	0.17	0.17		0.11	0.17	0.22	0.11	0.11	0.33	0.06		0.17	0.06	0.17	0.17		0.17	0.22	0.22	0.17	0.17	0.22	0.17
0.32	0.25	0.21	0.20	0.20	0.19	0.11	0.23	0.23	0.27	0.22	0.25	0.21	0.31	0.22	0.21	0.25	0.26	0.13	0.21	0.22	0.19	0.27	0.20	0.23	0.20	0.22

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
1	1		1				2									1	1	1			1	1	1		1	21
11	12	10	7	10	9	3	5	9	8	12	14	5	18	10	8	12	9	4	6	12	11	6	7	14	9	511
36	27	22	20	18	24	16	30	25	34	20	26	29	33	28	25	22	28	16	28	21	20	32	23	22	23	1,261
9	5	5	6	6	4	2	4	8	6	8	6	5	6	2	5	11	9	3	3	6	4	9	5	6	5	284
5	4	2	3	5		1	3	3	2	3	3	1	5	1	4	2	5	2	2	4		4	3	4	1	119
2	1	2	2	1			1		3	1	1	2		2		2			3		1		1		1	47
64	50	41	39	40	37	22	45	45	53	44	50	42	62	43	42	50	52	26	42	43	37	52	40	46	40	2,243

[各感染症データ]

ヘルパンギーナ

1）ブロック別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊　能	4			1	1	1	1		1		1		3		1	1			9	5	12	8	15	14	19	28
三　島	1	1	1	3	1	1		1	2	1	1	2	1	1	3		1		2	2	8	12	16	11	12	19
北河内	3	1	2	1	1	2	1	1	2		1				2	3	2	5	8	17	25	30	42	49	32	30
中河内	1			2	1		2	1	1		1			2	3	4	1	3	3	8	20	27	45	30	44	44
南河内	2				1					1	1				2		3	2	2	2	4	25	20	22	22	18
堺　市				3	1	3	3	3	1			1		2		2		8	3	10	12	8	10	23	26	23
泉　州	1		5		1		3	7	1						4	4	2	1	2	6	4	10	6	6	8	8
大阪市北部	3			2	2	2		2				1		1		2	4	4	7	13	22	22	33	45	56	80
大阪市西部					1			1				1	1			1		3	6	8	10	10	7	10	13	10
大阪市東部						2				1				2		1	2	4	7	5	3	5	6	11	7	13
大阪市南部		1	1	3			4	1	2	1	3		1	1	1	3	1		1	3	1	8	6	6	15	8
合　計	15	3	9	15	10	11	14	17	10	4	8	5	6	9	16	21	16	30	50	79	121	165	206	227	254	281

2）ブロック別・週別定点あたり報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊　能	0.17			0.04	0.04	0.04	0.04		0.04		0.04		0.13		0.05	0.05			0.41	0.23	0.55	0.36	0.68	0.64	0.86	1.22
三　島	0.06	0.06	0.06	0.19	0.06	0.06		0.06	0.12	0.06	0.06	0.12	0.06	0.06	0.19		0.06		0.13	0.13	0.50	0.75	0.94	0.65	0.71	1.12
北河内	0.12	0.04	0.08	0.04	0.04	0.08	0.04	0.04	0.08		0.04				0.08	0.12	0.08	0.20	0.32	0.68	1.00	1.20	1.68	1.96	1.28	1.20
中河内	0.05			0.10	0.05		0.10	0.05	0.05		0.05			0.10	0.15	0.20	0.05	0.16	0.16	0.42	1.05	1.42	2.37	1.58	2.32	2.32
南河内	0.13				0.06					0.06	0.06				0.13		0.19	0.13	0.13	0.13	0.25	1.56	1.25	1.38	1.38	1.13
堺　市				0.16	0.05	0.16	0.16	0.16	0.05			0.05		0.11		0.11		0.42	0.16	0.53	0.63	0.42	0.53	1.21	1.37	1.21
泉　州	0.05		0.24		0.05		0.14	0.33	0.05						0.19	0.19	0.10	0.05	0.10	0.29	0.19	0.48	0.29	0.29	0.38	0.38
大阪市北部	0.21			0.14	0.14	0.14		0.14				0.07		0.07		0.14	0.29	0.29	0.50	0.93	1.57	1.57	2.36	3.21	4.00	5.71
大阪市西部					0.10			0.10				0.10	0.10			0.10		0.30	0.60	0.80	1.00	1.00	0.70	1.00	1.30	1.00
大阪市東部						0.13				0.07				0.13		0.07	0.13	0.27	0.47	0.33	0.20	0.33	0.40	0.73	0.47	0.87
大阪市南部		0.06	0.06	0.17			0.22	0.06	0.11	0.06	0.17		0.06	0.06	0.06	0.17	0.06		0.06	0.17	0.06	0.44	0.33	0.33	0.83	0.44
合　計	0.08	0.02	0.05	0.08	0.05	0.06	0.07	0.09	0.05	0.02	0.04	0.03	0.03	0.05	0.08	0.11	0.08	0.15	0.26	0.41	0.62	0.85	1.05	1.16	1.30	1.43

3）年齢別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
年　齢	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
－5ヶ月	1															1					1	1	3	1	3	2
－11ヶ月	2	2	3		1	5	2	3			2			1	1	1	2	6	6	10	12	19	20	30	18	20
1歳	3		3	2	3	2	5	4	3		2	3	3	2	3	9	2	7	12	33	42	50	53	57	75	63
2	2			5	2	2		4	1	1	2			1	6	3	6	8	4	20	21	37	35	51	55	61
3	2		1	2	1	1	2	2	2	1				3	3	2	4	2	12	7	19	22	35	31	39	45
4	1				1		1	1	1	1			1			1	1	3	5	4	12	12	31	24	23	47
5	1		1	1			2	2							1	1	1	2	3	1	10	12	9	10	23	27
6	1			1									1			1		1	3	2	1	2	7	6	5	6
7						1			1		1			1		2			2	1	1	4	4	3	4	4
8				1																		2	2	2	2	3
9					1																1	2	1	4	1	2
10－14				1			2		1									1					5	7	5	
15－19																									1	
20－	2	1	1	2	1			1	1	1	1	2	1	1	2				3	1	1	2	1	1		1
合　計	15	3	9	15	10	11	14	17	10	4	8	5	6	9	16	21	16	30	50	79	121	165	206	227	254	281

報告数が0の場合には空白としている

[各感染症データ]

ヘルパンギーナ

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
20	24	20	12	15	11	4	3	16	4	15	3	4	6	4	1	1	2		1		1	1			2	295
17	16	10	8	6	6	6	6	3	10	2	5	1	1	4		2					1	1	3		2	213
34	66	37	35	31	15	9	9	11	7	11	7	3	5	12		3	4	2	2	1	2		3			569
37	45	51	35	45	24	2	16	11	14	7	5	10	8	6	5	4	5	2		1		1		1		578
33	32	41	47	37	15	9	9	11	6	4	4	1	2	3	1	1	5	1	1	2	1					393
18	30	31	25	13	10	5	10	9	5	4	3	3	4	2	1	1			1		1		1			319
15	31	25	26	20	23	4	11	8	5		4	2	2	3	2		2	1				1				264
63	42	41	37	31	23	22	6	14	7	10	15	3	4	4	5	3	1	5	1	3	1	1				643
19	12	20	9	13	14	7	4	4	3	2				4	2		1					1		1		198
13	17	8	4	9	11	5	4	2	8	2	1		1			1		1	1			1				158
11	10	8	17	14	5	2	5	5	2	2	2	1	1		1											157
280	325	292	255	234	157	75	83	94	71	59	49	28	34	42	18	16	20	12	7	7	7	7	7	2	4	3,787

7月					8月				9月					10月				11月				12月				平均
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
0.87	1.04	0.87	0.52	0.65	0.48	0.17	0.13	0.70	0.17	0.65	0.13	0.17	0.26	0.17	0.04	0.04	0.09		0.04		0.04	0.04			0.09	0.25
1.00	0.94	0.59	0.47	0.35	0.35	0.35	0.35	0.18	0.59	0.12	0.29	0.06	0.06	0.24		0.12					0.06	0.06	0.18		0.12	0.24
1.36	2.64	1.48	1.40	1.24	0.60	0.36	0.36	0.44	0.28	0.44	0.28	0.12	0.20	0.48		0.12	0.16	0.08	0.08	0.04	0.08		0.12			0.44
1.95	2.37	2.68	1.84	2.37	1.26	0.11	0.84	0.58	0.74	0.37	0.26	0.53	0.42	0.32	0.26	0.21	0.26	0.11		0.05		0.05		0.05		0.58
2.06	2.00	2.56	2.94	2.31	0.94	0.56	0.56	0.69	0.38	0.25	0.25	0.06	0.13	0.19	0.06	0.06	0.31	0.06	0.06	0.13	0.06					0.47
0.95	1.58	1.63	1.32	0.68	0.53	0.26	0.53	0.47	0.26	0.21	0.16	0.16	0.21	0.11	0.05	0.05			0.05		0.05		0.05			0.32
0.71	1.48	1.19	1.24	0.95	1.10	0.19	0.52	0.38	0.24		0.19	0.10	0.10	0.14	0.10		0.10	0.05				0.05				0.24
4.50	3.00	2.93	2.64	2.21	1.64	1.57	0.43	1.00	0.50	0.71	1.07	0.21	0.29	0.29	0.36	0.21	0.07	0.36	0.07	0.21	0.07	0.07				0.88
1.90	1.20	2.00	0.90	1.30	1.40	0.70	0.40	0.40	0.30	0.20				0.40	0.20		0.10					0.10		0.10		0.38
0.87	1.13	0.53	0.27	0.60	0.73	0.33	0.27	0.13	0.53	0.13	0.07		0.07			0.07		0.07	0.07			0.07				0.20
0.61	0.56	0.44	0.94	0.78	0.28	0.11	0.28	0.28	0.11	0.11	0.11	0.06	0.06		0.06											0.17
1.42	1.65	1.48	1.29	1.19	0.80	0.38	0.42	0.48	0.36	0.30	0.25	0.14	0.17	0.21	0.09	0.08	0.10	0.06	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.01	0.02	0.37

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
	1	2	1	1		1	1	1			1		1	2												25
23	29	24	21	19	10	7	6	7	3	7	7	2		4	1	5	7		1			1				350
59	60	45	48	49	35	14	15	30	17	12	14	7	10	7	3	2	3	3	2	2	1	1				880
56	60	57	39	37	33	13	10	10	16	9	4	6	1	7	5	4	1	1							1	697
37	55	45	42	30	20	14	9	14	10	6	5	2	5	7	4		2	5		3	1		1			555
34	42	40	35	29	17	6	13	7	7	10	3	2	1	5	1	2	2	2			1	2	1	1		433
34	31	26	32	34	20	9	6	10	3	5	7	6	5	1	1		1		1		3	1	1		1	345
13	15	15	16	12	6	3	3	4	4	5	2	1	7	2		1			1	2			1			150
14	11	11	8	9	3	3	5	4	3	2	3	1	1	2	1		3									113
1	11	12	7	4	4	1	7	3	3	2	2						1						1			71
	2	7	1	2	2	1	2		1			1	1						1							33
6	7	5	5	7	3	3	5	3	2				2	3				1						1		75
		1													1				1			1				5
3	1	2		1	4		1	1	2	1	1			2	1	2					1	1	2		2	55
280	325	292	255	234	157	75	83	94	71	59	49	28	34	42	18	16	20	12	7	7	7	7	7	2	4	3,787

[各感染症データ]

流行性耳下腺炎

1）ブロック別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊　能				2			1	1	1	1				1		1	2				1	2	2			2
三　島			1	1							1			1		1	1	2	1	1	2		1	1	1	1
北河内					2	1	2		3			1		1			3		1	1	3	4	5	2	1	1
中河内	1	1	3	1	2	1				2		1		1	1	2	1			3	2	2	2	6	3	1
南河内	2	1		1	1			1	1						2	2	2		1		1	4	5	2		4
堺　市							1		2		2				1				1	1	1	2	3	1	1	2
泉　州			1				1		1		1	2	1			1	1						1	2		
大阪市北部				1			1		1	1		1	1					1				1	1	2		3
大阪市西部	1					1		1	1									2	2			1	1	2	1	1
大阪市東部		1													1						1	2	1			
大阪市南部														1		1			1				1	1		
合　計	4	3	5	6	5	3	6	3	10	4	4	5	2	5	5	8	10	5	7	6	11	18	23	19	7	15

2）ブロック別・週別定点あたり報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊　能				0.09			0.04	0.04	0.04	0.04				0.05		0.05	0.09				0.05	0.09	0.09			0.09
三　島			0.06	0.06							0.06			0.06		0.06	0.06	0.13	0.06	0.06	0.13		0.06	0.06	0.06	0.06
北河内					0.08	0.04	0.08		0.12			0.04		0.04			0.12		0.04	0.04	0.12	0.16	0.20	0.08	0.04	0.04
中河内	0.05	0.05	0.15	0.05	0.10	0.05				0.10		0.05		0.05	0.05	0.10	0.05			0.16	0.11	0.11	0.11	0.32	0.16	0.05
南河内	0.13	0.06		0.06	0.06			0.06	0.06						0.13	0.13	0.13		0.06		0.06	0.25	0.31	0.13		0.25
堺　市							0.05		0.11		0.11				0.05				0.05	0.05	0.05	0.11	0.16	0.05	0.05	0.11
泉　州			0.05				0.05		0.05		0.05	0.10	0.05			0.05	0.05						0.05	0.10		
大阪市北部				0.07			0.07		0.07	0.07		0.07	0.07					0.07				0.07	0.07	0.14		0.21
大阪市西部	0.10					0.10		0.10	0.10									0.20	0.20			0.10	0.10	0.20	0.10	0.10
大阪市東部		0.07													0.07						0.07	0.13	0.07			
大阪市南部														0.06		0.06			0.06				0.06	0.06		
合　計	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03	0.02	0.05	0.02	0.02	0.03	0.01	0.03	0.03	0.04	0.05	0.03	0.04	0.03	0.06	0.09	0.12	0.10	0.04	0.08

3）年齢別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
年　齢	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
－5ヶ月						1																				
－11ヶ月																										
1歳										1						1			1			1		1		2
2		1			1	1							1	1	1		1	1								
3				1						1		1		1		1	1					3	2	2		1
4		1					1	1	1	1		1	1		1	2	2	2	1	1	1	3	6	3	1	1
5	2		2		3			1	2		1	1		1	1	1	2	1		1	1	3	4	1		3
6	1					1					2			1		2				1	2		2	1		2
7	1			2					1								1		1		1	2	2	1	2	2
8			1	2				1	3		1	2		1	2			1			1	2	2	3	1	1
9		1	1	1			3		1										2	1	2	1	2	3	2	
10－14			1		1		2		2	1						1	2		1	2	2	3	3	4	1	3
15－19																										
20－																	1		1		1					
合　計	4	3	5	6	5	3	6	3	10	4	4	5	2	5	5	8	10	5	7	6	11	18	23	19	7	15

報告数が0の場合には空白としている

[各感染症データ]

流行性耳下腺炎

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
1	1	2	2		1	2	2	1	2					1		1	1		2	1	1					38
1			2						1	1	3	1									2		2	1		30
4	4	1	2	2	3		2	2	1	3	2	3		2	1	1	2		1	3	1	2			2	75
6	3	4	1	1		1	1				2	2	1	1	1		1			1	1	1	1	2		67
4	3	2	1	1	2			2			1			1	1		1	2	2			2		1	1	57
	1		2	1	1			1								1	3		1		1	3		1	1	35
				1	3			3		2		1		1	1	1	3	1			2	2	2	1	2	38
1	2	1	8							1						2		2		1				2	2	36
1	1		1	1		1		1			1							1		2		1	2			27
	1				1		1				1	1														11
	1										1	1			1	1	1	1			1			2		15
18	17	10	19	7	11	4	6	10	4	7	11	9	1	6	5	7	12	7	6	8	9	11	7	10	8	429

7月					8月				9月					10月				11月				12月				平均
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
0.04	0.04	0.09	0.09		0.04	0.09	0.09	0.04	0.09					0.04		0.04	0.04		0.09	0.04	0.04					0.03
0.06			0.12						0.06	0.06	0.18	0.06									0.12		0.12	0.06		0.03
0.16	0.16	0.04	0.08	0.08	0.12		0.08	0.08	0.04	0.12	0.08	0.12		0.08	0.04	0.04	0.08		0.04	0.12	0.04	0.08			0.08	0.06
0.32	0.16	0.21	0.05	0.05		0.05	0.05				0.11	0.11	0.05	0.05	0.05		0.05			0.05	0.05	0.05	0.05	0.11		0.07
0.25	0.19	0.13	0.06	0.06	0.13			0.13			0.06			0.06	0.06		0.06	0.13	0.13			0.13		0.06	0.06	0.07
	0.05		0.11	0.05	0.05			0.05								0.05	0.16		0.05		0.05	0.16		0.05	0.05	0.04
				0.05	0.14			0.14		0.10		0.05		0.05	0.05	0.05	0.14	0.05			0.10	0.10	0.10	0.05	0.10	0.03
0.07	0.14	0.07	0.57							0.07						0.14		0.14		0.07				0.14	0.14	0.05
0.10	0.10		0.10	0.10		0.10		0.10			0.10							0.10		0.20		0.10	0.20			0.05
	0.07				0.07		0.07				0.07	0.07														0.01
	0.06										0.06	0.06			0.06	0.06	0.06	0.06			0.06			0.11		0.02
0.09	0.09	0.05	0.10	0.04	0.06	0.02	0.03	0.05	0.02	0.04	0.06	0.05	0.01	0.03	0.03	0.04	0.06	0.04	0.03	0.04	0.05	0.06	0.04	0.05	0.04	0.04

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
																									1	2
1							1									1										3
			1							1								1	1	1						12
1			1		1				1							1	1		1		1	1		1		18
		1	5		1	1		2						1				1		2	1		1	1	2	33
1	2	1			1			1		3	2	1		1			3		1	1	2	2		1		54
3	6	3	2	5	4		1				2	1		1	1		1			2	1	2	2		1	69
3	3	3	5		2	1		1	1		1	2			1	2		1	1		2	1	2	1		48
1			3				1	2		1		2	1		2	1	1	2		1		1		1	2	38
5	1			1		1	2		1	1	3	2		2	1	1	3	2	1	1	1	2		1		56
2	1	1		1	1			4				1		1			2							1		35
1	4	1	2		1	1	1		1	1	2					1	1		1		1	2	2	3	2	57
											1															1
																										3
18	17	10	19	7	11	4	6	10	4	7	11	9	1	6	5	7	12	7	6	8	9	11	7	10	8	429

[各感染症データ]

急性出血性結膜炎

1）ブロック別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能																										
三 島																										
北河内	2		1	1	1																1		1	1		
中河内														1												
南河内												1							1							
堺 市																										
泉 州																										
大阪市北部										1								1								
大阪市西部																										
大阪市東部																						1				
大阪市南部																										
合 計	2		1	1	1					1		1		1				1	1		1	1	1	1		

2）ブロック別・週別定点あたり報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能																										
三 島																										
北河内	0.33		0.17	0.17	0.17																0.17		0.17	0.17		
中河内														0.20												
南河内												0.25							0.25							
堺 市																										
泉 州																										
大阪市北部										0.20								0.20								
大阪市西部																										
大阪市東部																						0.17				
大阪市南部																										
合 計	0.04		0.02	0.02	0.02					0.02		0.02		0.02				0.02	0.02		0.02	0.02	0.02	0.02		

3）年齢別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
年 齢	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
－5ヶ月																										
－11ヶ月																										
1歳																										
2																										
3																										
4																										
5																										
6																										
7																										
8																										
9																										
10－14			1	1	1																					
15－19																										
20－	2									1		1		1				1	1		1	1	1	1		
合 計	2		1	1	1					1		1		1				1	1		1	1	1	1		

報告数が0の場合には空白としている

[各感染症データ]

急性出血性結膜炎

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
																							6	1	2	9
	2		2						1	1	1					4							1			20
																				1						2
																										2
																							1			1
																	1			1		1		2		5
								1																		3
															1											1
																										1
	2		2					1	1	1	1				1	4	1			2		1	8	3	2	44

7月					8月				9月					10月				11月				12月				平均
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
																							1.20	0.20	0.40	0.03
	0.33		0.33						0.17	0.17	0.17					0.67							0.17			0.06
																				0.20						0.01
																										0.01
																							0.20			0.00
																	0.17			0.17		0.17		0.33		0.02
								0.20																		0.01
															0.50											0.01
																										0.00
	0.04		0.04					0.02	0.02	0.02	0.02				0.02	0.08	0.02			0.04		0.02	0.15	0.06	0.04	0.02

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
																1									1	2
																								1		1
																							2			2
																								1		4
	2		2					1	1	1	1				1	3	1			2		1	6	1	1	35
	2		2					1	1	1	1				1	4	1			2		1	8	3	2	44

[各感染症データ]

流行性角結膜炎

1）ブロック別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	1	1		1	1	2	2	1	1		1	1	3	2	3	7	4	3	5	3	3	4	3	2	1	1
三 島			1			1	1	2	1	1			1	2	7	2	4		1	1	4	1	3	3	1	2
北河内		9	3	1		3		3	2	3	2	2		1	3	2	4		7	5	6	3	7	5	1	1
中河内	3	3	4	1	1		2		2	2	1				2	2	3	1	2	1	1	1	1			
南河内		2	1	2	3		1	1	5	1	1	4	5	1	2	1		2	6	2	2	4	4	2	1	2
堺 市	1		1			2		2	1		1		1		1		1	3	1	1	4		1	1		
泉 州	2	1	6	1	5		2	1	4	2	1	1			2	1	3		1		1	2	3	4		1
大阪市北部	2				1	4	2	3				1	3	3	5	4	6	2		1			2	2	1	1
大阪市西部		1	1		1			2			1	4					1		1	1	1					
大阪市東部	3	6	3	1	2	3	2	1	7	3	2	3	7	4	2	3		2	2	3	5	2	8	7	1	2
大阪市南部		1								1		2	2	4	6	5	7	5	1		4	8	2	2	3	2
合 計	12	24	20	7	14	15	12	16	23	13	10	18	22	17	33	27	33	18	27	18	31	25	34	28	9	12

2）ブロック別・週別定点あたり報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
ブロック	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
豊 能	0.20	0.20		0.20	0.20	0.40	0.40	0.20	0.20		0.20	0.20	0.75	0.50	0.75	1.75	0.80	0.60	1.00	0.60	0.60	0.80	0.60	0.40	0.20	0.20
三 島			0.25			0.25	0.25	0.50	0.25	0.25			0.25	0.50	1.75	0.50	1.00		0.25	0.25	1.00	0.25	0.75	0.75	0.25	0.50
北河内		1.50	0.50	0.17		0.50		0.50	0.33	0.50	0.33	0.33		0.17	0.50	0.33	0.67		1.17	0.83	1.00	0.50	1.17	0.83	0.17	0.17
中河内	0.60	0.60	0.80	0.20	0.20		0.40		0.40	0.40	0.20				0.40	0.40	0.60	0.20	0.40	0.20	0.20	0.20	0.20			
南河内		0.50	0.25	0.50	0.75		0.25	0.25	1.25	0.25	0.25	1.00	1.25	0.25	0.50	0.25		0.50	1.50	0.50	0.50	1.00	1.00	0.50	0.25	0.50
堺 市	0.20		0.20			0.40		0.40	0.20		0.20		0.20		0.20		0.20	0.60	0.20	0.20	0.80		0.20	0.20		
泉 州	0.33	0.17	1.00	0.17	0.83		0.33	0.17	0.67	0.33	0.17	0.17			0.33	0.17	0.50		0.17		0.17	0.33	0.50	0.67		0.20
大阪市北部	0.40				0.20	0.80	0.40	0.60				0.20	0.60	0.60	1.00	0.80	1.20	0.40		0.20			0.40	0.40	0.20	0.20
大阪市西部		0.50	0.50		0.50			1.00			0.50	2.00					0.50		0.50	0.50	0.50					
大阪市東部	0.50	1.00	0.50	0.17	0.33	0.50	0.33	0.17	1.17	0.50	0.33	0.50	1.17	0.67	0.33	0.50		0.33	0.33	0.50	0.83	0.33	1.33	1.17	0.17	0.33
大阪市南部		0.25								0.25		0.50	0.50	1.00	1.50	1.25	1.75	1.25	0.25		1.00	2.00	0.50	0.50	0.75	0.50
合 計	0.23	0.46	0.38	0.13	0.27	0.29	0.23	0.31	0.44	0.25	0.19	0.35	0.43	0.33	0.65	0.53	0.63	0.35	0.52	0.35	0.60	0.48	0.65	0.54	0.17	0.24

3）年齢別・週別報告状況

	1月					2月				3月				4月					5月				6月			
年 齢	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
－5ヶ月																	1						1			
－11ヶ月																1		1	1			1				
1歳			1		1	1	1						2	1	2	2	2	2	1	1	1		1	1		
2									1				1	2	2	1	2			1				1		
3						1				1			1	1	1		1				1					
4					2	3			2	1			1	2		3	2	1			1	1	1		1	
5					1	2				1		1	2	1	3	1			1		1		2	2		
6					1					1		1			1		1									
7			2		1	1							1				1			1			1			
8		1									2								1							
9																	1							1		
10－14		1	1		1			1		1					3	2	1		3				1			
15－19	1	2	1	1			1		1	1							1					1	2	1		
20－	11	20	15	6	7	7	10	15	19	7	8	16	14	10	21	17	20	14	20	15	27	22	25	22	8	12
合 計	12	24	20	7	14	15	12	16	23	13	10	18	22	17	33	27	33	18	27	18	31	25	34	28	9	12

報告数が0の場合には空白としている

[各感染症データ]

流行性角結膜炎

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
	1			1	4	1	4	1	4	1	1		4	1	2	2			2		1	2	4	7	4	103
			1	2	1	1		1	1	1			1	2		1		1			5	2	3	3	1	66
4	1	1				2						3			2	2	1	2	7	7	5	2	1	3	3	119
1			2		1		2	4	1	1	2	2	1	1	3	4		1	1	2		2	2	1	5	72
2	3	1	3	2	3	1		2	3	3	1	1	2	1	3	2			3	1				1	1	94
		1				1	1	2				1	3	10	4	1	1		4	6	4	7			2	70
4	2		1	4	1	1	1			2	4	4	5	1	3	3	2		3	2	3	3	5	3	2	103
1	1		1		2				1	1				1	1					1	1			4	3	61
						1			2	1		1	2	1	1	1	1								1	26
1		3	2	1		1	2	1	3	3	2	4	4	4	1	3		2	4	4			1		4	134
1		1	1	4	1					1		1						1		1		1				68
14	8	7	11	14	13	9	10	11	15	14	10	17	22	22	20	19	5	7	24	24	19	19	16	22	26	916

7月					8月				9月					10月				11月				12月				平均
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
	0.20			0.20	0.80	0.20	0.80	0.20	0.80	0.20	0.20		0.80	0.20	0.40	0.40			0.40		0.20	0.40	0.80	1.40	0.80	0.41
			0.25	0.50	0.25	0.25		0.25	0.25	0.25			0.25	0.50		0.25		0.25			1.25	0.50	0.75	0.75	0.25	0.32
0.67	0.17	0.17				0.33						0.50			0.33	0.33	0.17	0.33	1.17	1.17	0.83	0.33	0.17	0.50	0.50	0.38
0.20			0.40		0.20		0.40	0.80	0.20	0.20	0.40	0.40	0.20	0.20	0.60	0.80		0.20	0.20	0.40		0.40	0.40	0.20	1.00	0.28
0.50	0.75	0.25	0.75	0.50	0.75	0.25		0.50	0.75	0.75	0.25	0.25	0.50	0.25	0.75	0.50			0.75	0.25				0.25	0.25	0.45
		0.20				0.20	0.20	0.40				0.20	0.60	2.00	0.80	0.20	0.20		0.80	1.20	0.80	1.40			0.40	0.27
0.80	0.40		0.17	0.67	0.17	0.17	0.17			0.33	0.67	0.67	0.83	0.17	0.50	0.50	0.33		0.50	0.33	0.50	0.50	0.83	0.50	0.33	0.33
0.20	0.20		0.20		0.40				0.20	0.20				0.20	0.20					0.20	0.20			0.80	0.60	0.23
						0.50			1.00	0.50		0.50	1.00	0.50	0.50	0.50	0.50								0.50	0.25
0.17		0.50	0.33	0.17		0.17	0.33	0.17	0.50	0.50	0.33	0.67	0.67	0.67	0.17	0.50		0.33	0.67	0.67			0.17		0.67	0.43
0.25		0.25	0.25	1.00	0.25					0.25		0.25						0.25		0.25		0.25				0.33
0.27	0.16	0.13	0.21	0.27	0.25	0.17	0.19	0.21	0.29	0.27	0.19	0.33	0.42	0.42	0.38	0.37	0.10	0.13	0.46	0.46	0.37	0.37	0.31	0.42	0.50	0.34

7月					8月				9月					10月				11月				12月				合計
27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	
																										2
																										4
												1			1	1				1	2	1				27
	1		1	1	1							1	1	1				1	3	1		2	1	1	2	29
									1			1	1			1			1	2		1	1			16
								1						1	1			1	1	2	1			3	2	34
																				2	1		1	1		23
					1		1					1							1			1	1		1	12
							1		2											1			1			13
									1							1					2				2	10
												1							1							4
			1	2			1												2	2		2	1	3		29
1									1	4	2		1	1	1	1			1		1	1		1		29
13	7	7	9	11	11	9	7	10	10	10	8	12	19	19	17	15	5	5	14	13	12	11	10	13	19	684
14	8	7	11	14	13	9	10	11	15	14	10	17	22	22	20	19	5	7	24	24	19	19	16	22	26	916

III　五類定点把握感染症
（性感染症）

III　五類定点把握感染症（性感染症）

１）はじめに

本調査の対象疾患は、「性器クラミジア感染症」「性器ヘルペスウイルス感染症」「尖圭コンジローマ」「淋菌感染症」の４疾患である。

性器ヘルペスウイルス感染症については、届出基準の改正に伴い、2006 年４月から明らかに再発であるものは除外されている。

２）概況

2024 年における大阪府の年間患者報告数(定点あたり)は、4,139 人(65.27 人)であった。過去 5 年間の動向は、2019 年は 4,815 人(71.53 人)、2020 年は 4,864 人(76.10 人)、2021 年は 4,912 人(76.75 人) 、2022 年は 4,533 人(70.28 人)、2023 年は 4,595(72.36 人)であった。2024 年は 2023 年と比較して定点あたり報告数は 9.8%減少した。

全国では、2024 年に 54,994 人(56.06 人)の報告があった。2019 年は 51,102 人(51.99 人)、2020 年は 51,539 人(52.53 人)、2021 年は 54,974 人(55.92 人)、2022 年は 54,813 人(55.76 人)、2023 年は 57,033(57.96 人)であった。2024 年は 2023 年と比較して 3.6%減少した。

３）疾患別患者数

疾患別にみると、大阪府では性器クラミジア感染症の患者報告数は 2,001 人と前年より 362 人減少したものの、引き続き最も多く、全体の 48.3%を占めていた。

以下、性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマの順で、2023 年と同じであった(図 1,2)。

図１ 大阪府 疾病別割合（男女計）2024 年
合計 4,139 人　（前年　4,595 人）

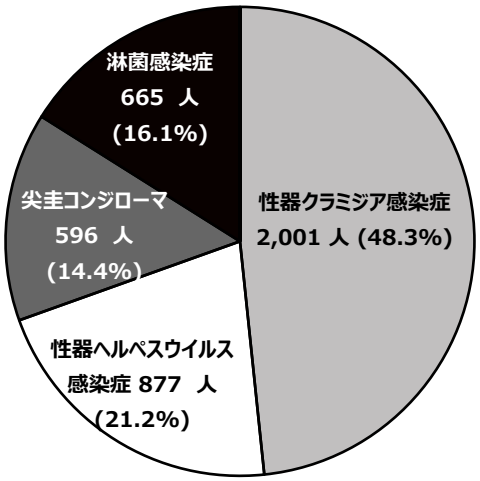
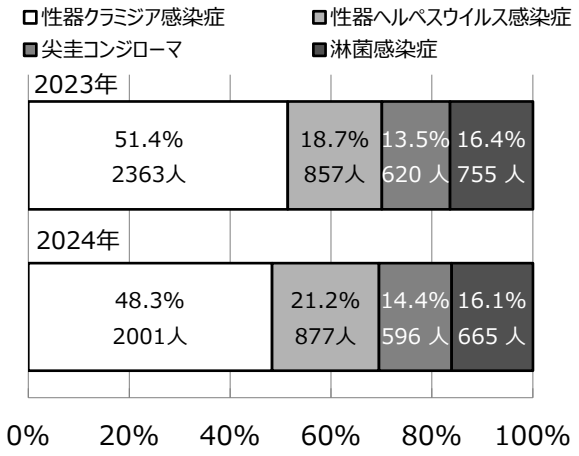


図２ 大阪府 疾病別割合（男女計）
2023 年・2024 年



全国でも、性器クラミジア感染症の患者報告は 29,806 人であり、前年と比較し 1,463 人減少したものの、引き続き最も多く、全体の 54.2%を占めた。

以下、性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマの順であった。前年と比較し、性器ヘルペスウイルス感染症の患者報告数は 541 人増加、淋菌感染症は 883 人減少し、順位が逆転した(図 3,4)。

図 3 全国 疾病別割合（男女計）2024 年
合計 54,994 人 （前年 57,033 人）

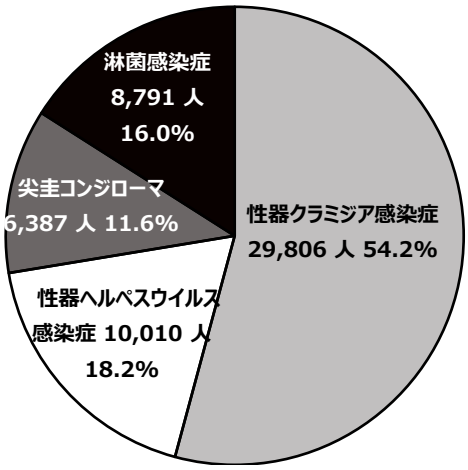
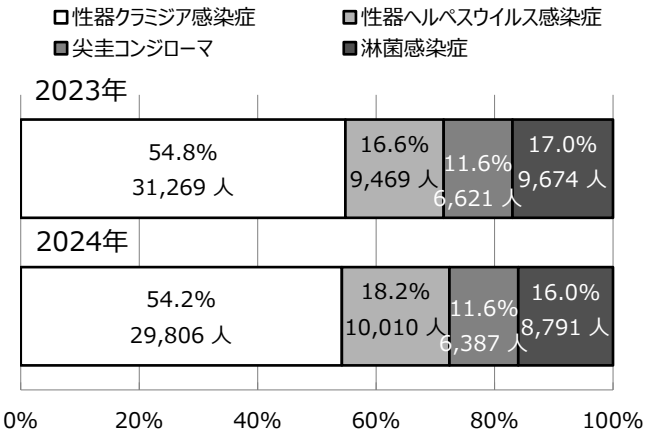


図 4 全国 疾病別割合（男女計）
2023 年・2024 年



４）男女別患者数

大阪府の男性患者数は、2,072 人と、前年より 304 人減少している。疾患別の前年比は、性器クラミジア感染症(-220 人)、性器ヘルペスウイルス感染症(＋2 人)、尖圭コンジローマ(-5 人)、淋菌感染症(-81 人)であり、性器ヘルペスウイルス感染症以外は減少していた(図 5)。

大阪府の女性患者数は、2,067 人と、前年より 152 人減少している。疾患別の前年比は、性器クラミジア感染症(-142 人)、性器ヘルペスウイルス感染症(+18 人)、尖圭コンジローマ(-19 人)、淋菌感染症(-9 人) であり、性器ヘルペスウイルス感染症以外の感染症で減少していた(図 6)。

また、性別の割合で見ると、大阪府全体では男性が 50.1%（前年 男性 51.7%）を占めている。疾患別では、男性の割合が高いのは、淋菌感染症 70.7%（前年 73.0%）、尖圭コンジローマ 66.8%（前年 65.0%）で、女性の割合が高いのは、性器ヘルペスウイルス感染症 61.0%（前年 60.3%）、性器クラミジア感染症 56.9%（前年 54.2%）となっている。いずれの疾患も前年と同様の傾向であった。

全国の男性患者数は、29,563 人と、前年より 1,579 人減少している。疾患別の前年比は、性器クラミジア感染症(-1,125 人)、性器ヘルペスウイルス感染症(＋323 人)、尖圭コンジローマ(-60 人)、淋菌感染症(-717 人)であり、性器ヘルペスウイルス感染症が増加した(図 7)。

図 5 大阪 疾病別割合（男）2024 年
合計 2,072 人 （前年 2,376 人）

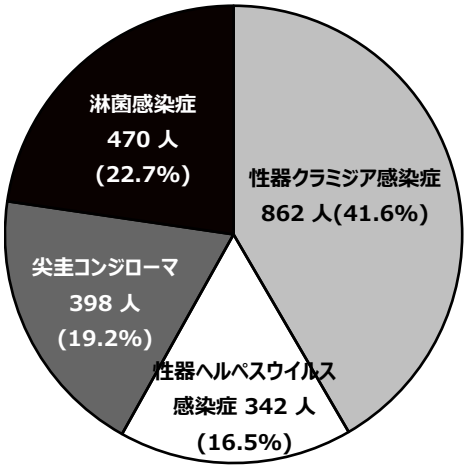


図 6 大阪 疾病別割合（女）2024 年
合計 2,067 人 （前年 2,219 人）

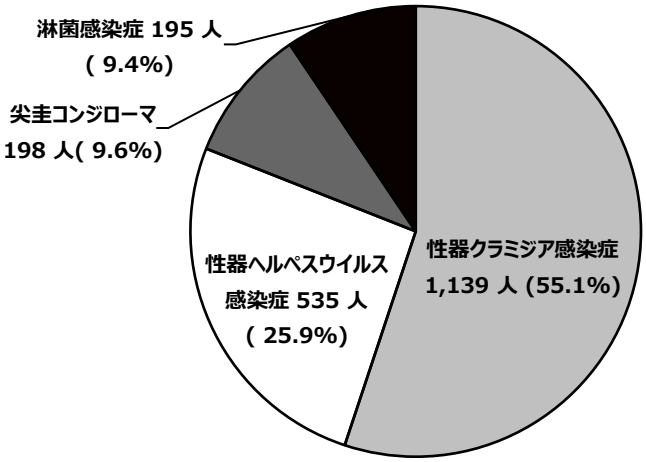


図 7 全国 疾病別割合（男）2024 年
合計 29,563 人 （前年 31,142 人）

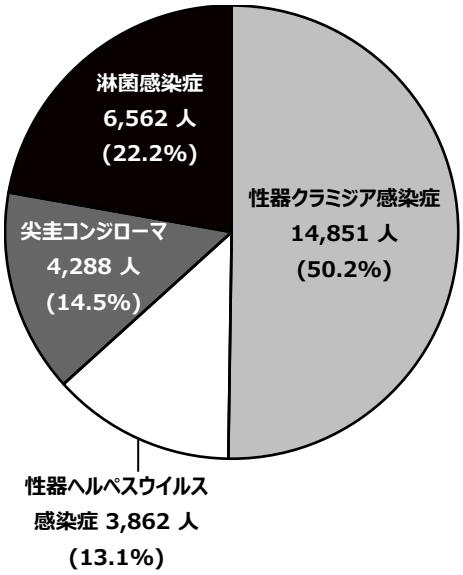
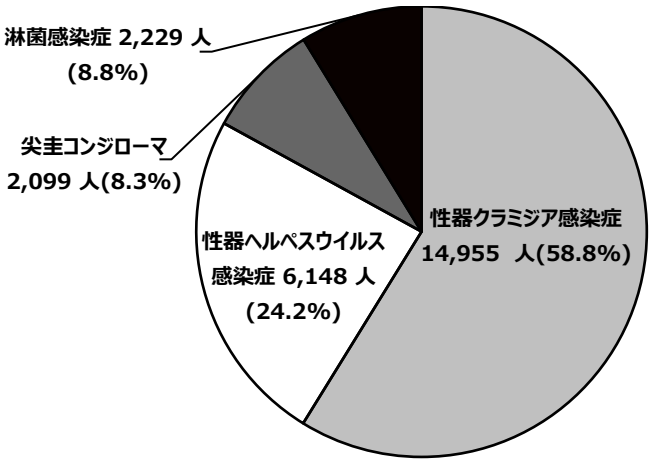


図 8 全国 疾病別割合（女）2024 年
合計 25,431 人 （前年 25,891 人）



2024 年報告数

疾病名	大阪（男）	全国（男）	大阪（女）	全国（女）
性器クラミジア感染症	862	14,851	1,139	14,955
性器ヘルペスウイルス感染症	342	3,862	535	6,148
尖圭コンジローマ	398	4,288	198	2,099
淋菌感染症	470	6,562	195	2,229
合計	2,072	29,563	2,067	25,431

全国の女性患者数は、25,431 人と、前年より 460 人減少している。疾患別の前年比は、性器クラミジア感染症(-338 人)、性器ヘルペスウイルス感染症(＋218 人)、尖圭コンジローマ(-174 人)、淋菌感染症(-166 人)であった(図 8)。

また、性別の割合で見ると、全体では男性が 53.8%（前年 54.6%）を占めている。疾患別では、男性の割合が高いのは、淋菌感染症 74.6%（前年 75.2%）、尖圭コンジローマ 67.1%（前年 65.7%）、で、女性の割合が高いのは、性器ヘルペスウイルス感染症 61.4%（前年 60.1%）、性器クラミジア感染症 50.2%（前年 51.1%）、となっている。

以上、全体では全国においては男性の占める割合が女性より高く、大阪府においては男性の占める割合が若干女性より高い。疾患別では、大阪府及び全国ともに、淋菌感染症、尖圭コンジローマは男性の占める割合が高く、性器ヘルペスウイルス感染症、性器クラミジア感染症は女性の占める割合が高い。

５）月別患者数

大阪府における患者数を月別に見ると、性器クラミジア感染症は、10 月(206 人)が最も多く、最も少ないのは、8 月(145 人)であった。性器ヘルペスウイルス感染症は、6 月(105 人)が最も多く、最も少ないのは 8 月(52 人)であった。尖圭コンジローマは、7 月(62 人)が最も多く、最も少ないは 2 月(36 人)であった。淋菌感染症は、7 月(68 人)が最も多く、最も少ないのは 4 月(40 人)であった(図 9-図 11)。

６）年齢階級別患者数

大阪府における患者数を年齢階級別に見ると、男性については、性器クラミジア感染症や淋菌感染症は、20 歳代前半から後半で多く見られた。また、性器ヘルペスウイルス感染症や尖圭コンジローマは、年齢階級による顕著なピークは見られないものの、20 歳代前半から 50 歳代前半の幅広い年齢で見られた。

女性については、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症では、20 歳代前半にピークがみられた。性器ヘルペスウイルス感染症は、20 歳代、30 歳代および 60 歳以上で多くみられた(図 12)。

（文責：皐月）

図 9-1 大阪 疾病･月別患者報告数（男女）

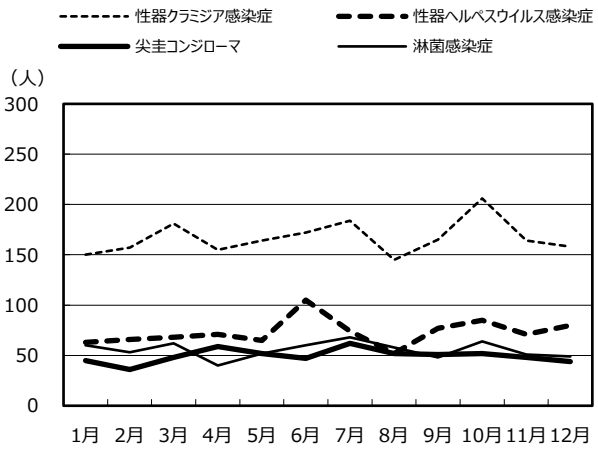


図 10-1 全国 疾病･月別患者報告数（男女）

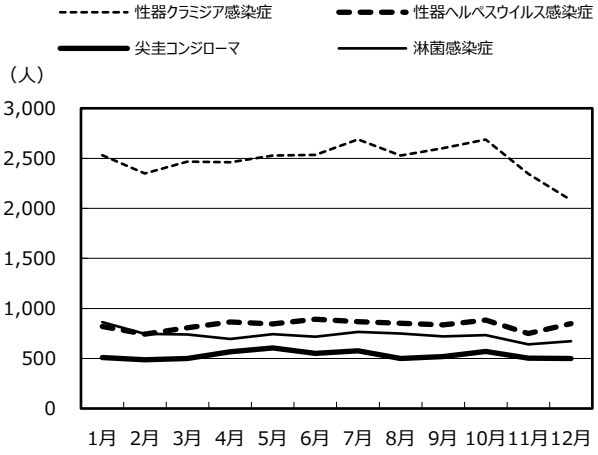


図 9-2 大阪 疾病･月別患者報告数（男）

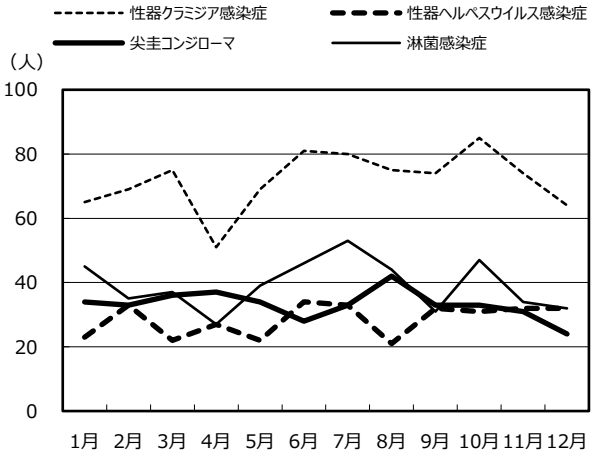


図 10-2 全国 疾病･月別患者報告数（男）

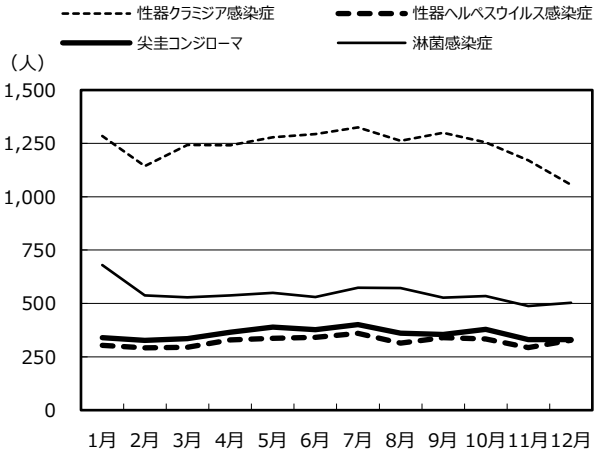


図 9-3 大阪 疾病･月別患者報告数（女）

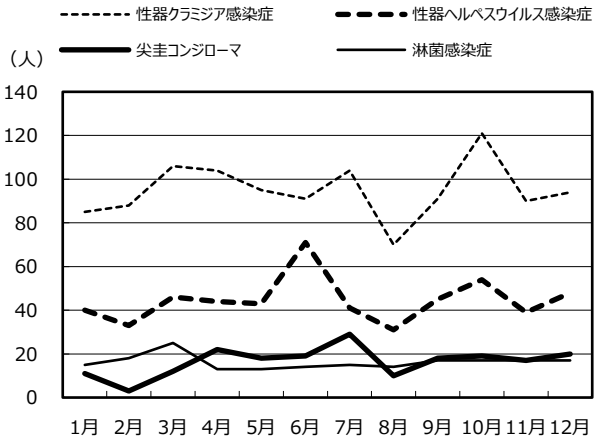


図 10-3 全国 疾病･月別患者報告数（女）

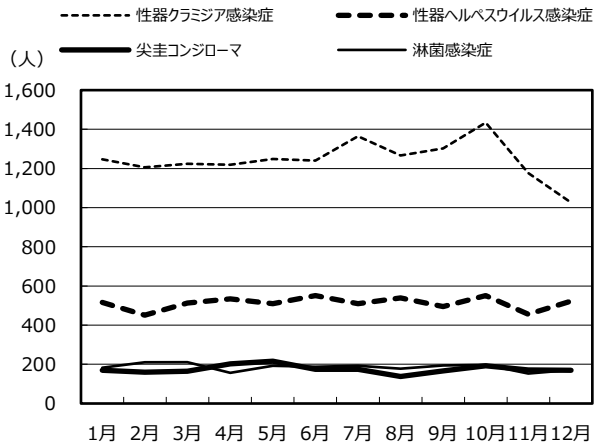


図 11-1 大阪 疾病・月別患者報告数
2022-2024 年（合計）

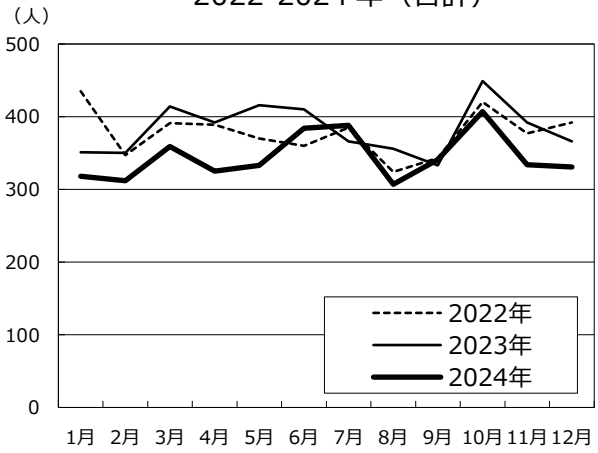


図 11-2 大阪 疾病・月別患者報告数
2022-2024 年（性器クラミジア感染症）

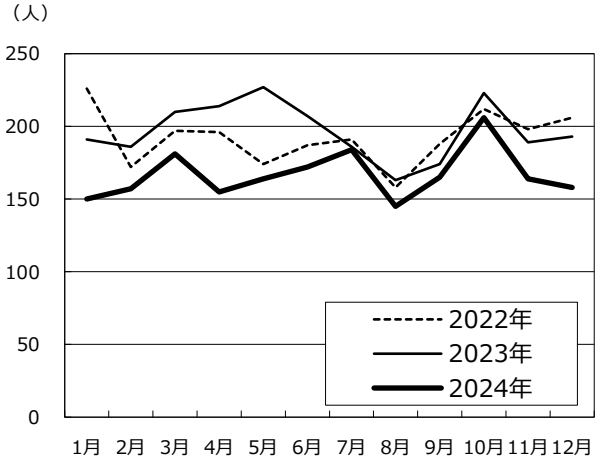


図 11-3 大阪 疾病・月別患者報告数
2022-2024 年（性器ヘルペスウイルス感染症）

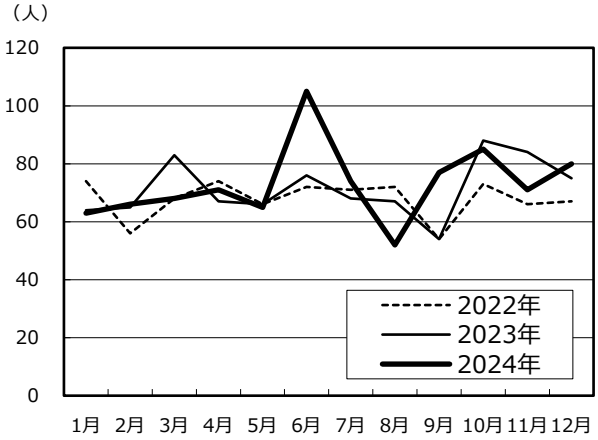


図 11-4 大阪 疾病・月別患者報告数
2022-2024 年（尖圭コンジローマ）

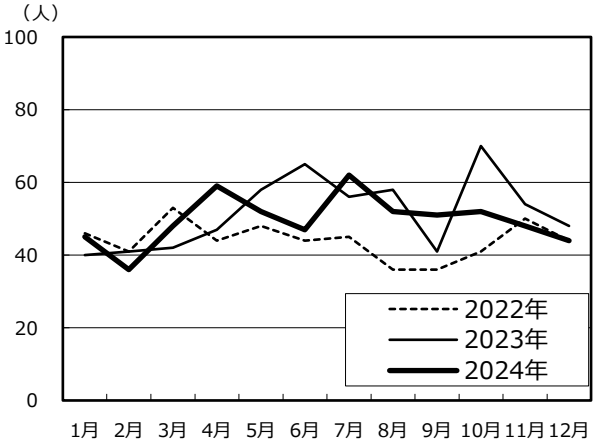


図 11-5 大阪 疾病・月別患者報告数
2022-2024 年（淋菌感染症）

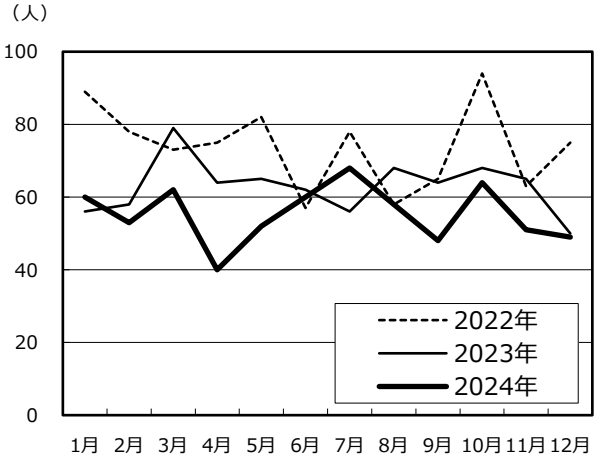


図 12-1　大阪　疾病・年齢階級別患者報告数（男女計）

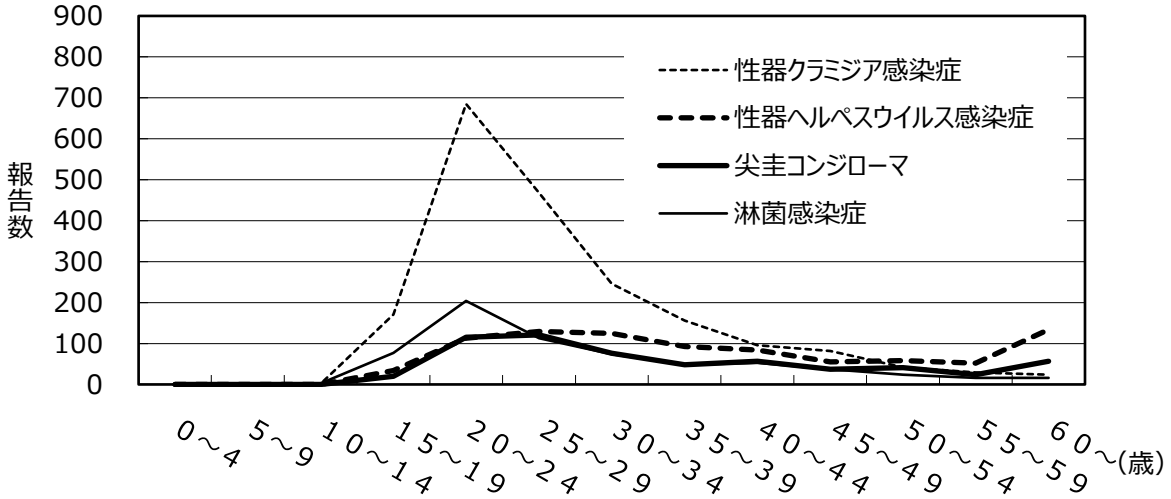


図 12-2　大阪　疾病・年齢階級別患者報告数（男）

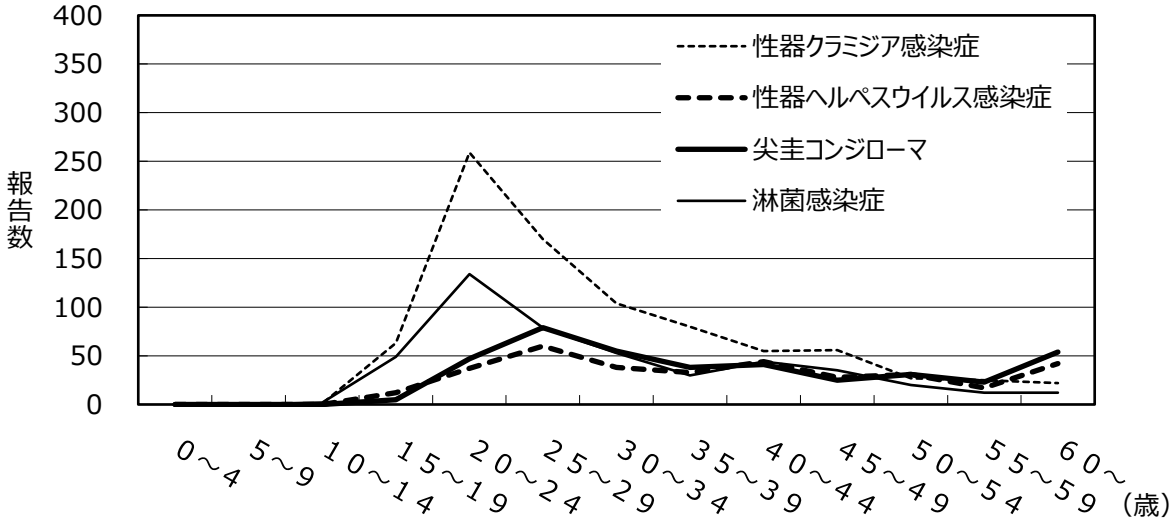
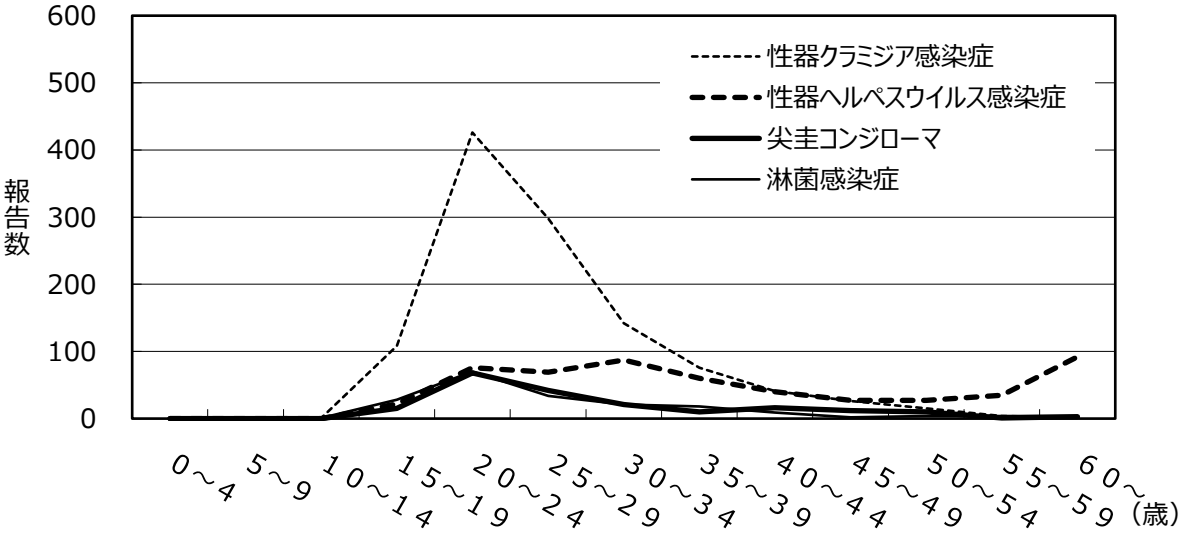


図 12-3　大阪　疾病・年齢階級別患者報告数（女）



１）疾病別・月別報告数（全国）

疾病名称		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	性	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり
性器クラミジア感染症	男	1,285	1.31	1,144	1.17	1,243	1.27	1,241	1.26	1,278	1.30	1,293	1.31
	女	1,247	1.27	1,206	1.23	1,224	1.25	1,219	1.24	1,249	1.27	1,241	1.26
	計	2,532	2.58	2,350	2.40	2,467	2.51	2,460	2.50	2,527	2.58	2,534	2.58
性器ヘルペスウイルス感染症	男	303	0.31	292	0.30	294	0.30	329	0.33	337	0.34	341	0.35
	女	517	0.53	451	0.46	513	0.52	535	0.54	509	0.52	551	0.56
	計	820	0.84	743	0.76	807	0.82	864	0.88	846	0.86	892	0.91
尖圭コンジローマ	男	340	0.35	327	0.33	335	0.34	365	0.37	389	0.40	377	0.38
	女	169	0.17	160	0.16	165	0.17	203	0.21	216	0.22	174	0.18
	計	509	0.52	487	0.50	500	0.51	568	0.58	605	0.62	551	0.56
淋菌感染症	男	680	0.69	537	0.55	529	0.54	538	0.55	550	0.56	530	0.54
	女	183	0.19	210	0.21	211	0.22	157	0.16	193	0.20	188	0.19
	計	863	0.88	747	0.76	740	0.75	695	0.71	743	0.76	718	0.73
合計	男	2,608	2.66	2,300	2.35	2,401	2.45	2,473	2.51	2,554	2.60	2,541	2.58
	女	2,116	2.16	2,027	2.06	2,113	2.16	2,114	2.15	2,167	2.21	2,154	2.19
	計	4,724	4.82	4,327	4.41	4,514	4.61	4,587	4.66	4,721	4.81	4,695	4.77

疾病名称		7月		8月		9月		１０月		１１月		１２月		総数	
	性	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり
性器クラミジア感染症	男	1,325	1.35	1,262	1.29	1,300	1.32	1,254	1.28	1,170	1.19	1,056	1.08	14,851	15.14
	女	1,364	1.39	1,267	1.29	1,302	1.32	1,434	1.46	1,176	1.20	1,026	1.05	14,955	15.24
	計	2,689	2.74	2,529	2.58	2,602	2.64	2,688	2.74	2,346	2.39	2,082	2.13	29,806	30.38
性器ヘルペスウイルス感染症	男	360	0.37	314	0.32	339	0.34	333	0.34	293	0.30	327	0.33	3,862	3.94
	女	509	0.52	539	0.55	495	0.50	551	0.56	456	0.46	522	0.53	6,148	6.27
	計	869	0.88	853	0.87	834	0.85	884	0.90	749	0.76	849	0.87	10,010	10.20
尖圭コンジローマ	男	401	0.41	361	0.37	354	0.36	379	0.39	330	0.34	330	0.34	4,288	4.37
	女	174	0.18	138	0.14	166	0.17	192	0.20	172	0.18	170	0.17	2,099	2.14
	計	575	0.58	499	0.51	520	0.53	571	0.58	502	0.51	500	0.51	6,387	6.51
淋菌感染症	男	573	0.58	572	0.58	527	0.54	535	0.55	488	0.50	503	0.51	6,562	6.69
	女	193	0.20	178	0.18	195	0.20	197	0.20	153	0.16	171	0.18	2,229	2.27
	計	766	0.78	750	0.76	722	0.73	732	0.75	641	0.65	674	0.69	8,791	8.96
合計	男	2,659	2.71	2,509	2.56	2,520	2.56	2,501	2.56	2,281	2.33	2,216	2.26	29,563	30.14
	女	2,240	2.29	2,122	2.16	2,158	2.19	2,374	2.42	1,957	2.00	1,889	1.93	25,431	25.92
	計	4,899	5.00	4,631	4.72	4,678	4.75	4,875	4.98	4,238	4.33	4,105	4.19	54,994	56.06

２）疾病別・月別報告数（大阪府）

疾病名称		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	性	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり
性器クラミジア感染症	男	65	1.05	69	1.11	75	1.21	51	0.81	69	1.08	81	1.27
	女	85	1.37	88	1.42	106	1.71	104	1.65	95	1.48	91	1.42
	計	150	2.42	157	2.53	181	2.92	155	2.46	164	2.56	172	2.69
性器ヘルペスウイルス感染症	男	23	0.37	33	0.53	22	0.35	27	0.43	22	0.34	34	0.53
	女	40	0.65	33	0.53	46	0.74	44	0.70	43	0.67	71	1.11
	計	63	1.02	66	1.06	68	1.10	71	1.13	65	1.02	105	1.64
尖圭コンジローマ	男	34	0.55	33	0.53	36	0.58	37	0.59	34	0.53	28	0.44
	女	11	0.18	3	0.05	12	0.19	22	0.35	18	0.28	19	0.30
	計	45	0.73	36	0.58	48	0.77	59	0.94	52	0.81	47	0.73
淋菌感染症	男	45	0.73	35	0.56	37	0.60	27	0.43	39	0.61	46	0.72
	女	15	0.24	18	0.29	25	0.40	13	0.21	13	0.20	14	0.22
	計	60	0.97	53	0.85	62	1.00	40	0.63	52	0.81	60	0.94
合計	男	167	2.69	170	2.74	170	2.74	142	2.25	164	2.56	189	2.95
	女	151	2.44	142	2.29	189	3.05	183	2.90	169	2.64	195	3.05
	計	318	5.13	312	5.03	359	5.79	325	5.16	333	5.20	384	6.00

疾病名称		7月		8月		9月		10月		11月		12月		総数	
	性	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり
性器クラミジア感染症	男	80	1.25	75	1.17	74	1.16	85	1.33	74	1.16	64	1.00	862	13.59
	女	104	1.62	70	1.09	91	1.42	121	1.89	90	1.41	94	1.47	1,139	17.96
	計	184	2.88	145	2.27	165	2.58	206	3.22	164	2.56	158	2.47	2,001	31.55
性器ヘルペスウイルス感染症	男	33	0.52	21	0.33	32	0.50	31	0.48	32	0.50	32	0.50	342	5.39
	女	41	0.64	31	0.48	45	0.70	54	0.84	39	0.61	48	0.75	535	8.44
	計	74	1.16	52	0.81	77	1.20	85	1.33	71	1.11	80	1.25	877	13.83
尖圭コンジローマ	男	33	0.52	42	0.66	33	0.52	33	0.52	31	0.48	24	0.38	398	6.28
	女	29	0.45	10	0.16	18	0.28	19	0.30	17	0.27	20	0.31	198	3.12
	計	62	0.97	52	0.81	51	0.80	52	0.81	48	0.75	44	0.69	596	9.40
淋菌感染症	男	53	0.83	44	0.69	31	0.48	47	0.73	34	0.53	32	0.50	470	7.41
	女	15	0.23	14	0.22	17	0.27	17	0.27	17	0.27	17	0.27	195	3.07
	計	68	1.06	58	0.91	48	0.75	64	1.00	51	0.80	49	0.77	665	10.49
合計	男	199	3.11	182	2.84	170	2.66	196	3.06	171	2.67	152	2.38	2,072	32.67
	女	189	2.95	125	1.95	171	2.67	211	3.30	163	2.55	179	2.80	2,067	32.59
	計	388	6.06	307	4.80	341	5.33	407	6.36	334	5.22	331	5.17	4,139	65.27

3）疾病別・ブロック別報告数

疾病	性	豊能 (8)	三島 (6)	北河内 (8)	中河内 (7)	南河内 (4)	堺市 (7)	泉州 (6)	大阪市 北部(6)	大阪市 西部(2)	大阪市 東部(5)	大阪市 南部(5)	大阪府	定点あたり
性器クラミジア感染症	男	75	27	133	185	121	188	11	37	17	14	54	862	13.59
	女	32	85	182	24	11	127	145	197	8	184	144	1,139	17.96
	計	107	112	315	209	132	315	156	234	25	198	198	2,001	31.55
性器ヘルペスウイルス感染症	男	22	21	7	111	32	84		21	3	7	34	342	5.39
	女	19	21	126	5	19	58	35	144	2	29	77	535	8.44
	計	41	42	133	116	51	142	35	165	5	36	111	877	13.83
尖圭コンジローマ	男	49	12	2	108	49	59	6	15	2	35	61	398	6.28
	女	6	22	22	8	8	10	21	19		79	3	198	3.12
	計	55	34	24	116	57	69	27	34	2	114	64	596	9.40
淋菌感染症	男	13	17	39	134	82	105	5	16	9	9	41	470	7.41
	女	4	19	21	3	6	28	27	43	2	31	11	195	3.07
	計	17	36	60	137	88	133	32	59	11	40	52	665	10.49
合計	男	159	77	181	538	284	436	22	89	31	65	190	2,072	32.67
	女	61	147	351	40	44	223	228	403	12	323	235	2,067	32.59
	計	220	224	532	578	328	659	250	492	43	388	425	4,139	65.27

（）内の数字はSTD定点医療機関の数。ただし、月により変動することがある。
報告数が0の場合は空欄としている

4）疾病別・年齢別報告数

疾病名	性	0～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60歳～	合計
性器クラミジア感染症	男			1	63	259	170	104	80	55	56	27	25	22	862
	女			1	108	426	298	142	76	41	26	15	4	2	1,139
	計			2	171	685	468	246	156	96	82	42	29	24	2,001
性器ヘルペスウイルス感染症	男				12	37	60	38	33	44	28	31	17	42	342
	女				22	76	69	87	60	40	27	27	35	92	535
	計				34	113	129	125	93	84	55	58	52	134	877
尖圭コンジローマ	男				5	47	79	55	38	41	25	31	23	54	398
	女				15	68	42	21	10	16	12	10	1	3	198
	計				20	115	121	76	48	57	37	41	24	57	596
淋菌感染症	男			2	49	134	79	53	30	44	35	20	12	12	470
	女			1	28	70	34	21	18	9	2	4	4	4	195
	計			3	77	204	113	74	48	53	37	24	16	16	665
合計	男			3	129	477	388	250	181	184	144	109	77	130	2,072
	女			2	173	640	443	271	164	106	67	56	44	101	2,067
	計			5	302	1,117	831	521	345	290	211	165	121	231	4,139

報告数が 0 の場合は空白としている

IV　全数把握感染症

Ⅳ　全数把握感染症

１．一類感染症

全国、大阪府とも発生はなかった。

２．二類感染症

結核以外の二類感染症は、全国、大阪府とも発生はなかった。

結核については、下記ホームページを参照されたい。

（財）結核予防会結核研究所　疫学情報センター

https://jata-ekigaku.jp

（文責：皐月）

３．三類感染症

●コレラ

大阪府内では、コレラの発生はなかった。

●細菌性赤痢

30 週に 1 例の届出があり、感染地域はミャンマーと推定され、*Shigella boydii* 1 が分離された。無症状病原体保有者であった。

●腸チフス

14 週から 31 週に 3 例の届出があり、感染地域は 2 例がバングラデシュ、1 例がミャンマーと推定された。3 例の患者の共通症状は高熱で、1 例で脾腫、1 例で下痢、1 例で脾腫、便秘、意識障害、難聴が認められた。

●パラチフス

18 週に 1 例の届出があり、感染地域はインドネシアと推定された。高熱、比較的徐脈、脾腫、下痢、頭痛が認められた。

●腸管出血性大腸菌感染症

226 例の届出があった。年間を通しての発生状況については、例年同様に 6 月から 9 月にかけて多く発生した（図 1）。感染者の年齢は 20 歳代が最も多く、男女間では感染者数に大きな違いは見られなかった（図 2）。なお、HUS 患者の報告は 11 例であった。

（文責：河合）

図 1　腸管出血性大腸菌感染症 週別発生状況　2024 年 1～52 週

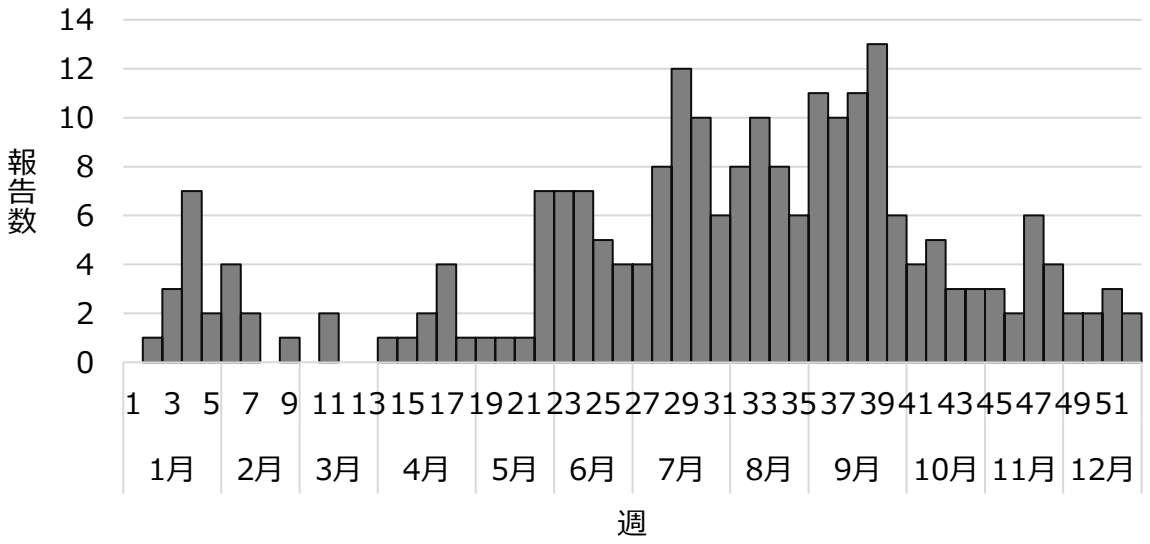
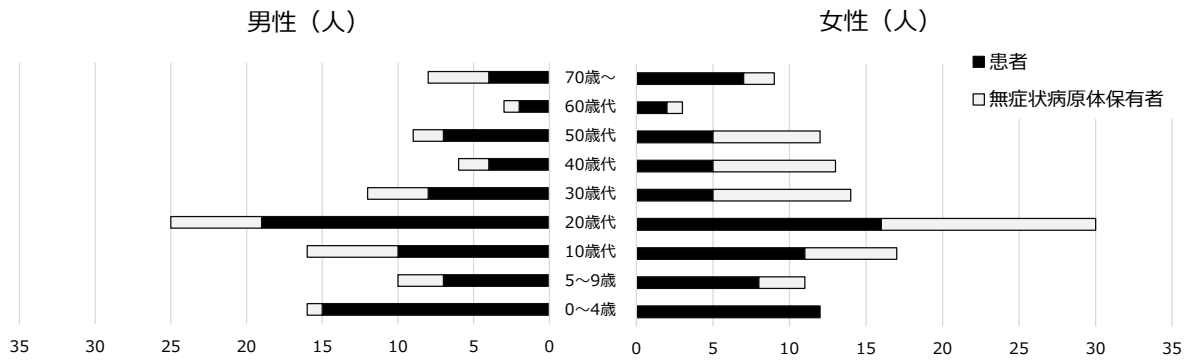


図 2　腸管出血性大腸菌感染症 年齢別発生状況　2024 年 1～52 週



４．四類・五類感染症（全数把握分）

2024 年、大阪府における四類・五類感染症の届出数は、32 疾患 3,305 例であった。2023 年の 34 疾患 2,987 例に比べて 2 疾患減少し、届出数は 318 例の増加であった（表 1）。

四類感染症の大阪府内届出数は 11 疾患 178 例であり、前年に比べて 35 例減少した（表 1）。前年届出がなかったジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群の報告があった。一方、前年届出があったエムポックス、日本脳炎、ライム病、レプトスピラ症は 2024 年に届出がなかった。その他、前年から増加した疾患は、A 型肝炎、デング熱、日本紅斑熱、マラリアの 4 疾患であり、減少した疾患は、E 型肝炎、つつが虫病、レジオネラ症の 3 疾患であった。A 型肝炎は、6 例の届出があり、前年の 2 例に比べて、4 例の増加であった。ジカウイルス感染症は 1 例（大阪市）の届出があり、推定感染地域は国外であった。重症熱性血小板減少症候群は 4 例（豊能、中河内、堺市、泉州、各 1 例）の届出があり、推定感染地域

が大阪府内であったのは 3 例、大阪府外であったのは 1 例であった。チクングニア熱は 1 例の届出があり、推定感染地域は国外であった。つつが虫病は前年より 1 例減の 2 例の届出があり、そのうち 1 例の推定感染地域は大阪府内であった。日本紅斑熱は前年より 8 例増加の 17 例で、このうち 4 例が泉州ブロックからの届出であった。また、17 例のうち推定感染地域が大阪府内であったのは 6 例、大阪府外であったのは 11 例であった。デング熱は 1 例増加の 21 例、マラリアは 4 例増加の 6 例であった。いずれも渡航歴の記載があった。レジオネラ症は 18 例減少し、113 例の届出があった。

五類感染症の大阪府内届出数は 21 疾患 3,127 例であった。前年の届出数に比べて 353 例の増加であった。2023 年より 14 疾患増加した。このうち、主に増加した疾患について述べる。クリプトスポリジウム症は 2021 年以降届出がなかったが、2024 年は 4 例の届出があった。侵襲性髄膜炎菌性髄膜炎菌感染症は、前年より 8 例増加の 11 例であった。その他、侵襲性インフルエンザ菌感染症は、50 例から 67 例、侵襲性肺炎球菌感染症は、176 例から 256 例、播種性クリプトコックス症は 8 例から 14 例に増加した。一方、梅毒は前年より 74 例減少し、1,943 例であった。劇症型溶血性レンサ球菌感染症、百日咳及び麻しんについては、別項で後述する。

全国の 2024 年における四類・五類感染症の届出数を見ると、34,544 例で前年の 29,767 例と比べて 4,777 例の増加となっている。

全国の四類感染症では、届出のあった 23 疾患のうち、15 疾患で増加し、7 疾患で減少した。1 疾患は増減がなかった。主に、四類感染症で増加した疾患は、A 型肝炎が 56 例から 137 例に、デング熱が 176 例から 231 例に、日本紅斑熱が 501 例から 523 例に、日本脳炎が 6 例から 9 例に、マラリアが 36 例から 45 例に、レジオネラ症が 2,288 例から 2,428 例に増加した。ダニ媒介脳炎、ボツリヌス症、類鼻疽は前年届出がなかったが、それぞれ 2 例、7 例、 2 例の届出があった。一方、主に減少した疾患は、エムポックスは 225 例から 19 例と大きく減少した。その他、重症熱性血小板減少症候群が 134 例から 122 例に、つつが虫病が 444 例から 353 例に減少した。

全国の五類感染症では、届出のあった 22 疾患のうち、15 疾患で増加し、7 疾患で減少した。主に増加した疾患は、アメーバ赤痢が 489 例から 523 例に、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が 2,113 例から 2,293 例に、劇症型溶血性レンサ球菌感染症が 949 例から 1,893 例に、侵襲性インフルエンザ菌感染症が 567 例から 651 例に、侵襲性髄膜炎菌感染症が 21 例から 66 例に、侵襲性肺炎球菌感染症が 1,988 例から 2,555 例に、百日咳が 1,015 例から 4,093 例に、麻しんが 28 例から 45 例にそれぞれ増加した。一方、減少した主な疾患について見ると、ウイルス性肝炎は 244 例から 228 例に、急性脳炎が 658 例から 633 例に、梅毒は 15,078 例から 14,816 例に、風しんは 12 例から 9 例にそれぞれ減少した。

新型コロナウイルス感染症流行以前の生活様式に戻ったことや、コロナ禍で感受性宿主群

が多くなっていることが全数把握感染症の発生動向にも影響したと考えられる。

表１　四類・五類全数把握感染症届出数

種別	疾患名＼届出数	大阪府内計		全国計	
		2024年	2023年	**2024年**	2023年
四類	E型肝炎	6	12	527	552
	A型肝炎	6	2	137	56
	エキノコックス症			20	13
	エムポックス		22	19	225
	オウム病	1	1	4	8
	回帰熱			11	23
	Q熱			6	1
	コクシジオイデス症			4	4
	ジカウイルス感染症	1		4	2
	重症熱性血小板減少症候群	4		122	134
	ダニ媒介脳炎			2	
	チクングニア熱	1	1	10	7
	つつが虫病	2	3	353	444
	デング熱	21	20	231	176
	日本紅斑熱	17	9	523	501
	日本脳炎		1	9	6
	ブルセラ症			5	2
	ボツリヌス症			7	
	マラリア	6	4	45	36
	ライム病		3	25	28
	類鼻疽			2	
	レジオネラ症	113	131	2428	2288
	レプトスピラ症		4	53	49
四類合計		178	213	4,547	4,555
五類	アメーバ赤痢	40	53	523	489
	ウイルス性肝炎	26	26	228	244
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	181	173	2,293	2,113
	急性弛緩性麻痺	2	2	48	55
	急性脳炎	22	20	633	658
	クリプトスポリジウム症	4		27	16
	クロイツフェルト・ヤコブ病	9	7	172	170
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	105	55	1,893	949
	後天性免疫不全症候群	89	80	1,010	951
	ジアルジア症	3	4	42	39
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	67	50	651	567
	侵襲性髄膜炎菌感染症	11	3	66	21
	侵襲性肺炎球菌感染症	256	176	2,555	1,988
	水痘（入院例）	33	26	486	407
	梅毒	1,943	2,017	14,816	15,078
	播種性クリプトコックス症	14	8	191	173
	破傷風	4	1	86	110
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	15	15	124	115
	百日咳	291	50	4,093	1,015
	風しん	1	2	9	12
	麻しん	11	5	45	28
	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1	6	14
五類合計		3,127	2,774	29,997	25,212
四類五類合計		3,305	2,987	34,544	29,767

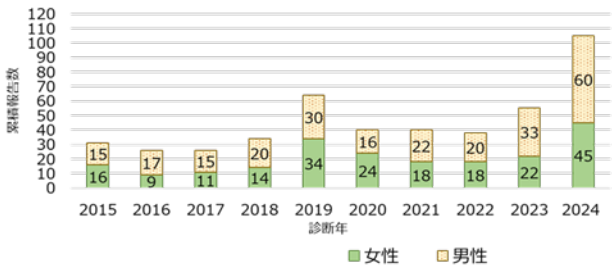
●劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2024 年、大阪府において、劇症型溶血性レンサ球菌感染症の届出は 105 例で、過去 10 年で最多であった。2023 年の 55 例に比べ大幅に増加した。週別届出数は第 9 週、第 31 週が 5 例で最も多かった。性別は男性 60 例、女性 45 例と男性が 57%を占めた。年代別には、多い順に、80 代以上が 36 例(34.3%)、60 代が 23 例(21.9%)、70 代が 17 例(16.2%)であり、60 代以上の高齢者の報告が 72.4%を占めた。届出時に血清群の記載のあった報告は 93 例で、内訳は、A 群 56 例(60.2%)、B 群 12 例(12.9)%、C 群 1 例(1.1%)、G 群 24 例(25.8%)と、A 群が 6 割を占めた。

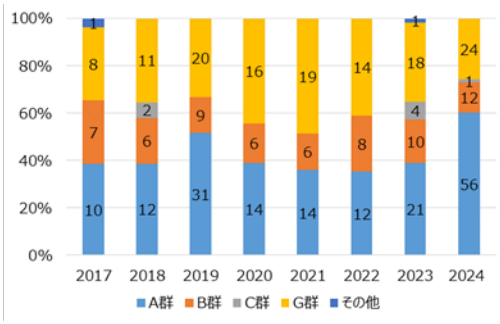
病原体の情報については、後述(V 検査情報 119 ページ)に、近畿地区内で報告のあった劇症型溶血性レンサ球菌感染症(届出に満たない重症溶血性レンサ球菌感染症を含む)のうち、原因菌株が確保できた 180 例について実施した解析の報告を掲載している。

（文責　西田）

診断年別性別累積報告数

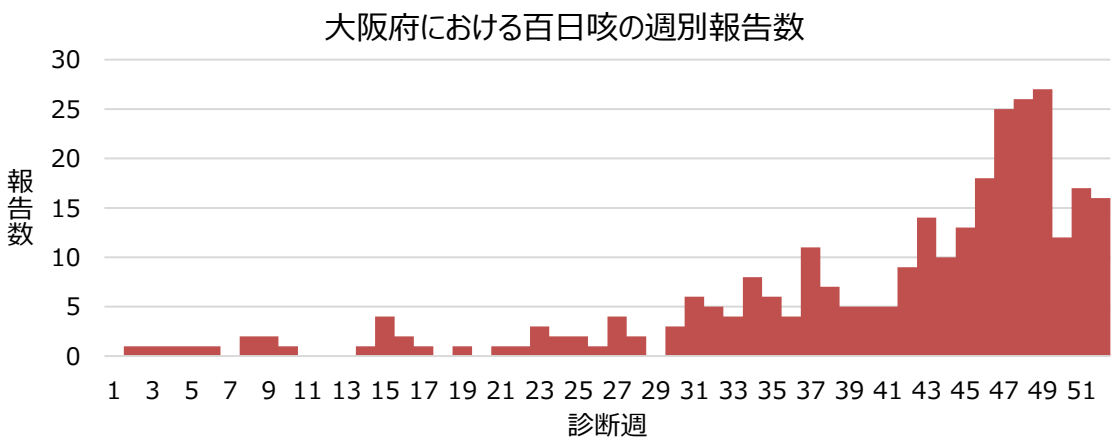


届出時に記載のあった血清群の内訳



●百日咳

2024 年、大阪府における百日咳の報告数は 291 例であった。週別報告数について、年後半以降増加傾向となり、第 49 週に最も多い 27 例の報告があった（下図）。性別の内訳は、



男性 166 例、女性 125 例であった。年齢別では、11 歳の報告数が最も多く 35 例で、年齢の中央値は 12 歳であった。また、0 歳の報告数は 11 例であった。感染地域について、ブロック別で多い順に、大阪市東部 75 例、北河内 74 例、泉州 35 例であった。家庭内感染について、同胞からが 32 例、父親と母親からがそれぞれ 14 例であった。検査法の内訳は、PCR（Polymerase Chain Reaction）法が 117 例と最も多く、次に多かったのが LAMP（Loop-Mediated Isothermal Amplification）法の 56 例であった。ワクチン 4 回接種済みは 172 例であった。また、0 歳児のワクチン未接種者は 11 人中 7 人であった。大阪府でもマクロライド耐性百日咳が報告されており、今後もマクロライド系抗生物質（クラリスロマイシン、アジスロマイシン等）による薬剤耐性菌の発生状況に注意が必要である [1)]。

（文責　山中）

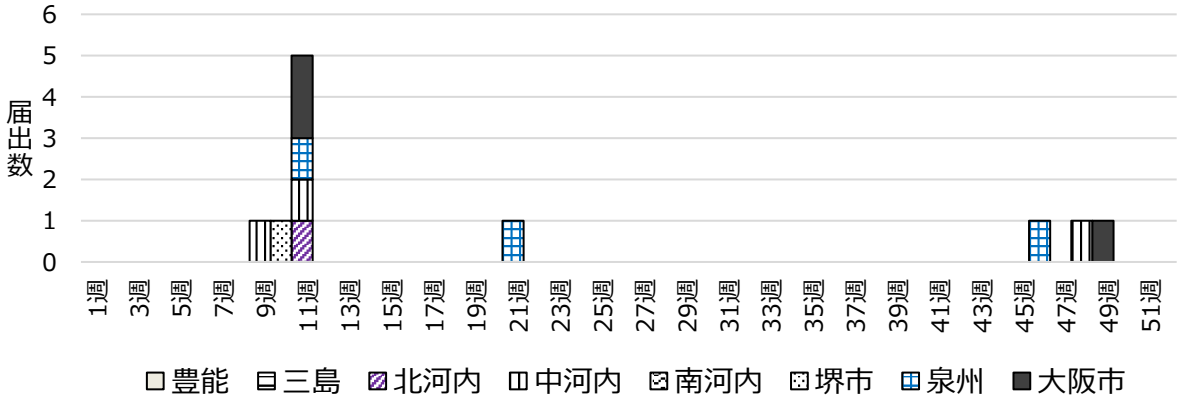
参考文献

1. マクロライド耐性百日咳菌を検出した大阪府の小児 3 例｜国立健康危機管理研究機構｜*IASR* Vol. 46 p42-43: 2025 年 2 月号［Internet］.［cited 2025 August 20］. Available from: https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/46/540/article/140/index.html

●麻しん

2024 年、大阪府において、麻しんの届出は 11 例であった。2023 年と比べ 6 例増加した。週別届出数は第 11 週が 5 例で最も多かった。ブロック別では中河内ブロック、泉州ブロック、大阪市が各 3 例、北河内ブロック、堺市各 1 例であった（図）。全国における 2024 年の届出は 45 例であり、前年と比べ 17 例増加した。全国の集計において、推定感染地域が国外とされたのは 22 例あった。海外への渡航者あるいは海外から来日する外国人の増加に伴い、日本国内での麻しんの発生に対する注意は今後も必要である。（文責:皐月）

（図）大阪府における週別麻しん届出状況



Ⅴ　検　査　情　報

V　検　査　情　報

１．ウイルス検査情報（大阪府・大阪市・堺市）

2024 年 1 月から 12 月の間に大阪健康安全基盤研究所微生物部ウイルス課、堺市衛生研究所微生物グループにおいて検査を行った検体総数は 1583 件であり、2023 年の 1591 件から 0.5%減少した。2024 年のウイルス検出総数（重複を含む）は 659 例で、2023 年の 788 例に比べて 16.4%減少した。ウイルスが検出された検体は 1583 件のうち 632 件で、陽性率は 39.9%であり、2023 年から 7.8%減少した。

1）2024 年検出ウイルス

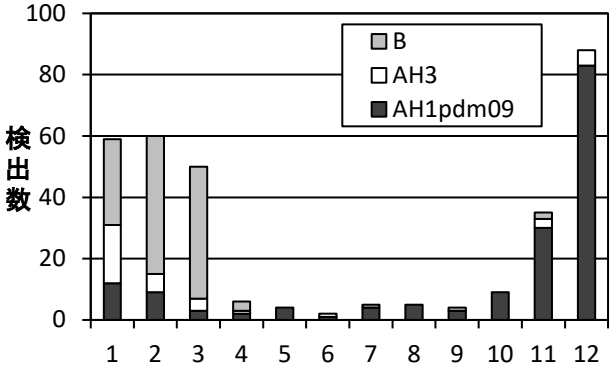
（1）月別ウイルス検出数（表１）

年間で最も多く検出されたウイルスはインフルエンザウイルスの 327 例、次いでエンテロウイルス 79 例、ライノウイルス 54 例、ノロウイルス 51 例、麻しんウイルス 34 例、アデノウイルス 23 例、RS ウイルス 20 例、ヒトメタニューモウイルス 19 例、パレコウイルス 9 例、コロナウイルス 8 例、ロタウイルス 7 例、サポウイルス 7 例、パラインフルエンザウイルス 6 例、ヘルペスウイルス 4 例、アストロウイルス 3 例の順であった（表 1）。

月別のウイルス検出数では、12 月が 107 例と最も多く、次いで 3 月 87 例、2 月 82 例、1 月 81 例、11 月 69 例、6 月 53 例の順であった。1 月、2 月、3 月、11 月および 12 月はいずれの月もインフルエンザウイルスの検出数が最も多かった。6 月はエンテロウイルスの検出数が最も多かった。

インフルエンザウイルスは年間を通して検出され、12 月に 88 例と最も多く、次いで 2 月に 60 例、1 月に 59 例であった（図 1）。型別の検出数は、AH1pdm09 が 165 例と最も多く、B ビクトリア系統が 122 例、AH3 亜型が 39 例であった。

図1　インフルエンザウイルス月別検出状況



エンテロウイルスは 1 月から 3 月および 5 月から 12 月に検出され、6 月に 17 例と最も多く、次いで 10 月に 12 例、7 月に 11 例であった。型別では、コクサッキーウイルス A6 型が 35 例と最も多く、次いで多かったのはコクサッキーウイルス A16 の 14 例、エンテロウイルス A71 の 8 例であった（図 2）。

ライノウイルスは年間を通して検出され、11 月に 10 例と最も多く、次いで 5 月および 6 月に各 7 例であった。遺伝子群が判明しているのは 54 例中 13 例で、そのうち 8 例が C 群であった（図 3）。

ノロウイルスは１月から３月、５月から８月、11 月および 12 月に検出され、３月が 11 例と最も多く、次いで６月に 10 例、２月に８例であった。遺伝子群別では、遺伝子群Ｇ1 が２例、遺伝子群Ｇ2 が 49 例であった（図 4）。

麻しんウイルスは２月、３月、５月、11 月および 12 月に検出され、３月が 17 例と最も多く、次いで 11 月に７例、12 月に４例であった。型が判明しているのは 23 例で、D8 が 11 例、B3 が６例であった（図 5）。

アデノウイルスは１月、２月および４月から 11 月に検出され、１月および５月に各４例と最も多く、次いで２月および 10 月に各３例であった。型別では、２型が 10 例と最も多く、次いで３型が４例であった。

ＲＳウイルスは１月から７月、９月および 11 月に検出され、４月が６例と最も多く、次いで３月に３例、２月、５月、６月および７月に各２例であった。型別では、A 型が 15 例、B 型が５例であった。

ヒトメタニューモウイルスは１月、３月から６月、８から 11 月に検出され、９月および 10 月に４例と最も多く、次いで４月に３例であった。

パレコウイルスは６月および８月から 12 月に検出され、12 月に３例と最も多く、次いで 11 月に２例であった。

コロナウイルスは１月から３月、５月および６月に検出され、５月に３例と最も多く、次いで６月に２例であった。

図2 エンテロウイルス月別検出状況

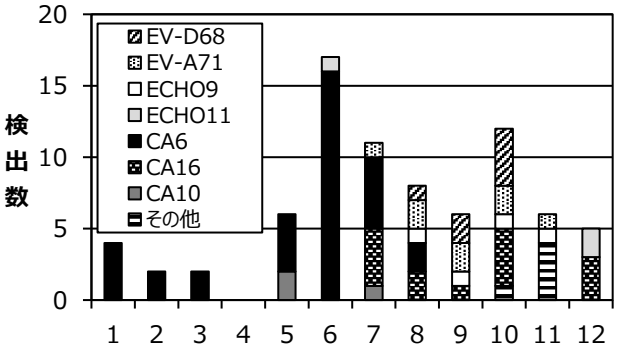


図3 ライノウイルス月別検出状況

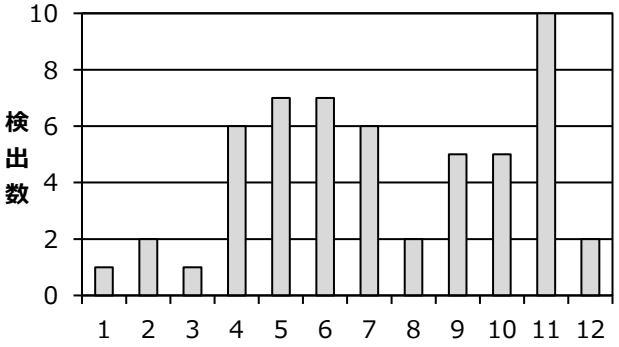


図4 ノロウイルス月別検出状況

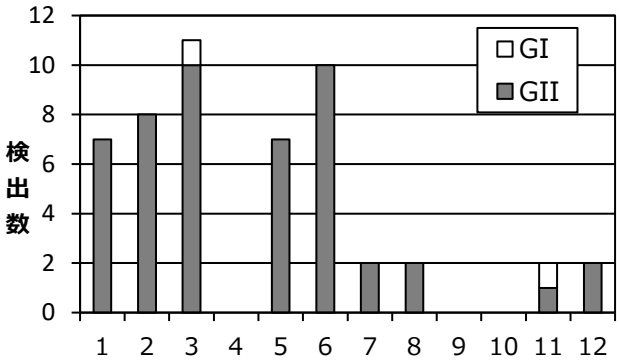


図5 麻しんウイルス月別検出状況

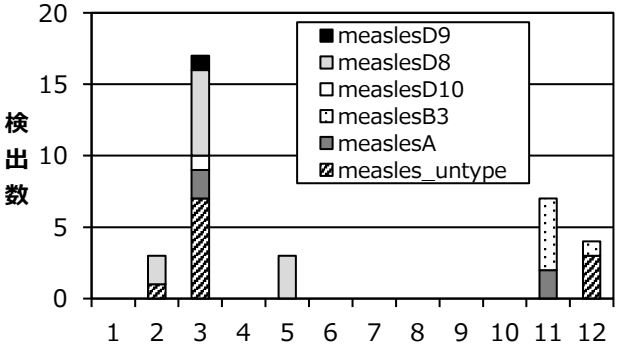


表１　月別ウイルス検出数（2024.1～12）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	１０月	１１月	１２月	計
Ad_untype										1			1
Ad1	1						1						2
Ad2	2				3	2		1			2		10
Ad3	1	1		1	1								4
Ad37		1							1	1			3
Ad53		1											1
Ad54										1			1
Ad56				1									1
Astro_type1			1							1			2
Astro_type4						1							1
CA10					2		1						3
CA16							4	2	1	4		3	14
CA5										1			1
CA6	4	2	2		4	16	5	2					35
CB3											1		1
Dengue1					1								1
Dengue3								1					1
ECHO11						1						2	3
ECHO7											2		2
ECHO9								1	1	1	1		4
EV-A71							1	2	2	2	1		8
EV-B											1		1
EV-D68								1	2	4			7
FLU_AH1pdm09	12	9	3	2	4	1	4	5	3	9	30	83	165
FLU_AH3	19	6	4	1		1					3	5	39
FLU_B			1										1
FLU_B_Victoria	28	45	42	3			1		1		2		122
Hbov						1							1
HCoV-HKU1		1			1	2							4
HCov-NL63			1		2								3
HCov-OC43	1												1
HHV6_untype	1			1						1			3
HHV7	1												1
hMPV	1		1	3	2	1		2	4	4	1		19
HPeV_untype											2		2
HPeV1								1		1		3	5
HPeV3						1							1
HPeV6									1				1
measles_untype		1	7									3	11
measlesA			2								2		4
measlesB3											5	1	6
measlesD10			1										1
measlesD8		2	6		3								11
measlesD9			1										1
NVG1-2											1		1
NVG1-3			1										1
NVG2_untype			1		1	2							4
NVG2-17			1				1						2
NVG2-4	6	6	3		2	1	1	2			1		22
NVG2-6						1						2	3
NVG2-7	1	2	5		4	6							18
ParvoB19											1	1	2
PIV1					1								1
PIV3					1	4							5
Rhino_untype	1	1		6	5	5	5	1	4	2	9	2	41
RhinoA					1	2	1						4
RhinoB									1				1
RhinoC		1	1		1			1		3	1		8
RotaAG1				1									1
RotaAG2				1	1								2
RotaAG3											2	1	3
RotaAG8					1								1
RSA	1	1	2	4	2	2	1		1		1		15
RSB		1	1	2			1						5
SapoG1-1	1												1
SapoG2												1	1
SapoG2-5				1		1	2						4
SapoG5		1											1
STFSウイルス						1							1
VZV						1	1						2
計	81	82	87	27	43	53	30	22	22	36	69	107	659

0の場合には空白としている

（2）年齢別ウイルス検出数（表 2）

年齢群別で最も多くウイルスが検出されたのは 15 歳以上の 184 例であった。次いで 1 歳未満の 84 例、1 歳の 80 例、10 から 14 歳の 78 例、2 歳の 45 例の順であった。

15 歳以上で最も多く検出されたウイルスは、インフルエンザウイルスの 144 例で、次いで麻しんウイルスの 25 例、アデノウイルスの 6 例であった。

1 歳未満で最も多く検出されたウイルスは、エンテロウイルスの 24 例で、次いで RS ウイルスの 13 例、ライノウイルスの 10 例であった。

1 歳で最も多く検出されたウイルスは、エンテロウイルスの 21 例で、次いでノロウイルスの 16 例、インフルエンザウイルスの 12 例であった。

10 から 14 歳で最も多く検出されたウイルスは、インフルエンザウイルスの 71 例で、次いでライノウイルスの 2 例で、エンテロウイルス、メタニューモウイルス、ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルスは各 1 例であった。

2 歳で最も多く検出されたウイルスは、エンテロウイルスの 14 例で、次いでインフルエンザウイルスの 10 例、ライノウイルスの 6 例であった。

2）2024 年検体数およびウイルス陽性率

（1）月別検体数およびウイルス陽性率（表 3）

月別検体数は、3 月の 286 件（286/1583、18.1%）が最も多く、次いで 12 月 235 件（14.8%）、1 月および 11 月 137 件（8.7%）、4 月 135 件（8.5%）の順であった。

3 月は麻しん・風しんの検体が 188 件（65.7%、188/286）と最も多く、次いでインフルエンザが 52 件（18.2%）、感染性胃腸炎が 16 件（5.6%）であった。

12 月はインフルエンザの検体が 104 件（44.3%、104/235）と最も多く、次いで麻しん・風しんが 81 件（34.5%）、その他が 16 件（6.8%）であった。

1 月はインフルエンザの検体が 65 件（47.4%、65/137）と最も多く、次いで次いで麻しん・風しんが 31 件（22.6%）、感染性胃腸炎が 13 件（9.5%）であった。

11 月はインフルエンザの検体が 41 件（29.9%、41/137）と最も多く、次いで麻しん・風しんが 39 件（28.5%）、無菌性髄膜炎が 10 件（7.3%）であった。

4 月は麻しん・風しんの検体が 88 件（65.2%、88/135）と最も多く、次いでインフルエンザ、感染性胃腸炎、その他が各 8 件（5.9%）であった。

月別検体ウイルス陽性率は、2 月の 76.4%（81/106）が最も高く、次いで 1 月 59.1%（81/137）、11 月 48.9%（67/137）、10 月 47.8%（33/69）、12 月 45.5%（107/235）の順であった。また、陽性率が低い月は 4 月 17.8%（24/135）、8 月 24.4%（21/86）、3 月 29.7%（85/286）であった。

（2）疾患別検体数およびウイルス陽性率（表 3）

疾患別検体数は、麻しん・風しんの 656 件（41.4%、656/1583）が最も多く、以下、インフルエンザ 376 件（23.8%）、感染性胃腸炎 131 件（8.3%）、その他 93 件（5.9%）、無菌性髄膜炎 70 件（4.4%）の順であった。

麻しん・風しんは 3 月の検体が 118 件（18.0%、118/656）と最も多く、次いで 4 月 88 件（13.4%）、12 月 81 件（12.3%）であった。麻疹ウイルスが検出された検体は 34 件（5.2%、34/656）で、風しんウイルスは検出されなかった。

インフルエンザは 12 月の検体が 104 件（27.7%、104/376）と最も多く、次いで 1 月 65 件（17.2%）、2 月 60 件（16.0%）であった。インフルエンザウイルスが検出された検体は 326 件（86.7%、326/376）で、次いでエンテロウイルスおよびヒトメタニューモウイルス各 5 件（1.3%）であった。

感染性胃腸炎は 6 月の検体が 19 件（14.5%、19/131）と最も多く、次いで 3 月 16 件（12.2%）、1 月および 10 月 13 件（9.9%）であった。ウイルスが検出された検体は、ノロウイルスが 50 件（38.2%、50/131）と最も多く、次いでロタウイルスおよびサポウイルス各 7 件（5.3%）であった。

その他は 12 月の検体が 16 件（17.2%、16/93）と最も多く、次いで 7 月および 8 月各 13 件（14.0%）であった。ウイルスが検出された検体は、ライノウイルスが 11 件（11.8%、11/93）で最も多く、次いでエンテロウイルス 10 件（10.8%）、アデノウイルス 2 件（2.2%）であった。

無菌性髄膜炎は 7 月の検体が 12 件（17.1%、12/70）と最も多く、次いで 11 月 10 件（14.3%）、3 月 9 件（12.9%）であった。ウイルスが検出された検体は、ライノウイルスが 6 件（8.6%、6/70）で最も多く、次いでエンテロウイルス 2 件（2.9%）、ヒトメタニューモウイルス 1 件（14.3%）であった。

疾患別検体ウイルス陽性率は、流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎（100.0%、5/5）が最も高く、次いでインフルエンザ（89.4%、336/376）、手足口病（79.4%、54/68）、咽頭結膜熱（78.6%、11/14）、RS ウイルス感染症（64.7%、22/34）であった。また、陽性率の低い疾患は、流行性耳下腺炎（0%、0/3）、麻しん・風しん（5.2%、34/656）、無菌性髄膜炎（14.3%、10/70）であった。

（3）検体種別検体数およびウイルス陽性率（表 4）

検体種別検体数は、咽頭拭い液の 461 件（29.1%、431/1591）が最も多く、以下、鼻汁・鼻腔拭い液 284 件（17.9%）、血液・血清 247 件（15.6%）、尿 220 件（13.9%）、便・直腸拭い 213 件（13.5%）の順であった。

咽頭拭い液は麻しん・風しんの検体が 210 件（45.6%、210/461）と最も多く、次いでインフルエンザが 116 件（25.2%）、手足口病が 49 件（10.6%）であった。

鼻汁・鼻腔拭い液はインフルエンザの検体が 170 件（59.9%）と最も多く、次いで下気道炎が 28 件（9.9%）、その他が 23 件（8.1%）であった。

血液・血清は麻しん・風しんの検体が 221 件（85.4%、211/247）と最も多く、次いでその他が 10 件（4.0%）、伝染性紅斑が 6 件（2.4%）であった。

尿は麻しん・風しんの検体が 211 件（95.9%、211/220）と最も多く、次いで無菌性髄膜炎が 5 件（2.3%）、デング熱が 2 件（0.9%）であった。

便・直腸拭いは感染性胃腸炎の検体が 128 件（60.1%、128/213）と最も多く、次いでその他が 40 件（18.8%）、手足口病が 15 件（7.0%）であった。

検体種別ウイルス陽性率は、結膜拭い液 100.0%（5/5）が最も高く、次いでうがい液 96.6%（85/88）、鼻汁・鼻腔拭い液 78.2%（222/284）、喀痰・気管吸引液 76.9%（10/13）、便・直腸拭い 47.4%（101/213）の順であった。また、陽性率の低い検体種は、尿（4.1%、9/220）、髄液（6.1%、3/49）、血液・血清（7.3%、18/247）であった。

（文責：廣井）

表２　年齢別ウイルス検出数（2024.1～12）

年齢（才）		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15以上	不明	計
Ad_untype		1												1
Ad1		2												2
Ad2	2	4	1	2						1				10
Ad3		2	2											4
Ad37												3		3
Ad53												1		1
Ad54	1													1
Ad56												1		1
Astro_type1	1		1											2
Astro_type4							1							1
CA10	1	1								1				3
CA16	4	2	3	1		2		2						14
CA5						1								1
CA6	6	14	7	2	3	1	1	1						35
CB3			1											1
Dengue1												1		1
Dengue3												1		1
ECHO11	3													3
ECHO7	2													2
ECHO9	2						1		1					4
EV-A71	3	1	3		1									8
EV-B	1													1
EV-D68	2	3			1						1			7
FLU_AH1pdm09	1	5	6	5	6	7	5	8	5	6	27	84		165
FLU_AH3	2	5	2		2		3	1		1	4	19		39
FLU_B		1												1
FLU_B_Victoria	2	1	2	3	5	3	5	7	4	9	40	41		122
Hbov		1												1
HCoV-HKU1	1				3									4
HCov-NL63	2		1											3
HCov-OC43	1													1
HHV6_untype			1	1		1								3
HHV7	1													1
hMPV	6	4	3	1	1		1		1		1	1		19
HPeV_untype			1	1										2
HPeV1	2	3												5
HPeV3					1									1
HPeV6	1													1
measles_untype	4	1										6		11
measlesA		2										2		4
measlesB3	1											5		6
measlesD10												1		1
measlesD8	1											10		11
measlesD9												1		1
NVG1-2			1											1
NVG1-3												1		1
NVG2_untype		3		1										4
NVG2-17	1											1		2
NVG2-4	2	11	3	2		2			1	1				22
NVG2-6	1			1		1								3
NVG2-7	1	2		4	2	4	1	1	1	1		1		18
ParvoB19				1							1			2
PIV1	1													1
PIV3				2	2					1				5
Rhino_untype	6	4	6	4	4	3	1	6	2	1	2	2		41
RhinoA	2	1			1									4
RhinoB		1												1
RhinoC	2	1		1		2		1					1	8
RotaAG1	1													1
RotaAG2							1					1		2
RotaAG3				1				2						3
RotaAG8											1			1
RSA	8	4	1	2										15
RSB	5													5
SapoG1-1				1										1
SapoG2											1			1
SapoG2-5				2				1	1					4
SapoG5					1									1
STFSウイルス												1		1
VZV	1					1								2
計	84	80	45	38	33	28	20	30	16	22	78	184	1	659

0の場合には空白としている

表 3.　月別・疾患別検体数とウイルス陽性数（2024.1～12）

疾患名/月	1	2	3	4	5	6	7
インフルエンザ	**65(61)** CA6(1) FLU_AH1pdm09(12) FLU_AH3(19) FLU_B_Victoria(28) RSA(1)	**60(59)** FLU_AH1pdm09(9) FLU_AH3(6) FLU_B_Victoria(45) <<2重複1>>	**52(50)** FLU_AH1pdm09(3) FLU_AH3(4) FLU_B_Victoria(42) RSA(1)	**8(7)** FLU_AH1pdm09(2) FLU_AH3(1) FLU_B_Victoria(3) hMPV(1) Rhino_untype(1) <<2重複1>>	**9(5)** CA6(1) FLU_AH1pdm09(4)	**5(3)** FLU_AH1pdm09(1) FLU_AH3(1) Rhino_untype(1)	**7(5)** FLU_AH1pdm09(4) FLU_B_Victoria(1)
咽頭結膜熱	**1(0)**	**1(1)** Ad3(1)	**1(0)**	**1(1)** Ad3(1)	**3(3)** Ad2(1) Ad3(1)	**1(1)** Ad2(1)	**2(1)** Ad1(1)
感染性胃腸炎	**13(8)** NVG2-4(6) NVG2-7(1) SapoG1-1(1)	**9(9)** NVG2-4(6) NVG2-7(2) SapoG5(1)	**16(11)** Astro_type1(1) NVG1-3(1) NVG2_untype(1) NVG2-17(1) NVG2-4(3) NVG2-7(5) <<2重複1>>	**8(3)** RotaAG1(1) RotaAG2(1) SapoG2-5(1)	**12(11)** Ad2(2) NVG2_untype(1) NVG2-4(2) NVG2-7(4) RotaAG2(1) RotaAG8(1)	**19(12)** Astro_type4(1) NVG2_untype(2) NVG2-4(1) NVG2-6(1) NVG2-7(6) SapoG2-5(1)	**11(4)** NVG2-17(1) NVG2-4(1) SapoG2-5(2)
水痘				**2(0)**		**1(1)** VZV(1)	**1(1)** VZV(1)
手足口病	**4(3)** CA6(3)	**3(2)** CA6(2)	**1(1)** CA6(1)		**6(5)** CA10(2) CA6(3) RhinoA(1) RhinoC(1) <<2重複2>>	**16(14)** CA6(14) RhinoA(1) <<2重複1>>	**12(11)** CA16(4) CA6(5) EV-A71(1) RhinoA(1)
ヘルパンギーナ					**3(1)** hMPV(1)	**6(4)** Ad2(1) CA6(1) ECHO11(1) hMPV(1)	**2(1)** CA10(1)
伝染性紅斑			**1(0)**	**3(0)**			
突発性発しん	**4(4)** Ad3(1) HHV6_untype(1) hMPV(1) HHV7(1)	**2(0)**		**1(1)** HHV6_untype(1)	**1(0)**	**1(0)**	
流行性耳下腺炎					**3(0)**		
脳症・脳脊髄炎	**3(0)**		**2(0)**		**4(1)** Rhino_untype(1)	**5(2)** Hbov(1) Rhino_untype(2) <<2重複1>>	
無菌性髄膜炎	**3(0)**	**3(1)** RhinoC(1)	**9(0)**	**4(0)**	**2(0)**	**4(1)** RhinoA(1)	**12(0)**
口内炎・上気道炎			**1(0)**			**5(5)** HCoV-HKU1(2) HPeV3(1) PIV3(3) Rhino_untype(2) <<2重複3>>	**1(1)** Rhino_untype(1)
下気道炎	**1(1)** Rhino_untype(1)	**2(2)** HCoV-HKU1(1) Rhino_untype(1)	**2(1)** HCov-NL63(1)	**4(2)** hMPV(1) Rhino_untype(2) <<2重複1>>	**3(3)** HCoV-HKU1(1) HCov-NL63(2) PIV1(1) PIV3(1) Rhino_untype(1) <<2重複1>> <<3重複1>>	**2(1)** PIV3(1)	**1(1)** Rhino_untype(1)
RSウイルス感染症	**2(1)** Ad1(1)	**2(2)** RSA(1) RSB(1)	**4(3)** hMPV(1) RSA(1) RSB(1)	**7(6)** hMPV(1) RSA(4) RSB(2) <<2重複1>>	**4(3)** Rhino_untype(1) RSA(2)	**2(2)** RSA(2)	**2(2)** RSA(1) RSB(1)
流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎		**2(2)** Ad37(1) Ad53(1)		**1(1)** Ad56(1)			
その他	**10(3)** Ad2(2) HCov-OC43(1)		**7(2)** CA6(1) FLU_B(1) RhinoC(1) <<2重複1>>	**8(3)** Rhino_untype(3)	**3(2)** Rhino_untype(2)	**7(2)** CA6(1) STFSウイルス(1)	**13(3)** Rhino_untype(3)
麻しん・風しん	**31(0)**	**22(3)** measles_untype(1) measlesD8(2)	**188(17)** measles_untype(7) measlesA(2) measlesD10(1) measlesD8(6) measlesD9(1)	**88(0)**	**67(3)** measlesD8(3)	**54(0)**	**24(0)**
デング熱			**2(0)**		**1(1)** Dengue1(1)		
計	**137(81)**	**106(81)**	**286(85)**	**135(24)**	**121(38)**	**128(48)**	**88(30)**
構成(%)	**8.7**	**6.7**	**18.1**	**8.5**	**7.6**	**8.1**	**5.6**
陽性(%)	**59.1**	**76.4**	**29.7**	**17.8**	**31.4**	**37.5**	**34.1**

註：( ) 陽性数、《》2種類以上の検出がみられた検体数

AH3,インフルエンザA香港型;AH1,同ソ連型;B,同B型;Ad,アデノ;CA,コクサッキーA型;CB,同B型;E,エコー;NV,ノロ;HSV,単純ヘルペス;HHV,ヒトヘルペス,hMPVヒトメタニューモ, HBoVヒトボカ, PIVパラインフルエンザ

8	9	10	11	12	計	構成(%)	陽性(%)	検出ウイルス
6(6) FLU_AH1pdm09(5) hMPV(1)	7(5) FLU_AH1pdm09(3) FLU_B_Victoria(1) hMPV(1) Rhino_untype(1) <<2重複1>>	12(12) ECHO9(1) EV-D68(2) FLU_AH1pdm09(9) hMPV(1) <<2重複1>>	41(35) FLU_AH1pdm09(30) FLU_AH3(3) FLU_B_Victoria(2) hMPV(1) <<2重複1>>	104(88) FLU_AH1pdm09(83) FLU_AH3(5)	376(336)	23.8	89.4	CA6(2) ECHO9(1) EV-D68(2) FLU_AH1pdm09(165) FLU_AH3(39) FLU_B_Victoria(122) hMPV(5) Rhino_untype(3) RSA(2) <<2重複5>>
1(1) Ad2(1)		1(1) Ad54(1)	2(2) Ad2(2)		14(11)	0.9	78.6	Ad1(1) Ad2(5) Ad3(3) Ad54(1) hMPV(1)
8(2) hMPV(1) NVG2-4(1)	5(0)	13(2) Ad_untype(1) Astro_type1(1) Rhino_untype(1) <<2重複1>>	8(4) NVG1-2(1) NVG2-4(1) RotaAG3(2)	9(4) NVG2-6(2) RotaAG3(1) SapoG2(1)	131(70)	8.3	53.4	Ad_untype(1) Ad2(2) Astro_type1(2) Astro_type4(1) hMPV(1) NVG1-2(1) NVG1-3(1) NVG2_untype(4) NVG2-17(2) NVG2-4(21) NVG2-6(3) NVG2-7(18) Rhino_untype(1) RotaAG1(1) RotaAG2(2) RotaAG3(3) RotaAG8(1) SapoG1-1(1) SapoG2(1) SapoG2-5(4) SapoG5(1) <<2重複2>>
1(0)			1(0)		6(2)	0.4	33.3	VZV(2)
9(6) CA16(2) CA6(2) EV-A71(1) HPeV1(1) RhinoC(1) <<2重複1>>	2(2) CA16(1) EV-A71(1) hMPV(1) RhinoB(1) <<2重複2>>	8(8) CA16(4) EV-A71(2) hMPV(1) HPeV1(1) Rhino_untype(1) <<2重複1>>	4(1) EV-A71(1) HPeV_untype(1) <<2重複1>>	3(1) CA16(1)	68(54)	4.3	79.4	CA10(2) CA16(12) CA6(30) EV-A71(6) hMPV(2) HPeV_untype(1) HPeV1(2) Rhino_untype(1) RhinoA(3) RhinoB(1) RhinoC(2) <<2重複8>>
4(2) EV-A71(1) EV-D68(1)	1(1) Rhino_untype(1)	1(1) hMPV(1)		2(0)	19(10)	1.2	52.6	Ad2(1) CA10(1) CA6(1) ECHO11(1) EV-A71(1) EV-D68(1) hMPV(3) Rhino_untype(1)
	1(0)		2(1) ParvoB19(1)	1(1) ParvoB19(1)	8(2)	0.5	25.0	ParvoB19(2)
	1(0)	3(2) HHV6_untype(1) hMPV(1)			13(7)	0.8	53.8	Ad3(1) HHV6_untype(3) hMPV(2) HHV7(1)
	1(0)				4(0)	0.3	0.0	
5(0)	1(0)		7(4) HPeV_untype(1) Rhino_untype(3)	5(2) HPeV1(2)	32(9)	2.0	28.1	Hbov(1) HPeV_untype(1) HPeV1(2) Rhino_untype(6) <<2重複1>>
7(1) ECHO9(1)	2(1) ECHO9(1) hMPV(1) <<2重複1>>	7(3) RhinoC(3)	10(3) ECHO9(1) EV-B(1) RhinoC(1)	7(0)	70(10)	4.4	14.3	ECHO9(3) EV-B(1) hMPV(1) RhinoA(1) RhinoC(5) <<2重複1>>
		3(1) CA5(1)	3(1) Rhino_untype(1)		13(8)	0.8	61.5	CA5(1) HCoV-HKU1(2) HPeV3(1) PIV3(3) Rhino_untype(4) <<2重複3>>
1(1) Rhino_untype(1)	5(4) EV-D68(1) HPeV6(1) Rhino_untype(2)	4(2) EV-D68(2)	6(4) Rhino_untype(4)	5(1) Rhino_untype(1)	36(23)	2.3	63.9	EV-D68(3) HCoV-HKU1(2) HCov-NL63(3) hMPV(1) HPeV6(1) PIV1(1) PIV3(2) Rhino_untype(14) <<2重複2>> <<3重複1>>
2(0)	2(2) EV-D68(1) hMPV(1) RSA(1) <<2重複1>>		5(1) RSA(1)	2(0)	34(22)	2.1	64.7	Ad1(1) EV-D68(1) hMPV(3) Rhino_untype(1) RSA(13) RSB(5) <<2重複2>>
	1(1) Ad37(1)	1(1) Ad37(1)			5(5)	0.3	100.0	Ad37(3) Ad53(1) Ad56(1)
13(1) NVG2-4(1)	5(1) EV-A71(1)	2(0)	9(4) CB3(1) ECHO7(2) Rhino_untype(1)	16(6) CA16(2) ECHO11(2) HPeV1(1) Rhino_untype(1)	93(27)	5.9	29.0	Ad2(2) CA16(2) CA6(2) CB3(1) ECHO11(2) ECHO7(2) EV-A71(1) FLU_B(1) HCov-OC43(1) HPeV1(1) NVG2-4(1) Rhino_untype(10) RhinoC(1) STFSウイルス(1) <<2重複1>>
27(0)	21(0)	14(0)	39(7) measlesA(2) measlesB3(5)	81(4) measles_untype(3) measlesB3(1)	656(34)	41.4	5.2	measlesA(4) measlesB3(6) measlesD8(11) measlesD9(1) measlesD10(1) measles_untype(11)
2(1) Dengue3(1)					5(2)	0.3	40.0	Dengue1(1) Dengue3(1)
86(21)	55(17)	69(33)	137(67)	235(107)	1583(632)	100.0	39.9	
5.4	3.5	4.4	8.7	14.8	100.0			
24.4	30.9	47.8	48.9	45.5	39.9			

表 4.　疾患別にみた検体の種類とウイルス陽性数（2024.1～12）

疾患名/検体名	便・直腸拭い	咽頭拭い液	うがい液	鼻汁・鼻腔拭い液
インフルエンザ		**116(85)** CA6(2) ECHO9(1) EV-D68(2) FLU_AH1pdm09(48) FLU_AH3(6) FLU_B_Victoria(20) hMPV(5) Rhino_untype(3) RSA(2) <<2重複4>>	**87(84)** FLU_AH1pdm09(39) FLU_AH3(10) FLU_B_Victoria(35)	**170(165)** FLU_AH1pdm09(76) FLU_AH3(23) FLU_B_Victoria(67) <<2重複1>>
咽頭結膜熱		**14(11)** Ad1(1) Ad2(5) Ad3(3) Ad54(1) hMPV(1)		
感染性胃腸炎	**128(67)** Ad2(1) Astro_type1(2) Astro_type4(1) NVG1-2(1) NVG1-3(1) NVG2_untype(4) NVG2-17(2) NVG2-4(21) NVG2-6(3) NVG2-7(18) RotaAG1(1) RotaAG2(2) RotaAG3(3) RotaAG8(1) SapoG1-1(1) SapoG2(1) SapoG2-5(4) SapoG5(1) <<2重複1>>	**1(1)** hMPV(1)		**2(2)** Ad_untype(1) Ad2(1) Rhino_untype(1) <<2重複1>>
水痘		**3(1)** VZV(1)		**1(0)**
手足口病	**15(13)** CA10(1) CA16(3) CA6(8) EV-A71(1) HPeV_untype(1) RhinoC(1) <<2重複2>>	**49(40)** CA10(1) CA16(9) CA6(22) EV-A71(5) hMPV(2) HPeV1(2) Rhino_untype(1) RhinoA(2) RhinoB(1) RhinoC(1) <<2重複6>>		**3(0)**
ヘルパンギーナ	**1(0)**	**18(10)** Ad2(1) CA10(1) CA6(1) ECHO11(1) EV-A71(1) EV-D68(1) hMPV(3) Rhino_untype(1)		
伝染性紅斑		**2(0)**		
突発性発しん		**12(6)** Ad3(1) HHV6_untype(2) HHv7(1) hMPV(2)		
流行性耳下腺炎		**4(0)**		
脳症・脳脊髄炎	**11(3)** HPeV_untype(1) HPeV1(1) Rhino_untype(1)	**1(0)**		**9(5)** Hbov(1) HPeV1(1) Rhino_untype(4) <<2重複1>>
無菌性髄膜炎	**14(4)** ECHO9(2) RhinoA(1) RhinoC(1)	**6(2)** ECHO9(1) hMPV(1) RhinoC(1) <<2重複1>>		**5(3)** EV-B(1) RhinoC(2)
口内炎・上気道炎	**1(1)** CA5(1)	**1(1)** Rhino_untype(1)		**11(6)** HCoV-HKU1(2) HPeV3(1) PIV3(3) Rhino_untype(3) <<2重複3>>
下気道炎	**3(1)** HPeV6(1)	**1(1)** Rhino_untype(1)		**28(18)** EV-D68(3) HCoV-HKU1(2) HCov-NL63(2) hMPV(1) PIV1(1) PIV3(2) Rhino_untype(11) <<2重複2>> <<3重複1>>
RSウイルス感染症		**15(7)** Ad1(1) EV-D68(1) hMPV(3) Rhino_untype(1) RSA(3) <<2重複2>>		**18(14)** RSA(9) RSB(5)
流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎				
その他	**40(12)** Ad2(1) CA16(1) CB3(1) ECHO11(1) ECHO7(1) EV-A71(1) HCov-OC43(1) HPeV1(1) NVG2-4(1) Rhino_untype(3)	**8(2)** Ad2(1) CA6(1) RhinoC(1) <<2重複1>>	**1(1)** CA6(1)	**23(7)** ECHO11(1) Rhino_untype(6)
麻しん・風しん		**210(11)** measles_untype(2) measlesA(2) measlesB3(1) measlesD8(5) measlesD9(1)		**14(2)** measles_untype(1) measlesB3(1)
デング熱				
計	**213(101)**	**461(178)**	**88(85)**	**284(222)**
構成(%)	**13.5**	**29.1**	**5.6**	**17.9**
陽性(%)	**47.4**	**38.6**	**96.6**	**78.2**

註：( )　陽性数、《》2種類以上の検出がみられた検体数

AH3,インフルエンザA香港型;AH1,同ソ連型;B,同B型;Ad,アデノ;CA,コクサッキーA型;CB,同B型;E,エコー;NV,ノロ;HSV,単純ヘルペス;HHV,ヒトヘルペス,hMPVヒトメタニューモ, HBoVヒトボカ, PIVパラインフルエンザ,

喀痰・気管吸引液	結膜拭い液	髄液	血液・血清	尿	皮膚拭い液・水疱	計	構成(%)	陽性(%)
2(2) FLU_AH1pdm09(2)		1(0)				376(336)	23.8	89.4
						14(11)	0.9	78.6
						131(70)	8.3	53.4
					2(1) VZV(1)	6(2)	0.4	33.3
1(1) RhinoA(1)						68(54)	4.3	79.4
						19(10)	1.2	52.6
			6(2) ParvoB19(2)			8(2)	0.5	25.0
			1(1) HHV6_untype(1)			13(7)	0.8	53.8
						4(0)	0.3	0.0
2(1) Rhino_untype(1)		6(0)	1(0)	1(0)	1(0)	32(9)	2.0	28.1
		35(1) RhinoC(1)	5(0)	5(0)		70(10)	4.4	14.3
						13(8)	0.8	61.5
4(3) HCov-NL63(1) Rhino_untype(2)						36(23)	2.3	63.9
1(1) RSA(1)						34(22)	2.1	64.7
	5(5) Ad37(3) Ad53(1) Ad56(1)					5(5)	0.3	100.0
3(2) FLU_B(1) Rhino_untype(1)		7(2) CA16(1) ECHO7(1)	10(1) STFSウイルス(1)	1(0)		93(27)	5.9	29.0
			221(12) measles_untype(4) measlesA(2) measlesB3(2) measlesD10(1) measlesD8(3)	211(9) measles_untype(4) measlesB3(2) measlesD8(3)		656(34)	41.4	5.2
			3(2) Dengue1(1) Dengue3(1)	2(0)		5(2)	0.3	40.0
13(10)	5(5)	49(3)	247(18)	220(9)	3(1)	1583(632)	100.0	39.9
0.8	0.3	3.1	15.6	13.9	0.2	100.0		
76.9	100.0	6.1	7.3	4.1	33.3	39.9		

２．細菌検査情報

１）大阪府内で届け出のあった一類、二類（結核を除く）および三類感染症の病原菌検出状況

大阪府ではこの 1 年間にペスト（一類感染症）、ジフテリア（二類感染症）は発生しなかった。三類感染症は以下のとおりである。

１．コレラ：この一年間に発生はなかった。

２．細菌性赤痢：1 例あり、推定感染国はミャンマーで、*Shigella boydii* 1 が分離された。

３．腸チフス：3 例あり、推定感染国は 2 例がバングラデシュ、 1 例がミャンマーであった。

４．パラチフス：1 例あり、推定感染国はインドネシアであった。

５．腸管出血性大腸菌感染症：226 例の届出があった。その内訳としては、O157 によるものが最も多く 167 例あり、次いで O26 が 16 例であった（表 5）。

表5 腸管出血性大腸菌の血清群 2024年

血清群	VT型	感染者数
O157	1	2
	2	61
	1&2	104
O157小計		167
O5	1	1
O8	2	1
O26	1	12
O26	2	3
O26	1&2	1
O28ab	2	1
O43	1	1
O45	1	1
O63	2	1
O71	1	1
O91	1	1
O103	1	7
O108	2	1
O111	1	3
O111	1&2	4
O115	1	1
O118	1	2
O121	1	1
O145	1	2
O145	2	1
O146	1&2	1
O165	2	1
O168	2	1
O171	1	1
O174	2	1
O181	1	1
O182	1	1
OgN8	2	1
OgN8	1&2	1
OgN12	1	1
O群不明	1	2
O群不明	2	1
O157以外小計		59
	合計	226

２）四類及び五類感染症の病原菌検出状況

レジオネラ症の届出があった患者の喀痰計 13 検体からレジオネラ属菌が分離され、11 株は *Legionella pneumophila* 血清群 1、1 株は *L. pneumophila* 血清群 3、1 株は *L. pneumophila* 血清群 9 と同定された。

侵襲性髄膜炎菌感染症について 10 例の届出があり、分離された菌株の血清型別を実施した結果、Y 群（7 株）、B 群（3 株）が検出された。また、MLST 型は Y 群では ST1655 が 5 株、ST2057 と ST1466 が各 1 株、B 群株では ST2057 であった。薬剤感受性試験では、B 群株すべてと Y 群/ST2057 株がレボフロキサシンが中間耐性、Y 群/ST1466 株がアンピシリン中間耐性を示した。

定点医療機関から A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎咽頭ぬぐい液 51 検体の提出があり、そのうち 46 例から *Streptococcus pyogenes* を分離した。T 蛋白血清型は 19 株が T 1 、15 株が TB3264、8 株が T12 および 4 株が T4 であった。

定点医療機関において感染性胃腸炎患者から分離されたサルモネラ属菌 6 株について血清型別を実施した。それぞれの血清型は 3 株が *Salmonella* Enteritidis、2 株が *S.* Schwarzengrund、残りの 1 株が *S.* Braenderup であった。

3 ）カルバペネム耐性腸内細菌目細菌の検出状況

表 6 に大阪府内で検出されたカルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）の菌種およびカルバペネマーゼ遺伝子保有状況を示した。検出されたカルバペネマーゼ遺伝子型は IMP 型がもっとも多く、ついで NDM 型であった。NDM、KPC 型の両方を保有する *Klebsiella oxytoca* complex が 1 株検出され、届出情報より海外からの持ち込み例と考えられた。カルバペネマーゼ遺伝子が検出されない菌株の割合（80.7%）は、昨年（77.7%）から微増していた。

表6　カルバペネム耐性腸内細菌目細菌検出状況

菌種	**株数合計**	カルバペネマーゼ遺伝子型			
		IMP型	NDM型	NDM+KPC型	検出されず
Enterobacter cloacae complex	**57**	2	1		54
Klebsiella pneumoniae complex	**47**	12	1		34
Klebsiella aerogenes	**37**	1			36
Escherichia coli	**17**	3	10		4
Serratia marcescens	**6**				6
Citrobacter spp.	**5**	2			3
Proteus spp.	**3**				3
Klebsiella oxytoca complex	**3**	1		1	1
Morganella morganii	**1**				1
合計	**176**	21	12	1	142

*( )内はIMP型以外に検出されたカルバペネマーゼの種類

4 ）溶血性レンサ球菌感染症調査（近畿地区の成績）

近畿地区内で報告のあった劇症型溶血性レンサ球菌感染症（届出に満たない重症溶血性レンサ球菌感染症を含む）のうち、原因菌株が確保できた 180 例（昨年は 51 例）について解析を実施した（表 7）。原因菌株の血清群ごとの内訳は、A 群が 108 株、B 群が 21 株、C 群が 3 株および G 群が 48 株であった。A 群 108 株のうち、T 蛋白血清型は T1 が最も多く（52 株、48.1%）、次いで型別不能（T-UT）（28 株、15.6%）であった。M 蛋白遺伝子型（*emm* 型）については *emm1.0* が最も多く（51 株、36.8%）、次いで *emm12.0*（12 株、11.1%）および *emm81.0*（12 株、11.1%）であった。T1 の分離比率は昨年の 45.4%からわずかに上昇した。*emm1.0* 51 株のうち病原性が高いと言われる M1UK 系統株は 49 株（96.1%）であった。

B 群の莢膜血清型は、Ib 型が 8 株（38.1%）と最も多く、次いで V 型が 4 株（19.0%）であった。G 群の M 蛋白遺伝子型は、 *stG485.0* が最も多く（9 株、18.8%）、次いで *stG6792.3* が多かった（8 株、16.7%）。

（文責：河合）

表 7　劇症型溶血性レンサ球菌感染症例　2024 年　近畿地区

	年齢	性別	発症日	発生区域	診断名	菌種	血清群	血清型	*emm* 型	毒素型	転帰
1	78	男	2024/1/7	和歌山県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG485.0*		
2	44	男	2024/1/11	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
3	49	女	2024/1/12	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm49.0*	*speB*	死亡
4	7	女	2024/1/15	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	TB3264	*emm89.0*	*speB, C*	
5	88	女	2024/1/17	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T12	*emm12.0*	*speB*	
6	80	男	2024/1/17	京都府	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	Ib			
7	90	男	2024/1/17	京都府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG6792.3*		
8	86	女	2024/1/18	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm81.0*	*speB*	死亡
9	18	女	2024/1/18	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B*	
10	48	女	2024/1/19	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm89.0*	*speB, C*	
11	75	男	2024/1/20	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	死亡
12	68	男	2024/1/22	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	TB3264	*emm89.0*	*speB, C*	
13	82	女	2024/1/24	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T12	*emm12.0*	*speB*	
14	12	男	2024/1/24	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
15	80	女	2024/1/26	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T12	*emm12.0*	*speB*	
16	60	女	2024/1/30	和歌山県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T12	*emm12.0*	*speB*	
17	67	男	2024/1/30	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T12	*emm12.0*	*speB*	
18	51	女	2024/1	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T12	*emm12.0*	*speB*	
19	94	男	2024/2/1	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm89.0*	*speB, C*	
20	86	男	2024/2/2	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T12	*emm12.0*	*speB*	
21	87	男	2024/2/3	兵庫県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG6.1*		死亡
22	80	男	2024/2/3	京都府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG652.0*		
23	81	男	2024/2/8	京都府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG245.0*		死亡
24	45	女	2024/2/12	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
25	68	女	2024/2/15	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B*	
26	36	女	2024/2/23	滋賀県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B*	死亡
27	71	女	2024/2/23	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG840.0*		死亡
28	51	男	2024/2/28	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
29	50	男	2024/2/29	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
30	41	女	2024/2	大阪府	重症A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B*	
31	72	男	2024/2	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T12	*emm12.0*	*speB*	
32	9	女	2024/2	奈良県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T12	*emm12.0*	*speB*	
33	4	男	2024/2	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T12	*emm12.0*	*speB*	
34	52	男	2024/3/1	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG653.0*		死亡
35	46	女	2024/3/3	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
36	30	男	2024/3/4	滋賀県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
37	48	男	2024/3/10	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T28	*emm87.0*	*speB*	
38	41	女	2024/3/15	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B*	
39	91	女	2024/3/16	兵庫県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG485.0*		死亡
40	1M	男	2024/3/18	兵庫県	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	Ib			
41	82	女	2024/3/18	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
42	76	男	2024/3/19	兵庫県	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	V			
43	43	女	2024/3/22	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B*	
44	39	男	2024/3/23	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	死亡
45	39	女	2024/3/27	兵庫県	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	IV			
46	86	女	2024/3/28	兵庫県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG653.0*		
47	81	男	2024/3/30	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm81.0*	*speB*	
48	93	女	2024/3/30	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T12	*emm12.0*	*speB*	
49	70	女	2024/3/31	兵庫県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG653.0*		
50	93	女	2024/3	兵庫県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG840.0*		
51	72	男	2024/3	滋賀県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG6792.3*		死亡
52	75	男	2024/3	大阪府	重症A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B*	

53	43	男	2024/4/4	滋賀県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B*		
54	70	男	2024/4/6	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	TB3264	*emm89.0*	*speB, C*		
55	58	男	2024/4/9	滋賀県	重症G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		UT			
56	74	女	2024/4/12	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*		
57	53	男	2024/4/15	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG2078.0*			
58	67	女	2024/4/19	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*		死亡
59	59	男	2024/4/23	滋賀県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B*		死亡
60	78	男	2024/4/25	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm49.0*	*speB*		
61	28	女	2024/4/26	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*		死亡
62	72	男	2024/4	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG840.0*			
63	70	男	2024/4	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm81.0*	*speB*		
64	80	女	2024/5/1	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm77.0*	*speB*		
65	62	男	2024/5/2	滋賀県	劇症型C群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *ruminatoru*	C					
66	60	男	2024/5/2	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B*		
67	79	女	2024/5/2	兵庫県	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	IV				
68	32	男	2024/5/3	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T4	*emm4.0*	*speB*		
69	47	女	2024/5/5	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*		
70	59	女	2024/5/5	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*		
71	43	女	2024/5/8	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm58.25*	*speB, C*		
72	95	女	2024/5/12	滋賀県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG840.0*			
73	70	男	2024/5/13	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B*		死亡
74	85	男	2024/5/16	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm49.0*	*speB*		
75	59	男	2024/5/17	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm77.0*	*speB*		
76	88	男	2024/5/19	兵庫県	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	V				死亡
77	40	男	2024/5/19	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*		
78	44	男	2024/5/20	大阪府	劇症型C群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	C		*stC839.0*			
79	73	女	2024/5/21	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm81.0*	*speB*		
80	68	男	2024/5/24	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*		
81	64	男	2024/5	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG840.0*			
82	61	男	2024/6/4	京都府	劇症型C群レンサ球菌感染症	*S. anginosus*	C					
83	87	女	2024/6/7	滋賀県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG6792.3*			
84	39	女	2024/6/7	滋賀県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*		
85	67	女	2024/6/8	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm11.0*	*speB, C*		
86	81	女	2024/6/10	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG245.0*			
87	63	女	2024/6/10	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*			死亡
88	55	男	2024/6/10	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T14/49	*emm221.0*	*speB, C*		
89	73	男	2024/6/10	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*		
90	73	男	2024/6/14	大阪府	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	Ia				
91	90	女	2024/6/14	京都府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG6792.3*			
92	80	男	2024/6/19	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm81.0*	*speB*		死亡
93	43	女	2024/6/24	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*		死亡
94	62	男	2024/6/25	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*		
95	93	女	2024/6/26	和歌山県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*		
96	75	男	2024/6/28	京都府	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	Ib				
97	66	男	2024/6/30	和歌山県	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	IV				
98	95	女	2024/6	大阪府	重症G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG485.0*			死亡
99	78	男	2024/6	京都府	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	UT				
100	83	男	2024/6	大阪府	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	V				死亡
101	47	男	2024/7/1	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.3*	*speA, B*		
102	90	男	2024/7/2	京都府	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	V				
103	90	男	2024/7/2	京都府	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	Ib				
104	55	男	2024/7/6	奈良県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T12	*emm12.0*	*speB*		
105	44	男	2024/7/7	兵庫県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG653.0*			
106	49	女	2024/7/10	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T14/49	*emm49.0*	*speB*		
107	61	男	2024/7/11	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG2574.3*			死亡
108	78	男	2024/7/17	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm81.0*	*speB*		
109	73	男	2024/7/21	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B*		
110	93	女	2024/7/22	大阪府	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	VIII				
111	78	男	2024/7/27	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm58.0*	*speB*		
112	64	女	2024/7/30	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG245.0*			
113	60	女	2024/7/30	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*		死亡
114	61	男	2024/7	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG6792.3*			
115	88	女	2024/7	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG652.0*			死亡
116	50	女	2024/7	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	TB3264	*emm89.0*	*speB*		死亡

117	87	男	2024/8/5	兵庫県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG245.0*		
118	70	男	2024/8/6	兵庫県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG480.0*		死亡
119	40	男	2024/8/8	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
120	87	女	2024/8/12	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
121	82	男	2024/8/13	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	死亡
122	89	女	2024/8/15	兵庫県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG245.11*		死亡
123	39	男	2024/8/15	滋賀県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	TB3264	*emm89.0*	*speB, C*	
124	73	女	2024/8/18	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	死亡
125	69	男	2024/8/19	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B*	
126	79	男	2024/8/20	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T12	*emm12.16*	*speB, C*	
127	70	男	2024/8/20	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm89.0*	*speB, C*	
128	84	男	2024/8/23	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG840.0*		死亡
129	89	女	2024/8/29	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG485.0*		死亡
130	85	女	2024/8/31	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG485.0*		死亡
131	89	男	2024/8/31	兵庫県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG6792.3*		死亡
132	57	女	2024/8	滋賀県	重症A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm49.11*	*speB*	
133	79	女	2024/8	兵庫県	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	II			
134	30	男	2024/9/7	滋賀県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
135	90	女	2024/9/8	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG485.0*		
136	47	男	2024/9/9	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
137	40	男	2024/9/16	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
138	84	男	2024/9/20	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stC74a.0*		
139	74	男	2024/9/24	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG653.0*		
140	85	男	2024/9/30	兵庫県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG652.17*		
141	63	女	2024/9/30	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm87.0*	*speB*	
142	88	女	2024/9/30	兵庫県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG840.0*		
143	85	男	2024/9	大阪府	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	II			
144	77	男	2024/10/10	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG485.0*		
145	83	男	2024/10/11	大阪府	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	Ib			
146	67	男	2024/10/11	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm89.0*	*speB, C*	
147	72	女	2024/10/13	滋賀県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	死亡
148	69	男	2024/10/16	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm81.0*	*speB*	
149	41	男	2024/10/18	兵庫県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG6792.3*		
150	52	男	2024/10/22	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm108.1*	*speB*	死亡
151	70	男	2024/10/24	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm81.0*	*speB*	
152	86	女	2024/10/29	大阪府	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	Ib			死亡
153	0	女	2024/10	大阪府	重症B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	III			
154	76	男	2024/11/5	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T13	*emm108.1*	*speB*	死亡
155	83	女	2024/11/5	京都府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG6792.3*		
156	77	女	2024/11/8	京都府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG245.0*		
157	41	男	2024/11/11	京都府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T11	*emm77.0*	*speB*	
158	76	男	2024/11/17	滋賀県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
159	86	男	2024/11/18	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG245.0*		死亡
160	84	男	2024/11/21	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	A		*stG643.0*		死亡
161	80	女	2024/11/26	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm81.0*	*speB*	死亡
162	94	女	2024/11/30	京都府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG485.0*		
163	82	男	2024/11/30	滋賀県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
164	90	男	2024/11	和歌山県	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG245.0*		
165	76	男	2024/12/4	滋賀県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
166	26	男	2024/12/11	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B*	
167	79	男	2024/12/13	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	TB3264	*emm89.0*	*speB, C*	
168	80	男	2024/12/16	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm49.0*	*speB*	死亡
169	50	女	2024/12/21	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG485.0*		
170	71	女	2024/12/23	奈良県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm81.0*	*speB*	死亡
171	73	男	2024/12/24	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T13	*emm81.0*	*speB*	死亡
172	48	男	2024/12/28	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B, C*	
173	54	男	2024/12/29	大阪府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG652.0*		
174	39	女	2024/12/30	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T1	*emm1.0*	*speA, B*	
175	79	女	2024/12/30	大阪府	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	Ib			
176	82	女	2024/12/30	兵庫県	劇症型B群レンサ球菌感染症	*S. agalactiae*	B	Ib			
177	76	男	2024/12/31	大阪府	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T13	*emm108.0*	*speB*	
178	62	男	2024/12	大阪府	重症A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm89.0*	*speB, C*	
179	70	女	2024/12	京都府	劇症型G群レンサ球菌感染症	*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*	G		*stG653.0*		
180	72	男	2024/12	兵庫県	劇症型A群レンサ球菌感染症	*S. pyogenes*	A	T-UT	*emm81.0*	*speB*	

VI　そ　の　他

大阪感染症情報解析委員会 「今週のトピックス」

毎週火曜日に、その前の１週間に府内保健所に報告があった全数把握感染症および、小児科定点把握疾患と眼科定点疾患の数を集計し、水曜日に開催される大阪感染症情報解析委員会において府内における感染症の流行状況を検討し、「今週のトピックス」を決定している。この情報は、大阪府感染症情報センターのホームページ（http://iph.pref.osaka.jp）を通じて広く府民に還元した。

2024 年　小児科・眼科定点把握感染症の報告数上位５疾患とトピックス

週	1位		2位		3位		4位		5位		ＴＯＰＩＣＳ
52	感染性胃腸炎	3.89	A群溶連菌咽頭炎	2.78	咽頭結膜熱	1.24	手足口病	0.44	流行性角結膜炎	0.31	新型コロナウイルス感染症 引き続き増加
1	感染性胃腸炎	2.48	A群溶連菌咽頭炎	1.53	咽頭結膜熱	0.65	手足口病	0.34	流行性角結膜炎	0.23	
2	感染性胃腸炎	4.63	A群溶連菌咽頭炎	2.59	咽頭結膜熱	0.89	流行性角結膜炎	0.46	手足口病	0.24	新型コロナウイルス感染症 増加続く
3	感染性胃腸炎	7.25	A群溶連菌咽頭炎	3.63	咽頭結膜熱	0.60	手足口病	0.42	流行性角結膜炎	0.38	インフルエンザ 増加続く
4	感染性胃腸炎	7.81	A群溶連菌咽頭炎	3.85	手足口病	0.52	咽頭結膜熱	0.51	RSウイルス感染症	0.27	インフルエンザ 引き続き増加
5	感染性胃腸炎	8.31	A群溶連菌咽頭炎	4.13	手足口病	0.56	咽頭結膜熱	0.39	流行性角結膜炎	0.27	インフルエンザ 警報レベルに迫る
6	感染性胃腸炎	7.28	A群溶連菌咽頭炎	4.28	咽頭結膜熱	0.52	手足口病	0.42	RSウイルス感染症	0.34	インフルエンザ 高水準で続く
7	感染性胃腸炎	5.87	A群溶連菌咽頭炎	2.87	手足口病	0.54	咽頭結膜熱	0.42	RSウイルス感染症	0.38	インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症 今後の動向に注意
8	感染性胃腸炎	5.65	A群溶連菌咽頭炎	3.02	RSウイルス感染症	0.66	手足口病	0.56	咽頭結膜熱	0.36	RSウイルス感染症 増加
9	感染性胃腸炎	5.92	A群溶連菌咽頭炎	3.06	RSウイルス感染症	1.02	手足口病	0.48	流行性角結膜炎	0.44	RSウイルス感染症 増加続く
10	感染性胃腸炎	6.20	A群溶連菌咽頭炎	3.58	RSウイルス感染症	1.55	手足口病	0.43	咽頭結膜熱	0.41	RSウイルス感染症 さらに増加
11	感染性胃腸炎	6.05	A群溶連菌咽頭炎	3.32	RSウイルス感染症	1.84	手足口病	0.53	咽頭結膜熱	0.36	RSウイルス感染症 引き続き増加
12	感染性胃腸炎	5.08	A群溶連菌咽頭炎	3.08	RSウイルス感染症	2.23	咽頭結膜熱	0.36	手足口病	0.35	RSウイルス感染症 増加続く
13	感染性胃腸炎	4.69	RSウイルス感染症	2.63	A群溶連菌咽頭炎	2.53	手足口病	0.55	流行性角結膜炎	0.43	RSウイルス感染症　8週連続で増加
14	感染性胃腸炎	4.09	RSウイルス感染症	3.39	A群溶連菌咽頭炎	2.52	手足口病	0.48	咽頭結膜熱	0.34	RSウイルス感染症　増加続く
15	感染性胃腸炎	4.63	RSウイルス感染症	3.95	A群溶連菌咽頭炎	2.58	手足口病	0.81	流行性角結膜炎	0.65	RSウイルス感染症 10週連続増加
16	感染性胃腸炎	5.09	RSウイルス感染症	4.41	A群溶連菌咽頭炎	3.53	手足口病	1.07	流行性角結膜炎	0.51	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 増加
17	感染性胃腸炎	5.60	A群溶連菌咽頭炎	3.97	RSウイルス感染症	2.98	手足口病	1.30	流行性角結膜炎	0.58	インフルエンザ 非流行期へ
18	感染性胃腸炎	3.17	A群溶連菌咽頭炎	2.32	RSウイルス感染症	1.87	手足口病	1.18	咽頭結膜熱	0.40	手足口病 今後の動向に注目
19	感染性胃腸炎	4.72	A群溶連菌咽頭炎	2.92	手足口病	1.77	RSウイルス感染症	1.71	流行性角結膜炎	0.52	手足口病 増加
20	感染性胃腸炎	5.76	A群溶連菌咽頭炎	4.57	手足口病	2.95	RSウイルス感染症	1.47	咽頭結膜熱	0.51	手足口病・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 いずれも増加
21	感染性胃腸炎	6.05	手足口病	4.35	A群溶連菌咽頭炎	4.25	RSウイルス感染症	1.28	咽頭結膜熱	0.79	手足口病 増加続く
22	手足口病	6.11	感染性胃腸炎	5.72	A群溶連菌咽頭炎	4.10	RSウイルス感染症	0.86	咽頭結膜熱	0.86	手足口病 警報レベル超える
23	手足口病	7.33	感染性胃腸炎	5.57	A群溶連菌咽頭炎	4.45	ヘルパンギーナ	1.05	咽頭結膜熱	0.84	手足口病 さらに増加
24	手足口病	7.54	感染性胃腸炎	5.05	A群溶連菌咽頭炎	4.04	ヘルパンギーナ	1.15	咽頭結膜熱	0.9	新型コロナウイルス感染症 増加
25	手足口病	8.81	感染性胃腸炎	4.40	A群溶連菌咽頭炎	3.68	ヘルパンギーナ	1.3	咽頭結膜熱	0.76	手足口病 増加続く
26	手足口病	8.95	感染性胃腸炎	4.39	A群溶連菌咽頭炎	3.49	ヘルパンギーナ	1.43	咽頭結膜熱	0.70	新型コロナウイルス感染症 増加
27	手足口病	9.44	感染性胃腸炎	3.94	A群溶連菌咽頭炎	3.02	ヘルパンギーナ	1.42	RSウイルス感染症	0.73	新型コロナウイルス感染症 全ブロックで増加
28	手足口病	9.85	感染性胃腸炎	3.59	A群溶連菌咽頭炎	2.79	ヘルパンギーナ	1.64	RSウイルス感染症	1.05	新型コロナウイルス感染症 増加続く
29	手足口病	8.08	感染性胃腸炎	3.14	A群溶連菌咽頭炎	2.21	ヘルパンギーナ	1.48	RSウイルス感染症	0.81	新型コロナウイルス感染症 全ブロックで３週連続増加
30	手足口病	7.45	感染性胃腸炎	3.15	A群溶連菌咽頭炎	2.06	ヘルパンギーナ	1.29	RSウイルス感染症	1.01	マイコプラズマ肺炎 今後の動向に注意
31	手足口病	6.08	感染性胃腸炎	2.98	A群溶連菌咽頭炎	1.80	ヘルパンギーナ	1.19	RSウイルス感染症	1.01	マイコプラズマ肺炎　2016年以来の報告数の増加
32	手足口病	4.34	感染性胃腸炎	2.51	A群溶連菌咽頭炎	1.55	ヘルパンギーナ	0.77	RSウイルス感染症	0.71	マイコプラズマ肺炎、過去10年と比べて多い報告数
33	手足口病	1.78	感染性胃腸炎	1.23	A群溶連菌咽頭炎	0.81	RSウイルス感染症	0.42	ヘルパンギーナ	0.38	マイコプラズマ肺炎　引き続き多い
34	手足口病	2.67	感染性胃腸炎	2.59	A群溶連菌咽頭炎	1.38	RSウイルス感染症	0.50	ヘルパンギーナ	0.42	マイコプラズマ肺炎　報告数多い状態が続く
35	手足口病	3.84	感染性胃腸炎	2.88	A群溶連菌咽頭炎	1.57	RSウイルス感染症	0.68	ヘルパンギーナ	0.48	手足口病　今後の動向に注意
36	手足口病	4.69	感染性胃腸炎	3.16	A群溶連菌咽頭炎	1.80	RSウイルス感染症	0.88	ヘルパンギーナ	0.36	手足口病　警報レベル迫る
37	手足口病	4.93	感染性胃腸炎	3.06	A群溶連菌咽頭炎	1.99	RSウイルス感染症	0.84	ヘルパンギーナ	0.30	マイコプラズマ肺炎　高い報告数続く
38	手足口病	4.49	感染性胃腸炎	2.74	A群溶連菌咽頭炎	1.71	RSウイルス感染症	0.68	突発性発しん	0.25	新型コロナウイルス感染症 減少続く
39	手足口病	4.91	感染性胃腸炎	2.50	A群溶連菌咽頭炎	1.40	RSウイルス感染症	0.45	流行性角結膜炎	0.33	インフルエンザ　2週連続して漸増
40	手足口病	5.48	感染性胃腸炎	2.94	A群溶連菌咽頭炎	1.84	RSウイルス感染症	0.47	流行性角結膜炎	0.42	インフルエンザ　流行開始期入りの目安に近づく
41	手足口病	6.39	感染性胃腸炎	2.87	A群溶連菌咽頭炎	1.64	RSウイルス感染症	0.63	流行性角結膜炎	0.42	手足口病 警報レベルで推移
42	手足口病	5.30	感染性胃腸炎	2.73	A群溶連菌咽頭炎	1.38	RSウイルス感染症	0.53	流行性角結膜炎	0.38	手足口病　警報レベル続く
43	手足口病	4.66	感染性胃腸炎	3.10	A群溶連菌咽頭炎	1.71	RSウイルス感染症	0.40	流行性角結膜炎	0.37	マイコプラズマ肺炎 報告数多い状態が持続
44	手足口病	4.12	感染性胃腸炎	3.37	A群溶連菌咽頭炎	1.54	RSウイルス感染症	0.57	突発性発しん	0.26	手足口病　３週連続減少
45	手足口病	3.53	感染性胃腸炎	2.70	A群溶連菌咽頭炎	1.23	RSウイルス感染症	0.69	咽頭結膜熱	0.28	インフルエンザ 3週連続増加
46	感染性胃腸炎	3.44	手足口病	2.53	A群溶連菌咽頭炎	1.64	RSウイルス感染症	0.81	流行性角結膜炎	0.46	インフルエンザ　流行期入り
47	感染性胃腸炎	3.59	手足口病	2.05	A群溶連菌咽頭炎	1.31	RSウイルス感染症	0.52	流行性角結膜炎	0.46	インフルエンザ増加
48	感染性胃腸炎	4.29	手足口病	1.74	A群溶連菌咽頭炎	1.58	RSウイルス感染症	0.62	流行性角結膜炎	0.37	インフルエンザ　全ブロックで増加
49	感染性胃腸炎	5.16	A群溶連菌咽頭炎	1.65	手足口病	1.16	RSウイルス感染症	0.83	咽頭結膜熱	0.53	インフルエンザ　注意報レベルを超える
50	感染性胃腸炎	5.19	A群溶連菌咽頭炎	1.88	RSウイルス感染症	0.89	手足口病	0.80	咽頭結膜熱	0.41	インフルエンザ　2週連続で倍増
51	感染性胃腸炎	5.06	A群溶連菌咽頭炎	1.79	RSウイルス感染症	0.96	手足口病	0.57	流行性角結膜炎	0.42	インフルエンザ　警報レベルを大きく超える
52	感染性胃腸炎	4.90	A群溶連菌咽頭炎	1.58	RSウイルス感染症	1.09	流行性角結膜炎	0.48	咽頭結膜熱	0.44	（2025年第1週との合併）

注1：疾患名は小児科定点・眼科定点の対象疾患です。　注2：週遅れデータは含まれていません。
注3：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はA群溶連菌咽頭炎と表示しています。

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）

2023年 第52週（12月25日～12月31日）～ 2024年 第1週（1月1日～1月7日）

今週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「新型コロナウイルス感染症 引き続き増加」

2023年第52週と2024年第1週をあわせて報告する。年末年始休暇による診療実日数の減少を考慮する必要がある。

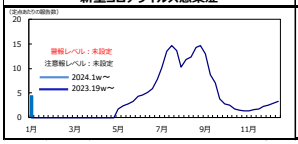
第52週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,771例であり、前週比33.3%減であった。 定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.89、2.78、1.24、0.44、0.31である。

第1週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,088例であり、前週比38.6%減であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.48、1.53、0.65、0.34、0.23である。

第1週のインフルエンザは25%減の3,572例で、定点あたり報告数は11.67であった。大阪市西部42.60、大阪市北部17.35、南河内15.13、堺市12.24、泉州10.97である。

新型コロナウイルス感染症は第52週は15%増の1,026例で、定点あたり報告数は3.35であった。第1週は41%増の1,444例で、定点あたり報告数は4.72である。大阪市西部12.07、南河内6.00、北河内5.12、豊能4.89、堺市4.86であった。2023年第39週から第52週で、60歳以上の累積入院者数は574例であり、78%を占めている。

新型コロナウイルス感染症



インフルエンザ

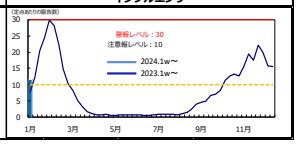


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第1週1月1日～1月7日）

第1週の順位	第52週の順位	感染症	2024年第1週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第1週の定点あたり報告数	2024年第1週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	2.48	36%減	2.86	１歳_17%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.53	45%減	0.16	10-14歳_15%
3	3	咽頭結膜熱	0.65	47%減	0.10	２歳,４歳,５歳_15%
4	4	手足口病	0.34	23%減	0.14	１歳_43%
5	5	流行性角結膜炎	0.23	25%減	0.08	20歳以上_92%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	11.67	25%減	7.57	20歳以上_51%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	4.72	41%増	-	20-29歳_16%

第1週のコメント

～バンコマイシン耐性腸球菌感染症～　2023年の大阪府の報告数は、15例であった。

全数把握感染症

バンコマイシン耐性腸球菌感染症

バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）は、バンコマイシンに耐性を獲得した腸球菌である。術後患者や感染防御機能の低下した患者では腹膜炎、術創感染症、心内膜炎、尿路感染症、敗血症などの感染症を引き起こす場合があるため、集中治療室や外科治療ユニットなど易感染者を治療する部門で問題となっており、臨床的、疫学的に重要な薬剤耐性菌である。VREによる術創感染症や腹膜炎などの治療は、抗菌薬の投与とともに感染巣の洗浄やドレナージなどを適宜組み合わせて行う。

薬剤耐性菌感染症 －バンコマイシン耐性腸球菌
バンコマイシン耐性腸球菌感染症（国立感染症研究

大阪府年別累積報告数

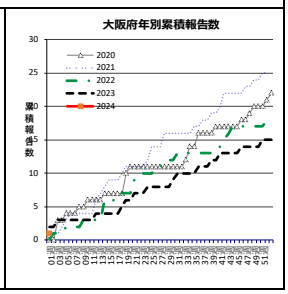


表２．大阪府全数報告数（2024年 第1週1月1日～1月7日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
４類感染症	レジオネラ症(肺炎型)	1					1					1
５類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1							1			1
結核（2023年11月分）	結核　新登録患者数：77名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　29名）（府内累積報告数　1,021名、内　肺・喀痰塗抹陽性　350名）											

（2024年1月9日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）

2024年 第2週（1月8日～1月14日）

今週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「新型コロナウイルス感染症 増加続く」

第2週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,770例であり、前週比62.7%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎、手足口病の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.63、2.59、0.89、0.46、0.24である。

感染性胃腸炎は前週比87%増の913例で、北河内5.92、南河内5.69、大阪市北部5.21、中河内5.10、三島4.94であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は69%増の511例で、南河内3.94、泉州3.57、大阪市西部3.00である。

咽頭結膜熱は36%増の175例で、北河内1.52、中河内1.35、南河内1.13であった。

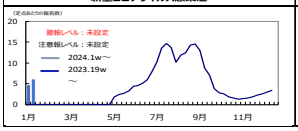
流行性角結膜炎は100%増の24例で、北河内1.50、大阪市東部1.00、中河内0.60である。

手足口病は28%減の48例で、中河内0.60、大阪市北部0.43、泉州0.33であった。

インフルエンザは3%増の3,695例で、定点あたり報告数は12.08である。大阪市西部16.87、南河内16.58、大阪市北部15.90、泉州15.38、堺市14.83であった。年齢分布では、14歳以下が全体の59%を占めている。AH3、AH1pdmに加えて、B型が検出されている。

新型コロナウイルス感染症は31%増の1,891例で、定点あたり報告数は6.18と9週連続して増加していた。堺市9.62、南河内7.75、泉州6.41、大阪市北部6.35、大阪市西部6.20である。2024年第1週以降、入院サーベイランスにおける基幹定点医療機関からの報告数は183名で、そのうち70歳以上が67%を占めている。

新型コロナウイルス感染症



インフルエンザ

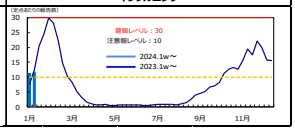


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第2週1月8日～1月14日）

第2週の順位	第1週の順位	感染症	2024年第2週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第2週の定点あたり報告数	2024年第2週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	4.63	87%増	4.72	１歳_14%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.59	69%増	0.26	10-14歳_14%
3	3	咽頭結膜熱	0.89	36%増	0.10	３歳_17%
4	5	流行性角結膜炎	0.46	100%増	0.10	20歳以上_83%
5	4	手足口病	0.24	28%減	0.05	１歳_44%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	12.08	3%増	12.22	20歳以上_34%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	6.18	31%増	-	50-59歳_12%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。
詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。
突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第2週のコメント

～侵襲性髄膜炎菌感染症～　大阪府では、毎年2-4例の報告があります。

全数把握感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症は、髄膜炎菌（*Neisseria meningitidis*）による侵襲性の感染症である。潜伏期は通常2～10日で、髄膜炎例では頭痛、発熱、髄膜刺激症状、痙攣、意識障害を示し、敗血症例では発熱、悪寒、ショック、播種性血管内凝固症候群（DIC）を呈する。髄膜炎ベルト（meningitis belt）とよばれるアフリカ中央部で発生が多く、日本では、学生寮等で集団発生の報告がある。治療には、ペニシリン系抗菌薬と第三世代セフェム系抗菌薬が有効である。患者との接触者には、緊急に、リファンピシンの予防投与が行われる。日本では、2015年より、4価髄膜炎菌（血清型A、C、Y、W-135）ワクチンの任意接種が開始されている。

侵襲性髄膜炎菌感染症（厚生労働省）

年別累積報告数

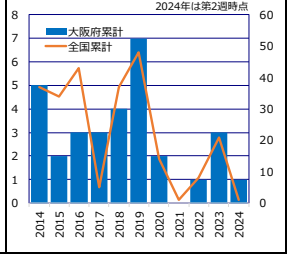


表２．大阪府全数報告数（2024年 第2週1月8日～1月14日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1								1		1
４類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	2							1	1		3
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4			1					3		5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1		1
	後天性免疫不全症候群	1			1							1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	1							1		2
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1									1
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	1			1			3		1	11
	梅毒	7		1		1					5	11
	百日咳	1									1	1
結核（2023年11月分）	結核　新登録患者数：77名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　29名）（府内累積報告数　1,021名、内　肺・喀痰塗抹陽性　350名）											

（2024年1月16日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第3週（1月15日～1月21日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 増加続く」

第3週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,470例であり、前週比39.5%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ7.25、3.63、0.60、0.42、0.38である。

感染性胃腸炎は前週比56%増の1,428例で、南河内12.56、大阪市北部8.86、堺市8.26、中河内8.05、大阪市南部7.78であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は40%増の715例で、大阪市南部5.61、北河内4.44、大阪市西部4.30である。

咽頭結膜熱は33%減の118例で、南河内1.06、北河内1.00、堺市0.68であった。

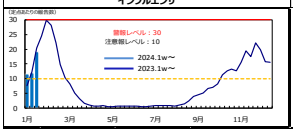
手足口病は71%増の82例で、南河内0.88、中河内0.75、泉州0.67である。

流行性角結膜炎は17%減の20例で、泉州1.00、中河内0.80、北河内・大阪市西部・大阪市東部0.50であった。

インフルエンザは59%増の5,884例で、定点あたり報告数は19.23である。南河内29.83、泉州28.09、堺市25.59、大阪市西部21.73、大阪市北部21.40であった。年齢分布では、14歳以下が全体の74%を占めており、昨週の割合59%からさらに高率となっている。先週に引き続き、B型が検出されている。

新型コロナウイルス感染症は29%増の2,436例で、定点あたり報告数は7.96と10週連続して増加していた。堺市11.24、南河内10.00、泉州9.29、北河内8.05、大阪市北部7.65である。2024年第1週以降、入院サーベイランスにおける基幹定点医療機関からの報告数は324名で、そのうち70歳以上が69%を占めている。

インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症

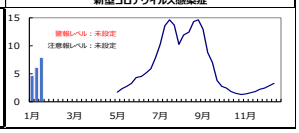


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第3週1月15日～1月21日）

第3週の順位	第2週の順位	感染症	2024年第3週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第3週の定点あたり報告数	2024年第3週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	7.25	56%増	6.49	１歳_15%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.63	40%増	0.39	５歳_15%
3	3	咽頭結膜熱	0.60	33%減	0.16	１歳_18%
4	5	手足口病	0.42	71%増	0.13	１歳_46%
5	4	流行性角結膜炎	0.38	17%減	0.13	20歳以上_75%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	19.23	59%増	20.46	10-14歳_23%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	7.96	29%増	-	10-19歳_14%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。
詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。
突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第3週のコメント

～侵襲性肺炎球菌感染症～　大阪府では、コロナ禍前の2019年までは毎年250例以上の報告がありました

全数把握感染症

侵襲性肺炎球菌感染症

侵襲性肺炎球菌感染症は、感染症法上、肺炎球菌（*Streptococcus pneumoniae*）による感染症のうち、この菌が髄液又は血液等の無菌部位から検出された感染症のことをいう。髄膜炎、菌血症を伴う肺炎、敗血症などが特に問題とされており、小児および高齢者を中心に患者報告がある。抗菌薬が有効であるが、薬剤耐性菌も多く報告されている。侵襲性肺炎球菌感染症の予防にはワクチンの接種が有効である。小児および高齢者への定期接種が実施されており、また、64歳以下で肺炎球菌による重症化の危険性が高い人への接種が重要である。

肺炎球菌感染症（高齢者）（厚生労働省）
侵襲性肺炎球菌感染症とは（国立感染症研究所）

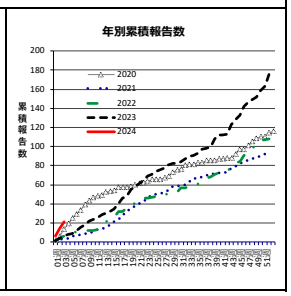


表２．大阪府全数報告数（2024年 第3週1月15日～1月21日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3							2	1		4
４類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	4								3		8
	レジオネラ症（ポンティアック型）						1					
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1		1								8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2					1			1		3
	後天性免疫不全症候群	2								2		5
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2					2					5
	侵襲性肺炎球菌感染症	7		2	1		1	1	1	1		21
	梅毒	20	1		1				1	17		54
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1								1		3
結核（2023年11月分）	結核　新登録患者数：77名（内　肺・喀痰塗抹陽性　29名）（府内累積報告数　1,021名、内　肺・喀痰塗抹陽性　350名）											

（2024年1月23日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第4週（1月22日～1月28日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ　引き続き増加」

第4週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,640例であり、前週比6.9%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ7.81、3.85、0.52、0.51、0.27である。

感染性胃腸炎は前週比8%増の1,539例で、南河内13.56、堺市9.89、三島・中河内9.00、北河内8.72であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は6%増の758例で、北河内5.60、泉州5.10、堺市4.58である。

手足口病は24%増の102例で、大阪市北部0.93、堺市0.74、泉州0.71であった。

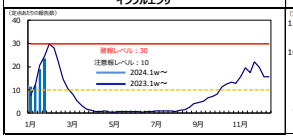
咽頭結膜熱は15%減の100例で、南河内1.13、泉州0.86、北河内0.64である。

RSウイルス感染症は83%増の53例で、泉州0.52、北河内0.48、南河内0.38であった。

インフルエンザは24%増の7,286例で、定点あたり報告数は23.81である。泉州36.32、南河内34.92、大阪市西部31.33、堺市28.93、北河内25.51である。3ブロックは警報レベル30を超えていた。B型が増えてきている。

新型コロナウイルス感染症は12%増の2,718例で、定点あたり報告数は8.88と11週連続して増加していた。北河内11.59、堺市11.00、南河内10.83、大阪市北部8.85、泉州8.82である。2024年第1週以降、入院サーベイランスにおける基幹定点医療機関からの報告数は462名で、そのうち70歳以上が68%を占めている。

インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症

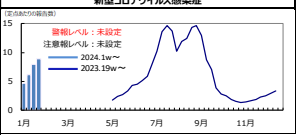


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第4週1月22日～1月28日）

第4週の順位	第3週の順位	感染症	2024年第4週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第4週の定点あたり報告数	2024年第4週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	7.81	8%増	6.56	１歳_14%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.85	6%増	0.57	６歳_14%
3	4	手足口病	0.52	24%増	0.10	１歳_50%
4	3	咽頭結膜熱	0.51	15%減	0.14	１歳_17%
5	8	RSウイルス感染症	0.27	83%増	0.13	１歳_32%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	23.81	24%増	24.34	10-14歳_30%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	8.88	12%増	-	10-19歳_18%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。
詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。
突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。
2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第4週のコメント

～劇症型溶血性レンサ球菌感染症～　国内では、毎年400-500例報告されており、致死率の高い感染症である

全数把握感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、主にA群溶血性レンサ球菌（*Streptococcus pyogenes*）による感染症である。国内では、毎年400-500例報告されており、約30%が死亡している。極めて致死率の高い感染症である。病状の進行が非常に急激かつ劇的で、発病後数十時間以内には軟部組織壊死、急性腎不全、成人型呼吸窮迫症候群、播種性血管内凝固症候群、多臓器不全を引き起こし、ショック状態から死に至ることがある。治療は、ペニシリン等の抗菌薬の投与と壊死に陥った軟部組織の切除が必要である。大阪府における2023年の報告数は過去10年で2番目に高かった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（大阪府感染症情報センター）
劇症型溶血性レンサ球菌感染症とは(国立感染症研究所)

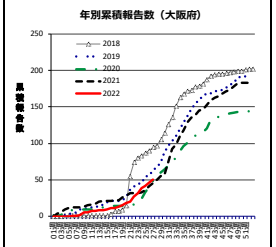


表２．大阪府全数報告数（2024年 第4週1月22日～1月28日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患　をご覧ください。
新型コロナウイルス感染症は、指定感染症として定める政令が施行された2月1日以降の集計です。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6				2	1			3		10
４類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	2			1	1						10
５類感染症	アメーバ赤痢	1	1									2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3		1	1	1						12
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4					1	2	1			7
	後天性免疫不全症候群	1	1									7
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1							2		26
	梅毒	7						1		6		75
	百日咳	1							1			3
結核（2023年11月分）	結核　新登録患者数：77名（内　肺・喀痰塗抹陽性　29名）（府内累積報告数　1,021名、内　肺・喀痰塗抹陽性　350名）											

（2024年1月30日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第5週（1月29日～2月4日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 警報レベルに迫る」

第5週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,779例であり、前週比5.3%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ8.31、4.13、0.56、0.39、0.27である。

感染性胃腸炎は前週比6%増の1,638例で、南河内15.75、泉州9.43、三島8.88、中河内8.85、大阪市西部8.60であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は7%増の814例で、泉州5.48、南河内5.44、大阪市南部5.39である。

手足口病は8%増の110例で、中河内1.10、泉州0.90、大阪市南部0.78であった。

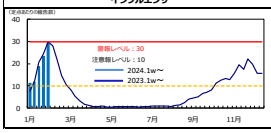
咽頭結膜熱は24%減の76例で、南河内1.13、泉州・大阪市北部0.43である。

流行性角結膜炎は100%増の14例で、泉州0.83、南河内0.75、大阪市西部0.50であった。

インフルエンザは24%増の9,069例で、定点あたり報告数は29.64と4週連続して増加している。南河内44.25、泉州38.00、大阪市北部35.25、堺市34.00、大阪市西部33.33であった。6ブロックは警報レベル30を超えている。1月のB型の割合は25%で、12月より20%増えている。

新型コロナウイルス感染症は5%増の2,863例で、定点あたり報告数は9.36と12週連続して増加している。南河内13.54, 北河内11.15、堺市10.59、中河内9.35、大阪市南部9.22であった。2024年第1週以降、19歳以下の年代層の割合が増えている。

インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症

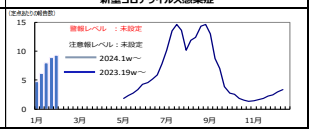


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第5週1月29日～2月4日）

第5週の順位	第4週の順位	感染症	2024年第5週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第5週の定点あたり報告数	2024年第5週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	8.31	6%増	6.88	１歳_13%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.13	7%増	0.37	６歳,10-14歳_13%
3	3	手足口病	0.56	8%増	0.07	１歳_45%
4	4	咽頭結膜熱	0.39	24%減	0.13	１歳_22%
5	8	流行性角結膜炎	0.27	100%増	0.19	20歳以上_50%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	29.64	24%増	29.91	10-14歳_32%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	9.36	5%増	-	10-19歳_21%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。
詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。
2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第5週のコメント

～ デング熱 ～　海外に渡航される方は、蚊に刺されないように、服装に注意し、虫よけ剤を使うなどしましょう

全数把握感染症

デング熱

デング熱は、ネッタイシマカやヒトスジシマカなどの蚊によって媒介されるデングウイルスの感染症である。比較的軽症型のデング熱と、重症型のデング出血熱がある。熱帯・亜熱帯地域、特に東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国、アフリカで見られ、全世界で年間約1億人がデング熱を発症する。海外渡航で感染し国内で発症する例（輸入症例）が増加しつつあり、2014年の夏季には輸入症例により持ち込まれたと考えられるウイルスにより、150例以上の国内流行が発生した。感染すると、3～7日程度の潜伏期間の後、38～40℃の急激な発熱を発症し、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛が出現する。2～7日で解熱し、解熱とともに発疹が現れることあ

デング熱について（厚生労働省）
デング熱とは(国立感染症研究所)

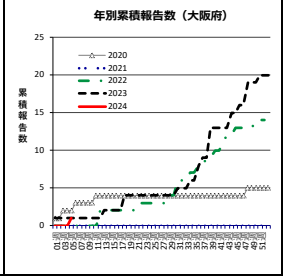


表２．大阪府全数報告数（2024年 第5週1月29日～2月4日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1								1		12
４類感染症	Ａ型肝炎	1						1				1
	デング熱	1								1		1
	レジオネラ症（肺炎型）	1								1		11
５類感染症	アメーバ赤痢	1				1						3
	ウイルス性肝炎	1					1					3
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2					1			1		16
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1			8
	後天性免疫不全症候群	1	1									9
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2						1		1		7
	侵襲性肺炎球菌感染症	4			1					3		31
	梅毒	10			1			1	1	7		105
	百日咳	1							1			4
結核（2023年12月分）	結核　新登録患者数：128名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　41名）（府内累積報告数　1,159名、内　肺・喀痰塗抹陽性　401名）											

（2024年2月6日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第6週（2月5日～2月11日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 高水準で続く」

第6週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は　2,630例であり、前週比　5.4%減であった。

定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、手足口病、RSウイルス感染症の順で、上位５疾患の定点あたり報告数はそれぞれ　7.28、4.28、0.52、0.42、0.34である。

感染性胃腸炎は前週比　12%減の1,442例で、南河内11.69、堺市9.00、三島8.18、大阪市北部7.93、中河内7.70であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は4%増の848例で、大阪市南部6.67、堺市5.47、北河内5.32である。

咽頭結膜熱は34%増の102例で、南河内0.94、北河内0.84、泉州0.76であった。

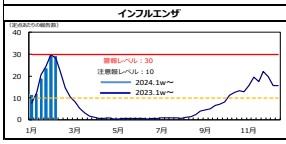
手足口病は25%減の83例で、泉州1.19、三島0.71、大阪市南部0.56である。

RSウイルス感染症は31%増の68例で、南河内0.69、堺市0.63、大阪市北部0.57であった。

インフルエンザは7例増の9,076例で定点あたり報告数は29.56である。大阪市西部43.07、南河内42.21、堺市34.17、泉州33.32、大阪市北部32.20であった。7ブロックで警報レベル30を超えていた。10歳代で報告数が減少していた。

新型コロナウイルス感染症は16%減の2,400例で定点あたり報告数は7.82である。南河内12.17、北河内9.07、堺市9.00、大阪市北部7.95、大阪市南部7.48であった。全ブロックで減少した。全報告数は2023年45週以来初めて減少したが、70歳以上の年齢層では報告数が増加した。

インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症

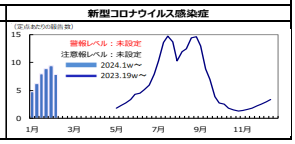


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第6週2月5日～2月11日）

第6週の順位	第5週の順位	感染症	2024年第6週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第6週の定点あたり報告数	2024年第6週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	7.28	12%減	6.51	１歳_14%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.28	4%増	0.46	10-14歳_15%
3	4	咽頭結膜熱	0.52	34%増	0.12	３歳_23%
4	3	手足口病	0.42	25%減	0.09	２歳_34%
5	6	RSウイルス感染症	0.34	31%増	0.15	１歳未満_35%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	29.56		28.12	10-14歳_30%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	7.82	16%減	-	10-19歳_17%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。
詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。
2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第6週のコメント

～侵襲性髄膜炎菌感染症～　大阪府では、毎年2-4例の報告があります。

全数把握感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症は、髄膜炎菌（*Neisseria meningitidis*）による侵襲性の感染症である。潜伏期は通常2～10日で、髄膜炎例では頭痛、発熱、髄膜刺激症状、痙攣、意識障害を示し、敗血症例では発熱、悪寒、ショック、播種性血管内凝固症候群（DIC）を呈する。髄膜炎ベルト（meningitis belt）とよばれるアフリカ中央部で発生が多く、日本では、学生寮等で集団発生の報告がある。治療には、ペニシリン系抗菌薬と第三世代セフェム系抗菌薬が有効である。患者との接触者には、緊急に、リファンピシンの予防投与が行われる。日本では、2015年より、4価髄膜炎菌（血清型A、C、Y、W-135）ワクチンの任意接種が開始されている。

侵襲性髄膜炎菌感染症について（厚生労働省）
髄膜炎菌性髄膜炎とは（国立感染症研究所）

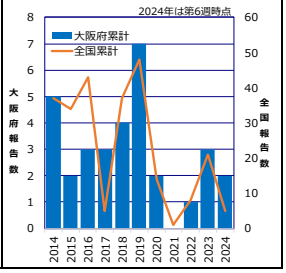


表２．大阪府全数報告数（2024年 第6週2月5日～2月11日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1								1		14
４類感染症	Ｅ型肝炎	1	1									1
	レジオネラ症（肺炎型）	2	1							1		14
	レジオネラ症（ポンティアック型）	1								1		
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1			1							18
	急性脳炎	2							2			5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1		10
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1								1		2
	侵襲性肺炎球菌感染症	1		1								33
	水痘（入院例）	1				1						2
	梅毒	7								7		132
結核（2023年12月分）	結核　新登録患者数：128名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　41名）（府内累積報告数　1,159名、内　肺・喀痰塗抹陽性　401名）											

（2024年2月13日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第7週（2月12日～2月18日）

今週のコメント

～感染症予防の基本～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ･新型コロナウイルス感染症 今後の動向に注意」

第7週の小児科･眼科定点疾患の報告数の総計は2,090例であり、前週比20.5%減であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.87、2.87、0.54、0.42、0.38である。

感染性胃腸炎は前週比19%減の1,163例で、南河内9.31、三島7.71、北河内7.12、中河内7.05、堺市6.53であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は33%減の569例で、北河内4.08、大阪市西部3.90、南河内3.88である。

手足口病は29%増の107例で、泉州1.57、中河内1.00、大阪市南部0.72であった。

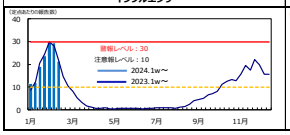
咽頭結膜熱は18%減の84例で、北河内1.00、泉州･大阪市北部0.57である。

RSウイルス感染症は10%増の75例で、堺市0.95、北河内0.60、南河内0.50であった。

インフルエンザは28%減の6,574例で、定点あたり報告数は21.41である。大阪市西部37.00、南河内31.92、大阪市北部25.80、北河内24.20、堺市23.83であった。全ブロックで減少した。

新型コロナウイルス感染症は18%減の1,958例で定点あたり報告数は6.38である。南河内9.17、北河内7.20、大阪市南部6.67、堺市6.62、泉州6.59であった。２週連続で減少した。

インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症

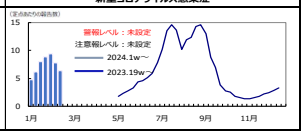


表１．大阪府小児科･眼科定点把握感染症の動向（2024年 第7週2月12日～2月18日）

第7週の順位	第6週の順位	感染症	2024年第7週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第7週の定点あたり報告数	2024年第7週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.87	19%減	6.64	２歳_12%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.87	33%減	0.41	10-14歳_14%
3	4	手足口病	0.54	29%増	0.07	１歳_42%
4	3	咽頭結膜熱	0.42	18%減	0.12	２歳_19%
5	5	RSウイルス感染症	0.38	10%増	0.21	１歳未満_32%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	21.41	28%減	22.04	10-14歳_29%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	6.38	18%減	-	10-19歳_14%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。
詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。
2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第7週のコメント

～劇症型溶血性レンサ球菌感染症～　国内では、毎年400-500例報告されているが、2023年は941例（2024年1月5日現在）報告されており、致死率の高い感染症である

全数把握感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、主にA群溶血性レンサ球菌（*Streptococcus pyogenes*）による感染症である。国内では、毎年400-500例報告されており、約30%が死亡している。極めて致死率の高い感染症である。病状の進行が非常に急激かつ劇的で、発病後数十時間以内には軟部組織壊死、急性腎不全、成人型呼吸窮迫症候群、播種性血管内凝固症候群、多臓器不全を引き起こし、ショック状態から死に至ることがある。治療は、ペニシリン等の抗菌薬の投与と壊死に陥った軟部組織の切除が必要である。大阪府における2023年の報告数は過去10年で2番目に高かった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（大阪府感染症情報センター）
劇症型溶血性レンサ球菌感染症とは(国立感染症研究所)

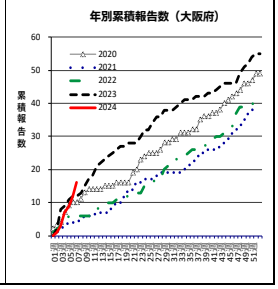


表２．大阪府全数報告数（2024年 第7週2月12日～2月18日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2								2		18
５類感染症	ウイルス性肝炎	1								1		6
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	2									20
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4				2					2	16
	後天性免疫不全症候群	4									4	16
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1									1	8
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1								2	40
	梅毒	4			1						3	159
結核（2023年12月分）	結核　新登録患者数：128名　（内　肺･喀痰塗抹陽性　41名）（府内累積報告数　1,159名、内　肺･喀痰塗抹陽性　401名）											

（2024年2月20日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第8週（2月19日～2月25日）

今週のコメント

～RSウイルス感染症～　咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症 増加」

第8週の小児科･眼科定点疾患の報告数の総計は2,114例であり、前週比1.1%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、手足口病、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.65、3.02、0.66、0.56、0.36である。

感染性胃腸炎は前週比4%減の1,118例で、三島8.12、南河内7.81、北河内7.16、大阪市北部6.57、堺市5.95であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は5%増の597例で、堺市4.63、北河内4.44、泉州3.29である。

RSウイルス感染症は75%増の131例で、南河内1.44、大阪市北部1.21、北河内1.12であった。

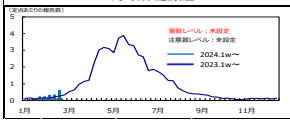
手足口病は4%増の111例で、泉州2.19、大阪市北部1.00、大阪市南部0.94である。

咽頭結膜熱は15%減の71例で、泉州0.71、大阪市北部･北河内0.64であった。

インフルエンザは37%減の4,117例で、定点あたり報告数は13.41である。南河内20.08、大阪市西部19.40、大阪市北部16.20、堺市15.86、北河内14.90である。先週に引き続き全ブロックで減少した。国内ではB型ビクトリア系統が多く検出されている。

新型コロナウイルス感染症は21%減の1,540例で定点あたり報告数は5.02である。大阪市北部6.80、南河内6.29、北河内5.68、大阪市南部5.63、堺市5.41であった。3週連続で減少した。

RSウイルス感染症



インフルエンザ

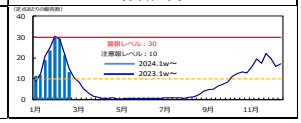


表１．大阪府小児科･眼科定点把握感染症の動向（2024年 第8週2月19日～2月25日）

第8週の順位	第7週の順位	感染症	2024年第8週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第8週の定点あたり報告数	2024年第8週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.65	4%減	5.72	10-14歳_11%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.02	5%増	0.35	５歳_13%
3	5	RSウイルス感染症	0.66	75%増	0.27	１歳未満_34%
4	3	手足口病	0.56	4%増	0.04	１歳_40%
5	4	咽頭結膜熱	0.36	15%減	0.09	３歳_20%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	13.41	37%減	14.74	10-14歳_27%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	5.02	21%減	-	80歳以上_12%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。
詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。
2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第8週のコメント

～侵襲性肺炎球菌感染症～　大阪府では、コロナ禍前の2019年までは毎年250例以上の報告がありました

全数把握感染症

侵襲性肺炎球菌感染症

侵襲性肺炎球菌感染症は、感染症法上、肺炎球菌（*Streptococcus pneumoniae*）による感染症のうち、この菌が髄液又は血液等の無菌部位から検出された感染症のことをいう。髄膜炎、菌血症を伴う肺炎、敗血症など特に問題とされており、小児および高齢者を中心に患者報告がある。抗菌薬が有効であるが、近年薬剤耐性菌も多く報告されている。侵襲性肺炎球菌感染症の予防にはワクチンの接種が有効である。小児および高齢者への定期接種が実施されており、また、64歳以下で肺炎球菌による重症化の危険性が高い人への接種が重要である。

侵襲性肺炎球菌感染症（大阪府感染症情報センター）
肺炎球菌感染症（高齢者）（厚生労働省）
肺炎球菌感染症（高齢者）（国立感染症研究所）

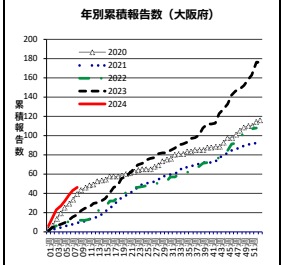


表２．大阪府全数報告数（2024年 第8週2月19日～2月25日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
４類感染症	テング熱	1							1			2
５類感染症	アメーバ赤痢	1		1								6
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3		1						2		26
	急性脳炎	1		1								6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2		1		1						18
	後天性免疫不全症候群	1									1	17
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1									1	9
	侵襲性肺炎球菌感染症	3				1	2					46
	梅毒	8	1		1		3		1	2		189
	百日咳	1							1			6
結核（2023年12月分）	結核　新登録患者数：128名　（内　肺･喀痰塗抹陽性　41名）（府内累積報告数　1,159名、内　肺･喀痰塗抹陽性　401名）											

（2024年2月27日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第9週（2月26日～3月3日）

今週のコメント

～RSウイルス感染症～　咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症 増加続く」

第9週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,271例であり、前週比7.4%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.92、3.06、1.02、0.48、0.44である。

感染性胃腸炎は前週比5%増の1,173例で、南河内8.13、三島8.12、大阪市南部7.39、中河内6.90、北河内6.12であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は2%増の606例で、大阪市南部5.28、堺市4.26、北河内3.76である。

RSウイルス感染症は53%増の201例で、大阪市北部2.00、北河内・南河内1.44であった。２週連続で増加しており、9ブロックで前週を上回った。今後の動向に注意が必要である。

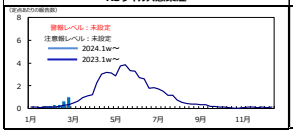
手足口病は14%減の96例で、泉州1.33、中河内0.95、大阪市南部0.78であった。

流行性角結膜炎は44%増の23例で、南河内1.25、大阪市東部1.17、泉州0.67である。

インフルエンザは33%減の2,747例で、定点あたり報告数は8.95であった。南河内14.58、大阪市西部11.67、大阪市北部11.60、中河内10.74、堺市9.55である。2月のウイルス検出状況では、AH1pdmが5%、AH3が21%、B型ビクトリア系統が74%を占めている。

新型コロナウイルス感染症は5%減の1,470例で定点あたり報告数は4.79であった。大阪市北部6.45、堺市5.69、大阪市東部5.64、大阪市南部5.30、泉州5.09である。4週連続で減少した。

RSウイルス感染症



感染性胃腸炎

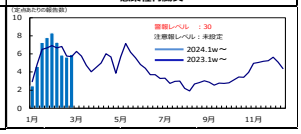


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第9週2月26日～3月3日）

第9週の順位	第8週の順位	感染症	2024年第9週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第9週の定点あたり報告数	2024年第9週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.92	5%増	5.71	10-14歳_12%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.06	2%増	0.47	10-14歳_14%
3	3	RSウイルス感染症	1.02	53%増	0.32	１歳未満_34%
4	4	手足口病	0.48	14%減	0.04	１歳_35%
5	6	流行性角結膜炎	0.44	44%増	0.06	20歳以上_83%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	8.95	33%減	10.39	10-14歳_25%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	4.79	5%減	-	10-19歳_12%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第9週のコメント

～麻しん～　ワクチンで予防可能な感染症です。2024年第8週での全国の年間累積感染者数は2例です。

全数把握感染症

麻しん

麻しん（はしか）は麻しんウイルスによって引き起こされる発熱を伴う発しん性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発しんが出現する。潜伏期間は1-2週間である。強い感染力（一人の患者が12～18人に感染伝播）のため、麻しん発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となる。2015年3月、日本は麻しん排除国に認定されている。しかし、現在でもアジア、アフリカやヨーロッパ諸国で麻しんが流行している。症状（発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発しん等）があり、１）１か月以内に麻しん患者と接触していた場合、２）麻しん流行国（主にアジア及びアフリカ諸国）に最近の旅行歴がある場合、麻しんを疑い、感染拡大を防止するため、医療機関を早期に受診する。受診に際し、医療機関に事前連絡し、麻しん疑いを伝え、指示に従うことが重要である。麻しんはワクチン（1歳以上で2回）で予防可能な感染症であり、接種の徹底が予防や感染拡大の防止に重要である。

麻しん情報（大阪府感染症情報センター）
麻疹とは(国立感染症研究所)

年別累積報告数

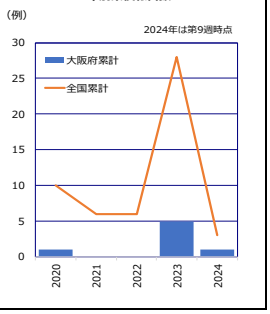


表２．大阪府全数報告数（2024年 第9週2月26日～3月3日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1								1		20
４類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	2			1					1		16
５類感染症	アメーバ赤痢	1								1		7
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1								1		28
	急性脳炎	1					1					7
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2					2					20
	後天性免疫不全症候群	1								1		20
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2			1					1		11
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1			1				1		50
	梅毒	22		1	2				5	14		230
	百日咳	2	1							1		9
	麻しん	1				1						1
結核（2023年12月分）	結核　新登録患者数：128名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　41名）（府内累積報告数　1,159名、内　肺・喀痰塗抹陽性　401名）											

（2024年3月5日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第10週（3月4日～3月10日）

今週のコメント

～RSウイルス感染症～　咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症 さらに増加」

第10週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,490例であり、前週比9.6%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、手足口病、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ6.20、3.58、1.55、0.43、0.41である。

感染性胃腸炎は前週比5%増の1,228例で、北河内8.08、三島8.06、泉州7.10、大阪市南部6.89、南河内6.88であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は17%増の709例で、堺市5.68、南河内4.75、大阪市南部4.33である。

RSウイルス感染症は53%増の307例で、北河内2.64、大阪市北部2.36、堺市2.21であった。第6週以降、増加が見られており、今後の動向には注意が必要である。

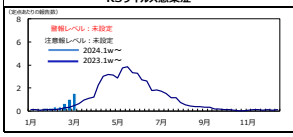
手足口病は11%減の85例で、泉州1.29、中河内0.65、南河内0.63であった。

咽頭結膜熱は2%減の82例で、南河内0.88、泉州0.81、大阪市北部・北河内0.64である。

インフルエンザは11%減の2,439例で、定点あたり報告数は7.94であった。南河内12.75、大阪市北部10.70、大阪市西部8.80、堺市8.66、北河内8.05であり、5週連続で減少している。

新型コロナウイルス感染症は9%減の1,333例で、定点当たり報告数は4.34であった。泉州5.71、南河内5.21、堺市5.10、大阪市東部5.05、北河内4.63であり、5週連続で減少している。

RSウイルス感染症



Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

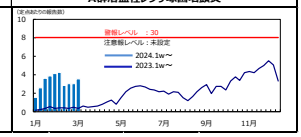


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第10週3月4日～3月10日）

第10週の順位	第9週の順位	感染症	2024年第10週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第10週の定点あたり報告数	2024年第10週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	6.20	5%増	5.98	１歳_12%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.58	17%増	0.49	６歳_14%
3	3	RSウイルス感染症	1.55	53%増	0.52	１歳未満_31%
4	4	手足口病	0.43	11%減	0.02	１歳_35%
5	6	咽頭結膜熱	0.41	2%減	0.08	１歳, ２歳_16%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	7.94	11%減	8.27	10-14歳_27%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	4.34	9%減	-	10-19歳_14%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第10週のコメント

～麻しん～　ワクチンで予防可能な感染症です。大阪府内の麻しんの発生動向について、第10週（3月4日-3月10日）に1例、2024年の累積報告数は2例です。

全数把握感染症

麻しん

麻しん（はしか）は麻しんウイルスによって引き起こされる発熱を伴う発しん性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発しんが出現する。潜伏期間は1-2週間である。強い感染力（一人の患者が12～18人に感染伝播）のため、麻しん発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となる。2015年3月、日本は麻しん排除国に認定されている。しかし、現在でもアジア、アフリカやヨーロッパ諸国で麻しんが流行している。症状（発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発しん等）があり、１）１か月以内に麻しん患者と接触していた場合、２）麻しん流行国（主にアジア、欧州及びアフリカ諸国）や地域へ最近の旅行歴がある場合、麻しんを疑い、感染拡大を防止するため、医療機関を早期に受診する。受診に際し、医療機関に事前連絡し、麻しん疑いを伝え、指示に従うことが重要である。麻しんはワクチン（1歳以上で2回）で予防可能な感染症であり、接種の徹底が予防や感染拡大の防止に重要である。

麻しん情報（大阪府感染症情報センター）
麻疹とは(国立感染症研究所)

年別累積報告数

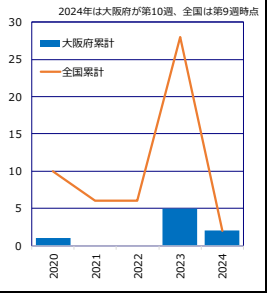


表２．大阪府全数報告数（2024年 第10週3月4日～3月10日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
４類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	1			1							17
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1		1								31
	クリプトスポリジウム症	1								1		1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1								12
	侵襲性肺炎球菌感染症	3					1	1		1		53
	水痘（入院例）	1			1							4
	梅毒	21				1	1	2	4	13		282
	百日咳	1								1		10
	麻しん	1						1				2
結核（2024年1月分）	結核　新登録患者数：76名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　30名）（府内累積報告数　76名、内　肺・喀痰塗抹陽性　30名）											

（2024年3月12日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第11週（3月11日～3月17日）

今週のコメント

～RSウイルス感染症～　咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症 引き続き増加」

第11週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,474例であり、前週比0.6%減であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、手足口病、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ6.05、3.32、1.84、0.53、0.36である。

感染性胃腸炎は前週比3%減の1,197例で、三島8.18、中河内8.05、南河内7.38、北河内7.04、泉州6.57であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は7%減の658例で、堺市6.05、大阪市南部4.33、北河内4.04である。

RSウイルス感染症は19%増の365例で、大阪市北部3.14、北河内2.80、堺市2.53であった。6週連続で増加しており、8ブロックで前週を上回った。

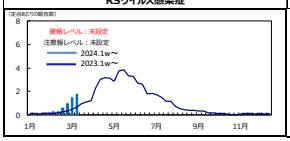
手足口病は22%増の104例で、泉州1.76、中河内0.75、堺市0.63である。

咽頭結膜熱は12%減の72例で、泉州0.67、南河内0.63、豊能0.57であった。

インフルエンザは18%減の2,010例で、定点あたり報告数は6.55である。大阪市西部9.33、南河内8.71、堺市8.31、中河内7.26、三島7.07であり、6週連続で減少している。

新型コロナウイルス感染症は11%減の1,181例で、定点当たり報告数は3.85であった。堺市5.07、大阪市東部5.05、南河内4.58、泉州4.50、大阪市北部4.10であり、6週連続で減少している。

RSウイルス感染症



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

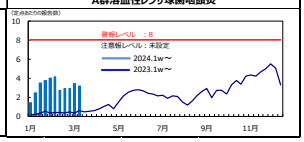


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第11週3月11日～3月17日）

第11週の順位	第10週の順位	感染症	2024年第11週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第11週の定点あたり報告数	2024年第11週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	6.05	3%減	5.66	５歳,10-14歳_11%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.32	7%減	0.64	５歳_15%
3	3	RSウイルス感染症	1.84	19%増	0.62	１歳_29%
4	4	手足口病	0.53	22%増	0.06	１歳_37%
5	5	咽頭結膜熱	0.36	12%減	0.15	１歳_22%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	6.55	18%減	5.21	10-14歳_28%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	3.85	11%減	-	10-19歳,80歳以上_13%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。
詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。
2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第11週のコメント

～麻しん～　ワクチンで予防可能な感染症です。大阪府内の麻しんの発生動向について、第11週（3月11日-3月17日）に5例、2024年の累積報告数は7例です。

全数把握感染症

麻しん

麻しん（はしか）は麻しんウイルスによって引き起こされる発熱を伴う発しん性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発しんが出現する。潜伏期間は1-2週間である。強い感染力（一人の患者が12～18人に感染伝播）のため、麻しん発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となる。2015年3月、日本は麻しん排除国に認定されている。しかし、現在でもアジア、欧州やアフリカで麻しんが流行している。症状（発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発しん等）がある、１）１か月以内に麻しん患者と接触していた場合、２）麻しん流行国（主にアジア、欧州及びアフリカ諸国）に最近の旅行歴がある場合、麻しんを疑い、感染拡大を防止するため、医療機関を早期に受診する。受診に際し、医療機関に事前連絡し、麻しん疑いを伝え、指示に従うことが重要である。麻しんはワクチン（1歳以上で2回）で予防可能な感染症であり、接種の徹底が予防や感染拡大の防止に重要である。

麻しん情報（大阪府感染症情報センター）
麻疹とは(国立感染症研究所)

年別累積報告数

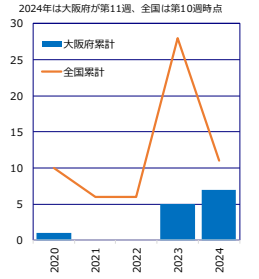


表２．大阪府全数報告数（2024年 第11週3月11日～3月17日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	1			1							21
４類感染症	**デング熱**	1								1		3
	レジオネラ症（肺炎型）	1								1		18
５類感染症	**ウイルス性肝炎**	1					1					8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1			26
	侵襲性肺炎球菌感染症	2		1					1			56
	水痘（入院例）	1								1		5
	梅毒	11	1		1	3		1		5		315
	播種性クリプトコックス症	1								1		2
	麻しん	5			1	1			1	2		7
結核（2024年1月分）	**結核　新登録患者数：76名**　（内　肺・喀痰塗抹陽性　30名）（府内累積報告数　76名、内　肺・喀痰塗抹陽性　30名）											

（2024年3月19日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第12週（3月18日～3月24日）

今週のコメント

～RSウイルス感染症～　咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症 増加続く」

第12週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,284例であり、前週比7.7%減であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、手足口病の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.08、3.08、2.23、0.36、0.35である。

感染性胃腸炎は前週比16%減の1,005例で、三島8.18、北河内6.12、大阪市北部5.93、中河内5.75、泉州5.38であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は7%減の609例で、北河内・大阪市南部4.00、堺市3.79である。

RSウイルス感染症は21%増の441例で、大阪市北部3.71、南河内3.25、北河内3.24であった。7週連続で増加している。

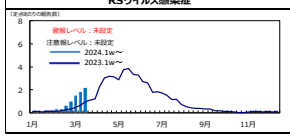
咽頭結膜熱は1%減の71例で、南河内1.06、泉州0.86、大阪市北部0.57である。

手足口病は34%減の69例で、泉州0.67、南河内0.56、三島0.53であった。

インフルエンザは23%減の1,539例で、定点あたり報告数は5.01である。三島6.26、南河内6.21、大阪市西部6.13、堺市5.86、豊能5.38であり、7週連続で減少している。

新型コロナウイルス感染症は7%減の1,101例で、定点あたり報告数は3.59であった。堺市4.69、泉州4.35、南河内4.29、豊能4.22、大阪市北部3.65であり、7週連続で減少している。

RSウイルス感染症



インフルエンザ

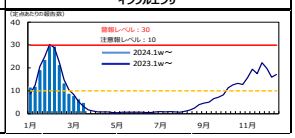


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第12週3月18日～3月24日）

第12週の順位	第11週の順位	感染症	2024年第12週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第12週の定点あたり報告数	2024年第12週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.08	16%減	4.74	１歳_12%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.08	7%減	0.51	10-14歳_14%
3	3	RSウイルス感染症	2.23	21%増	0.96	１歳未満_32%
4	5	咽頭結膜熱	0.36	1%減	0.22	１歳_18%
5	4	手足口病	0.35	34%減	0.07	１歳_32%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	5.01	23%減	3.21	10-14歳_33%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	3.59	7%減	-	10-19歳_12%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。
詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。
2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第12週のコメント

～梅毒～　大阪府における梅毒累計報告数は昨年同時期についで多く、全国では2021年7,873例、2022年13,226例、2023年度14,906例と増加している

全数把握感染症

梅毒

全国の梅毒の年間報告数は、2020年5,867例、2021年7,978例、2022年13,226例、2023年は過去最高の14,906例と増加している。大阪府においても、2023年は2,019例で現行の集計方法で過去最高の年間報告数であった。梅毒は、性行為・オーラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待できる。

梅毒とは（国立感染症研究所）
梅毒（大阪府感染症情報センター）

年別累積報告数（大阪府）

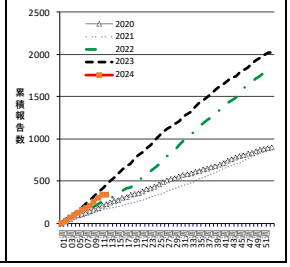


表２．大阪府全数報告数（2024年 第12週3月18日～3月24日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
４類感染症	**レジオネラ症（肺炎型）**	2	1	1								20
５類感染症	**急性脳炎**	1							1			8
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2		1	1							15
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1	1				1				60
	梅毒	2									2	342
結核（2024年1月分）	**結核　新登録患者数：76名**　（内　肺・喀痰塗抹陽性　30名）（府内累積報告数　76名、内　肺・喀痰塗抹陽性　30名）											

（2024年3月26日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第13週（3月25日～3月31日）

今週のコメント

～RSウイルス感染症～　咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症　8週連続で増加」

第13週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,206例であり、前週比3.4%減であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.69、2.63、2.53、0.55、0.43である。

感染性胃腸炎は前週比8%減の928例で、南河内6.75、大阪市北部5.57、北河内5.44、中河内5.35、三島5.18であった。

RSウイルス感染症は18%増の520例で、大阪市北部5.36、南河内3.56、北河内3.52である。10ブロックで増加していた。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は18%減の501例で、北河内3.92、大阪市南部3.50、南河内3.06であった。

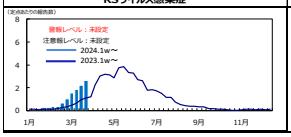
手足口病は58%増の109例で、大阪市南部1.11、泉州1.00、中河内0.65である。

流行性角結膜炎は22%増の22例で、南河内1.25、大阪市東部1.17、豊能0.75であった。

インフルエンザは19%減の1,254例で、定点あたり報告数は4.08である。堺市5.21、大阪市西部5.13、南河内4.96、三島4.78、北河内4.71であり、8週連続で減少している。

新型コロナウイルス感染症は5例増加の1,106例で、定点あたり報告数は3.60であった。北河内4.61、大阪市南部4.00、堺市3.97、大阪市北部3.95、南河内3.92であり、第12週まで7週続いていた減少が止まった。

RSウイルス感染症



新型コロナウイルス感染症

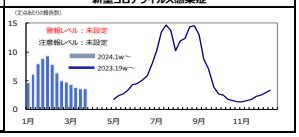


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第13週3月25日～3月31日）

第13週の順位	第12週の順位	感染症	2024年第13週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第13週の定点あたり報告数	2024年第13週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	4.69	8%減	4.01	3歳_11%
2	3	RSウイルス感染症	2.63	18%増	1.12	1歳未満_33%
3	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.53	18%減	0.57	4歳_15%
4	5	手足口病	0.55	58%増	0.04	1歳_34%
5	6	流行性角結膜炎	0.43	22%増	0.12	20歳以上_64%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	4.08	19%減	1.69	10-14歳_23%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	3.60	増減なし	-	80歳以上_14%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。
詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。
2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第13週のコメント

～侵襲性肺炎球菌感染症～　大阪府では、コロナ禍前の2019年までは毎年250例以上の報告がありました

全数把握感染症

侵襲性肺炎球菌感染症

侵襲性肺炎球菌感染症は、感染症法上、肺炎球菌（*Streptococcus pneumoniae*）による感染症のうち、この菌 が髄液又は血液等の無菌部位から検出された感染症のことをいう。髄膜炎、菌血症を伴う肺炎、敗血症などが特に問題とされており、小児および高齢者を中心に患者報告がある。抗菌薬が有効であるが、近年薬剤耐性菌も多く報告されている。侵襲性肺炎球菌感染症の予防にはワクチンの接種が有効である。小児および高齢者への定期接種が実施されており、また、64歳以下で肺炎球菌による重症化の危険性が高い人への接種が重要である。

侵襲性肺炎球菌感染症（大阪府感染症情報センター）
肺炎球菌感染症（高齢者）（厚生労働省）
肺炎球菌感染症（高齢者）（国立感染症研究所）

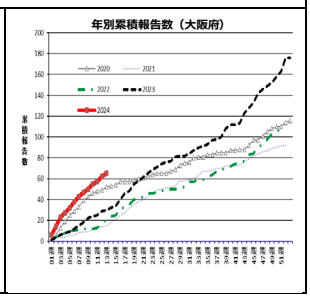


表２．大阪府全数報告数（2024年 第13週3月25日～3月31日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
４類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	1								1	22
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2			1				1		38
	後天性免疫不全症候群	1				1					22
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1			1						16
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1		1		1				65
	梅毒	5	1		1					3	357
結核（2024年1月分）	結核　新登録患者数：76名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　30名）（府内累積報告数　76名、内　肺・喀痰塗抹陽性　30名）										

（2024年4月2日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第14週（4月1日～4月7日）

今週のコメント

～RSウイルス感染症～　咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症　増加続く」

第14週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,210例であり、前週比0.2%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.09、3.39、2.52、0.48、0.34である。

感染性胃腸炎は前週比14%減の802例で、中河内6.45、南河内5.31、三島5.06、大阪市北部4.64、豊能4.55であった。

RSウイルス感染症は28%増の665例で、大阪市北部7.36、中河内5.35、南河内4.63であり、9週連続で増加している。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は1%減の494例で、堺市4.89、大阪市南部3.83、北河内3.12であった。

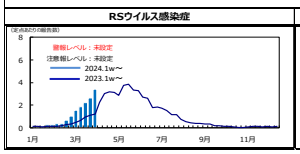
手足口病は14%減の94例で、泉州1.10、中河内0.80、大阪市南部0.72である。

咽頭結膜熱は25%増の66例で、南河内1.19、泉州0.48、中河内0.45であった。

インフルエンザは54%減の578例で、定点あたり報告数は1.90である。大阪市西部2.87、堺市2.79、南河内2.67、中河内2.29、泉州1.91であり、9週連続で減少している。

新型コロナウイルス感染症は10%減の992例で、定点あたり報告数は3.26である。大阪市北部3.80、北河内3.78、大阪市東部3.77、泉州3.74、堺市3.72である。

RSウイルス感染症



感染性胃腸炎

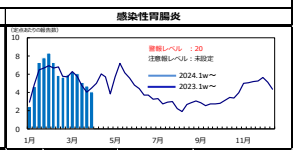


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第14週4月1日～4月7日）

第14週の順位	第13週の順位	感染症	2024年第14週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第14週の定点あたり報告数	2024年第14週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	4.09	14%減	4.44	2歳_11%
2	2	RSウイルス感染症	3.39	28%増	1.18	1歳未満_31%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.52	1%減	0.63	5歳_15%
4	4	手足口病	0.48	14%減	0.03	1歳_29%
5	6	咽頭結膜熱	0.34	25%増	0.28	2歳_24%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	1.90	54%減	1.15	20歳以上_25%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	3.26	10%減	-	80歳以上_12%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。
詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。
2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第14週のコメント

～腸チフス～　手洗いの徹底と、十分に加熱された飲食物を摂取することが重要である

全数把握感染症

腸チフス

腸チフスはチフス菌を起因病原体とする全身性の感染症であり、患者や保菌者の便と尿が感染源となる。
通常、7～14日（報告によって3～60日）の潜伏期間を経て、発熱、頭痛、食欲不振及び全身倦怠感などの症状を発症する。また、39℃を超える高熱が1週間以上続き、比較的徐脈、バラ疹、脾腫、下痢などの症状を呈し、腸出血、腸穿孔が生じることがある。重症例では、意識障害や難聴が起きることもある。
治療は、抗菌薬投与が効果的である。南アジアなどで、薬剤耐性菌も多く報告されていることから、処方された期間で適切に服用する必要がある。5～10%の症例で再発がみられる。

腸チフス・パラチフスとは（国立感染症研究所）
腸チフス・パラチフス（厚生労働省 検疫所）

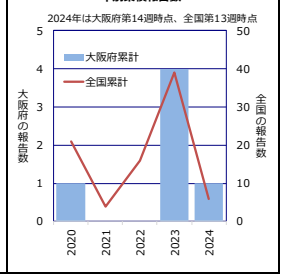


表２．大阪府全数報告数（2024年 第14週4月1日～4月7日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1					1				23
	腸チフス	1								1	1
４類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	2				1				1	24
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2			1					1	43
	クリプトスポリジウム症	1							1		3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3			1		1			1	35
	後天性免疫不全症候群	1								1	25
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1						1			17
	侵襲性肺炎球菌感染症	1								1	68
	梅毒	22						2	3	17	422
	百日咳	1							1		11
結核（2024年2月分）	結核　新登録患者数：41名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　19名）（府内累積報告数　118名、内　肺・喀痰塗抹陽性　49名）										

（2024年4月9日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第15週（4月8日～4月14日）

今週のコメント

～RSウイルス感染症～　咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症 10週連続増加」

第15週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,571例であり、前週比16.3%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.63、3.95、2.58、0.81、0.65である。

感染性胃腸炎は前週比13%増の908例で、中河内5.85、北河内5.64、南河内5.50、三島5.44、大阪市西部5.00であった。

RSウイルス感染症は16%増の774例で、大阪市北部6.86、中河内5.40、堺市5.00であり、10週連続で増加している。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は2%増の506例で、北河内3.76、堺市3.63、中河内3.30であった。

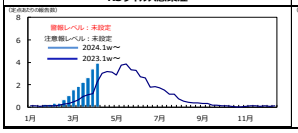
手足口病は69%増の159例で、泉州2.24、堺市1.26、大阪市南部1.00である。

流行性角結膜炎は94%増の33例で、三島1.75、大阪市南部1.50、大阪市北部1.00であった。

インフルエンザは32%減の391例で、定点あたり報告数は1.29である。堺市1.79、大阪市北部1.75、中河内1.55、大阪市西部1.40、北河内1.33であり、10週連続で減少している。

新型コロナウイルス感染症は9%減の900例で、定点あたり報告数は2.96であった。泉州3.94、大阪市北部3.70、北河内3.53、南河内3.17、堺市3.14である。

RSウイルス感染症



感染性胃腸炎

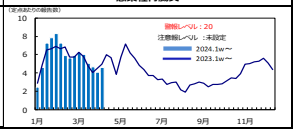


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第15週4月8日～4月14日）

第15週の順位	第14週の順位	感染症	2024年第15週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第15週の定点あたり報告数	2024年第15週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	4.63	13%増	4.92	１歳_14%
2	2	RSウイルス感染症	3.95	16%増	2.21	１歳_38%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.58	2%増	0.80	４歳_13%
4	4	手足口病	0.81	69%増	0.11	１歳_43%
5	6	流行性角結膜炎	0.65	94%増	0.14	20歳以上_64%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	1.29	32%減	0.78	20歳以上_19%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	2.96	9%減	-	50-59歳_11%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。
詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。
突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。
2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第15週のコメント

～日本紅斑熱～ 大阪府では2023年9例の報告があった。2024年は第15週で1例目が報告されている

全数把握感染症

日本紅斑熱

日本紅斑熱は、紅斑熱群リケッチアの一種 *Rickettsia japonica* を起因病原体とし、野山でマダニに刺咬されることにより感染する。媒介ダニの活動が活発化する４月～10月に発生し、特に9月、10月は多い。自然界で保菌あるいは感染する動物として、げっ歯類、野生のシカ、イノシシなどがあげられる。潜伏期は2～8日であり、頭痛、発熱、倦怠感を伴って発症する。発熱、発しん、刺し口が主要三徴候であるが、必ずしも、刺し口があるとは限らない。発しんは、体幹部より四肢末端部に強く出現し、検査所見では、肝逸脱酵素の上昇、血小板の減少が認められる。治療には、抗菌薬投与が効果的であり、第一選択薬はテトラサイクリン系の抗菌薬である。β-ラクタム系の抗菌薬は全く無効である。

日本紅斑熱(大阪健康安全基盤研究所)
日本紅斑熱とは(国立感染症研究所)

年別累積報告数

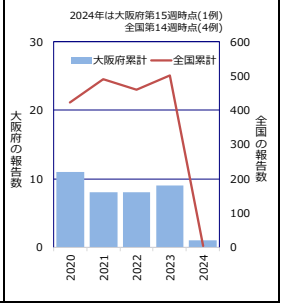


表２．大阪府全数報告数（2024年 第15週4月8日～4月14日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1			1							24
４類感染症	日本紅斑熱	1	1									1
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3			1					2		47
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1		37
	後天性免疫不全症候群	1								1		28
	ジアルジア症	1								1		1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1								1		19
	侵襲性肺炎球菌感染症	7				2				5		76
	水痘（入院例）	1								1		6
	梅毒	15			2	1					12	451
	百日咳	2			2							13
結核（2024年2月分）	結核　新登録患者数：41名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　19名）（府内累積報告数　118名、内　肺・喀痰塗抹陽性　49名）											

（2024年4月16日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第16週（4月15日～4月21日）

今週のコメント

～Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎～　咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 増加」

第16週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,984例であり、前週比16.1%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、流行性角結膜炎の順で、上位５疾患の定点あたり報告数はそれぞれ5.09、4.41、3.53、1.07、0.51である。

感染性胃腸炎は前週比10%増の998例で、三島6.63、中河内6.50、大阪市南部6.39、泉州5.67、南河内5.38であった。

RSウイルス感染症は12%増の865例で、大阪市北部12.71、大阪市東部5.67、大阪市西部4.50である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は37%増の691例で、大阪市南部6.39、北河内5.32、南河内4.63であった。

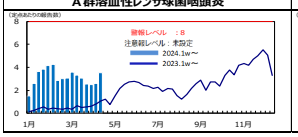
手足口病は31%増の209例で、泉州2.67、中河内1.45、大阪市南部1.28である。

流行性角結膜炎は21%減の26例で、豊能1.75、大阪市南部1.25、大阪市北部0.80であった。

インフルエンザは20%減の314例で定点あたり報告数は1.03である。中河内2.00、大阪市北部1.30、三島1.04、北河内1.03、泉州0.97であった。

新型コロナウイルス感染症は8%増の974例で定点あたり報告数は3.20である。泉州3.82、北河内3.75、大阪市北部3.65、大阪市南部3.44、南河内3.42であった。5歳から19歳までの年齢階層で増加した。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎



RSウイルス感染症

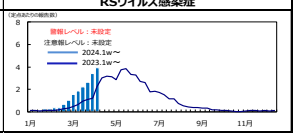


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第16週4月15日～4月21日）

第16週の順位	第15週の順位	感染症	2024年第16週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第16週の定点あたり報告数	2024年第16週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.09	10%増	5.83	１歳_13%
2	2	RSウイルス感染症	4.41	12%増	2.92	１歳_33%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.53	37%増	1.09	４歳_14%
4	4	手足口病	1.07	31%増	0.16	１歳_49%
5	6	流行性角結膜炎	0.51	21%減	0.33	20歳以上_65%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	1.03	20%減	0.78	20歳以上_21%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	3.20	8%増	-	10-19歳_16%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。
詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。
突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。
2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第16週のコメント

～侵襲性髄膜炎菌感染症～　2023年、大阪府では、3例報告された。

全数把握感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症は、髄膜炎菌（*Neisseria meningitidis*）による侵襲性の感染症である。潜伏期は通常2～10日で、髄膜炎例では頭痛、発熱、髄膜刺激症状、痙攣、意識障害を示し、敗血症例では発熱、悪寒、ショック、播種性血管内凝固症候群（DIC）を呈する。髄膜炎ベルト（meningitis belt）とよばれるアフリカ中央部で発生が多く、日本では、学生寮等で集団発生の報告がある。治療には、ペニシリン系抗菌薬と第三世代セフェム系抗菌薬が有効である。患者との接触者には、緊急に、リファンピシン、シプロフロキサシンやセフトリアキソンの予防投与が行われる。日本では、2015年より、4価髄膜炎菌（血清型A、C、Y、W-135）ワクチンの任意接種が開始されている。

髄膜炎菌性髄膜炎とは（国立感染症研究所）
侵襲性髄膜炎菌感染症について（厚生労働省）

年別累積報告数

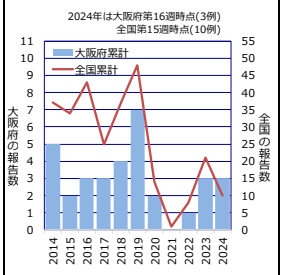


表２．大阪府全数報告数（2024年 第16週4月15日～4月21日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1			1							25
５類感染症	アメーバ赤痢	1							1			11
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2		1						1		50
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1					38
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1							1			21
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1								1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症	1				1						80
	梅毒	24				1	2		1	20		499
	百日咳	2								2		17
結核（2024年2月分）	結核　新登録患者数：41名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　19名）（府内累積報告数　118名、内　肺・喀痰塗抹陽性　49名）											

（2024年4月23日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第17週（4月22日～4月28日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 非流行期へ」

第17週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,944例であり、前週比1.3%減であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.60、3.97、2.98、1.30、0.58である。

感染性胃腸炎は前週比10%増の1,098例で、三島8.56、堺市6.63、中河内6.40、泉州6.38、大阪市南部6.11であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は13%増の778例で、堺市6.11、北河内5.72、南河内5.06である。

RSウイルス感染症は32%減の585例で、大阪市北部7.21、大阪市西部3.50、中河内3.35であった。第5週以降12週間ぶりに減少に転じている。

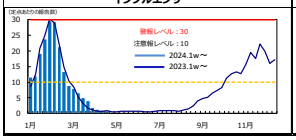
手足口病は22%増の255例で、泉州3.05、堺市1.79、中河内1.50である。年齢別の割合は、1歳で最も高く（45%）、次いで2歳（19%）、6か月以上12か月齢未満（13%）となっている。

流行性角結膜炎は15%増の30例で、大阪市南部1.75、三島・大阪市北部1.00であった。

インフルエンザは29%減の222例で、定点あたり報告数は0.73である。大阪市西部1.80、中河内1.00、泉州0.97、大阪市北部0.80、南河内0.79である。定点あたり報告数が1.0を下回り非流行期に入った。

新型コロナウイルス感染症は17%減の807例で定点あたり報告数は2.65であった。堺市3.31、大阪市北部3.30、南河内3.25、北河内3.05、大阪市東部2.91であった。

インフルエンザ



手足口病

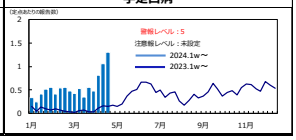


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第17週4月22日～4月28日）

第17週の順位	第16週の順位	感染症	2024年第17週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第17週の定点あたり報告数	2024年第17週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.60	10%増	5.64	１歳_12%
2	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.97	13%増	1.22	10-14歳_13%
3	2	RSウイルス感染症	2.98	32%減	3.11	１歳_34%
4	4	手足口病	1.30	22%増	0.15	１歳_45%
5	5	流行性角結膜炎	0.58	15%増	0.21	20歳以上_60%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	0.73	29%減	0.82	20歳以上_26%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	2.65	17%減	-	10-19歳_14%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。
詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。
突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。
2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第17週のコメント

～梅毒～　大阪府における梅毒累計報告数は昨年同時期について多く、全国では2021年7,978例、2022年13,221例、2023年度14,906例と増加している

全数把握感染症

梅毒

全国の梅毒の年間報告数は、2020年5,867例、2021年7,978例、2022年13,221例、2023年は過去最高の14,906例と増加している。大阪府においても、2023年は2,019例で現行の集計方法で過去最高の年間報告数であった。梅毒は、性行為・オーラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待できる。

梅毒とは（国立感染症研究所）
梅毒（大阪府感染症情報センター）

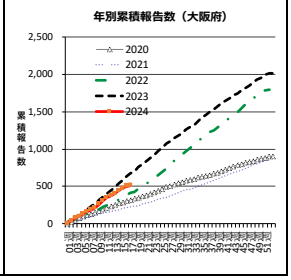


表２．大阪府全数報告数（2024年 第17週4月22日～4月28日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1					1					28
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2		1		1						53
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				1						40
	侵襲性肺炎球菌感染症	1							1			83
	梅毒	8		1	1	2	2		1	1		511
結核（2024年2月分）	結核　新登録患者数：41名（内　肺・喀痰塗抹陽性　19名）（府内累積報告数　118名、内　肺・喀痰塗抹陽性　49名）											

（2024年4月30日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第18週（4月29日～5月5日）

今週のコメント

～手足口病～　手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病 今後の動向に注目」

第18週の発生動向について報告を行うにあたって、大型連休のための医療機関の診療実日数の減少を考慮する必要がある。

第18週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,857例であり、前週比36.9%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、手足口病、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.17、2.32、1.87、1.18、0.40である。

感染性胃腸炎は前週比44%減の618例で、大阪市北部4.21、北河内3.92、大阪市南部3.78、堺市3.63、三島・南河内3.56であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は42%減の452例で、堺市3.79、北河内3.72、大阪市南部3.39である。

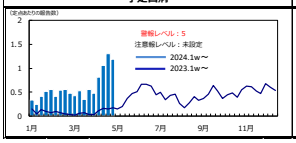
RSウイルス感染症は38%減の365例で、大阪市北部5.93、大阪市西部2.70、中河内2.32であった。

手足口病は9%減の231例で、大阪市北部2.36、南河内1.75、大阪市西部1.70である。

咽頭結膜熱は14%減の78例で、南河内1.19、中河内0.95、大阪市西部0.50であった。

新型コロナウイルス感染症は38%減の501例で、定点あたり報告数は1.65である。大阪市西部2.80、豊能・南河内2.42、北河内1.80、三島1.69であった。

手足口病



感染性胃腸炎

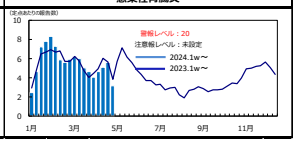


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第18週4月29日～5月5日）

第18週の順位	第17週の順位	感染症	2024年第18週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第18週の定点あたり報告数	2024年第18週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	3.17	44%減	3.86	１歳_12%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.32	42%減	0.79	４歳_14%
3	3	RSウイルス感染症	1.87	38%減	3.11	１歳未満_34%
4	4	手足口病	1.18	9%減	0.17	１歳_45%
5	6	咽頭結膜熱	0.40	14%減	0.32	１歳_33%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	1.65	38%減	-	10-19歳_16%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。
詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。
突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

第18週のコメント

～パラチフス～　手洗いの徹底、十分に加熱された飲食物を摂取することが重要である

全数把握感染症

パラチフス

パラチフスはパラチフスA菌を起因病原体とする全身性の感染症であり、患者や保菌者の便と尿が感染源となる。
通常、7～14日（報告によって3～60日）の潜伏期間を経て、発熱、頭痛、食欲不振及び全身倦怠感などの症状を発症する。また、39℃を超える高熱が1週間以上続き、比較的徐脈、バラ疹、脾腫、下痢などの症状を呈し、腸出血、腸穿孔が生じることがある。重症例では、意識障害や難聴が起きることもある。
治療は、抗菌薬投与が効果的である。南アジアなどで、薬剤耐性菌も多く報告されている。5～10%の症例で再発がみられる。

腸チフス・パラチフスとは（国立感染症研究所）
腸チフス・パラチフス（厚生労働省 検疫所）

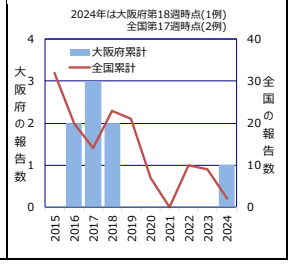


表２．大阪府全数報告数（2024年 第18週4月29日～5月5日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	パラチフス	1								1		1
４類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	1		1								29
	レジオネラ症（ポンティアック熱型）	1					1					
５類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1								43
	侵襲性肺炎球菌感染症	2		1	1							93
	梅毒	2			1					1		543
結核（2024年3月分）	結核　新登録患者数：58名（内　肺・喀痰塗抹陽性　22名）（府内累積報告数　212名、内　肺・喀痰塗抹陽性　91名）											

（2024年5月7日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第19週（5月6日～5月12日）

今週のコメント

～手足口病～　手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病 増加」

第19週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,456例であり、前週比32.3%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.72、2.92、1.77、1.71、0.52である。

感染性胃腸炎は前週比49%増の920例で、三島6.06、南河内5.81、堺市5.74、北河内5.36、中河内5.32であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は26%増の569例で、大阪市南部4.89、南河内4.63、北河内4.12である。

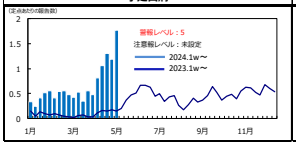
手足口病は50%増の346例で、大阪市北部3.57、南河内2.56、北河内2.48であった。

RSウイルス感染症は8%減の334例で、大阪市北部3.64、中河内2.47、南河内2.31である。

流行性角結膜炎は42%増の27例で、南河内1.50、北河内1.17、豊能1.00であった。

新型コロナウイルス感染症は26%増の631例で、定点あたり報告数は2.08である。南河内2.96、豊能2.53、堺市2.28、大阪市西部2.20、大阪市東部2.18であった。

手足口病



感染性胃腸炎

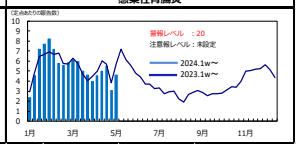


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第19週5月6日～5月12日）

第19週の順位	第18週の順位	感染症	2024年第19週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第19週の定点あたり報告数	2024年第19週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	4.72	49%増	5.65	10-14歳_13%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.92	26%増	1.53	10-14歳_15%
3	4	手足口病	1.77	50%増	0.15	１歳_40%
4	3	RSウイルス感染症	1.71	8%減	2.79	１歳未満_40%
5	6	流行性角結膜炎	0.52	42%増	0.21	20歳以上_74%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	2.08	26%増	1.79	20-29歳_13%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、

本文には詳細に記載していません。

第19週のコメント

～劇症型溶血性レンサ球菌感染症～　国内では、毎年400-500例報告されているが、2024年は第18週時点で、800例を超えている

全数把握感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、主にA群溶血性レンサ球菌（*Streptococcus pyogenes*）による感染症である。国内では、毎年400-500例報告されており、約30%が死亡している。極めて致死率の高い感染症である。病状の進行が非常に急激かつ劇的で、発病後数十時間以内には軟部組織壊死、急性腎不全、成人型呼吸窮迫症候群、播種性血管内凝固症候群、多臓器不全を引き起こし、ショック状態から死に至ることがある。治療は、ペニシリン等の抗菌薬の投与と壊死に陥った軟部組織の切除が必要である。大阪府における2023年の報告数は過去10年で2番目に高かった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（大阪府感染症情報センター）

劇症型溶血性レンサ球菌感染症とは（国立感染症研究所）

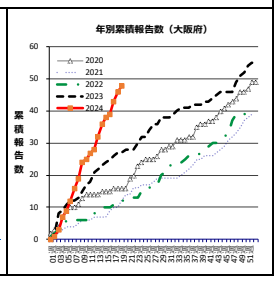


表２．大阪府全数報告数（2024年 第19週5月6日～5月12日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1								1	32
	腸チフス	1								1	2
４類感染症	日本紅斑熱	1		1							2
	レジオネラ症（肺炎型）	1	1								31
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	1		1						57
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2							1	1	48
	後天性免疫不全症候群	1								1	32
	侵襲性肺炎球菌感染症	2								2	99
	梅毒	15							2	13	588
	百日咳	1		1							19
結核（2024年3月分）	結核　新登録患者数：58名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　22名）（府内累積報告数　212名、内　肺・喀痰塗抹陽性　91名）										

（2024年5月14日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第20週（5月13日～5月19日）

今週のコメント

～感染症予防の基本～　咳エチケット、手洗い、排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 いずれも増加」

第20週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は3,170例であり、前週比29.1%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.76、4.57、2.95、1.47、0.51である。

感染性胃腸炎は前週比22%増の1,124例で、南河内8.50、三島7.94、堺市7.00、北河内6.84、中河内6.47であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は57%増の891例で、大阪市南部7.61、南河内6.69、堺市6.42である。全ブロックで前週より増加していた。10－14歳、6歳、5歳の順で多く報告されている。

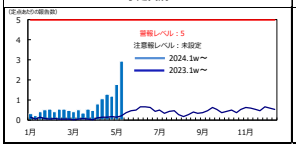
手足口病は66%増の575例で、大阪市北部5.71、北河内4.36、堺市3.84であった。1歳で最も多く報告され、大阪市北部で警報レベル5を超えた。全国の病原微生物検出情報によると、コクサッキーウイルスA6が最も多く検出されている。

RSウイルス感染症は14%減の286例で、中河内2.74、大阪市北部2.57、南河内2.38である。

咽頭結膜熱は5%増の99例で、南河内0.94、堺市0.74、北河内0.68であった。

新型コロナウイルス感染症は12%増の704例で、定点あたり報告数は2.32である。南河内3.33、大阪市東部3.00、堺市2.79、泉州2.71、北河内2.30であった。大型連休の第18週以降、2週続けて増加している。

手足口病



Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

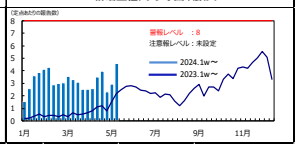


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第20週5月13日～5月19日）

第20週の順位	第19週の順位	感染症	2024年第20週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第20週の定点あたり報告数	2024年第20週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.76	22%増	7.15	１歳_12%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.57	57%増	2.17	10-14歳_13%
3	3	手足口病	2.95	66%増	0.20	１歳_49%
4	4	RSウイルス感染症	1.47	14%減	3.73	１歳未満_33%
5	6	咽頭結膜熱	0.51	5%増	0.57	１歳_42%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	2.32	12%増	2.37	50-59歳_14%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の「令和2年11月2日以降(大阪府)」の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、

本文には詳細に記載していません。

第20週のコメント

～侵襲性肺炎球菌感染症～　大阪府では、コロナ禍前の2019年までは毎年250例以上の報告がありました

全数把握感染症

侵襲性肺炎球菌感染症

侵襲性肺炎球菌感染症は、感染症法上、肺炎球菌（*Streptococcus pneumoniae*）による感染症のうち、この菌が髄液又は血液等の無菌部位から検出された感染症のことをいう。髄膜炎、菌血症を伴う肺炎、敗血症などが特に問題とされており、小児および高齢者を中心に患者報告がある。抗菌薬が有効であるが、近年薬剤耐性菌も多く報告されている。侵襲性肺炎球菌感染症の予防にはワクチンの接種が有効である。小児および高齢者への定期接種が実施されており、また、64歳以下で肺炎球菌による重症化の危険性が高い人への接種が重要である。

侵襲性肺炎球菌感染症（大阪府感染症情報センター）

肺炎球菌感染症（高齢者）（厚生労働省）

肺炎球菌感染症（高齢者）（国立感染症研究所）

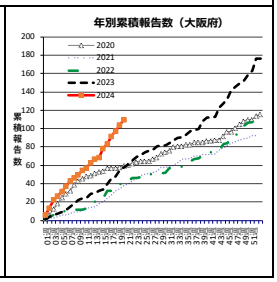


表２．大阪府全数報告数（2024年 第20週5月13日～5月19日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1								1	33
４類感染症	日本紅斑熱	1							1		3
	レジオネラ症（肺炎型）	2						1		1	34
５類感染症	アメーバ赤痢	1	1								13
	ウイルス性肝炎	1								1	12
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3		1				1		1	62
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1	50
	後天性免疫不全症候群	2	1							1	35
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	1							1	26
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	4							2	110
	梅毒	15		2	1				4	8	638
結核（2024年3月分）	結核　新登録患者数：58名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　22名）（府内累積報告数　212名、内　肺・喀痰塗抹陽性　91名）										

（2024年5月21日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）
2024年 第21週（5月20日～5月26日）

今週のコメント

～手足口病～　手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病　増加続く」

第21週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は3,517例であり、前週比10.9%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、手足口病、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ6.05、4.35、4.25、1.28、0.79である。

感染性胃腸炎は前週比5%増の1,179例で、三島8.94、南河内8.00、豊能6.82、中河内6.63、北河内6.48であった。

手足口病は48%増の849例で、北河内7.16、大阪市北部6.21、泉州4.48である。2ブロックで警報レベル5を超えた。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は7%減の829例で、大阪市南部6.33、堺市6.05、北河内5.88であった。

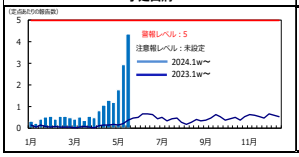
RSウイルス感染症は13%減の250例で、大阪市北部3.21、中河内1.84、南河内1.50である。

咽頭結膜熱は56%増の154例で、中河内1.74、大阪市東部1.33、南河内1.31であった。

新型コロナウイルス感染症は2%減の692例で定点あたり報告数は2.28である。堺市2.90、泉州2.71、大阪市北部2.65、南河内2.58、豊能2.44であった。

基幹定点疾患であるマイコプラズマ肺炎は3週連続で報告数10を超えており、定点あたり報告数は0.83である。前回の流行末期の2017年1月以来の状況であった。今後の発生動向に注意が必要である。

手足口病



Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

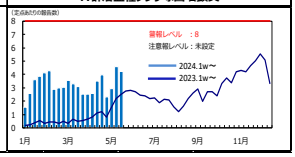


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第21週5月20日～5月26日）

第21週の順位	第20週の順位	感染症	2024年第21週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第21週の定点あたり報告数	2024年第21週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	6.05	5%増	6.12	10-14歳_12%
2	3	手足口病	4.35	48%増	0.37	１歳_42%
3	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.25	7%減	2.47	４歳_13%
4	4	RSウイルス感染症	1.28	13%減	3.86	１歳未満_37%
5	5	咽頭結膜熱	0.79	56%増	0.91	１歳_40%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	2.28	2%減	2.75	80歳以上_13%

第21週のコメント

～麻しん～　ワクチンで予防可能な感染症です。2023年、大阪府内の累積感染者数は5例でした。

全数把握感染症

麻しん

麻しん（はしか）は麻しんウイルスによって引き起こされる発熱を伴う発しん性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発しんが出現する。潜伏期間は1-2週間である。強い感染力（一人の患者が12～18人に感染伝播）のため、麻しん発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となる。2015年3月、日本は麻しん排除国に認定されている。しかし、現在でもアジア、欧州やアフリカで麻しんが流行している。症状（発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発しん等）があり、１）１か月以内に麻しん患者と接触していた場合、２）麻しん流行国（主にアジア、欧州及びアフリカ諸国）に最近の旅行歴がある場合、麻しんを疑い、感染拡大を防止するため、医療機関を早期に受診する。受診に際し、医療機関に事前連絡し、麻しん疑いを伝え、指示に従うことが重要である。麻しんはワクチン（1歳以上で2回）で予防可能な感染症であり、接種の徹底が予防や感染拡大の防止に重要である。

麻しん情報（大阪府感染症情報センター）
麻疹とは(国立感染症研究所)

年別累積報告数

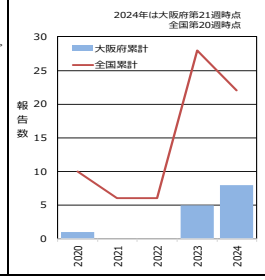


表２．大阪府全数報告数（2024年 第21週5月20日～5月26日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1								1		34
４類感染症	Ａ型肝炎	1								1		4
	重症熱性血小板減少症候群	1				1						1
	日本紅斑熱	1							1			4
	レジオネラ症（肺炎型）	1					1					35
５類感染症	アメーバ赤痢	1								1		14
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2			1					1		64
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1									51
	後天性免疫不全症候群	1								1		36
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1								1		4
	水痘（入院例）	1						1				8
	梅毒	15	2		1	2		2			8	672
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1			1							7
	百日咳	1			1							20
	麻しん	1							1			8
結核（2024年3月分）	結核　新登録患者数：58名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　22名）（府内累積報告数　212名、内　肺・喀痰塗抹陽性　91名）											

（2024年5月28日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）
2024年 第22週（5月27日～6月2日）

今週のコメント

～手足口病～　手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病 警報レベル超える」

第22週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は3,786例であり、前週比7.6%増であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ6.11、5.72、4.10、0.86、0.86である。

手足口病は前週比40%増の1,192例で、大阪市北部9.79、北河内8.68、南河内6.69、中河内6.21、堺市6.00であった。警報レベル開始基準値である５を超えた。

感染性胃腸炎は5%減の1,116例で、南河内9.25、三島6.88、大阪市南部6.50である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は4%減の799例で、北河内6.92、大阪市南部5.89、南河内5.25であった。

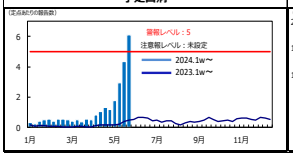
RSウイルス感染症は33%減の168例で、大阪市北部1.86、中河内1.16、泉州1.14である。

咽頭結膜熱は8%増の167例で、中河内1.42、南河内1.38、泉州・大阪市西部・大阪市南部1.00であった。

新型コロナウイルス感染症は4%減の664例で定点あたり報告数は2.19である。大阪市東部2.86、堺市2.72、泉州2.65、南河内2.46、豊能2.19であった。

基幹定点疾患であるマイコプラズマ肺炎は４週連続で報告数10を超えており、定点あたり報告数は0.94である。堺市ブロックでは11例の報告があった。今後の発生動向に注意が必要である。

手足口病



感染性胃腸炎

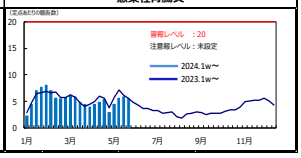


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第22週5月27日～6月2日）

第22週の順位	第21週の順位	感染症	2024年第22週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第22週の定点あたり報告数	2024年第22週の年齢別患者発生数最大割合値
1	2	手足口病	6.11	40%増	0.48	１歳_38%
2	1	感染性胃腸炎	5.72	5%減	5.57	10-14歳_13%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.10	4%減	2.74	10-14歳_16%
4	4	RSウイルス感染症	0.86	33%減	3.34	１歳未満_36%
5	5	咽頭結膜熱	0.86	8%増	0.75	１歳_40%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	2.19	4%減	3.33	20-29歳_13%

第22週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期をおいて、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる（出血性大腸炎）。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏～初秋において、腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加する。

腸管出血性大腸菌感染症（大阪府感染症情報センター）
腸管出血性大腸菌感染症とは(国立感染症研究所)

年別累積報告数（大阪府）

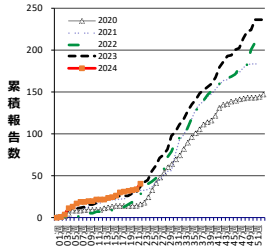


表２．大阪府全数報告数（2024年 第22週5月27日～6月2日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6		3	1					2		40
４類感染症	チクングニア熱	1								1		1
	日本紅斑熱	1								1		5
	レジオネラ症（肺炎型）	2								2		37
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2		1	1							68
	後天性免疫不全症候群	1							1			39
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	1		2				2	1		120
	水痘（入院例）	2								2		10
	梅毒	17		1		1		2	1	12		722
	百日咳	1			1							21
結核（2024年4月分）	結核　新登録患者数：93名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　28名）（府内累積報告数　321名、内　肺・喀痰塗抹陽性　123名）											

（2024年6月4日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）
2024年 第23週（6月3日～6月9日）

今週のコメント

～手足口病～　手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病 さらに増加」

第23週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は4,053例であり、前週比7.1%増であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ7.33、5.57、4.45、1.05、0.84である。

手足口病は前週比20%増の1,436例で、南河内10.88、中河内10.68、北河内9.88、大阪市北部9.21、堺市7.74であった。9ブロックで警報レベル開始基準値である５を超えている。国内ではコクサッキーウイルスA6が優位に検出されている。

感染性胃腸炎は2%減の1,091例で、南河内8.69、豊能7.45、大阪市南部7.17であった。

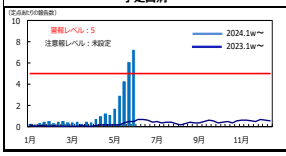
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は9%増の873例で、北河内6.72、堺市6.16、南河内6.13である。

ヘルパンギーナは25%増の206例で、中河内2.37、大阪市北部2.36、北河内1.68であった。

咽頭結膜熱は2%減の164例で、中河内1.68、南河内1.13、三島1.06である。

新型コロナウイルス感染症は9%増の724例で定点あたり報告数は2.38であった。堺市3.17、南河内3.13、泉州2.74、大阪市北部2.60、北河内2.40である。

手足口病



Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

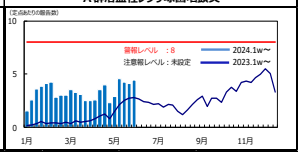


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第23週6月3日～6月9日）

第23週の順位	第22週の順位	感染症	2024年第23週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第23週の定点あたり報告数	2024年第23週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	7.33	20%増	0.47	１歳_32%
2	2	感染性胃腸炎	5.57	2%減	4.74	１歳_13%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.45	9%増	2.72	５歳, ６歳_12%
4	6	ヘルパンギーナ	1.05	25%増	4.66	１歳_26%
5	5	咽頭結膜熱	0.84	2%減	0.89	１歳_40%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	2.38	9%増	4.33	10-19歳_15%

第23週のコメント

～レジオネラ症～　2023年において、大阪府では132例、全国では2271例の報告がありました。

全数把握感染症

レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ・ニューモフィラ　（*Legionella pneumophila*）を代表とするレジオネラ属菌による細菌感染症である。土壌や水環境に、普遍的に存在する菌である。人工環境（噴水等の水景施設、ビル屋上に立つ冷却塔、ジャグジー、加湿器等）や循環水を利用した風呂から発生したレジオネラ属菌を含むエアロゾルを吸入することで感染する。病型として肺炎型と一過性で自然に改善するポンティアック熱型がある。ヒト－ヒト感染はない。細胞性免疫機能が低下したヒトでは肺炎を起こす危険性が通常より高いので、特に留意する必要がある。高齢者、新生児、大酒家、重喫煙者、透析患者、悪性疾患・糖尿病・AIDS患者はハイリスク・グループである。

レジオネラ症（大阪府感染症情報センター）
レジオネラ症とは(国立感染症研究所)

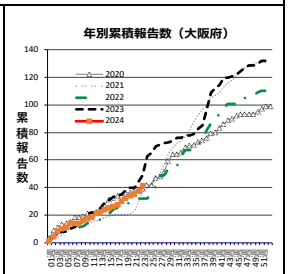


表２．大阪府全数報告数（2024年 第23週6月3日～6月9日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5			2					3		46
４類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	4					1			3		41
５類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1								1		6
	後天性免疫不全症候群	1								1		41
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1								1		30
	侵襲性肺炎球菌感染症	4								4		126
	梅毒	28	1		3	1			2	21		763
	百日咳	1			1							22
結核（2024年4月分）	結核　新登録患者数：93名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　28名）（府内累積報告数　321名、内　肺・喀痰塗抹陽性　123名）											

（2024年6月11日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）
2024年 第24週（6月10日～6月16日）

今週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「新型コロナウイルス感染症 増加」

第24週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は3,977例であり、前週比1.9%減であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ7.54、5.05、4.04、1.15、0.90である。

手足口病は前週比3%増の1,478例で、中河内11.89、北河内10.88、大阪市北部9.29、南河内8.88、大阪市南部8.67であった。

感染性胃腸炎は9%減の989例で、南河内7.63、豊能6.18、三島6.06である。

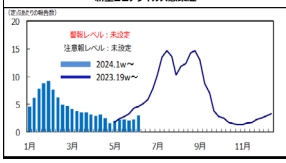
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は9%減の792例で、南河内6.81、大阪市南部5.83、堺市5.53であった。

ヘルパンギーナは10%増の226例で、大阪市北部3.21、北河内1.96、中河内1.58である。

咽頭結膜熱は8%増の177例で、中河内1.68、南河内1.44、大阪市南部1.22であった。

新型コロナウイルス感染症は30%増の943例で定点あたり報告数は3.10である。北河内3.73、堺市3.66、豊能3.36、大阪市南部3.11、三島3.07であった。

新型コロナウイルス感染症



手足口病

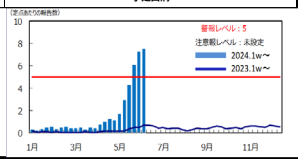


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第24週6月10日～6月16日）

第24週の順位	第23週の順位	感染症	2024年第24週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第24週の定点あたり報告数	2024年第24週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	7.54	3%増	0.66	１歳_35%
2	2	感染性胃腸炎	5.05	9%減	4.39	10-14歳_12%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.04	9%減	2.69	10-14歳_14%
4	4	ヘルパンギーナ	1.15	10%増	6.55	１歳_25%
5	5	咽頭結膜熱	0.90	8%増	0.88	１歳_36%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	3.10	30%増	4.55	10-19歳_18%

第24週のコメント

～重症熱性血小板減少症候群～　2023年は全国で133例の報告がありました。

全数把握感染症

重症熱性血小板減少症候群

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は、ウイルスを保有するマダニに刺咬されることで感染する。潜伏期は6～14日で、発熱、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）を主徴とし、腹痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴うこともある。致死率は6～30%と報告されている。感染経路はマダニを介したものが中心だが、感染した犬や猫の体液への直接接触による感染や、血液等の患者体液との接触により人から人への感染も報告されている。有効なワクチンはない。

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）（国立感染症研究所）
重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について(厚生労働省)

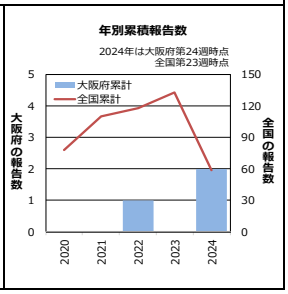


表２．大阪府全数報告数（2024年 第24週6月10日～6月16日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6	1				1			4		54
４類感染症	重症熱性血小板減少症候群	1	1									2
	日本紅斑熱	1	1									6
	レジオネラ症（肺炎型）	5					1	1	1	2		48
	レジオネラ症（ポンティアック熱型）	1								1		
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5			1		1	1	2			77
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1								56
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1								1		31
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1							1			5
	侵襲性肺炎球菌感染症	4		2				1	1			132
	梅毒	16	2	3			1	1		9		797
	播種性クリプトコックス症	1			1							4
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1							1			8
	百日咳	2								2		26
結核（2024年4月分）	結核　新登録患者数：93名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　28名）（府内累積報告数　321名、内　肺・喀痰塗抹陽性　123名）											

（2024年6月18日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第25週（6月17日～6月23日）

今週のコメント

～手足口病～　手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病 増加続く」

第25週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は3,939例であり、前週比1.0%減であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱の順で、上位５疾患の定点あたり報告数はそれぞれ8.81、4.40、3.68、1.30、0.76である。

手足口病は前週比17%増の1,727例で、大阪市北部14.07、中河内13.42、南河内11.06、大阪市南部10.67、北河内10.16であった。

感染性胃腸炎は13%減の862例で、南河内5.94、北河内5.20、泉州5.00である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は9%減の722例で、北河内5.36、大阪市南部4.89、南河内4.56であった。

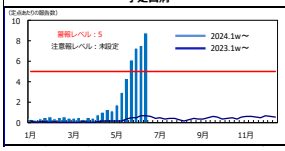
ヘルパンギーナは12%増の254例で、大阪市北部4.00、中河内2.32、南河内1.38である。

咽頭結膜熱は16%減の148例で、中河内1.42、大阪市南部1.17、南河内・泉州1.00であった。

新型コロナウイルス感染症は6%増の1,001例で、定点あたり報告数は3.29である。北河内3.98、堺市3.72、大阪市北部3.65、泉州3.50、大阪市東部3.32であった。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は、2週連続で増加し、前週から19例増加の35例で、定点あたり報告数は1.94である。10～14歳では17例の報告があった。

手足口病



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

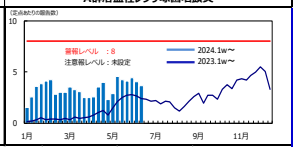


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第25週6月17日～6月23日）

第25週の順位	第24週の順位	感染症	2024年第25週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第25週の定点あたり報告数	2024年第25週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	8.81	17%増	0.65	1歳_34%
2	2	感染性胃腸炎	4.40	13%減	3.71	1歳_13%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.68	9%減	2.44	5歳_13%
4	4	ヘルパンギーナ	1.30	12%増	7.65	1歳_30%
5	5	咽頭結膜熱	0.76	16%減	0.89	1歳_43%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	3.29	6%増	5.16	10-19歳_18%

第25週のコメント

～梅毒～　大阪府における梅毒累計報告数は昨年同時期についで多く、全国では2021年7,978例、2022年13,221例、2023年は14,906例と増加している

全数把握感染症

梅毒

全国の梅毒の年間報告数は、2020年5,867例、2021年7,978例、2022年13,221例、2023年は過去最高の14,906例と増加している。大阪府においても、2023年は2,019例で現行の集計方法で過去最高の年間報告数であった。梅毒は、性行為・オーラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待できる。

梅毒とは（国立感染症研究所）
梅毒（大阪府感染症情報センター）

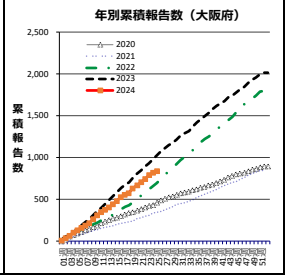


表２．大阪府全数報告数（2024年 第25週6月17日～6月23日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2							1	1	57
４類感染症	日本紅斑熱	1			1						7
	レジオネラ症（肺炎型）	1						1			49
５類感染症	アメーバ赤痢	1				1					16
	ウイルス性肝炎	2			1					1	18
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2		1			1				58
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					1				32
	侵襲性肺炎球菌感染症	3			2			1			136
	梅毒	14			1	1			3	9	841
	百日咳	2			1				1		28
結核（2024年4月分）	結核　新登録患者数：93名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　28名）（府内累積報告数　321名、内　肺・喀痰塗抹陽性　123名）										

（2024年6月25日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第26週（6月24日～6月30日）

今週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「新型コロナウイルス感染症 増加」

第26週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は4,031例であり、前週比2.3%増であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ8.95、4.39、3.49、1.43、0.70である。

手足口病の報告数は、前週比2%増の1,763例で、中河内14.58、大阪市北部13.43、南河内11.25、大阪市南部11.06、北河内9.00であった。

感染性胃腸炎は2例増加の864例で、南河内5.94、豊能5.65、中河内5.26である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は5%減の688例で、堺市4.89、北河内4.72、大阪市南部4.67であった。

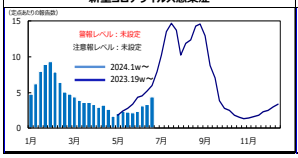
ヘルパンギーナは11%増の281例で、大阪市北部5.71、中河内2.32、豊能1.22である。

咽頭結膜熱は7%減の137例で、中河内1.21、北河内1.04、南河内0.81であった。

新型コロナウイルス感染症は32%増の1,320例で、定点あたり報告数は4.33である。堺市6.14、南河内4.92、泉州4.74、北河内4.53、豊能4.35であった。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は、前週から13例減少の22例の報告があり、定点あたり報告数は1.22である。継続して高い値を示している。

新型コロナウイルス感染症



手足口病

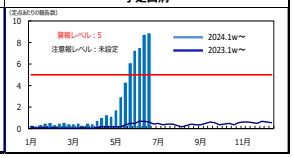


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第26週6月24日～6月30日）

第26週の順位	第25週の順位	感染症	2024年第26週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第26週の定点あたり報告数	2024年第26週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	8.95	2%増	0.62	1歳_31%
2	2	感染性胃腸炎	4.39	増減なし	3.70	1歳_13%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.49	5%減	2.38	5歳_14%
4	4	ヘルパンギーナ	1.43	11%増	7.12	1歳_22%
5	5	咽頭結膜熱	0.70	7%減	0.84	1歳_41%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	4.33	32%増	5.93	10-19歳_16%

第26週のコメント

～劇症型溶血性レンサ球菌感染症～　国内では、毎年400-500例報告されているが、2024年は第25週時点で、1000例を超えている

全数把握感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、主にA群溶血性レンサ球菌(*Streptococcus pyogenes*)による感染症である。国内では、毎年400-500例報告されており、約30%が死亡している。極めて致死率の高い感染症である。病状の進行が非常に急激かつ劇的で、発病後数十時間以内には軟部組織壊死、急性腎不全、急性呼吸窮迫症候群（ARDS）、播種性血管内凝固症候群（DIC）、多臓器不全を引き起こし、ショック状態から死に至ることがある。治療は、ペニシリン等の抗菌薬の投与と壊死に陥った軟部組織の切除が必要である。大阪府における2023年の報告数は過去10年で2番目に高かったが、2024年はすでに昨年の年間報告数を超えている。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症の発生状況および特徴のまとめ（大阪府感染症情報センター）
劇症型溶血性レンサ球菌感染症とは（国立感染症研究所）

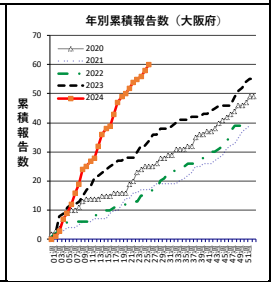


表２．大阪府全数報告数（2024年 第26週6月24日～6月30日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3					1		2		63
４類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	3		1		1				1	53
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1								1	78
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1							1	60
	後天性免疫不全症候群	1		1							44
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1								1	33
	侵襲性肺炎球菌感染症	2		1						1	139
	梅毒	23	1	4	2	2	1	1	2	10	888
	百日咳	1					1				29
結核（2024年4月分）	結核　新登録患者数：93名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　28名）（府内累積報告数　321名、内　肺・喀痰塗抹陽性　123名）										

（2024年7月2日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第27週（7月1日～7月7日）

今週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「新型コロナウイルス感染症 全ブロックで増加」

第27週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は3,957例であり、前週比1.8%減であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ9.44、3.94、3.02、1.42、0.73の順である。

手足口病の報告数は、前週比6%増の1,860例で、中河内13.84、大阪市北部12.50、南河内12.25、大阪市南部10.94、北河内9.36であった。全ブロックで警報レベル開始基準値である５を超えた。

感染性胃腸炎は10%減の777例で、南河内5.94、北河内5.24、豊能4.87である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は5%減の595例で、大阪市南部4.94、北河内3.88、堺市3.84であった。

ヘルパンギーナは1例減の280例で、大阪市北部4.50、南河内2.06、中河内1.95である。

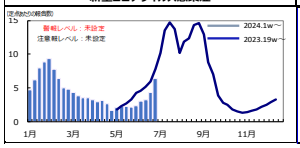
RSウイルス感染症は9%増の143例で、大阪市北部2.00、北河内1.16、南河内1.06であった。

インフルエンザは94%増の128例で、定点あたり報告数は0.42である。大阪市北部0.85、南河内0.79、大阪市西部0.73、豊能0.51、北河内0.40であった。

新型コロナウイルス感染症は48%増の1,951例で、定点あたり報告数は6.40である。堺市9.07、南河内7.63、大阪市西部6.93、大阪市東部6.91、北河内6.88であった。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は、前週から18例増の40例の報告があり、定点あたり報告数は2.22である。2024年では最多の報告数であった。

新型コロナウイルス感染症



手足口病

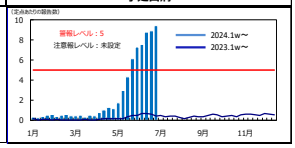


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第27週7月1日～7月7日）

第27週の順位	第26週の順位	感染症	2024年第27週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第27週の定点あたり報告数	2024年第27週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	9.44	6%増	0.44	１歳_30%
2	2	感染性胃腸炎	3.94	10%減	3.27	10-14歳_13%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.02	14%減	2.19	10-14歳_14%
4	4	ヘルパンギーナ	1.42	0%減	6.01	１歳_21%
5	6	RSウイルス感染症	0.73	9%増	1.84	１歳_36%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	6.40	48%増	7.87	10-19歳_16%

第27週のコメント

～侵襲性髄膜炎菌感染症～　2024年は累計6例で昨年の年間報告数3例を超えている

全数把握感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症は、髄膜炎菌（*Neisseria meningitidis*）による侵襲性の感染症である。潜伏期は通常2～10日で、髄膜炎例では頭痛、発熱、髄膜刺激症状、痙攣、意識障害を示し、敗血症例では発熱、悪寒、ショック、播種性血管内凝固症候群（DIC）を呈する。髄膜炎ベルト（meningitis belt）とよばれるアフリカ中央部で発生が多く、日本では、学生寮等で集団発生の報告がある。治療には、ペニシリン系抗菌薬と第三世代セフェム系抗菌薬が有効である。患者との接触者には、緊急に、リファンピシン、シプロフロキサシンやセフトリアキソンの予防投与が行われる。日本では、2015年より、4価髄膜炎菌（血清型A、C、Y、W-135）ワクチンの任意接種が開始されている。

髄膜炎菌性髄膜炎とは（国立感染症研究所）
侵襲性髄膜炎菌感染症について（厚生労働省）

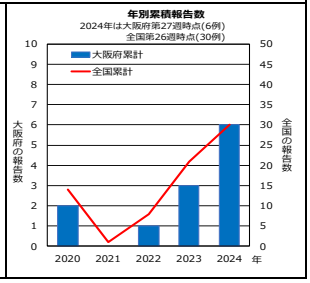


表２．大阪府全数報告数（2024年 第27週7月1日～7月7日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞ 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3								3	67
４類感染症	オウム病	1							1		1
	デング熱	2							1	1	6
	レジオネラ症（ポンティアック熱型）	1								1	57
	レジオネラ症（肺炎型）	3			1		1			1	
５類感染症	アメーバ赤痢	1			1						19
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2								2	80
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1						1			7
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2				1				1	62
	後天性免疫不全症候群	1								1	49
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1								1	36
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1						1			6
	侵襲性肺炎球菌感染症	3			1	1				1	148
	梅毒	27		2	2	2			3	18	942
	百日咳	4		1		1				2	33
結核（2024年5月分）	結核　新登録患者数：87名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　33名）（府内累積報告数　413名、内　肺・喀痰塗抹陽性　157名）										

（2024年7月9日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第28週（7月8日～7月14日）

今週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種

定点把握感染症

「新型コロナウイルス感染症 増加続く」

第28週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は3,956例であり、前週より1例減であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ9.85、3.59、2.79、1.64、1.05である。

手足口病の報告数は前週比4%増の1,941例で、中河内13.21、大阪市西部11.90、大阪市北部11.29、北河内11.24、大阪市南部10.78であった。大阪府内では、コクサッキーウイルスA6型が検出されている。

感染性胃腸炎は9%減の708例で、南河内5.44、北河内5.00、豊能4.74である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は8%減の549例で、大阪市南部4.67、堺市4.05、北河内3.96であった。

ヘルパンギーナは16%増の324例で、大阪市北部3.00、北河内2.64、中河内2.37である。

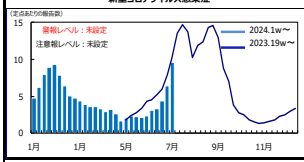
RSウイルス感染症は44%増の206例で、南河内2.25、大阪市北部1.86、北河内1.40であった。

インフルエンザは16%増の149例で、定点あたり報告数は0.49である。大阪市北部1.15、大阪市西部1.00、泉州0.59、南河内0.58、堺市0.55であった。

新型コロナウイルス感染症は51%増の2,943例で、定点あたり報告数は9.65である。堺市12.93、南河内11.83、豊能10.59、大阪市北部10.50、大阪市西部10.07であり、前週に引き続き全ブロックで増加していた。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は、前週から5例減の35例の報告があり、定点あたり報告数は1.94である。

新型コロナウイルス感染症



手足口病

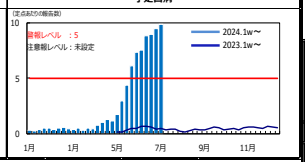


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第28週7月8日～7月14日）

第28週の順位	第27週の順位	感染症	2024年第28週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第28週の定点あたり報告数	2024年第28週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	9.85	4%増	0.47	１歳_25%
2	2	感染性胃腸炎	3.59	9%減	3.20	１歳_19%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.79	8%減	2.18	10-14歳_15%
4	4	ヘルパンギーナ	1.64	16%増	4.77	１歳，２歳_19%
5	5	RSウイルス感染症	1.05	44%増	1.66	１歳未満_32%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	9.65	51%増	10.22	10-19歳_17%

第28週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期をおいて、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる（出血性大腸炎）。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏～初秋において、腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加するが、2023年は秋以降も報告数が多いことから、引き続き注

腸管出血性大腸菌感染症（大阪府感染症情報センター）
腸管出血性大腸菌感染症とは(国立感染症研究所)

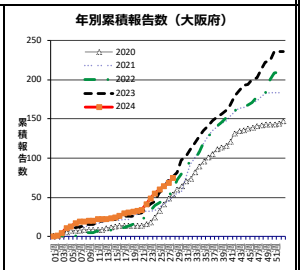


表２．大阪府全数報告数（2024年 第28週7月8日～7月14日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞ 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7		2		3		1		1	75
４類感染症	デング熱	1								1	7
	レジオネラ症（肺炎型）	4	1	1				1		1	62
５類感染症	アメーバ赤痢	1								1	22
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1					1				85
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3				1				2	65
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2							1	1	38
	侵襲性肺炎球菌感染症	1		1							151
	梅毒	9					2			7	976
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1				10
	百日咳	1	1								34
結核（2024年5月分）	結核　新登録患者数：87名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　33名）（府内累積報告数　413名、内　肺・喀痰塗抹陽性　157名）										

（2024年7月16日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第29週（7月15日～7月21日）

今週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種

定点把握感染症

「新型コロナウイルス感染症 全ブロックで３週連続増加」

第29週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は3,290例であり、前週比16.8%減であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ8.08、3.14、2.21、1.48、0.81である。

手足口病は前週比18%減の1,591例で、中河内12.05、南河内10.25、北河内9.88、大阪市南部9.78、大阪市西部8.90であった。

感染性胃腸炎は13%減の618例で、北河内4.96、中河内4.21、大阪市南部3.72である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は21%減の436例で、南河内4.13、堺市3.42、大阪市南部3.06であった。

ヘルパンギーナは10%減の292例で、大阪市北部2.93、中河内2.68、南河内2.56である。

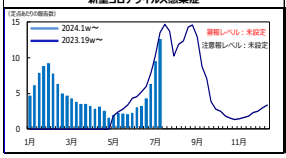
RSウイルス感染症は22%減の160例で、大阪市北部1.71、北河内1.24、南河内1.13であった。

インフルエンザは19%減の121例で、定点あたり報告数は0.40である。大阪市西部0.67、大阪市北部0.55、堺市0.52、北河内0.49、南河内0.46であった。

新型コロナウイルス感染症は32%増の3,892例で、定点あたり報告数は12.72である。大阪市北部15.55、堺市14.76、北河内14.68、大阪市東部13.77、南河内13.04であり、全ブロックで３週連続増加していた。2024年第１週以降の新型コロナウイルス感染症入院サーベイランス累計報告数は70歳以上が70%を占めている。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は、前週から6例増の41例の報告があり、定点あたり報告数は2.28である。

新型コロナウイルス感染症



手足口病

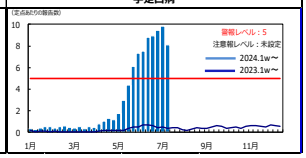


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第29週7月15日～7月21日）

第29週の順位	第28週の順位	感染症	2024年第29週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第29週の定点あたり報告数	2024年第29週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	8.08	18%減	0.31	1歳_25%
2	2	感染性胃腸炎	3.14	13%減	2.68	1歳_18%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.21	21%減	1.93	5歳_14%
4	4	ヘルパンギーナ	1.48	10%減	3.11	2歳_20%
5	5	RSウイルス感染症	0.81	22%減	1.46	1歳_43%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	12.72	32%増	13.56	10-19歳_15%

第29週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期をおいて、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる（出血性大腸炎）。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏～初秋は腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加することから、十分注意が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症（大阪府感染症情報センター）
腸管出血性大腸菌感染症とは(国立感染症研究所)

年別累積報告数（大阪府）

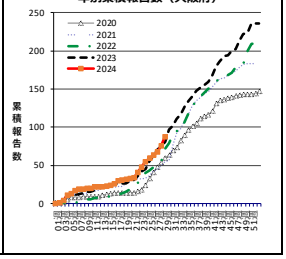


表２．大阪府全数報告数（2024年 第29週7月15日～7月21日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	11		2	3	2	1	2	1		87
４類感染症	**Ｅ型肝炎**	1							1		2
	日本紅斑熱	1							1		7
	マラリア（病型不明）	1								1	4
	レジオネラ症（肺炎型）	1		1							64
５類感染症	**アメーバ赤痢**	1	1								23
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	1	2							90
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2							1	1	68
	後天性免疫不全症候群	1								1	53
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1							40
	侵襲性肺炎球菌感染症	2		1					1		156
	梅毒	18		3		3			1	11	1063
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1				11
結核（2024年5月分）	**結核　新登録患者数：87名**（内　肺・喀痰塗抹陽性　33名）（府内累積報告数　413名、内　肺・喀痰塗抹陽性　157名）										

（2024年7月23日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第30週（7月22日～7月28日）

今週のコメント

～マイコプラズマ肺炎～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「マイコプラズマ肺炎 今後の動向に注意」

第30週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は3,158例であり、前週比4.0%減であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ7.45、3.15、2.06、1.29、1.10である。

手足口病の報告数は前週比8%減の1,468例で、泉州10.24、中河内9.79、南河内9.31、大阪市南部8.72、北河内8.32であった。

感染性胃腸炎は３例増の621例で、大阪市南部5.11、南河内4.31、中河内3.95である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は7%減の406例で、大阪市南部4.28、堺市2.74、南河内2.44であった。

ヘルパンギーナは13%減の255例で、南河内2.94、大阪市北部2.64、中河内1.84である。

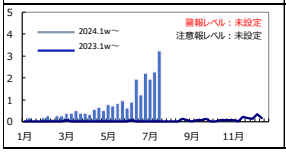
RSウイルス感染症は35%増の216例で、大阪市北部2.71、北河内1.44、大阪市東部1.40であった。

インフルエンザは14%増の138例で、定点あたり報告数は0.45である。南河内1.42、大阪市北部1.00、北河内0.66、大阪市西部0.60、堺市0.48である。

新型コロナウイルス感染症は15%増の4,486例で、定点あたり報告数は14.66である。堺市20.38、北河内17.73、大阪市北部16.55、南河内15.08、泉州14.74であった。2024年第１週以降の新型コロナウイルス感染症入院サーベイランス累計報告数は70歳以上が70%を占めている。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は、前週から17例増の58例の報告があり、定点あたり報告数は3.22である。過去10年と比べて、多い報告数で推移している。

マイコプラズマ肺炎



新型コロナウイルス感染症

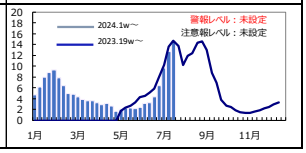


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第30週7月22日～7月28日）

第30週の順位	第29週の順位	感染症	2024年第30週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第30週の定点あたり報告数	2024年第30週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	7.45	8%減	0.44	1歳_24%
2	2	感染性胃腸炎	3.15	増減なし	2.96	1歳_13%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.06	7%減	2.16	4歳_13%
4	4	ヘルパンギーナ	1.29	13%減	2.28	1歳_19%
5	5	RSウイルス感染症	1.10	35%増	1.19	1歳_33%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	14.66	15%増	14.66	10-19歳_14%

第30週のコメント

～ デング熱 ～ 海外に渡航される方は、蚊に刺されないように、服装に注意し、虫よけ剤を使うなどしましょう

全数把握感染症

デング熱

デング熱は、ネッタイシマカやヒトスジシマカなどの蚊によって媒介されるデングウイルスの感染症である。比較的軽症型のデング熱と、重症型のデング出血熱がある。熱帯・亜熱帯地域、特に東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国、アフリカで見られ、全世界で年間約1 億人がデング熱を発症する。海外渡航で感染し国内で発症する例（輸入症例）が増加しつつあり、2014年の夏季には輸入症例により持ち込まれたと考えられるウイルスにより、150例以上の国内流行が発生した。感染すると、3～7日程度の潜伏期間の後、38～40℃の急激な発熱を発症し、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛が出現する。2～7日で解熱し、解熱とともに発疹が現れることがある。

デング熱について（厚生労働省）
デング熱とは(国立感染症研究所)

年別累積報告数（大阪府）

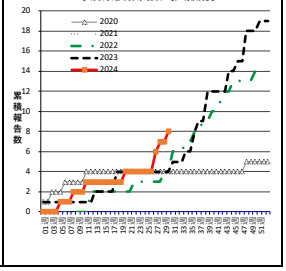


表２．大阪府全数報告数（2024年 第30週7月22日～7月28日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**細菌性赤痢**	1								1	1
	腸管出血性大腸菌感染症	8		1		3	1	1		2	95
４類感染症	**デング熱**	1							1		8
	マラリア（三日熱）	1							1		5
	レジオネラ症（肺炎型）	4		2	1					1	68
５類感染症	**アメーバ赤痢**	1			1						24
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5	1				1	2		1	94
	急性脳炎	1								1	9
	ジアルジア症	1								1	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2			1	1					42
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	1			1			1	160
	梅毒	12		1			1		1	9	1,095
	百日咳	2			1			1			37
結核（2024年5月分）	**結核　新登録患者数：87名**（内　肺・喀痰塗抹陽性　33名）（府内累積報告数　413名、内　肺・喀痰塗抹陽性　157名）										

（2024年7月23日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）

2024年 第31週（7月29日～8月4日）

今週のコメント

～マイコプラズマ肺炎～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「マイコプラズマ肺炎　2016年以来の報告数の増加」

第31週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,770例であり、前週比12.3%減であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ6.08、2.98、1.80、1.19、1.01である。

手足口病の報告数は前週比18%減の1,197例で、3週連続して減少した。泉州9.71、大阪市南部9.06、中河内8.16、南河内7.44、北河内6.88であった。

感染性胃腸炎は5%減の588例で、中河内4.32、豊能3.96、大阪市南部3.94である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は13%減の355例で、堺市3.21、大阪市南部2.67、北河内2.24であった。

ヘルパンギーナは8%減の234例で、中河内2.37、南河内2.31、大阪市北部2.21である。

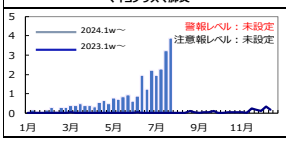
RSウイルス感染症は8%減の199例で、大阪市北部2.00、堺市1.26、泉州1.24であった。

インフルエンザは1%増の139例で、定点あたり報告数は0.45である。泉州1.59、大阪市北部0.95、南河内0.63、堺市0.59、大阪市東部0.36であった。

新型コロナウイルス感染症は13%減の3,924例で、定点あたり報告数は12.82である。堺市18.24、北河内15.66、大阪市南部14.33、大阪市北部14.05、南河内13.63であった。

基幹定点疾患のマイコプラズマ肺炎は70例で、2016年第42週以来の多い報告数となっている。

マイコプラズマ肺炎



新型コロナウイルス感染症

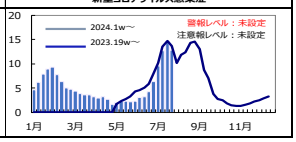


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第31週7月29日～8月4日）

第31週の順位	第30週の順位	感染症	2024年第31週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第31週の定点あたり報告数	2024年第31週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	6.08	18%減	0.46	１歳_24%
2	2	感染性胃腸炎	2.98	5%減	3.00	１歳_15%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.80	13%減	2.09	10-14歳_14%
4	4	ヘルパンギーナ	1.19	8%減	1.61	１歳_21%
5	5	RSウイルス感染症	1.01	8%減	1.17	１歳_39%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	12.82	13%減	13.69	50-59歳_12%

第31週のコメント

～百日咳～　生後2か月からの予防接種が重要

全数把握感染症

百日咳

百日咳は、百日咳菌（*Bordetella pertussis*）による 急性の気道感染症である。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり（カタル期）、百日咳特有の咳が出始める （痙咳期）。新生児や乳児早期では、肺炎、脳症を合併することがある。マクロライド系抗菌薬が有効であるが、近年、薬剤耐性菌も報告されている。百日咳の予防には、ワクチン接種が有効であり、乳幼児期に計4回接種されている。2018年1月1日に小児科定点把握感染症から全数把握感染症に変更され、成人の報告数の把握が進んでいる。

百日咳（大阪府感染症情報センター）
百日咳とは（国立感染症研究所）

年別累積報告数（大阪府）

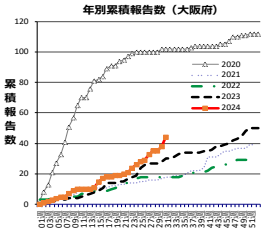


表２．大阪府全数報告数（2024年 第31週7月29日～8月4日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数 府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4						1	1	2	96
	腸チフス	1							1		3
４類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	1					1				69
５類感染症	アメーバ赤痢	1								1	26
	ウイルス性肝炎	1					1				20
	急性脳炎	1							1		10
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3		1			1			1	73
	後天性免疫不全症候群	2								2	57
	侵襲性肺炎球菌感染症	2				1				1	163
	水痘（入院例）	1		1							14
	梅毒	12	1	3				1		7	1,126
	百日咳	6	3					1		2	44
	風しん	1								1	1
結核（2024年6月分）	結核　新登録患者数：75名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　25名）（府内累積報告数　490名、内　肺・喀痰塗抹陽性　186名）										

（2024年8月6日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）

2024年 第32週（8月5日～8月11日）

今週のコメント

～マイコプラズマ肺炎～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「マイコプラズマ肺炎、過去10年と比べて多い報告数」

第32週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,117例であり、前週比23.6%減であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.34、2.51、1.55、0.77、0.71である。

手足口病の報告数は前週比29%減の855例で、中河内6.37、堺市5.53、泉州5.19、大阪市北部5.14、北河内4.72であった。

感染性胃腸炎は16%減の494例で、三島3.47、大阪市南部3.11、南河内2.81である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は14%減の306例で、大阪市南部2.44、堺市2.26、南河内2.25であった。

ヘルパンギーナは35%減の151例で、大阪市北部1.64、大阪市西部1.40、中河内1.11である。

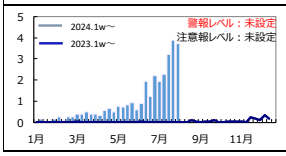
RSウイルス感染症は30%減の140例で、大阪市北部1.86、大阪市西部1.40、中河内1.11であった。

インフルエンザは42%減の81例で、定点あたり報告数は0.26である。大阪市北部1.05、南河内0.75、堺市0.28、大阪市東部0.23、泉州0.21であった。

新型コロナウイルス感染症は41%減の2,329例で、定点あたり報告数は7.61である。堺市13.72、南河内8.46、豊能8.14、大阪市北部7.80、北河内7.73であった。2024年第１週以降の新型コロナウイルス感染症入院サーベイランス累計報告数は70歳以上が70%を占めている。

基幹定点疾患のマイコプラズマ肺炎は、67例の報告があった。前週より３例減となったが、過去10年と比べて引き続き多い報告数となっている。

マイコプラズマ肺炎



新型コロナウイルス感染症

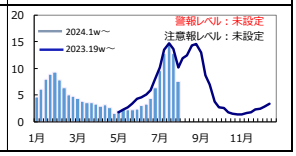


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第32週8月5日～8月11日）

第32週の順位	第31週の順位	感染症	2024年第32週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第32週の定点あたり報告数	2024年第32週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	4.34	29%減	0.26	１歳_24%
2	2	感染性胃腸炎	2.51	16%減	1.90	１歳_19%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.55	14%減	1.33	３歳_14%
4	4	ヘルパンギーナ	0.77	35%減	0.64	２歳_22%
5	5	RSウイルス感染症	0.71	30%減	0.72	１歳_39%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	7.61	41%減	10.23	80歳以上_13%

第32週のコメント

～侵襲性髄膜炎菌感染症～　2024年第32週の累積報告数は、過去10年で最も多い2019年と同数になった。

全数把握感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症は、髄膜炎菌（*Neisseria meningitidis*）による侵襲性の感染症である。潜伏期は通常2～10日で、髄膜炎例では頭痛、発熱、髄膜刺激症状、痙攣、意識障害を示し、敗血症例では発熱、悪寒、重症化をきたすと紫斑の出現、ショック、播種性血管内凝固症候群（DIC）を呈する。髄膜炎ベルト（meningitis belt）とよばれるアフリカ中央部で発生が多く、日本では、学生寮等で集団発生の報告がある。治療には、第三世代セフェム系抗菌薬等が使用される。患者との接触者には、緊急に、リファンピシンの予防投与が行われる。日本では、2015年より、4価髄膜炎菌（血清型A、C、Y、W-135）ワクチンの任意接種が開始されている。

髄膜炎菌性髄膜炎とは（国立感染症研究所）
侵襲性髄膜炎菌感染症（厚生労働省）

年別累積報告数

2024年は大阪府第32週時点　（7例）
全国第31週時点（36

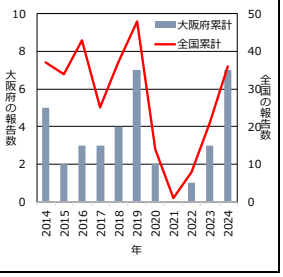


表２．大阪府全数報告数（2024年 第32週8月5日～8月11日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数 府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4	1	1				1		1	105
４類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	2			2						73
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3		1	1			1			104
	急性脳炎	1							1		11
	後天性免疫不全症候群	1								1	60
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1								1	7
	梅毒	7		1	1					5	1,143
	百日咳	1								1	45
結核（2024年6月分）	結核　新登録患者数：75名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　25名）（府内累積報告数　490名、内　肺・喀痰塗抹陽性　186名）										

（2024年8月13日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）

2024年 第33週（8月12日～8月18日）

今週のコメント

～マイコプラズマ肺炎～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「マイコプラズマ肺炎　引き続き多い」

第33週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は992例であり、前週比53.1%減であった。今週の報告数は、お盆期間による診療実日数の減少を考慮する必要がある。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナの順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.78、1.23、0.81、0.42、0.38である。

手足口病の報告数は前週比59%減の350例で、大阪市北部3.50、北河内3.04、大阪市西部2.70、南河内2.63、中河内1.42であった。

感染性胃腸炎は51%減の242例で、大阪市西部2.20、豊能1.96、南河内1.50である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は48%減の160例で、南河内1.38、大阪市南部1.33、豊能1.04であった。

RSウイルス感染症は41%減の82例で、大阪市北部1.07、北河内0.84、南河内0.63である。

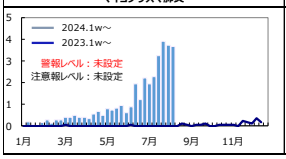
ヘルパンギーナは50%減の75例で、大阪市北部1.57、大阪市西部0.70、南河内0.56であった。

インフルエンザは57%減の35例で、定点あたり報告数は0.11である。南河内0.38、大阪市東部0.18、北河内0.17、大阪市北部0.15、大阪市西部0.13であった。

新型コロナウイルス感染症は40%減の1,403例で、定点あたり報告数は4.58である。南河内8.42、大阪市北部6.75、大阪市西部6.07、堺市5.90、豊能5.81であった。70歳以上が占める割合は、前週より増加し33%である。

基幹定点疾患のマイコプラズマ肺炎は、66例の報告があった。前週より1例減となったが、過去10年と比べて引き続き多い報告数となっている。

マイコプラズマ肺炎



新型コロナウイルス感染症

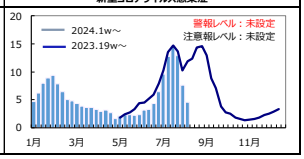


表１．大阪府小児科･眼科定点把握感染症の動向（2024年 第33週8月12日～8月18日）

第33週の順位	第32週の順位	感染症	2024年第33週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第33週の定点あたり報告数	2024年第33週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	1.78	59%減	0.17	１歳_27%
2	2	感染性胃腸炎	1.23	51%減	1.90	１歳_13%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	48%減	1.21	10-14歳_17%
4	5	RSウイルス感染症	0.42	41%減	0.56	１歳_41%
5	4	ヘルパンギーナ	0.38	50%減	0.55	１歳，３歳_19%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	4.58	40%減	11.88	80歳以上_18%

第33週のコメント

～ デング熱 ～　海外に渡航される方は、蚊に刺されないように、服装に注意し、虫よけ剤を使うなどしましょう

全数把握感染症

デング熱

デング熱は、ネッタイシマカやヒトスジシマカなどの蚊によって媒介されるデングウイルスの感染症である。比較的軽症型のデング熱と、重症型のデング出血熱がある。熱帯･亜熱帯地域、特に東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国、アフリカで見られ、全世界で年間約1億人がデング熱を発症する。海外渡航で感染し国内で発症する例（輸入症例）が増加しつつあり、2014年の夏季には輸入症例により持ち込まれたと考えられるウイルスにより、150例以上の国内流行が発生した。感染すると、3～7日程度の潜伏期間の後、38～40℃の急激な発熱を発症し、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛が出現する。2～7日で解熱し、解熱とともに発疹が現れることがある。

デング熱について（厚生労働省）
デング熱とは(国立感染症研究所)

年別累積報告数（大阪府）

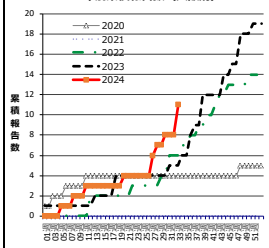


表２．大阪府全数報告数（2024年 第33週8月12日～8月18日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7					2	1		4		118
４類感染症	デング熱	3							3			11
	レジオネラ症（肺炎型）	1								1		74
５類感染症	ウイルス性肝炎	1					1					22
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2							1	1		108
	侵襲性肺炎球菌感染症	2				1				1		170
	梅毒	7			1				1	5		1,202
	百日咳	2								2		49
結核（2024年6月分）	結核　新登録患者数：75名　（内　肺･喀痰塗抹陽性　25名）（府内累積報告数　490名、内　肺･喀痰塗抹陽性　186名）											

（2024年8月20日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）

2024年 第34週（8月19日～8月25日）

今週のコメント

～マイコプラズマ肺炎～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「マイコプラズマ肺炎　報告数多い状態が続く」

第34週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,625例であり、お盆期間の前週に比し、63.8%増であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナの順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.67、2.59、1.38、0.50、0.42である。

手足口病の報告数は前週比50%増の526例で、北河内5.48、中河内3.63、大阪市北部2.79、南河内2.63、三島2.41であった。

感染性胃腸炎は111%増の511例で、南河内4.06、北河内3.84、中河内3.32である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は70%増の272例で、大阪市南部2.61、堺市2.58、大阪市東部1.87であった。

RSウイルス感染症は20%増の98例で、北河内0.76、南河内0.75、大阪市北部0.71である。

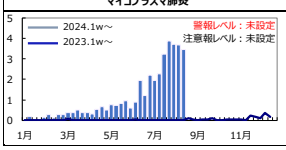
ヘルパンギーナは11%増の83例で、中河内0.84、南河内0.56、堺市0.53であった。

インフルエンザは137%増の83例で、定点あたり報告数は0.27である。大阪市南部0.48、南河内0.42、大阪市北部0.40、堺市0.31、北河内0.27であった。

新型コロナウイルス感染症は15%増の1,620例で、定点あたり報告数は5.29である。堺市6.86、北河内6.63、大阪市北部6.50、南河内5.88、豊能5.32であった。

基幹定点疾患のマイコプラズマ肺炎は、62例の報告がある。前週より4例減となったが、過去10年と比べて引き続き多い報告数となっている。

マイコプラズマ肺炎



新型コロナウイルス感染症

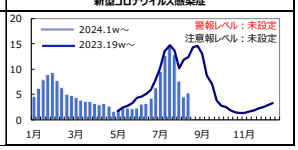


表１．大阪府小児科･眼科定点把握感染症の動向（2024年 第34週8月19日～8月25日）

第34週の順位	第33週の順位	感染症	2024年第34週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第34週の定点あたり報告数	2024年第34週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	2.67	50%増	0.27	１歳_22%
2	2	感染性胃腸炎	2.59	111%増	2.69	１歳_14%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.38	70%増	1.66	10-14歳_14%
4	4	RSウイルス感染症	0.50	20%増	0.46	１歳_40%
5	5	ヘルパンギーナ	0.42	11%増	0.64	１歳_18%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	5.29	15%増	12.40	70-79歳_13%

第34週のコメント

～百日咳～　生後2か月からの予防接種が重要

全数把握感染症

百日咳

百日咳は、百日咳菌（*Bordetella pertussis*）による急性の気道感染症である。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり（カタル期）、百日咳特有の咳が出始める（痙咳期）。新生児や乳児早期では、肺炎、脳症を合併することがある。マクロライド系抗菌薬が有効であるが、近年、薬剤耐性菌も報告されている。百日咳の予防には、ワクチン接種が有効であり、乳幼児期に計4回接種されている。2018年1月1日に小児科定点把握感染症から全数把握感染症に変更され、成人の報告数の把握が進んでいる。

百日咳（大阪府感染症情報センター）
百日咳とは（国立感染症研究所）

年別累積報告数（大阪府）

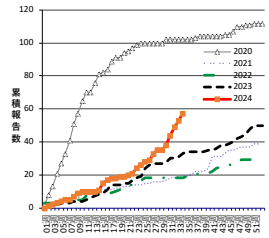


表２．大阪府全数報告数（2024年 第34週8月19日～8月25日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7	1				2		2	2		124
４類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	2								2		76
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	1							1		112
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1		77
	後天性免疫不全症候群	2				1			1			64
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	1							1		173
	水痘（入院例）	2				1				1		19
	梅毒	16	1	1	1		1			12		1,225
	百日咳	4	1		1					2		57
結核（2024年6月分）	結核　新登録患者数：75名　（内　肺･喀痰塗抹陽性　25名）（府内累積報告数　490名、内　肺･喀痰塗抹陽性　186名）											

（2024年8月27日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第35週（8月26日～9月1日）

今週のコメント

～手足口病～　手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病　今後の動向に注意」

第35週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,996例であり、前週比22.8%増であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナの順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.84、2.88、1.57、0.68、0.48である。

手足口病の報告数は前週比44%増の757例で、北河内6.44、大阪市北部5.93、中河内5.79、豊能3.48、三島3.41であった。

感染性胃腸炎は11%増の567例で、中河内4.32、北河内4.00、南河内3.69である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は14%増の309例で、大阪市東部2.67、堺市2.47、大阪市南部2.00であった。

RSウイルス感染症は37%増の134例で、中河内1.21、大阪市北部1.07、北河内0.88である。

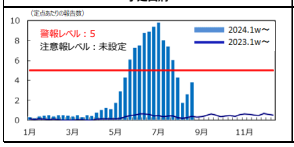
ヘルパンギーナは13%増の94例で、大阪市北部1.00、豊能0.70、南河内0.69であった。

インフルエンザは19%増の99例で、定点あたり報告数は0.32である。大阪市北部0.75、南河内0.67、大阪市南部0.59、泉州0.35、中河内0.30であった。

新型コロナウイルス感染症は16%減の1,368例で、定点あたり報告数は4.47である。堺市6.03、大阪市北部5.65、泉州5.09、北河内4.98、豊能4.76であった。

基幹定点疾患のマイコプラズマ肺炎は、48例の報告がある。前週より14例減となったが、過去10年と比べて引き続き多い報告数となっている。

手足口病



マイコプラズマ肺炎

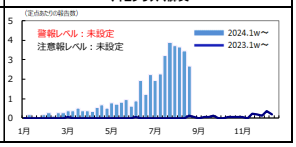


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第35週8月26日～9月1日）

第35週の順位	第34週の順位	感染症	2024年第35週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第35週の定点あたり報告数	2024年第35週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	3.84	44%増	0.41	１歳_29%
2	2	感染性胃腸炎	2.88	11%増	2.77	１歳_19%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.57	14%増	2.16	10-14歳_15%
4	4	RSウイルス感染症	0.68	37%増	0.38	１歳_44%
5	5	ヘルパンギーナ	0.48	13%増	0.50	１歳_32%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	4.47	16%減	14.35	80歳以上_13%

第35週のコメント

～E型肝炎～　大阪府では、2020年以降毎年4～12名の報告があります

全数把握感染症

E型肝炎

日本において、E型肝炎は、野生シカ、イノシシの肉、ブタの生レバーなどの喫食が原因と見られる急性肝炎例が報告されている。まれに急性肝炎が悪化して劇症肝炎となり死に至るケースもある。平均6週間の潜伏期の後に、発熱、悪心・腹痛等の消化器症状、肝腫大、肝機能の悪化（トランスアミナーゼ上昇・黄疸）が現れ、大半の症例では安静により治癒するが、まれに劇症化するケースもある。妊娠後期の妊婦、高齢者が重症化することがある。野生シカ、イノシシなどの野生動物の肉（内臓を含む）、レバーを含むブタ肉は、生食を避けるよう、注意が必要である。

E型肝炎とは(国立感染症研究所)

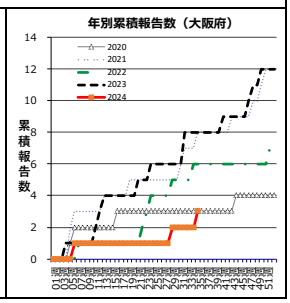


表２．大阪府全数報告数（2024年 第35週8月26日～9月1日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（　）内の病型は今週報告分のみ府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2			1	1						118
４類感染症	E 型肝炎	1				1						3
	日本紅斑熱	1							1			8
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3		1			1		1			116
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	1	1		2	1					48
	侵襲性肺炎球菌感染症	1						1				174
	梅毒	7		1		3			2	1		1,232
	播種性クリプトコックス症	1			1							7
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				1						12
	百日咳	2		1	1							60
結核（2024年7月分）	結核　新登録患者数：84名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　27名）（府内累積報告数　612名、内　肺・喀痰塗抹陽性　225名）											

（2024年9月3日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第36週（9月2日～9月8日）

今週のコメント

～手足口病～　手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病　警報レベル迫る」

第36週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は　2,306例であり、前週比　15.5%増であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナの順で、定点あたり報告数はそれぞれ　4.69、3.16、1.80、0.88、0.36である。

手足口病は前週比22%増の923例で、北河内7.76、大阪市北部7.57、中河内6.95、三島6.18、堺市3.79であった。前週と比べ、全ブロックで増加している。

感染性胃腸炎は　10%増の622例で、北河内4.40、豊能3.78、大阪市南部3.50である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は　15%増の355例で、大阪市南部2.67、堺市2.53、中河内2.11であった。

RSウイルス感染症は　30%増の174例で、大阪市北部・堺市1.21、南河内1.19である。

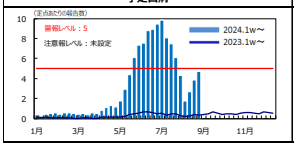
ヘルパンギーナは　24%減の71例で、中河内0.74、三島0.59、大阪市東部0.53であった。

第36週から2024/25シーズンのサーベイランスが開始されたインフルエンザは32%増の131例で、定点あたり報告数は0.43である。南河内1.25の1ブロックで定点あたり報告数1を超えた。

新型コロナウイルス感染症は10%減の1,231例で、定点あたり報告数は4.02である。南河内5.50、北河内5.37、泉州4.74、堺市4.48、三島3.74であった。

基幹定点疾患のマイコプラズマ肺炎は前週から5例減の43例の報告があった。

手足口病



RSウイルス感染症

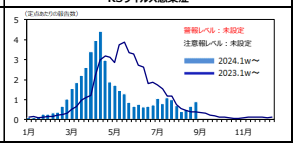


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第36週9月2日～9月8日）

第36週の順位	第35週の順位	感染症	2024年第36週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第36週の定点あたり報告数	2024年第36週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	4.69	22%増	0.33	１歳_26%
2	2	感染性胃腸炎	3.16	10%増	2.96	１歳_20%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.80	15%増	2.54	10-14歳_14%
4	4	RSウイルス感染症	0.88	30%増	0.37	１歳_40%
5	5	ヘルパンギーナ	0.36	24%減	0.48	１歳_24%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	0.43	32%増	3.90	20歳以上_18%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	4.02	10%減	14.62	10-19歳_16%

第36週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期をおいて、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる（出血性大腸炎）。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏～初秋は腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加することから、十分注意が必要である。

腸管出血性大腸菌感染症（大阪府感染症情報センター）
腸管出血性大腸菌感染症とは(国立感染症研究所)

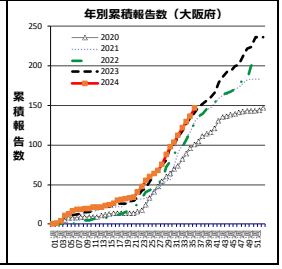


表２．大阪府全数報告数（2024年 第36週9月2日～9月8日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（　）内の病型は今週報告分のみ府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	11	1	3	2	1	1			3		147
４類感染症	デング熱	1							1			13
	日本紅斑熱	1	1									9
	レジオネラ症（肺炎型）	1					1					79
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2				1	1					122
	急性脳炎	2							2			13
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1					1				82
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1								1		49
	侵襲性肺炎球菌感染症	1					1					175
	水痘（入院例）	1			1							21
	梅毒	11		1			1		1	8		1,311
	百日咳	4					1			3		70
結核（2024年7月分）	結核　新登録患者数：84名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　27名）（府内累積報告数　612名、内　肺・喀痰塗抹陽性　225名）											

（2024年9月10日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第37週（9月9日～9月15日）

今週のコメント

～マイコプラズマ肺炎～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「マイコプラズマ肺炎　高い報告数続く」

第37週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,335例であり、前週比1.3%増であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナの順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.93、3.06、1.99、0.84、0.30である。

手足口病の報告数は前週比5%増の971例で、北河内8.60、大阪市北部7.14、中河内7.00、豊能5.48、三島5.12であった。警報レベル開始基準値5に迫る報告数となっている。

感染性胃腸炎は3%減の602例で、南河内4.31、中河内3.95、泉州3.76である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は11%増の393例で、大阪市南部2.89、北河内2.80、堺市2.47であった。4週連続で増加している。

RSウイルス感染症は5%減の165例で、大阪市北部2.00、南河内1.31、中河内1.05である。

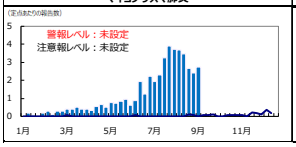
ヘルパンギーナは17%減の59例で、大阪市北部0.71、豊能0.65、北河内0.44であった。

インフルエンザは28%減の94例で、定点あたり報告数は0.31である。泉州0.53、大阪市北部0.50、大阪市西部0.40、豊能・南河内0.38であった。

新型コロナウイルス感染症は28%減の890例で、定点あたり報告数は2.91である。北河内3.63、中河内3.43、大阪市北部3.35、南河内3.08、堺市3.00であった。

基幹定点疾患のマイコプラズマ肺炎は6例増の49例の報告があった。

マイコプラズマ肺炎



Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

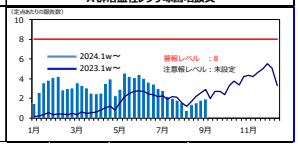


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第37週9月9日～9月15日）

第37週の順位	第36週の順位	感染症	2024年第37週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第37週の定点あたり報告数	2024年第37週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	4.93	5%増	0.37	1 歳_25%
2	2	感染性胃腸炎	3.06	3%減	2.83	1 歳_15%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.99	11%増	2.78	10-14歳_14%
4	4	RSウイルス感染症	0.84	5%減	0.33	1 歳_37%
5	5	ヘルパンギーナ	0.30	17%減	0.43	1 歳_20%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	0.31	28%減	4.54	20歳以上_22%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	2.91	28%減	12.99	10-19歳_19%

第37週のコメント

～百日咳～　生後2か月からの予防接種が重要

全数把握感染症

百日咳

百日咳は、百日咳菌（*Bordetella pertussis*）による急性の気道感染症である。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり（カタル期）、百日咳特有の咳が出始める（痙咳期）。新生児や乳児早期では、肺炎、脳症を合併することがある。マクロライド系抗菌薬が有効であるが、近年、薬剤耐性菌も報告されている。百日咳の予防には、ワクチン接種が有効であり、乳幼児期に計4回接種されている。2018年1月1日に小児科定点把握感染症から全数把握感染症に変更され、成人の報告数の把握が進んでいる。

百日咳（大阪府感染症情報センター）
百日咳とは（国立感染症研究所）

年別累積報告数（大阪府）

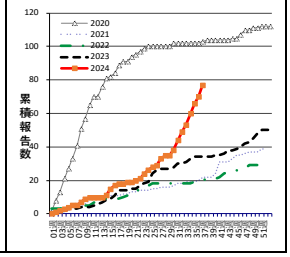


表２．大阪府全数報告数（2024年 第37週9月9日～9月15日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6	1	1	1					3	153
4類感染症	デング熱	1	1								14
	レジオネラ症（肺炎型）	4	1		1					2	84
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3		2						1	125
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1				83
	後天性免疫不全症候群	1						1			66
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					1				52
	侵襲性肺炎球菌感染症	2			1					1	179
	水痘（入院例）	1								1	22
	梅毒	7					1		1	5	1,338
	播種性クリプトコックス症	1					1				8
	百日咳	7		1	1				1	4	77
結核（2024年7月分）	結核　新登録患者数：84名（内　肺・喀痰塗抹陽性　27名）（府内累積報告数　612名、内　肺・喀痰塗抹陽性　225名）										

（2024年9月17日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第38週（9月16日～9月22日）

今週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「新型コロナウイルス感染症 減少続く」

第38週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,089例であり、前週比10.5%減であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、突発性発しん・ヘルパンギーナの順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.49、2.74、1.71、0.68、0.25である。

手足口病の報告数は前週比9%減の885例で、北河内7.08、大阪市北部6.93、三島6.24、中河内5.95、豊能5.87であった。

感染性胃腸炎は10%減の540例で、中河内4.26、南河内4.25、大阪市南部3.44である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は14%減の337例で、大阪市南部3.39、北河内2.32、南河内1.94であった。

RSウイルス感染症は19%減の134例で、大阪市北部1.64、南河内1.19、中河内0.95である。

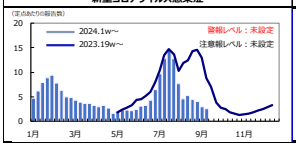
ヘルパンギーナは17%減の49例で、大阪市北部1.07、三島0.29、北河内0.28であった。

インフルエンザは18%増の111例で、定点あたり報告数は0.36である。豊能0.73、大阪市北部0.50、大阪市西部0.47、大阪市東部0.45、中河内0.43であった。

新型コロナウイルス感染症は11%減の791例で、定点あたり報告数は2.58である。泉州3.82、堺市3.10、大阪市北部2.85、大阪市西部2.80、南河内2.79であった。

基幹定点疾患のマイコプラズマ肺炎は2例減の47例の報告がある。

新型コロナウイルス感染症



手足口病

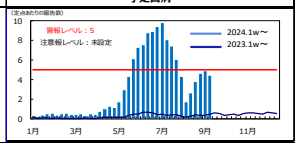


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第38週9月16日～9月22日）

第38週の順位	第37週の順位	感染症	2024年第38週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第38週の定点あたり報告数	2024年第38週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	4.49	9%減	0.46	1 歳_23%
2	2	感染性胃腸炎	2.74	10%減	2.48	1 歳_16%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.71	14%減	1.98	10-14歳_17%
4	4	RSウイルス感染症	0.68	19%減	0.29	1 歳_38%
5	8	突発性発しん	0.25	14%増	0.17	1 歳_52%
5	5	ヘルパンギーナ	0.25	17%減	0.26	1 歳_29%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	0.36	18%増	5.03	20歳以上_33%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	2.58	11%減	8.78	10-19歳_18%

第38週のコメント

～侵襲性髄膜炎菌感染症～　大阪府の2024年第38週の累積報告数は、過去10年で最も多い報告数になった。

全数把握感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症は、髄膜炎菌（*Neisseria meningitidis*）による侵襲性の感染症である。潜伏期は通常2～10日で、髄膜炎例では頭痛、発熱、髄膜刺激症状、痙攣、意識障害を示し、敗血症例では発熱、悪寒、ショック、播種性血管内凝固症候群（DIC）を呈する。髄膜炎ベルト（meningitis belt）とよばれるアフリカ中央部で発生が多く、日本では、学生寮等で集団発生の報告がある。治療には、第三世代セフェム系抗菌薬等が使用される。患者との接触者には、緊急に、リファンピシンの予防投与が行われる。日本では、2015年より、4価髄膜炎菌（血清型A、C、Y、W-135）ワクチンの任意接種が開始されている。

髄膜炎菌性髄膜炎とは（国立感染症研究所）
侵襲性髄膜炎菌感染症（厚生労働省）

年別累積報告数

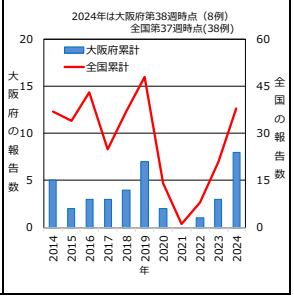


表２．大阪府全数報告数（2024年 第38週9月16日～9月22日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4		1				1	1	1	161
4類感染症	デング熱	1								1	15
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1			1						127
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1								8
	侵襲性肺炎球菌感染症	4		1	1		1			1	184
	梅毒	2					2				1,347
	百日咳	2			1				1		80
結核（2024年7月分）	結核　新登録患者数：84名（内　肺・喀痰塗抹陽性　27名）（府内累積報告数　612名、内　肺・喀痰塗抹陽性　225名）										

（2024年9月24日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）

2024年 第39週（9月23日～9月29日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ　2週連続して漸増」

第39週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,005例であり、前週比4.0%減であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.91、2.50、1.40、0.45、0.33である。

手足口病の報告数は前週比9%増の967例で、北河内10.04、中河内6.42、三島5.94、豊能5.09、大阪市北部4.71であった。大阪では、コクサッキーA6型に加えて、コクサッキーA16型が検出されている。

感染性胃腸炎は9%減の493例で、南河内3.69、泉州3.57、大阪市南部2.83である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は18%減の276例で、北河内2.40、大阪市東部1.60、中河内1.53であった。

RSウイルス感染症は34%減の89例で、南河内0.81、大阪市西部0.70、大阪市東部0.67である。

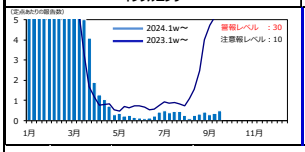
流行性角結膜炎は70%増の17例で、泉州・大阪市東部0.67、北河内・大阪市西部0.50であった。

インフルエンザは35%増の150例で、定点あたり報告数は0.49である。泉州0.68、北河内0.66、三島0.56、大阪市東部0.55、豊能0.54であった。非流行期に入った第17週以降、例年よりも高い数値で推移している。

新型コロナウイルス感染症は25%減の591例で、定点あたり報告数1.93である。泉州2.62、堺市2.52、北河内2.46、大阪市東部2.09、南河内1.88であった。第30週以降減少傾向が続いている。

基幹定点疾患のマイコプラズマ肺炎は39例、定点あたり報告数2.17で、例年と比べて報告数の多い状況が続いている。

インフルエンザ



手足口病

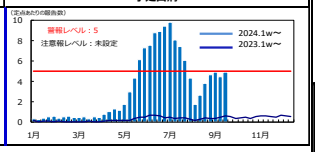


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第39週9月23日～9月29日）

第39週の順位	第38週の順位	感染症	2024年第39週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第39週の定点あたり報告数	2024年第39週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	4.91	9%増	0.64	1歳_21%
2	2	感染性胃腸炎	2.50	9%減	2.77	1歳_13%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.40	18%減	2.73	10-14歳_14%
4	4	RSウイルス感染症	0.45	34%減	0.21	1歳_43%
5	8	流行性角結膜炎	0.33	70%増	0.71	20歳以上_71%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	0.49	35%増	6.61	20歳以上_37%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	1.93	25%減	7.02	10-19歳_15%

第39週のコメント

～ジカウイルス感染症～　国内では2024年は37週時点で2例の報告があり、大阪では2017年以来の報告です。

全数把握感染症

ジカウイルス感染症

ジカウイルスでは、ネッタイシマカ、ヒトスジシマカ等が媒介蚊として確認されている。日本に生息するヒトスジシマカも媒介可能である。

潜伏期間は3~12日である。流行地域で蚊に刺されてから数日後に、軽度の発熱、発疹、結膜炎、関節痛、筋肉痛、倦怠感、頭痛等の症状を呈する。

海外の流行地域へ出かける際は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊に刺されないよう注意が必要である。

妊娠中、特に妊娠初期にジカウイルスに感染すると、胎児に小頭症等の先天性障害を来すことがあるため、妊婦及び妊娠の可能性がある方は、可能な限り流行地域への渡航を避けることが望ましい。

ジカウイルス感染症とは（国立感染症研究所）
ジカウイルス感染症について（厚生労働省）

年別累積報告数

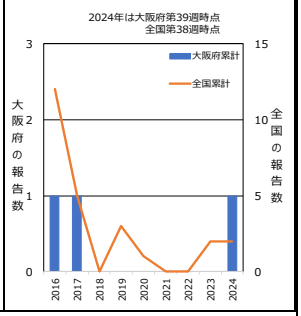


表２．大阪府全数報告数（2024年 第39週9月23日～9月29日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	12	4			2	1		2	3	180
４類感染症	ジカウイルス感染症	1								1	1
	デング熱	1				1					17
	レジオネラ症（肺炎型）	1								1	86
５類感染症	ウイルス性肝炎	1								1	23
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2								2	134
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1								87
	後天性免疫不全症候群	1								1	68
	水痘（入院例）	1								1	24
	梅毒	12		1			1			10	1,411
	百日咳	4			3				1		90
結核（2024年7月分）	結核　新登録患者数：84名（内　肺・喀痰塗抹陽性　27名）（府内累積報告数　612名、内　肺・喀痰塗抹陽性　225名）										

（2024年10月1日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）

2024年 第40週（9月30日～10月6日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ　流行開始期入りの目安に近づく」

第40週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,324例であり、前週比15.9%増であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.48、2.94、1.84、0.47、0.42である。

手足口病の報告数は、前週比12%増の1,079例で、北河内10.24、中河内7.47、大阪市北部7.07、豊能6.09、三島5.41であり、再び、警報レベル開始基準値５を超えた。

感染性胃腸炎は18%増の580例で、泉州4.67、中河内4.05、南河内4.00である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は32%増の363例で、堺市2.63、大阪市南部2.33、北河内2.32であった。

RSウイルス感染症は4%増の93例で、大阪市東部1.00、南河内0.81、中河内0.68である。

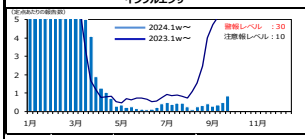
流行性角結膜炎は29%増の22例で、大阪市西部1.00、泉州0.83、豊能0.80であった。

インフルエンザは71%増の256例で、定点あたり報告数は0.84であり、流行期入りの目安である1に近づきつつある。北河内1.37、大阪市西部1.20、大阪市北部1.15、中河内1.13、大阪市東部1.05であった。

新型コロナウイルス感染症は1例増の592例で、定点あたり報告数は1.93である。泉州2.62、大阪市東部2.45、北河内2.22、南河内2.04、堺市1.90であった。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は、前週から51%増の59例の報告があり、定点あたり報告数も3.28と前週（2.17）と比較して大きな増加が見られた。

インフルエンザ



手足口病

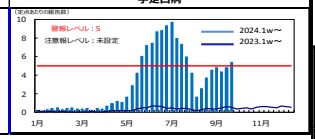


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第40週9月30日～10月6日）

第40週の順位	第39週の順位	感染症	2024年第40週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第40週の定点あたり報告数	2024年第40週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	5.48	12%増	0.51	1歳_23%
2	2	感染性胃腸炎	2.94	18%増	2.71	10-14歳_14%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.84	32%増	2.66	10-14歳_16%
4	4	RSウイルス感染症	0.47	4%増	0.20	1歳_43%
5	5	流行性角結膜炎	0.42	29%増	0.60	20歳以上_86%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	0.84	71%増	7.13	20歳以上_23%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	1.93	増減なし	3.85	10-19歳_16%

第40週のコメント

～ デング熱 ～　海外に渡航される方は、蚊に刺されないように、服装に注意し、虫よけ剤を使うなどしましょう

全数把握感染症

デング熱

デング熱は、ネッタイシマカやヒトスジシマカなどの蚊によって媒介されるデングウイルスの感染症である。比較的軽症型のデング熱と、重症型のデング出血熱がある。熱帯・亜熱帯地域、特に東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国、アフリカで見られ、全世界で年間約1億人がデング熱を発症する。海外渡航で感染し国内で発症する例（輸入症例）が増加しつつあり、2014年の夏季には輸入症例により持ち込まれたと考えられるウイルスにより、150例以上の国内流行が発生した。感染すると、3～7日程度の潜伏期間の後、38～40℃の急激な発熱を発症し、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛が出現する。2～7日で解熱し、解熱とともに発疹が現れることがある。

デング熱について（厚生労働省）
デング熱とは(国立感染症研究所)

年別累積報告数（大阪府）

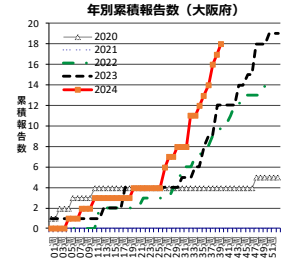


表２．大阪府全数報告数（2024年 第40週9月30日～10月6日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6				2				4	186
４類感染症	デング熱	1							1		18
	日本紅斑熱	1								1	12
	レジオネラ症（肺炎型）	1							1		87
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1						1			136
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1				89
	後天性免疫不全症候群	4					2			2	72
	侵襲性肺炎球菌感染症	3			1				1	1	189
	梅毒	8		1		1	2			4	1,455
	百日咳	3			1					2	93
結核（2024年8月分）	結核　新登録患者数：87名（内　肺・喀痰塗抹陽性　27名）（府内累積報告数　715名、内　肺・喀痰塗抹陽性　261名）										

（2024年10月8日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第41週（10月7日～10月13日）

今週のコメント

～手足口病～　手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病 警報レベルで推移」

第41週の小児科･眼科定点疾患の報告数の総計は2,454例であり、前週比5.6%増であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ6.39、2.87、1.64、0.63、0.42である。

手足口病の報告数は前週比17%増の1,258例で、北河内12.88、大阪市北部8.93、中河内7.74、三島7.00、豊能6.43であった。大阪府では、コクサッキーA6型に加えて、コクサッキーA16型が検出されている。

感染性胃腸炎は2%減の566例で、南河内4.81、中河内3.95、堺市3.79である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は11%減の324例で、北河内3.12、大阪市南部2.83、堺市2.58であった。

RSウイルス感染症は33%増の124例で、南河内1.63、大阪市北部1.00、泉州0.76である。

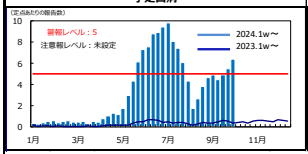
流行性角結膜炎は増減なしの22例で、堺市2.00、大阪市東部0.67、三島･大阪市西部0.50であった。

インフルエンザは11%増の285例で、定点あたり報告数は0.93であり、前週の0.84から引き続き上昇した。大阪市北部1.75、泉州1.32、大阪市東部1.23、大阪市西部1.13、堺市1.03である。ブロックで流行期入りの目安である1を超えている。

新型コロナウイルス感染症は26%減の440例で、定点あたり報告数は1.44である。泉州2.65、堺市1.97、南河内1.79、北河内1.71、豊能1.32である。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は、前週から20%減の47例の報告があり、定点あたり報告数は2.61であった。

手足口病



インフルエンザ

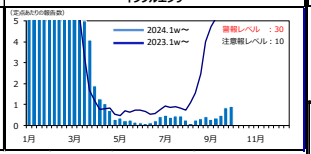


表１．大阪府小児科･眼科定点把握感染症の動向（2024年 第41週10月7日～10月13日）

第41週の順位	第40週の順位	感染症	2024年第41週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第41週の定点あたり報告数	2024年第41週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	6.39	17%増	0.38	1歳_22%
2	2	感染性胃腸炎	2.87	2%減	2.79	1歳_14%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.64	11%減	2.35	5歳_15%
4	4	RSウイルス感染症	0.63	33%増	0.11	1歳未満_38%
5	5	流行性角結膜炎	0.42	増減なし	0.75	20歳以上_86%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	0.93	11%増	8.28	20歳以上_28%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	1.44	26%減	2.77	10-19歳_16%

第41週のコメント

～後天性免疫不全症候群～　大阪府では、2024年は第41週時点で2023年の累計報告数に並び、9年ぶりの増加が見込まれる。

全数把握感染症

後天性免疫不全症候群

後天性免疫不全症候群(AIDS、エイズ)は、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)が免疫細胞に感染し、免疫細胞を破壊して後天的に免疫不全を起こす疾患である。適切な治療が施されないと重篤な全身性免疫不全により日和見感染症や悪性腫瘍を引き起こす。近年、治療薬の開発が飛躍的に進み、早期に服薬治療を受ければ免疫力を落とすことなく、通常の生活を送ることが可能となってきた。

日本国内では、日本国籍男性を中心に、同性間性的接触による感染例が多い傾向にある。日本の新規報告数は、近年減少傾向にあったが、2023年に7年ぶりに増加した。予防のための普及啓発、早期発見･早期治療に向けた対策が望まれる。

後天性免疫不全症候群とは(国立感染症研究所)
後天性免疫不全症候群（大阪府感染症情報センター）

年別累積報告数

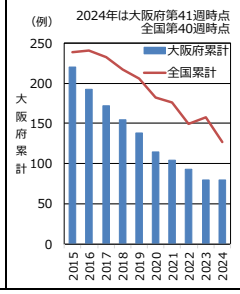


表２．大阪府全数報告数（2024年 第41週10月7日～10月13日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2				1				1	189
４類感染症	Ａ型肝炎	1								1	6
	マラリア（熱帯熱）	1							1		6
	レジオネラ症（ポンティアック熱型）	1								1	88
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1					1				138
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1							90
	後天性免疫不全症候群	6								6	80
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1								1	54
	梅毒	9	1	1	1		2		2	2	1,476
	百日咳	2			1					1	97
結核（2024年8月分）	結核　新登録患者数：87名（内　肺･喀痰塗抹陽性　27名）（府内累積報告数　715名、内　肺･喀痰塗抹陽性　261名）										

（2024年10月15日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第42週（10月14日～10月20日）

今週のコメント

～手足口病～　手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病　警報レベル続く」

第42週の小児科･眼科定点疾患の報告数の総計は2,122例であり、前週比13.5%減であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.30、2.73、1.38、0.53、0.38である。

手足口病の報告数は前週比17%減の1,044例で、大阪市北部9.21、北河内8.16、中河内7.11、三島6.12、南河内4.94であった。直近では大阪府において、コクサッキーA16型が検出されている。

感染性胃腸炎は5%減の537例で、南河内4.69、北河内3.40、中河内3.37である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は16%減の271例で、堺市2.47、北河内2.44、大阪市南部1.94であった。

RSウイルス感染症は16%減の104例で、大阪市西部0.90、堺市0.89、南河内0.75である。

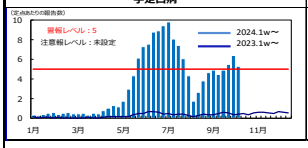
流行性角結膜炎は9%減の20例で、堺市0.80、南河内0.75、中河内0.60であった。

インフルエンザは41%減の168例で、定点あたり報告数は0.55である。堺市1.00、泉州0.88、南河内0.71、大阪市北部0.70、大阪市西部0.60であった。

新型コロナウイルス感染症は30%減の310例で、定点あたり報告数は1.01である。南河内1.50、堺市1.38、泉州1.24、北河内1.20、大阪市東部1.00であった。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は26%増の59例の報告があり、定点あたり報告数は3.28である。

手足口病



インフルエンザ

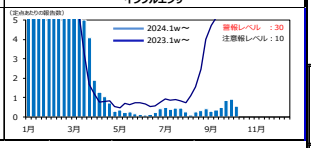


表１．大阪府小児科･眼科定点把握感染症の動向（2024年 第42週10月14日～10月20日）

第42週の順位	第41週の順位	感染症	2024年第42週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第42週の定点あたり報告数	2024年第42週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	5.30	17%減	0.44	1歳_17%
2	2	感染性胃腸炎	2.73	5%減	3.14	1歳_16%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.38	16%減	3.31	10-14歳_16%
4	4	RSウイルス感染症	0.53	16%減	0.13	1歳_41%
5	5	流行性角結膜炎	0.38	9%減	0.77	20歳以上_85%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	0.55	41%減	11.27	20歳以上_32%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	1.01	30%減	2.53	80歳以上_15%

第42週のコメント

～百日咳～　生後2か月からの予防接種が重要

全数把握感染症

百日咳

百日咳は、百日咳菌（*Bordetella pertussis*）による急性の気道感染症である。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり（カタル期）、百日咳特有の咳が出始める（痙咳期）。新生児や乳児早期では、肺炎、脳症を合併することがある。マクロライド系抗菌薬が有効であるが、近年、薬剤耐性菌も報告されている。百日咳の予防には、ワクチン接種が有効であり、乳幼児期に計4回接種されている。2018年1月1日に小児科定点把握感染症から全数把握感染症に変更され、成人の報告数の把握が進んでいる。

百日咳（大阪府感染症情報センター）
百日咳とは（国立感染症研究所）

年別累積報告数（大阪府）

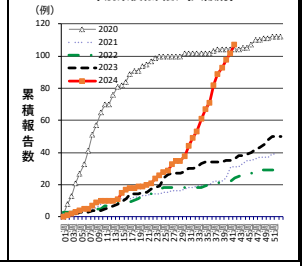


表２．大阪府全数報告数（2024年 第42週10月14日～10月20日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5			1	1			3		196
４類感染症	日本紅斑熱	1				1					13
	レジオネラ症（肺炎型）	4	1		1				1	1	93
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1				1					141
	急性弛緩性麻痺	1		1							2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1				92
	梅毒	9				1		1	2	5	1,529
	百日咳	5			1				1	3	107
結核（2024年8月分）	結核　新登録患者数：87名（内　肺･喀痰塗抹陽性　27名）（府内累積報告数　715名、内　肺･喀痰塗抹陽性　261名）										

（2024年10月22日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第43週（10月21日～10月27日）

今週のコメント

～マイコプラズマ肺炎～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「マイコプラズマ肺炎 報告数多い状態が持続」

第43週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,139例であり、前週比0.8%増であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.66、3.10、1.71、0.40、0.37である。

手足口病の報告数は前週比12%減の919例で、大阪市北部7.50、北河内7.04、中河内6.37、三島5.12、大阪市西部4.30であった。

感染性胃腸炎は14%増の610例で、南河内5.25、大阪市西部4.10、北河内3.92である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は24%増の336例で、大阪市南部3.11、堺市2.74、泉州2.19であった。

RSウイルス感染症は25%減の78例で、大阪市北部1.00、中河内0.58、泉州・北河内0.52である。

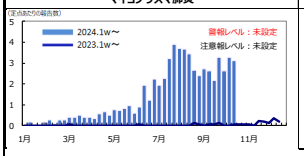
流行性角結膜炎は5%減の19例で、中河内0.80、南河内・泉州・大阪市西部・大阪市東部0.50であった。

インフルエンザは19%増の200例で、定点あたり報告数は0.65である。堺市0.97、大阪市東部0.95、北河内0.85、大阪市北部0.70、豊能0.68であった。

新型コロナウイルス感染症は4%増の318例で、定点あたり報告数は1.04である。大阪市東部1.36、堺市1.34、泉州1.32、豊能1.30、北河内1.27であった。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は5%減の56例の報告があり、定点あたり報告数は3.11である。

マイコプラズマ肺炎



インフルエンザ

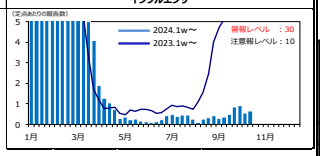


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第43週10月21日～10月27日）

第43週の順位	第42週の順位	感染症	2024年第43週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第43週の定点あたり報告数	2024年第43週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	4.66	12%減	0.49	１歳_18%
2	2	感染性胃腸炎	3.10	14%増	3.44	１歳_13%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.71	24%増	3.75	10-14歳_16%
4	4	RSウイルス感染症	0.40	25%減	0.10	１歳未満_36%
5	5	流行性角結膜炎	0.37	5%減	0.71	20歳以上_79%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	0.65	19%増	12.65	20歳以上_25%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	1.04	3%増	1.82	80歳以上_17%

第43週のコメント

～百日咳～　生後2か月からの予防接種が重要

全数把握感染症

百日咳

百日咳は、百日咳菌（*Bordetella pertussis*）による急性の気道感染症である。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり（カタル期）、百日咳特有の咳が出始める（痙咳期）。新生児や乳児早期では、肺炎、脳症を合併することがある。マクロライド系抗菌薬が有効であるが、近年、薬剤耐性菌も報告されている。百日咳の予防には、ワクチン接種が有効であり、乳幼児期に計4回接種されている。2018年1月1日に小児科定点把握感染症から全数把握感染症に変更され、成人の報告数の把握が進んでいる。

百日咳（大阪府感染症情報センター）
百日咳とは（国立感染症研究所）

年別累積報告数（大阪府）

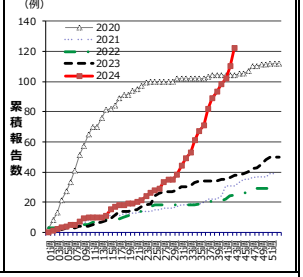


表２．大阪府全数報告数（2024年 第43週10月21日～10月27日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3			1	2					195
４類感染症	E 型肝炎	1								1	4
５類感染症	アメーバ赤痢	3		1						2	32
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1					1				146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1							1	94
	シアルシア症	1								1	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	3					1		1	1	195
	梅毒	13		2	1	1	2			7	1,565
	百日咳	12			4		2		2	4	122
結核（2024年8月分）	結核　新登録患者数：87名（内　肺・喀痰塗抹陽性　27名）（府内累積報告数　715名、内　肺・喀痰塗抹陽性　261名）										

（2024年10月29日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第44週（10月28日～11月3日）

今週のコメント

～手足口病～　手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病　３週連続減少」

第44週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,066例であり、前週比3.4%減であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、突発性発しんの順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.12、3.37、1.54、0.57、0.26である。

手足口病の報告数は前週比12%減の811例で、大阪市北部8.86、北河内5.72、中河内4.53、三島4.47、豊能3.87であった。

感染性胃腸炎は9%増の664例で、南河内6.25、堺市4.32、泉州4.14である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は10%減の304例で、北河内2.60、大阪市南部2.33、堺市2.21であった。

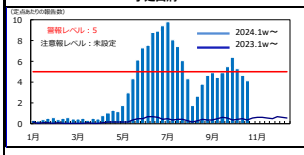
RSウイルス感染症は44%増の112例で、北河内1.00、南河内0.81、大阪市北部0.64である。

インフルエンザは22%増の243例で、定点あたり報告数は0.79であった。大阪市南部1.44、北河内1.41、堺市0.90、大阪市東部0.86、豊能0.68である。

新型コロナウイルス感染症は19%減の257例で、定点あたり報告数は0.84であった。南河内1.25、泉州1.24、堺市1.14、大阪市北部1.05、北河内0.80である。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は5%増の59例の報告があり、定点あたり報告数は3.28であった。依然として報告数が多い状況が続いている。

手足口病



マイコプラズマ肺炎

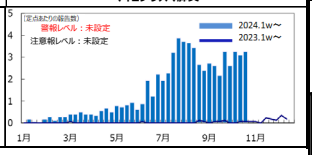


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第44週10月28日～11月3日）

第44週の順位	第43週の順位	感染症	2024年第44週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第44週の定点あたり報告数	2024年第44週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	4.12	12%減	0.38	１歳_19%
2	2	感染性胃腸炎	3.37	9%増	3.41	１歳_13%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.54	10%減	3.37	10-14歳_15%
4	4	RSウイルス感染症	0.57	44%増	0.06	１歳_32%
5	6	突発性発しん	0.26	4%増	0.22	１歳_54%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	0.79	22%増	13.27	20歳以上_25%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	0.84	19%減	1.54	80歳以上_15%

第44週のコメント

～侵襲性髄膜炎菌感染症～　大阪府および全国の2024年の累積報告数は、過去10年で最多である

全数把握感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症は、髄膜炎菌（*Neisseria meningitidis*）による侵襲性の感染症である。潜伏期は通常2～10日で、髄膜炎例では頭痛、発熱、髄膜刺激症状、痙攣、意識障害を示し、敗血症例では発熱、悪寒、ショック、播種性血管内凝固症候群（DIC）を呈する。髄膜炎ベルト（meningitis belt）とよばれるアフリカ中央部で発生が多く、日本では、学生寮等で集団発生の報告がある。治療には、第三世代セフェム系抗菌薬等が使用される。患者との接触者には、緊急に、リファンピシンの予防投与が行われる。日本では、2015年より、4価髄膜炎菌（血清型A、C、Y、W-135）ワクチンの任意接種が開始されている。

髄膜炎菌性髄膜炎とは（国立感染症研究所）
髄膜炎菌性髄膜炎（厚生労働省）

年別累積報告数

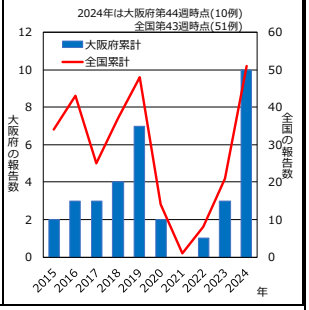


表２．大阪府全数報告数（2024年 第44週10月28日～11月3日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1								1	200
４類感染症	レジオネラ症(肺炎型)	1								1	97
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	1								149
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1								1	10
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1							3	200
	水痘（入院例）	1		1							27
	梅毒	10			3		1			6	1,609
	百日咳	7		1	2		1			3	132
結核（2024年9月分）	結核　新登録患者数：67名（内　肺・喀痰塗抹陽性　20名）（府内累積報告数　796名、内　肺・喀痰塗抹陽性　290名）										

（2024年11月5日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第45週（11月4日～11月10日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ　3週連続増加」

第45週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,766例であり、前週比14.5%減であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.53、2.70、1.23、0.69、0.28である。

手足口病は前週比14%減の696例で、大阪市北部6.43、北河内5.48、中河内4.95、大阪市南部3.50、三島3.41であった。

感染性胃腸炎は20%減の532例で、南河内4.00、中河内3.84、豊能3.48である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は20%減の243例で、大阪市南部2.00、大阪市東部1.67、南河内1.50であった。

RSウイルス感染症は21%増の135例で、中河内1.21、北河内1.12、大阪市北部1.00である。

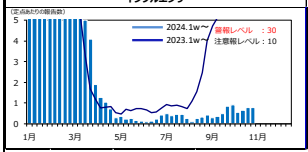
咽頭結膜熱は47%増の56例で、中河内0.84、大阪市北部0.43、大阪市東部0.40であった。

インフルエンザは2例増の245例で、定点あたり報告数は0.80である。豊能1.41、南河内1.38、大阪市東部1.18、大阪市北部0.90、大阪市西部0.80であった。大阪府では、現在AH1pdmが検出されている。全国集計では、第44週に定点あたり報告数が流行開始期入りの目安の1を超え、流行期入りしたと発表された。

新型コロナウイルス感染症は5%減の245例で定点あたり報告数は0.80である。大阪市東部1.50、豊能0.95、南河内0.92、泉州0.91、堺市0.86であった。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は2例増の61例の報告があり、定点あたり報告数は3.39である。

インフルエンザ



マイコプラズマ肺炎

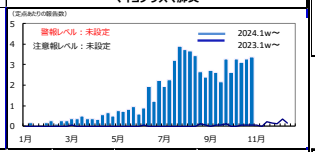


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第45週11月4日～11月10日）

第45週の順位	第44週の順位	感染症	2024年第45週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第45週の定点あたり報告数	2024年第45週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	3.53	14%減	0.55	1歳_17%
2	2	感染性胃腸炎	2.70	20%減	3.95	1歳_14%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.23	20%減	4.19	10-14歳_18%
4	4	RSウイルス感染症	0.69	21%増	0.13	1歳未満_34%
5	6	咽頭結膜熱	0.28	47%増	3.67	1歳_29%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	0.80	1%増	12.73	20歳以上_27%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	0.80	5%減	1.36	80歳以上_14%

第45週のコメント

～百日咳～　生後2か月からの予防接種が重要

全数把握感染症

百日咳

百日咳は、百日咳菌（*Bordetella pertussis*）による急性の気道感染症である。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり（カタル期）、百日咳特有の咳が出始める（痙咳期）。新生児や乳児早期では、肺炎、脳症を合併することがある。マクロライド系抗菌薬が有効であるが、近年、薬剤耐性菌も報告されている。百日咳の予防には、ワクチン接種が有効であり、乳幼児期に計4回接種されている。2018年1月1日に小児科定点把握感染症から全数把握感染症に変更され、成人の報告数の把握が進んでいる。

百日咳（国立感染症研究所）
百日咳（大阪府感染症情報センター）

年別累積報告数（大阪府）

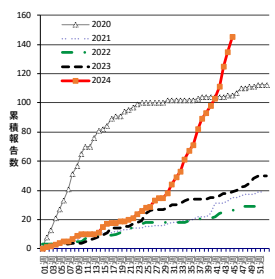


表２．大阪府全数報告数（2024年 第45週11月4日～11月10日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3					1		1	1	205
４類感染症	日本紅斑熱	1								1	14
	レジオネラ症(肺炎型)	1					1				100
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1				1					150
	急性脳炎	1							1		15
	後天性免疫不全症候群	1								1	83
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					1				57
	侵襲性肺炎球菌感染症	4					1		1	2	204
	梅毒	17			1			1	1	14	1,657
	百日咳	10	1		2		2		3	2	145
結核（2024年9月分）	結核　新登録患者数：67名（内　肺・喀痰塗抹陽性　20名）（府内累積報告数　796名、内　肺・喀痰塗抹陽性　290名）										

（2024年11月12日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第46週（11月11日～11月17日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ　流行期入り」

第46週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,843例であり、前週比4.4%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、手足口病、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.44、2.53、1.64、0.81、0.46である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比27%増の678例で、南河内5.44、中河内4.58、泉州3.90、三島3.76、北河内3.68であった。

手足口病は28%減の498例で、大阪市北部4.50、北河内3.96、中河内3.79である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は33%増の324例で、大阪市南部2.89、大阪市西部2.20、堺市2.05であった。

RSウイルス感染症は19%増の160例で、北河内1.72、大阪市北部1.50、南河内1.31である。

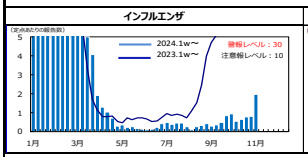
流行性角結膜炎は243%増の24例で、北河内1.17、堺市0.80、南河内0.75であった。

インフルエンザは146%増の602例で、定点あたり報告数は1.97である。豊能3.43、大阪市西部3.13、大阪市北部3.10、北河内2.39、堺市2.31であった。全ブロックで前週より増加し、流行開始期入りの目安となる定点あたり報告数1を超えた。

新型コロナウイルス感染症は41%増の347例で、定点あたり報告数は1.13である。泉州1.76、大阪市東部1.59、堺市1.55、大阪市西部1.27、北河内1.20であった。年齢別の割合は、50歳代が14%と最も高く、次いで70歳代、80歳以上、30歳代の12%である。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は4例減の57例の報告があり、定点あたり報告数は3.17であった。

インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症

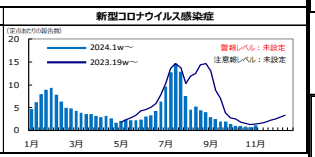


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第46週11月11日～11月17日）

第46週の順位	第45週の順位	感染症	2024年第46週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第46週の定点あたり報告数	2024年第46週の年齢別患者発生数最大割合値
1	2	感染性胃腸炎	3.44	27%増	4.97	1歳_14%
2	1	手足口病	2.53	28%減	0.62	1歳_19%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.64	33%増	4.33	10-14歳_19%
4	4	RSウイルス感染症	0.81	19%増	0.08	1歳_34%
5	7	流行性角結膜炎	0.46	243%増	0.48	20歳以上_58%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	1.97	146%増	15.65	20歳以上_28%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	1.13	42%増	1.41	50-59歳_14%

第46週のコメント

～麻しん～　ワクチンで予防可能な感染症です。

全数把握感染症

麻しん

麻しん（はしか）は麻しんウイルスによって引き起こされる発熱を伴う発しん性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発しんが出現する。潜伏期間は1-2週間である。強い感染力（一人の患者が12～18人に感染伝播）のため、麻しん発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となる。2015年3月、日本は麻しん排除国に認定されている。しかし、現在でもアジア、欧州やアフリカで麻しんが流行している。症状（発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発しん等）があり、１）１か月以内に麻しん患者と接触していた場合、２）麻しん流行国（主にアジア、欧州及びアフリカ諸国）に最近の旅行歴がある場合、麻しんを疑い、感染拡大を防止するため、医療機関を早期に受診する。受診に際し、医療機関に事前連絡し、麻しん疑いを伝え、指示に従うことが重要である。麻しんはワクチン（1歳以上で2回）で予防可能な感染症であり、接種の徹底が予防や感染拡大の防止に重要である。

麻しんとは（国立感染症研究所）
麻しん情報（大阪府感染症情報センター）

年別累計報告数

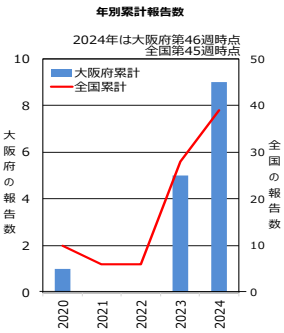


表２．大阪府全数報告数（2024年 第46週11月11日～11月17日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2								2	207
４類感染症	日本紅斑熱	1	1								16
５類感染症	アメーバ赤痢	1		1							34
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1							1		152
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1			1						58
	侵襲性肺炎球菌感染症	3				1			1	1	207
	梅毒	12			1	1	2		1	7	1,680
	百日咳	14	2	1	3		1		2	5	162
	麻しん	1							1		9
結核（2024年9月分）	結核　新登録患者数：67名（内　肺・喀痰塗抹陽性　20名）（府内累積報告数　796名、内　肺・喀痰塗抹陽性　290名）										

（2024年11月19日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第47週（11月18日～11月24日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ増加」

第47週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,637例であり、前週比11.2%減であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、手足口病、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.59、2.05、1.31、0.52、0.46である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比4%増の707例で、大阪市南部5.39、南河内4.69、大阪市西部4.30、堺市4.21、大阪市北部3.93であった。

手足口病は19%減の403例で、大阪市北部3.36、北河内2.72、中河内2.68である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は20%減の258例で、大阪市南部2.17、北河内2.00、堺市1.74であった。

RSウイルス感染症は36%減の103例で、中河内1.16、南河内・大阪市北部1.00である。

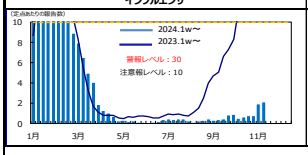
流行性角結膜炎は増減なしの24例で、堺市1.20、北河内1.17、大阪市東部0.67であった。

インフルエンザは10%増の663例で、定点あたり報告数は2.17である。大阪市北部4.55、大阪市西部3.47、南河内3.46、堺市2.31、豊能2.30であった。

新型コロナウイルス感染症は9%減の316例で、定点あたり報告数は1.03である。堺市1.52、南河内1.38、大阪市北部1.20、大阪市南部1.04、泉州1.03であった。年齢別では、70歳代、80歳代以上の割合が27%となり、前週と比べ増加している。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は6例増の63例の報告があり、定点あたり報告数は3.50である。

インフルエンザ



マイコプラズマ肺炎

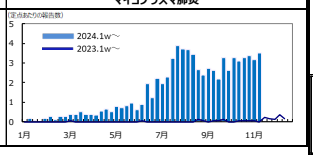


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第47週11月18日～11月24日）

第47週の順位	第46週の順位	感染症	2024年第47週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第47週の定点あたり報告数	2024年第47週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	3.59	4%増	5.05	1歳_13%
2	2	手足口病	2.05	19%減	0.61	1歳_20%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.31	20%減	4.20	10-14歳_15%
4	4	RSウイルス感染症	0.52	36%減	0.12	1歳_33%
5	5	流行性角結膜炎	0.46	増減なし	0.44	20歳以上_54%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	2.17	10%増	19.47	20歳以上_27%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	1.03	9%減	1.61	50-59歳_14%

第47週のコメント

～つつが虫病～　2024年大阪府では、第47週現在2例の報告がある。

全数把握感染症

つつが虫病

つつが虫病は、つつが虫病リケッチア(*Orientia tsutsugamushi*)を起因病原体とし、野山でダニの一種であるツツガムシの幼虫に吸着されることにより感染する。ツツガムシの活動が活発化する5-6月と11-12月に発生が多い。 潜伏期は5～14日であり、発熱、発しん、刺し口が主要三徴候である。高熱を伴って発症し、皮膚には特徴的な刺し口（黒色痂疲）がみられ、その後体幹部を中心に発しんがみられる。検査所見では肝逸脱酵素の上昇、血小板の減少が認められる。治療には、抗菌薬投与が効果的であり、第一選択薬はテトラサイクリン系の抗菌薬である。β-ラクタム系の抗菌薬は全く無効である。

ツツガムシ病とは(国立感染症研究所)

年別累計報告数

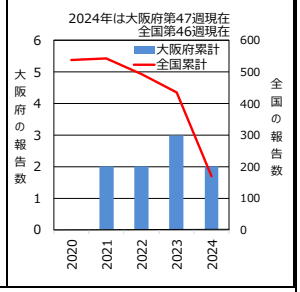


表２．大阪府全数報告数（2024年 第47週11月18日～11月24日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。)

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5			3					2	212
４類感染症	つつが虫病	1	1								2
	デング熱	2			1					1	20
５類感染症	アメーバ赤痢	1					1				35
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3								3	156
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1					1				11
	侵襲性肺炎球菌感染症	3			1				1	1	213
	梅毒	15	2	1	1	1			2	8	1,725
	播種性クリプトコックス症	1			1						12
	百日咳	18			8		1	1		8	184
結核（2024年9月分）	結核　新登録患者数：67名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　20名）（府内累積報告数　796名、内　肺・喀痰塗抹陽性　290名）										

（2024年11月26日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）
2024年 第48週（11月25日～12月1日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ　全ブロックで増加」

第48週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,819例であり、前週比11.1%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、手足口病、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.29、1.74、1.58、0.62、0.37である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比20%増の845例で、中河内5.95、南河内4.88、豊能4.83、泉州4.71、堺市4.68であった。

手足口病は15%減の342例で、大阪市南部2.50、大阪市北部2.29、堺市2.16である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は21%増の311例で、北河内2.40、大阪市南部1.94、堺市1.84であった。

RSウイルス感染症は18%増の122例で、南河内1.25、北河内1.12、大阪市北部1.07である。

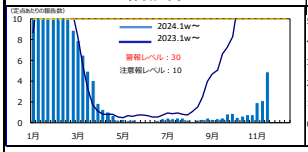
流行性角結膜炎は21%減の19例で、三島1.25、北河内0.83、堺市0.80であった。

インフルエンザは127%増の1,503例で、定点あたり報告数は4.91である。南河内9.00、大阪市北部7.05、大阪市西部6.33、北河内4.93、泉州4.76である。全11ブロックで増加していた。年齢別では20歳以上が27%と最も多く、次いで10歳から14歳になっている。大阪府では11月にAH1pdmとAH3が検出されていた。

新型コロナウイルス感染症は41%増の447例で、定点あたり報告数は1.46である。堺市2.48、大阪市南部1.93、北河内1.85、泉州1.65、南河内1.63であった。70歳以上の割合は前週より増加している。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は50例と前週より13例減であるが、定点あたり報告数は2.78と例年より多い状況が続いている。

インフルエンザ



マイコプラズマ肺炎

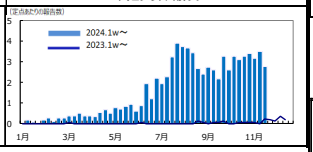


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第48週11月25日～12月1日）

第48週の順位	第47週の順位	感染症	2024年第48週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第48週の定点あたり報告数	2024年第48週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	4.29	20%増	5.20	1歳_13%
2	2	手足口病	1.74	15%減	0.52	4歳_19%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.58	21%増	4.69	4歳_15%
4	4	RSウイルス感染症	0.62	18%増	0.11	1歳_33%
5	5	流行性角結膜炎	0.37	21%減	0.50	20歳以上_63%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	4.91	127%増	17.54	20歳以上_27%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	1.46	41%増	1.82	70-79歳、80歳以上_17%

第48週のコメント

～麻しん～　ワクチンで予防可能な感染症です

全数把握感染症

麻しん

麻しん（はしか）は麻しんウイルスによって引き起こされる発熱を伴う発しん性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発しんが出現する。潜伏期間は1-2週間である。強い感染力（一人の患者が12～18人に感染伝播）のため、麻しん発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となる。2015年3月、日本は麻しん排除国に認定されている。しかし、現在でもアジア、アフリカやヨーロッパ諸国で麻しんが流行している。症状（発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発しん等）があり、１）１か月以内に麻しん患者と接触していた場合、２）麻しん流行国（主にアジア及びアフリカ諸国）に最近の旅行歴がある場合、麻しんを疑い、感染拡大を防止するため、医療機関を早期に受診する。受診に際し、医療機関に事前連絡し、麻しん疑いを伝え、指示に従うことが重要である。麻しんはワクチン（1歳以上で2回）で予防可能な感染症であり、接種の徹底が予防や感染拡大の防止に重要である。

麻しんとは（国立感染症研究所）
麻しん情報（大阪府感染症情報センター）

年別累計報告数

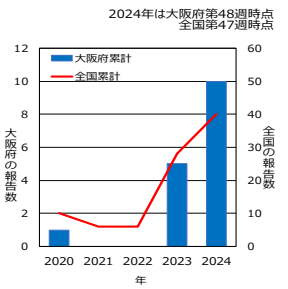


表２．大阪府全数報告数（2024年 第48週11月25日～12月1日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。)

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3			2				1		215
４類感染症	デング熱	1							1		21
	レジオネラ症（肺炎型）	4			1		2			1	107
５類感染症	アメーバ赤痢	1								1	36
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				1					99
	後天性免疫不全症候群	1								1	85
	侵襲性肺炎球菌感染症	2				1				1	220
	梅毒	19		1	1	2	1		1	13	1,781
	破傷風	2					1			1	4
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1								1	15
	百日咳	16			4		1		5	6	207
	麻しん	1				1					10
結核（2024年10月分）	結核　新登録患者数：77名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　36名）（府内累積報告数　873名、内　肺・喀痰塗抹陽性　328名）										

（2024年12月3日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）

2024年 第49週（12月2日～12月8日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ　注意報レベルを超える」

第49週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,986例であり、前週比9.2%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.16、1.65、1.16、0.83、0.53である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比20%増の1,012例で、南河内7.94、泉州5.90、豊能5.70、大阪市南部5.61、堺市5.47であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は4%増の324例で、大阪市南部2.72、北河内2.20、堺市2.11である。

手足口病の報告数は前週比34%減の227例で、泉州・大阪市北部1.71、中河内1.47であった。

RSウイルス感染症は33%増の162例で、南河内1.69、大阪市北部1.50、大阪市西部1.30である。

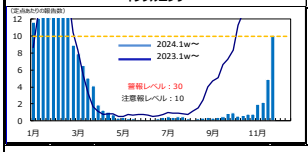
咽頭結膜熱は51%増の104例で、大阪市南部1.22、中河内1.05、南河内0.81であった。

インフルエンザは104%増の3,066例で、北河内14.80、南河内14.13、大阪市西部13.13、泉州10.06、大阪市北部9.80である。定点あたり報告数は10.05となり、注意報レベルである10を超えた。

新型コロナウイルス感染症は7%減の416例で、定点あたり報告数は1.36であった。泉州1.85、南河内1.79、大阪市北部1.75、堺市1.66、北河内1.63である。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は52例と前週より２例増加した。定点あたり報告数は2.89と例年よりかなり多い状況が続いている。

インフルエンザ



マイコプラズマ肺炎

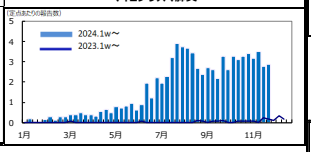


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第49週12月2日～12月8日）

第49週の順位	第48週の順位	感染症	2024年第49週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第49週の定点あたり報告数	2024年第49週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.16	20%増	5.25	1歳_13%
2	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.65	4%増	5.01	10-14歳_14%
3	2	手足口病	1.16	34%減	0.47	2歳_18%
4	4	RSウイルス感染症	0.83	33%増	0.11	1歳_35%
5	6	咽頭結膜熱	0.53	51%増	2.57	1歳_24%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	10.05	104%増	22.20	20歳以上_25%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	1.36	7%減	2.27	50-59歳_14%

第49週のコメント

～麻しん～　ワクチンで予防可能な感染症です。

全数把握感染症

麻しん

麻しん（はしか）は麻しんウイルスによって引き起こされる発熱を伴う発しん性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発しんが出現する。潜伏期間は1-2週間である。強い感染力（一人の患者が12～18人に感染伝播）のため、麻しん発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となる。2015年3月、日本は麻しん排除国に認定されている。しかし、現在でもアジア、アフリカやヨーロッパ諸国で麻しんが流行している。症状（発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発しん等）があり、１）１か月以内に麻しん患者と接触した場合、２）麻しん流行国（主にアジア及びアフリカ諸国）に最近の旅行歴がある場合、麻しんを疑い、感染拡大を防止するため、医療機関を早期に受診する。受診に際し、医療機関に事前連絡し、麻しん疑いを伝え、指示に従うことが重要である。麻しんはワクチン（1歳以上で2回）で予防可能な感染症であり、接種の徹底が予防や感染拡大の防止に重要である。

麻しん情報（大阪府感染症情報センター）
麻疹とは(国立感染症研究所)

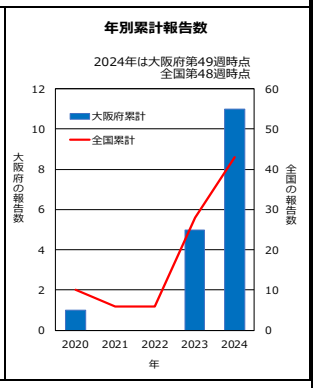


表２．大阪府全数報告数（2024年 第49週12月2日～12月8日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2	2									217
４類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	1								1		110
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	1							2		168
	後天性免疫不全症候群	1								1		87
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1						1				63
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	4						2	1		230
	梅毒	17	1	2		1			1	12		1,824
	百日咳	22		2	5		4		4	7		241
	麻しん	1								1		11
結核（2024年10月分）	結核　新登録患者数：77名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　36名）（府内累積報告数　873名、内　肺・喀痰塗抹陽性　328名）											

（2024年12月10日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）

2024年 第50週（12月9日～12月15日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ　2週連続で倍増」

第50週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,958例であり、前週比1.4%減であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、手足口病、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.19、1.88、0.89、0.80、0.41である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比1%増の1,018例で、南河内9.44、大阪市南部6.78、堺市6.47、三島5.59、泉州5.57であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は14%増の369例で、大阪市南部2.94、北河内2.88、堺市2.26である。

RSウイルス感染症は7%増の174例で、大阪市北部2.00、北河内1.80、大阪市西部1.10であった。

手足口病は31%減の156例で、堺市1.16、北河内・大阪市北部1.00である。

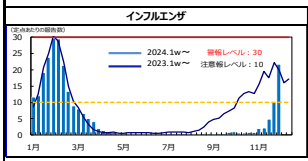
咽頭結膜熱は23%減の80例で、大阪市北部0.79、南河内0.75、大阪市東部0.71であった。

インフルエンザは115%増の6,599例で、定点あたり報告数は21.64である。南河内は31.71で、警報レベルである30を超えた。北河内26.98、大阪市北部26.30、堺市22.86、大阪市西部21.07である。

新型コロナウイルス感染症は30%増の542例で、定点あたり報告数は1.78であった。大阪市北部2.65、南河内2.21、北河内1.90、泉州・大阪市南部1.85である。70歳以上の割合が、29%となり、前週より増加していた。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は34例で、前週より18例減少した。但し、定点あたり報告数は1.89と例年よりかなり多く、引き続き注意を要する状況である。

インフルエンザ



マイコプラズマ肺炎

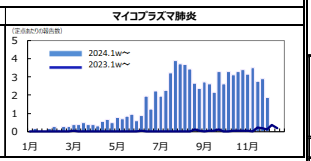


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第50週12月9日～12月15日）

第50週の順位	第49週の順位	感染症	2024年第50週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第50週の定点あたり報告数	2024年第50週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.19	1%増	5.50	10-14歳_12%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.88	14%増	5.51	10-14歳_17%
3	4	RSウイルス感染症	0.89	7%増	0.13	1歳_28%
4	3	手足口病	0.80	31%減	0.66	1歳_18%
5	5	咽頭結膜熱	0.41	23%減	2.44	1歳_22%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	21.64	115%増	19.72	20歳以上_26%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	1.78	30%増	2.49	80歳以上_16%

第50週のコメント

～百日咳～　　生後2か月からの予防接種が重要

全数把握感染症

百日咳

百日咳は、百日咳菌（*Bordetella pertussis*）による急性の気道感染症である。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり（カタル期）、百日咳特有の咳が出始める（痙咳期）。新生児や乳児早期では、肺炎、脳症を合併することがある。マクロライド系抗菌薬が有効であるが、近年、薬剤耐性菌も報告されている。百日咳の予防には、ワクチン接種が有効であり、乳幼児期に計4回接種されている。2018年1月1日に小児科定点把握感染症から全数把握感染症に変更され、成人の報告数の把握が進んでいる。

百日咳（国立感染症研究所）
百日咳（大阪府感染症情報センター）

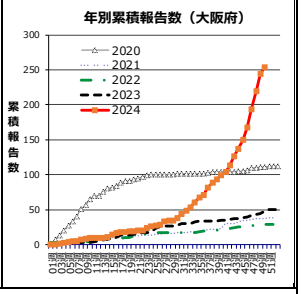


表２．大阪府全数報告数（2024年 第50週12月9日～12月15日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数	府内累積
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2							1	1		221
４類感染症	レジオネラ症（ポンティアック熱型）	1			1							112
	レジオネラ症（肺炎型）	1					1					
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3		1						2		171
	急性脳炎	1							1			16
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1		102
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1		1					1		237
	水痘（入院例）	1								1		31
	梅毒	12	1		1	1				9		1,861
	百日咳	9	1		4					4		253
結核（2024年10月分）	結核　新登録患者数：77名　（内　肺・喀痰塗抹陽性　36名）（府内累積報告数　873名、内　肺・喀痰塗抹陽性　328名）											

（2024年12月17日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）

2024年 第51週（12月16日～12月22日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ　警報レベルを大きく超える」

第51週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,862例であり、前週比4.9%減であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.06、1.79、0.96、0.57、0.42である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比3%減の991例で、南河内8.81、大阪市西部6.50、豊能5.91、中河内5.47、北河内5.20であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は5%減の350例で、北河内3.00、堺市2.63、大阪市南部2.11である。

RSウイルス感染症は9%増の189例で、大阪市西部2.20、大阪市北部2.14、北河内1.52であった。

手足口病は29%減の111例で、堺市1.00、豊能0.83、南河内0.69である。

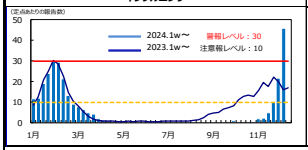
流行性角結膜炎は38%増の22例で、豊能1.40、大阪市北部0.80、三島0.75であった。

インフルエンザは111%増の13,953例で、定点あたり報告数は45.75で、警報レベル開始基準値30を超えた。コロナ禍前のインフルエンザ流行期以来の高値である。南河内63.63、大阪市西部53.80、堺市53.28、北河内52.66、大阪市北部50.40であった。大阪府ではAH1pdmが優位に検出されていた。

新型コロナウイルス感染症は61%増の874例で、定点あたり報告数は2.87である。堺市3.48、北河内3.46、大阪市北部3.35、豊能3.22、南河内3.00であった。全11ブロックで前週より増加した。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は29例で、前週より5例減少した。

インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症

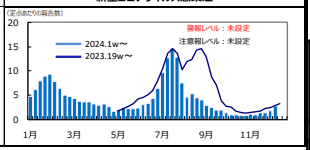


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第51週12月16日～12月22日）

第51週の順位	第50週の順位	感染症	2024年第51週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第51週の定点あたり報告数	2024年第51週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.06	3%減	4.95	1歳_13%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.79	5%減	4.98	10-14歳_16%
3	3	RSウイルス感染症	0.96	9%増	0.09	1歳未満_33%
4	4	手足口病	0.57	29%減	0.60	2歳_20%
5	6	流行性角結膜炎	0.42	38%増	0.52	20歳以上_59%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	45.75	111%増	15.77	20歳以上_29%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	2.87	61%増	2.92	80歳以上_13%

第51週のコメント

～梅毒～　大阪府における梅毒累計報告数は昨年同時期についで多く、全国では2021年7,978例、2022年13,221例、2023年14,906例と増加している。

全数把握感染症

梅毒

全国の梅毒の年間報告数は、2020年5,867例、2021年7,978例、2022年13,221例、2023年は過去最高の14,906例と増加している。大阪府においても、2023年は2,019例で現行の集計方法で過去最高の年間報告数であった。梅毒は、性行為・オーラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜の微細な傷口から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待できる。

梅毒とは(国立感染症研究所)
梅毒（大阪府感染症情報センター）

年別累積報告数（大阪府）

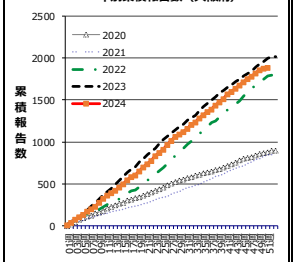


表２．大阪府全数報告数（2024年 第51週12月16日～12月22日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3			1	1				1	224
４類感染症	日本紅斑熱	1								1	17
５類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2							1	1	176
	急性脳炎	2							2		19
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1				103
	後天性免疫不全症候群	1								1	89
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2					1			1	65
	侵襲性肺炎球菌感染症	3							1	2	241
	水痘（入院例）	1								1	32
	梅毒	13	1	1	1		1		2	7	1,884
	百日咳	11	1		3	1	1		1	4	269
結核（2024年10月分）	結核　新登録患者数：77名（内　肺・喀痰塗抹陽性　36名）（府内累積報告数　873名、内　肺・喀痰塗抹陽性　328名）										

（2024年12月24日　集計分）

大阪府感染症発生動向調査週報　（速報）

2024年 第52週（12月23日～12月29日）～　2025年 第1週（12月30日～1月5日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ　高水準で流行続く」

2024年第52週と2025年第1週をあわせて報告する。今週の報告数は、年末年始休暇による診療実日数の減少を考慮する必要がある。

第52週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,784例であり、前週比4.2%減であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.90、1.58、1.09、0.48、0.44である。

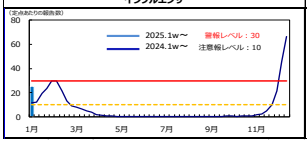
第1週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は275例であり、前週比84.6%減であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱・水痘・手足口病の順で、定点あたり報告数はそれぞれ0.70、0.31、0.24、0.04である。

第52週のインフルエンザは45%増の20,211例で、定点あたり報告数は66.27であった。第1週は62%減の7,658例で、定点あたり報告数は25.36である。大阪市西部122.33、大阪市北部46.84、南河内32.08、豊能30.53、泉州25.15であった。第52週は、現行の集計方法になってから、最高の報告数となった。

第52週の新型コロナウイルス感染症は28%増の1,120例で、定点あたり報告数は3.67であった。第1週は30%減の718例で、定点あたり報告数は2.38である。大阪市西部7.67、南河内3.50、泉州3.18、豊能2.67、堺市2.62であった。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は、第52週が前週より17例減の12例で、第1週は7例である。

インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症

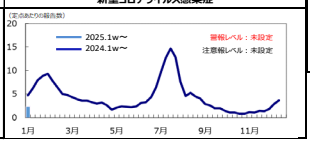


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2025年 第1週12月30日～1月5日）

第1週の順位	第52週の順位	感染症	2025年第1週の定点あたり報告数	前週比増減	2024年第1週の定点あたり報告数	2025年第1週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	0.70	86%減	2.48	20歳以上_25%
2	3	RSウイルス感染症	0.31	72%減	0.10	1歳未満_42%
3	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.24	85%減	1.53	8歳,20歳以上_13%
4	5	咽頭結膜熱	0.04	91%減	0.65	10-14歳_25%
4	7	水痘	0.04	86%減	0.15	7歳_43%
4	6	手足口病	0.04	89%減	0.34	5歳_43%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	25.36	62%減	11.67	20歳以上_63%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	2.38	36%減	4.72	50-59歳_15%

詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について(大阪府)」の情報をご覧ください。
詳細はリンク先の「新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)」の情報をご覧ください。

第1週のコメント

～侵襲性髄膜炎菌感染症～　大阪府の2024年（速報値）の累積報告数（11例）は、過去10年で最も多かった

全数把握感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症は、髄膜炎菌（*Neisseria meningitidis*）による侵襲性の感染症である。潜伏期は通常2～10日で、髄膜炎例では頭痛、発熱、髄膜刺激症状、痙攣、意識障害を示し、敗血症例では発熱、悪寒、ショック、播種性血管内凝固症候群（DIC）を呈する。髄膜炎ベルト（meningitis belt）とよばれるアフリカ中央部で発生が多く、日本では、学生寮等で集団発生の報告がある。治療には、ペニシリン系抗菌薬と第三世代セフェム系抗菌薬が有効である。患者との接触者には、緊急に、リファンピシンの予防投与が行われる。日本では、2015年より、4価髄膜炎菌（血清型A、C、Y、W-135）ワクチンの任意接種が開始されている。

髄膜炎菌性髄膜炎とは（国立感染症研究所）
侵襲性髄膜炎菌感染症（厚生労働省）

年別累積報告数

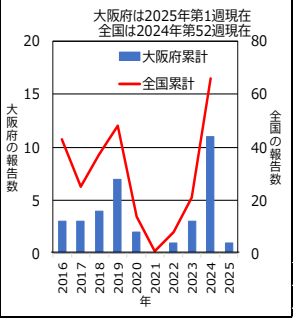


表２．大阪府全数報告数（2025年 第1週12月30日～1月5日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名（ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
４類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	1								1	1
５類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	1					1				1
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	1							1	2
	梅毒	1								1	1
	百日咳	3			1		1			1	3
結核（2024年11月分）	結核　新登録患者数：105名（内　肺・喀痰塗抹陽性　42名）（府内累積報告数　1,043名、内　肺・喀痰塗抹陽性　395名）										

（2025年1月7日　集計分）

VII　資　料

大阪府感染症発生動向調査事業実施要綱

(目的)

第１　大阪府は、感染症の発生に関する情報を迅速に収集・分析し、情報の提供・公開を行い、感染症に対する有効かつ的確な予防対策の確立に資するため、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成１０年法律第１１４号)第３章の規定、及び、「法の施行に伴う感染症発生動向調査事業の実施について」(平成１１年３月１９日健医発第４５８号厚生省保健医療局長通知)における「感染症発生動向調査事業実施要綱」に基づき、感染症発生動向調査を実施する。本要綱は、その実施にあたり、必要な事項を定めたものである。

(対象感染症)

第２　本事業の対象とする感染症は、次のとおりとする。

１　全数把握対象感染症

［一類感染症］

(1)エボラ出血熱　(2)クリミア・コンゴ出血熱　(3)痘そう　(4)南米出血熱　(5)ペスト　(6)マールブルグ病　(7)ラッサ熱

［二類感染症］

(8)急性灰白髄炎　(9)結核　(10)ジフテリア　(11)重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属ＳＡＲＳコロナウイルスであるものに限る。)　(12)中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属ＭＥＲＳコロナウイルスであるものに限る。)　(13)鳥インフルエンザ(Ｈ５Ｎ１)　(14)鳥インフルエンザ(Ｈ７Ｎ９)

［三類感染症］

(15)コレラ　(16)細菌性赤痢　(17)腸管出血性大腸菌感染症　(18)腸チフス　(19)パラチフス

［四類感染症］

(20)Ｅ型肝炎　(21)ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)　(22)Ａ型肝炎　(23)エキノコックス症　(24)エムポックス　(25)黄熱　(26)オウム病　(27)オムスク出血熱　(28)回帰熱　(29)キャサヌル森林病　(30)Ｑ熱　(31)狂犬病　(32)コクシジオイデス症　(33)ジカウイルス感染症　(34)重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属ＳＦＴＳウイルスであるものに限る。)　(35)腎症候性出血熱　(36)西部ウマ脳炎　(37)ダニ媒介脳炎　(38)炭疽　(39)チクングニア熱　(40)つつが虫病　(41)デング熱　(42)東部ウマ脳炎　(43)鳥インフルエンザ(Ｈ５Ｎ１及びＨ７Ｎ９を除く。)　(44)ニパウイルス感染症　(45)日本紅斑熱　(46)日本脳炎　(47)ハンタウイルス肺症候群　(48)Ｂウイルス病　(49)鼻疽　(50)ブルセラ症　(51)ベネズエラウマ脳炎　(52)ヘンドラウイルス感染症　(53)発しんチフス　(54)ボツリヌス症　(55)マラリア　(56)野兎病　(57)ライム病　(58)リッサウイルス感染症　(59)リフトバレー熱　(60)類鼻疽　(61)レジオネラ症　(62)レプトスピラ症　(63)ロッキー山紅斑熱

［五類感染症(全数)］
(64)アメーバ赤痢 (65)ウイルス性肝炎(Ｅ型肝炎及びＡ型肝炎を除く。) (66)カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 (67)急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。) (68)急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。) (69)クリプトスポリジウム症 (70)クロイツフェルト・ヤコブ病 (71)劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (72)後天性免疫不全症候群 (73)ジアルジア症 (74)侵襲性インフルエンザ菌感染症 (75)侵襲性髄膜炎菌感染症 (76)侵襲性肺炎球菌感染症 (77)水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。) (78)先天性風しん症候群 (79)梅毒 (80)播種性クリプトコックス症 (81)破傷風 (82)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (83)バンコマイシン耐性腸球菌感染症 (84)百日咳 (85)風しん (86)麻しん (87)薬剤耐性アシネトバクター感染症
[新型インフルエンザ等感染症]
(113)新型インフルエンザ (114)再興型インフルエンザ (115)新型コロナウイルス感染症 (116)再興型コロナウイルス感染症
[指定感染症]
該当なし

２ 定点把握対象感染症
[五類感染症(定点)]
(88)ＲＳウイルス感染症 (89)咽頭結膜熱 (90)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。) (91)Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (92)感染性胃腸炎 (93)急性出血性結膜炎 (94)クラミジア肺炎(オウム病を除く。) (95)細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。) (96)新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。) (97)水痘 (98)性器クラミジア感染症 (99)性器ヘルペスウイルス感染症 (100)尖圭コンジローマ (101)手足口病 (102)伝染性紅斑 (103)突発性発しん (104)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (105)ヘルパンギーナ (106)マイコプラズマ肺炎 (107)無菌性髄膜炎 (108)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (109)薬剤耐性緑膿菌感染症 (110)流行性角結膜炎 (111)流行性耳下腺炎 (112)淋菌感染症
[法第１４条第１項に規定する厚生労働省令で定める疑似症]
(117)発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

３ 法第１４条第８項の規定に基づく把握の対象

(118)発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものであって、病状の程度が重篤であるものが発生し、又は発生するおそれがあると判断し、大阪府知事が医療機関に法第１４条第８項に基づき届出を求めたもの。

(実施主体)

第３　本事業の実施主体は大阪府とし、次に定める組織をもって対応するものとする。

(組織)

第４　情報処理の総合的かつ円滑な推進を図るため、次の体制により実施する。

(１)大阪府感染症情報センター

次の事項を実施するため、大阪健康安全基盤研究所(以下、「大安研」という。)に大阪府感染症情報センターを置く。

①　中央感染症情報センター(国立感染症研究所感染症疫学センター)との連絡調整

②　大阪府全域における患者発生情報、疑似症の発生情報及び病原体情報の収集・分析

③　全国情報及び収集・分析した情報の一般社団法人大阪府医師会(以下、「医師会」という。)及び保健所等関係機関への還元

(２)検査実施機関

本事業における検査実施機関は、大安研および大阪府保健所検査課、国立感染症研究所、他自治体の地方衛生研究所とする。検査実施機関は、検査施設における病原体等検査の業務管理要領に基づき検査を実施し、検査の信頼性確保に努めることとする。

(３)指定届出機関及び指定提出機関(定点)

定点把握の対象疾病について、患者及び当該感染症により死亡した者(法第１４条第１項の厚生労働省令で定める五類感染症に限る。)の発生情報、疑似症の発生情報及び病原体の分離等の検査情報を収集するため、患者定点、病原体定点及び疑似症定点を医師会等関係機関の協力のもとにそれぞれ大阪府内の医療機関の中から選定する。

①　患者定点

対象疾病の患者発生状況を地域的に把握するため、人口及び医療機関の分布等を勘案の上、厚生労働省の示す基準に準拠し、小児科定点、インフルエンザ定点及び新型コロナウイルス感染症定点(以下「インフルエンザ/ COVID-19 定点」とする。)（小児科定点と内科定点)、眼科定点、性感染症定点、基幹定点を設置するものとする。

②　病原体定点

病原体の分離等検査情報を収集するため、次の点に留意して医療機関の中から選定する。原則と

して、患者定点として選定された医療機関の中から選定する。

小児科定点、インフルエンザ/COVID-19 定点、眼科定点の概ね１０％を目安として選定したもの及びすべての基幹定点を病原体定点とする。

なお、インフルエンザ病原体定点(指定提出機関)の選定にあたっては、小児科定点及び内科定点それぞれから、１０％以上を目安として選定する。

③ 疑似症定点

疑似症の発生状況を地域的に把握するため、人口及び医療機関の分布等を勘案の上、厚生労働省の示す基準に準拠し、疑似症定点を設置するものとする。

(４)大阪府感染症発生動向調査委員会

感染症に関する情報についての分析並びに感染症の発生の状況、動向及び原因に関する情報並びに当該感染症の予防及び治療に必要な情報の公表について報告・検討、意見交換を行うため、「大阪府感染症発生動向調査委員会」を設置する。

(５)大阪感染症情報解析委員会

大安研は、感染症の発生状況、動向及び病原体情報等を解析し、感染症の予防及びまん延の防止に資するため、専門家の意見聴取及び意見交換を行うことを目的とする「大阪感染症情報解析委員会」を設置する。

(事業の実施)

第５ 本事業の実施にあたっては、本庁(健康医療部)、大阪府感染症情報センター(大安研)及び府保健所にコンピューターを設置し構築した、オンラインシステム(感染症サーベイランスシステム等)を活用する。

(１)調査単位及び実施方法

① 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症(第２の(75)、(85)及び(86))、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症の患者等を診断又は検案した医師は、直ちに最寄りの保健所に該当する感染症の届出様式により患者等の情報の届出を行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により行って差し支えない。

全数把握対象の五類感染症(第２の(75)、(85)及び(86)を除く。)の患者等を診断又は検案した医師は、診断後７日以内に最寄りの保健所に該当する感染症の届出様式により患者等の情報の届出を行う。さらに必要に応じて、検体を確保し、保健所の求めに応じ、患者情報と共に提供する。。

小児科定点(第２の(88)、(89)、(91)、(92)、(97)、(101)～(103)、(105)及び(111))、インフルエンザ/COVID-19 定点(90)及び（96)、眼科定点(93)及び(110)、基幹定点((92)のうち病原体がロタウイルスであるもの、(90) 及び(96)のうち入院患者に限定されるもの、(94)、(95)、(106)及び(107))の

患者情報については一週間(月曜日から日曜日まで)を調査単位とし、保健所に報告をする。

性感染症定点(第２の(98)～(100)及び(112))及び、基幹定点((104)、(108)及び(109))の患者情報については１か月を調査単位とし、保健所に報告をする。。

② 病原体検査情報については、原則として１か月を調査単位とするが、(90)については、定点あたりの患者発生数が１を超える時期には、１週間を調査単位とする。

③ 結核については、①に定めるところとは別に情報の収集を図るものとするが、その結果は、新登録者に関しては月報、登録除外者に関しては年報、登録者の全体に関しては年末現在につき年報として取りまとめるものとする。

(２)患者定点となる医療機関

患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時における別に定める報告基準により、患者発生状況の把握を行うものとする。

小児科定点、インフルエンザ/COVID-19 定点、眼科定点、性感染症定点及び基幹定点においては、該当する定点の届出様式によりそれぞれ調査単位の患者発生状況等を報告する。なお、(90) 及び(96)について基幹定点における届出基準は、入院患者に限定されることに留意する。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により行って差し支えない。。

(３)病原体定点となる医療機関

病原体定点として選定または指定された医療機関は、別に定める感染症発生動向調査事業病原体検査指針(感染症発生動向調査　病原体サーベイランスについて)により、検体を採取し、別記様式の検査票を添えて検査機関(大安研)へ提出する。。

(４)疑似症定点

疑似症定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、診療時における別に定める報告基準により、直ちに疑似症発生状況の把握を行うものとする。

疑似症定点においては、原則として感染症サーベイランスシステムへの入力により、疑似症の発生状況等を報告し、保健所に随時、電話連絡を入れる。ただし、疑似症定点において感染症サーベイランスシステムへの入力を実施することができない場合は、当該疑似症定点から得られた疑似症情報を、直ちに保健所が感染症サーベイランスシステムに入力する。

(５)保健所

① 届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、オンラインシステムの入力環境がない医師からの届出である場合には、直ちにオンラインシステムに届出内容を入力する。

② 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び五類感染症(全数)の当該患者を診断した医師から届出があった場合など、感染症の発生を予防し、又は感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするため必要があると認める場合には、病原体の検査を大安研に依頼する。大安研で実施することが困難なものについては、必要に応じて、本庁を通じて国立

感染症研究所に検査を依頼する。

③　医療機関等に検体等の提供を依頼し、その求めに応じない場合は勧告することが出来る。検体採取に際しては、患者に説明し、その同意を得ることが望ましい。

（６)大安研

①　感染症のまん延を防止するため、保健所より依頼のあった病原体の検体を検査し、その結果を保健所を経由して、診断した医師に通知する。検査のうち、大安研で実施することが困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。

②　病原体定点より検体を受付・回収し、検査実施、その結果を本庁を経由して病原体定点に通知する。

③　大阪府の感染症発生動向を把握するため、他検査施設で検出した菌株等を郵送等で収集し、必要に応じて再同定や型別等、追加検査を実施する。

(７)大阪府感染症情報センター

①　管内の患者定点及び保健所から収集した患者情報は別途定める日までにオンラインシステムにより中央感染症情報センターへ報告する。

②　管内の患者定点から収集した患者情報の集計や検査情報を大阪感染症情報解析委員会において解析評価し、その評価結果を速やかに週報として、また、性感染症の患者情報の集計及び解析結果については、月報として定点医療機関、保健所、医師会及び市町村等の関係機関へ還元する。

③　前項の①及び②により検査された検査情報、管内病原体定点で採取の検査情報を本庁等へ適宜報告するとともに、オンラインシステムにより中央感染症情報センターに報告する。

④　特定症例の多発等、感染症事象発生の端緒を感知、広域的な状況把握や一定の分析を行うため、行政等関係機関と連携し、感染症情報・疫学情報の収集解析に協力する。

(８)本庁

　大阪府感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、本庁は直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。

第６　その他

本実施要綱に定める事項以外の内容については、必要に応じて健康医療部長が定めることとする。

附則

(施行期日)

１　この実施要綱は、昭和６２年１月１日から実施する。

(要綱の廃止)

１　大阪府感染症サーベイランス事業実施要綱は廃止する。

附則

«略»

この実施要綱の一部改正は、平成２７年５月２１日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、平成２８年２月１５日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、平成２８年４月１日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、平成２９年４月３日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、平成３０年１月１日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、平成３０年５月１日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、平成３１年４月１日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、令和２年２月１月から施行する。

この実施要綱の一部改正は、令和３年２月１０日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、令和４年 10 月 31 日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、令和５年５月８日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、令和５年５月２６日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、令和５年９月２５日から施行する。

大阪府感染症発生動向調査委員会設置要綱

（趣旨）

第一条　この要綱は、大阪府感染症発生動向調査委員会（以下「委員会」という。）の組織、委員の報酬及び費用弁償の額その他委員会に関し必要な事項を定めるものとする。

（職務）

第二条　委員会は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成十年法律第百十四号)第十二条から第十五条の三までの規定により収集した感染症に関する情報についての分析、感染症の発生の状況、動向及び原因に関する情報並びに当該感染症の予防及び治療に必要な情報の公表について、報告・検討、意見交換を行うものとする。なお、この会で知り得た個人情報・データ等については、許可なく使用してはならない。

（組織）

第三条　委員会は、委員二十人以内で組織する。

２　委員は、次に掲げる者のうちから、保健医療室長（以下「室長」という。）が任命する。

一　学識経験のある者

二　医療関係団体、医療施設等の代表者

三　関係行政機関の職員

四　前三号に掲げる者のほか、室長が適当と認める者

３　委員（関係行政機関の職員のうちから任命された委員を除く。）の任期は、三年とする。ただし、再任は妨げない。また、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会議）

第四条　委員会の会議は大阪府が招集する。

２　委員会は原則、年１回、開催するものとする。

（報酬）

第五条　委員の報酬の額は、附属機関委員等の報酬の額に準じ支払うものとする。

（費用弁償）

第六条　委員の費用弁償の額は、職員の旅費に関する条例（昭和四十年大阪府条例第三十七号）による指定職等の職務にある者以外の者の額相当額とする。

（庶務）

第七条　委員会の運営及び事務は健康医療部と大阪府感染症情報センターが行う。

（委任）

第八条　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、感染症情報センターが定める。

附　則

この要綱は、平成 28 年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、平成 28 年６月 15 日から施行する。

附　則

この要綱は、平成 29 年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、令和５年５月８日から施行する。

大阪府感染症発生動向調査委員会名簿（五十音順）

（2025年3月31日現在）

委　員　名	所　　属
磯ノ上　正明	大阪皮膚科医会
岩佐　厚	大阪泌尿器科臨床医会
大平　真司	大阪府医師会
木下　優	大阪府保健所長会
塩見　正司	大阪府医師会
冨吉　泰夫	大阪小児科医会
中山　浩二	大阪市保健所
早川　潤	大阪産婦人科医会
東野　博彦	大阪府医師会
宮浦　徹	大阪府眼科医会
宮川　松剛	大阪府医師会
三宅　眞実	大阪公立大学
安井　良則	大阪府済生会中津病院

大阪感染症情報解析委員会運営要綱

（趣旨）

第一条　この要綱は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所（以下「大安研」という。）が大阪府から受託した「大阪府感染症発生動向調査事業」のうち、大阪感染症情報解析委員会（以下「委員会」という。）を運営するにあたり、組織、委員の報酬及び費用弁償の額その他委員会に関し必要な事項を定めるものとする

（職務）

第二条　委員会は大阪府感染症発生動向調査事業実施要綱第４（５）に基づき感染症の発生状況、動向及び病原体等の情報を解析し、感染症の予防及びまん延の防止に資するため専門家の意見聴取及び意見交換を行うものとする。

（組織）

第三条　委員会は、委員１２人以内で組織する。

２　委員は、次に掲げる者のうちから理事長が任命する。

一　小児科、内科、眼科、性感染症科等の医師、疫学の専門家、細菌学、ウイルス学の専門家等

二　大安研により選定された者

３　委員会は前項の委員および大阪府感染症情報センター員、オブザーバーとして大阪府内各市より参加の感染症発生動向調査事業担当者により組織する。オブザーバーは、委員会において意見を述べることは出来るが、決定権はないものとする。

４　委員（関係行政機関の職員のうちから任命された委員を除く。）の任期は、三年とする。ただし、再任は妨げない。また、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第四条　委員会に委員長を置き、第三条第２項の委員の互選によってこれを定める。

２　委員長は、委員会の議事を進行する。

３　委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第五条　委員会の会議は大安研が招集し、委員長がその議長となる。

2　委員会は、必要に応じ、委員以外の者から意見を聴くことができる。

3　委員会は原則、毎週１回開催するものとし、その庶務は大阪府感染症情報センターにおいて行う。

（報酬）

第六条　委員の報酬の額は、大阪府附属機関委員の報酬区分Ｃに準ずるものとする。

2　前項の報酬は、出席日数に応じて、その都度支給する。

3　委員のうち、次に掲げる者に対しては、報酬を支給しない。

一　地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所職員

二　大阪府の経済に属する常勤の職員

三　大阪市の経済に属する常勤の職員

（費用弁償）

第七条　委員の費用弁償の額は第六条第１項の報酬に含まれるものとする。ただしそれにより難いときは、大阪府と協議の上、別途支給できるものとする。

2　前項の委員の費用弁償の額は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所職員等旅費規程による役員以外の者の額相当額とする。

3　前項の費用弁償の支給についての路程は、住所地の市町村から起算する。

4　前二項の規定にかかわらず、委員のうち第六条第３項第二号及び第三号に規定する職員の費用弁償の額は、その者が当該職員として公務のため旅行した場合に支給される旅費相当額とする。

（委任）

第八条　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則

この要綱は平成 ２９（2017）年４月１日から施行する。

この要綱は ２０１９年４月１日から施行する。

大阪感染症情報解析委員会名簿

（2025年3月31日現在）

委　員　名	所　　属
○ 本村　和嗣	大阪健康安全基盤研究所
國吉　裕子	大阪市保健所
山本　憲	堺市衛生研究所
安井　良則	大阪府済生会中津病院
塩見　正司	大阪府医師会
東野　博彦	大阪府医師会
冨吉　泰夫	大阪小児科医会
宮浦　徹	大阪府眼科医会
平井　佑治	大阪健康安全基盤研究所
廣井　聡	大阪健康安全基盤研究所
三山　豪士	大阪健康安全基盤研究所
皐月　由香	大阪健康安全基盤研究所

○：委員長

VIII　指定届出機関一覧

感染症発生動向調査指定届出機関（内科定点） 2024 年 12 月末現在

ブロック名	保健所	医 療 機 関 名	電話番号	所　在　地
豊能	池田	医療法人尽久会　久原医院	072-737-5031	箕面市箕面6-10-43
	池田	(医)来香理会　内科外科にいみ医院	072-735-7150	箕面市小野原西5-12-32
	池田	箕面市立病院	072-728-2001	箕面市萱野5-7-1
	豊中市	谷野医院	06-6852-1271	豊中市曽根西町3-7-8
	豊中市	大塚医院	06-6334-0005	豊中市庄内東町1-7-10土井ビル2F
	豊中市	滝広内科医院	06-6846-7272	豊中市西緑丘3-26-28
	豊中市	(医)前防医院	06-6333-0348	豊中市豊南町南1-1-11
	豊中市	沢村内科	06-6872-0323	豊中市新千里北町2-21-2
	吹田市	さたけ内科クリニック	06-6821-5640	吹田市佐井寺4-11-16ラフィーネ千里1階
	吹田市	井波医院	06-6388-0705	吹田市片山町3-37-3
	吹田市	いのうえクリニック	06-6319-1515	吹田市昭和町13-1
	吹田市	(医)積善会 小林内科・心療内科	06-6831-1133	吹田市藤白台2-4-6
	吹田市	(医)三裕会 三谷医院	06-6384-7806	吹田市江坂町3-18-5
	池田	堀口循環器内科	072-753-3090	池田市室町2-2
三島	茨木	(医)香梅会 マツイ医院	06-6381-4033	摂津市正雀本町2-18-26
	茨木	茂松整形外科	072-633-8801	茨木市真砂3-12-19
	茨木	中村医院	072-625-3591	茨木市太田1-13-26
	茨木	(医)ベッチャククリニック	072-635-1021	茨木市中総持寺町12-2
	茨木	(医)やまもとクリニック	072-645-5166	茨木市永代町7-10川崎ビル2階
	高槻市	高橋医院	072-661-3831	高槻市藤の里町24-29
	高槻市	津久田医院	072-692-2266	高槻市栄町3-7-18
	高槻市	冨永クリニック	072-690-3355	高槻市南平台3-29-18
	高槻市	(医)愛基会黒川医院	072-687-0373	高槻市日吉台一番町16-1
	高槻市	大阪医科薬科大学病院	072-683-1221	高槻市大学町2-7
北河内	枚方市	(医)せのお内科	072-855-3377	枚方市東船橋1-41
	枚方市	かいとクリニック	072-897-1001	枚方市津田西3-17-3
	枚方市	青井内科	072-840-4505	枚方市田口2-27-31
	枚方市	(医)優和会 関根医院	072-845-1511	枚方市山之上4-1-1
	枚方市	市立ひらかた病院内科	072-847-2821	枚方市禁野本町2-14-1
	寝屋川市	(医)伊与田内科	072-832-3500	寝屋川市香里南之町35-5
	寝屋川市	(医)山下医院	072-826-0797	寝屋川市成美町2-1
	寝屋川市	山下クリニック	072-821-6937	寝屋川市萱島信和町18-12
	守口	(医)誠心会　森口医院	06-6991-0593	守口市大枝西町15-8
	守口	益田診療所	06-6901-0231	門真市大倉町3-6
	守口	松下記念病院	06-6992-1231	守口市外島町5-55
	守口	関西医科大学総合医療センター	06-6992-1001	守口市文園町10-15
	四條畷	(医)河野医院	072-876-0241	四條畷市楠公2-10-12
	四條畷	(医)林内科医院	072-878-8191	四條畷市岡山東2-1-23
	四條畷	(医)愛光会 竹本クリニック	072-872-0230	大東市中垣内1-3-6
	四條畷	岡崎医院	072-871-6316	大東市御供田4-1-5

感染症発生動向調査指定届出機関（内科定点）　2024 年 12 月末現在

ブロック名	保健所	医 療 機 関 名	電話番号	所　在　地
中河内	八尾市	藤原医院	072-941-8082	八尾市服部川7-49
	八尾市	(医)うめもと循環器内科クリニック	072-998-1715	八尾市安中町3-5-14JR八尾クリニックビル2F
	八尾市	(医)阪本医院	072-941-3222	八尾市山畑5-1
	八尾市	(医)松樹会 松本クリニック	072-970-6421	八尾市南本町4-1-11
	八尾市	(医)朋侑会 吉田クリニック	072-925-5388	八尾市山本高安町2-1-3
	東大阪市	医療法人奥会　奥医院	06-6721-1324	東大阪市柏田本町3-8
	東大阪市	医療法人中和会　中西医院	06-6781-6406	東大阪市小阪2-4-23
	東大阪市	地方独立行政法人　市立東大阪医療センター(内科)	06-6781-5101	東大阪市西岩田3-4-5
	東大阪市	医療法人弘仁会　坂本医院	072-981-1551	東大阪市御幸町11-3
	東大阪市	家出医院	072-988-1033	東大阪市横小路町5-9-47
	東大阪市	医療法人　きむらクリニック	06-6721-9250	東大阪市友井5-4-43
南河内	藤井寺	(医)御勢医院	072-331-2345	松原市天美東8-2-29
	藤井寺	阪南医療福祉センター阪南中央病院	072-333-2100	松原市南新町3-3-28
	藤井寺	(医)真貴会 池田医院	072-955-0720	藤井寺市藤井寺2-5-20
	藤井寺	(地独)大阪はびきの医療センター	072-957-2121	羽曳野市はびきの3-7-1
	富田林	(医)中平医院	0721-26-1658	富田林市若松町西1-1845-3
	富田林	(医)PL病院	0721-24-3100	富田林市新堂2204
	富田林	(医)砂川医院	0723-67-1238	大阪狭山市池尻北1-1-5
	富田林	今井内科小児科医院	0723-66-1061	大阪狭山市池尻自由が丘1-3-24
堺市	堺市	森クリニック	072-363-2662	堺市美原区大保16-1
	堺市	医療法人面川外科胃腸科	072-271-1801	堺市西区平岡町280-2
	堺市	松井医院	072-261-1688	堺市西区浜寺元町5-514
	堺市	中野医院	072-296-5726	堺市南区三原台3-39-20
	堺市	医療法人　杉山クリニック	072-276-1717	堺市中区深井沢町3294
	堺市	大阪労災病院	072-252-3561	堺市北区長曽根町1179-3
	堺市	秀峰会　岡原診療所	072-286-6110	堺市東区日置荘原寺町43-1
	堺市	藤田医院	072-251-4110	堺市北区南花田町302-14
	堺市	(地独)堺市立病院機構　堺市立総合医療センター	072-272-1199	堺市西区家原寺町1丁1番1号
	堺市	たちばな内科クリニック	072-244-8800	堺市堺区緑ヶ丘南町3丁2-18

感染症発生動向調査指定届出機関（内科定点） 2024 年 12 月末現在

ブロック名	保健所	医 療 機 関 名	電話番号	所　在　地
泉州	和泉	寺本医院	0725-32-1848	泉大津市旭町12-12
	和泉	(医)油谷会　油谷クリニック	0725-32-5111	泉大津市豊中町2-5-10
	和泉	(医)久我胃腸科内科	0725-41-6700	和泉市府中町7-5-3
	和泉	(医)泉林会　林医院	0725-45-0040	和泉市尾井町1-9-12
	和泉	岡内科クリニック	072-267-2614	高石市東羽衣5-7-4
	岸和田	毛利医院	072-431-1716	岸和田市本町8-11
	岸和田	なかたクリニック	072-422-0141	貝塚市近木町20-24
	岸和田	西村内科	072-443-8030	岸和田市中井町2-4-7
	岸和田	(医)池添医院	072-422-0841	岸和田市別所町1-11-10
	泉佐野	山上医院	072-483-2501	泉南市樽井6-10-7
	泉佐野	玉井内科クリニック	072-472-7373	阪南市尾崎町2-12-11
	泉佐野	武井医院	072-462-7755	泉佐野市本町6-27
	泉佐野	(地独)りんくう総合医療センター	072-469-3111	泉佐野市りんくう往来北2-23
大阪市北部	大阪市	大阪市立総合医療センター	06-6929-1221	大阪市都島区都島本通2-13-22
	大阪市	(医)中尾医院	06-6322-6816	大阪市東淀川区菅原5-7-11
	大阪市	柴医院	06-6951-6085	大阪市旭区大宮3-8-16
	大阪市	市立十三市民病院	06-6150-8000	大阪市淀川区野中北2-12-27
	大阪市	(医)寺岡内科医院	06-6399-0671	大阪市淀川区東三国6-19-8
	大阪市	(医)福愛会いんべ診療所	06-6922-2526	大阪市都島区毛馬町1-8-4
大阪市西部	大阪市	宮下医院	06-6462-0304	大阪市此花区梅香3-22-14
	大阪市	四ツ橋診療所	06-6532-0148	大阪市西区新町1-22-9
	大阪市	大塚医院	06-6571-0977	大阪市港区市岡2-6-21
	大阪市	本山診療所	06-6551-3812	大阪市大正区泉尾1-2-19
	大阪市	(医)北野クリニック	06-6471-2916	大阪市西淀川区出来島1-4-18
大阪市東部	大阪市	大阪警察病院	06-6771-6051	大阪市天王寺区北山町10-31
	大阪市	(医)徳田クリニック	06-6561-2660	大阪市浪速区桜川2-11-28
	大阪市	(医)長田医院	06-6973-5500	大阪市東成区深江南1-10-8ピア・メゾン深江1F
	大阪市	正木クリニック	06-6741-5546	大阪市生野区桃谷2-18-9
	大阪市	おのい深江橋診療所	06-6967-2020	大阪市城東区永田4-11-14
	大阪市	(医)杉岡内科医院	06-6968-6632	大阪市鶴見区今津中5-6-26
	大阪市	大阪医療センター	06-6942-1331	大阪市中央区法円坂2-1-14
大阪市南部	大阪市	(医)純正会　鶴ヶ丘東診療所	06-6693-2101	大阪市阿倍野区西田辺2-9-8
	大阪市	(地独)大阪急性期・総合医療センター	06-6692-1201	大阪市住吉区万代東3-1-56
	大阪市	医療法人河南医院	06-6691-1322	大阪市住吉区遠里小野1-12-9
	大阪市	わたべクリニック	06-6609-6633	大阪市住吉区万代東1-4-12
	大阪市	(医)田島医院	06-6719-5502	大阪市東住吉区西今川1-6-16
	大阪市	(医)隈本会　隈本医院	06-6651-1551	大阪市西成区千本北2-32-35
	大阪市	(医)健生会　宮武医院	06-6683-5050	大阪市住之江区新北島1-9-23
	大阪市	(医)長吉総合病院	06-6709-0301	大阪市平野区長吉長原1-2-34
	大阪市	いぬいクリニック	06-6706-0551	大阪市平野区喜連東3-5-60

感染症発生動向調査指定届出機関（小児科定点） 2024 年 12 月末現在

ブロック名	保健所	医 療 機 関 名	電話番号	所 在 地
豊能	池田	たむらこどもクリニック	072-741-8143	池田市畑1丁目1－10
	池田	市立池田病院小児科	072-751-2881	池田市城南3-1-18
	池田	(医)石田クリニック	072-727-1177	箕面市小野原東4-27-33
	池田	医療法人社団DEN みいクリニックみのお	072-737-9275	箕面市箕面6-7-45-2階
	池田	(医)島こどもクリニック	072-720-0550	箕面市箕面6-4-46-203
	池田	箕面市立病院小児科	072-728-2001	箕面市萱野5-7-1
	豊中市	医療法人雄々会 ドクターしんのこどもクリニック	06-6865-7722	豊中市服部本町2-2-3 申ビル2階
	豊中市	西村医院	06-6852-5010	豊中市夕日丘1-1-3シュリー豊中1階
	豊中市	鳥辺医院	06-6872-0161	豊中市新千里東町3-5-4
	豊中市	医療法人 ふじかわ小児科	06-4865-5020	豊中市緑丘4丁目1番2号 イオンタウン豊中緑丘2F
	豊中市	やびく医院	06-6850-3330	豊中市曽根東町1-9-6
	豊中市	キッズクリニックやまもと	06-6872-9595	豊中市新千里北町2-33-1
	豊中市	佐守小児科	06-6845-6123	豊中市宮山町4-1-21
	豊中市	ソノ内科小児科	06-6848-0057	豊中市西緑丘3-13-16
	豊中市	ちさきこどもクリニック	06-6836-5111	豊中市上新田3-10-38
	吹田市	清水医院	06-6382-5134	吹田市高浜町10-28
	吹田市	大阪府済生会吹田病院小児科	06-6382-1521	吹田市川園町1-2
	吹田市	(医)山上小児科クリニック	06-6378-2301	吹田市上山手町30-6センチュリー上山手101号
	吹田市	大阪府済生会千里病院小児科	06-6871-0121	吹田市津雲台1-1-6
	吹田市	市立吹田市民病院小児科	06-6387-3311	吹田市岸部新町5-7
	吹田市	たなか小児科クリニック	06-6378-9990	吹田市竹谷町36-6
	吹田市	ほそいがくこども診療所	06-6155-0255	吹田市古江台4-2-60千里ノルテビル5階
三島	茨木	すぎた子どもクリニック	072-645-7333	茨木市見付山1丁目1-40-8
	茨木	(医)はら小児科クリニック	072-646-5532	茨木市学園南町14番20号
	茨木	小原医院	072-641-3237	茨木市下井町2-5
	茨木	しばさき小児科	072-626-9011	茨木市下穂積1-3-101ホワイトハウス穂積
	茨木	さくらクリニック	075-962-0771	三島郡島本町広瀬4丁目22番1号
	茨木	西里医院	072-623-6566	茨木市総持寺駅前町6-8
	茨木	橋本こどもクリニック	072-631-9001	茨木市太田3-21-17
	茨木	医療法人恵仁会 田中病院小児科	072-635-5831	茨木市東奈良3-16-31
	茨木	友紘会総合病院小児科	072-641-2488	茨木市西豊川町25番1号
	高槻市	おぎはらこども医院	072-690-1022	高槻市川添2-26-1
	高槻市	かわもとこどもクリニック	072-676-7601	高槻市登町18-1
	高槻市	おおくま医院	072-684-0363	高槻市天神町2-6-20
	高槻市	(社)愛仁会高槻病院	072-681-3801	高槻市古曽部町1-3-13
	高槻市	(社)祐生会みどりヶ丘病院	072-681-5717	高槻市真上町3-13-1
	高槻市	大阪医科薬科大学病院	072-683-1221	高槻市大学町2-7
	高槻市	あまの小児科	072-689-5288	高槻市日吉台五番町6-10
	高槻市	(医)まつしたクリニック	072-661-0415	高槻市城西町5-17ジェネラス8th-103

感染症発生動向調査指定届出機関（小児科定点）2024 年 12 月末現在

ブロック名	保健所	医 療 機 関 名	電話番号	所　在　地
北河内	枚方市	(医)保坂小児クリニック	072-854-0413	枚方市香里ケ丘3-12-1
	枚方市	(医)おがた小児科	072-845-2626	枚方市伊加賀南町5-4
	枚方市	うにし小児科	072-841-2579	枚方市岡東町3-7
	枚方市	(医)おがわファミリークリニック	072-850-8080	枚方市養父西町32-8
	枚方市	(医)七美会　すこやか小児科	072-850-2117	枚方市長尾西町1-20-10
	枚方市	枚方公済病院　小児科	072-858-8233	枚方市藤阪東町1-2-1
	枚方市	(医)にしだ小児クリニック	072-808-5511	枚方市津田駅前1丁目13－8
	枚方市	市立ひらかた病院小児科	072-847-2821	枚方市禁野本町2-14-1
	寝屋川市	なかのこどもクリニック	072-838-5700	寝屋川市大利町21-2　寝屋川大利メディカルガーデンズ2階
	寝屋川市	(医)香博会　安原こどもクリニック	072-832-2211	寝屋川市香里新町22-6　メディカルプラザ香里新町3F
	寝屋川市	(医)藤野医院	072-831-0760	寝屋川市香里新町20-14
	寝屋川市	小松病院	072-823-1521	寝屋川市川勝町11-6
	寝屋川市	(医)えびな小児科クリニック	072-811-2268	寝屋川市打上元町12-35
	寝屋川市	関西医科大学香里病院	072-832-5321	寝屋川市香里本通町8-45
	守口	関西医科大学総合医療センター	06-6992-1001	守口市文園町10-15
	守口	(医)高井クリニック	06-6916-8000	守口市金田町5-4-32
	守口	松下記念病院	06-6992-1231	守口市外島町5-55
	守口	はすい小児科	06-6995-4789	門真市向島町3-35 ベアーズ2F　34A
	守口	よしはら小児科クリニック	072-882-0321	門真市岸和田3-36-10サンピカA　101A号
	守口	(医)松下こどもクリニック	06-6906-1188	門真市末広町18-9
	四條畷	小巣医院	072-891-2006	交野市星田5-10-5
	四條畷	(医)寺嶋・塚田こどもクリニック	072-893-3141	交野市天野が原町5丁目14-2
	四條畷	(福)京慈会　いるかこどもクリニック	072-862-1188	四條畷市岡山東2-3-28
	四條畷	(医)小林小児科内科クリニック	072-870-7800	大東市赤井2-2-21
	四條畷	(医)京慈会　こにし小児科クリニック	072-873-0081	大東市末広町7-7メディカルプラザ
	四條畷	(医)井上産婦人科クリニック	072-872-3511	大東市氷野1-8-26
中河内	八尾市	山本診療所	072-998-3448	八尾市山本町南3-5-21
	八尾市	八木小児科	072-928-7711	八尾市高安町北7-23
	八尾市	(医)徳洲会八尾徳洲会総合病院小児科	072-993-8501	八尾市若草町1-17
	八尾市	しもやま小児科	072-928-1802	八尾市安中町3-5-14JR八尾クリニックビル3階
	八尾市	(医)優医会　ひょうり小児科	072-925-2888	八尾市山本町1-3-20やまもとクリニックビル3階
	八尾市	(医)あかの小児科	072-990-5556	八尾市光町1-26片岡第4ビル2階
	藤井寺	市立柏原病院	072-972-0885	柏原市法善寺1-7-9
	藤井寺	(医)にしむら小児科	072-978-6597	柏原市国分本町3-9-3
	東大阪市	医療福祉生活協同組合おおさか　東大阪生協病院	06-6726-1181	東大阪市長瀬町1-7-7
	東大阪市	医療法人正仁会　杉原小児科	06-6722-2000	東大阪市近江堂2-10-39
	東大阪市	竹村小児科	06-6725-4130	東大阪市菱屋西3-4-17
	東大阪市	医療法人千誠会　もしもしキッズクリニック	06-6618-7111	東大阪市御厨西ノ町1-5-14
	東大阪市	医療法人　大久保小児科医院	072-984-1118	東大阪市西石切町1-11-20-2F
	東大阪市	医療法人青廉会　藤戸小児科	072-985-1218	東大阪市日下町3-2-35
	東大阪市	医療法人広潤会　竹村こどもクリニック	072-960-7807	東大阪市岩田町1-8-28
	東大阪市	医療法人河内友紘会　河内総合病院	072-965-0731	東大阪市横枕1-31
	東大阪市	医療法人　尾﨑医院	072-961-2518	東大阪市岩田町4-3-5
	東大阪市	長谷川医院	072-961-2074	東大阪市松原1-15-21
	東大阪市	地方独立行政法人　市立東大阪医療センター(小児科)	06-6781-5101	東大阪市西岩田3-4-5

感染症発生動向調査指定届出機関（小児科定点）　2024 年 12 月末現在

ブロック名	保健所	医 療 機 関 名	電話番号	所　在　地
南河内	藤井寺	阪南中央病院小児科	072-333-2100	松原市南新町3-3-28
	藤井寺	(医)石田会　石田診療所	072-330-5570	松原市別所3-17-22
	藤井寺	(医)ほづみ小児科クリニック	072-337-1811	松原市天美我堂4-61-1
	藤井寺	ふくしまこどもクリニック	072-338-2911	松原市岡2-7-3
	藤井寺	(医)田中小児科	072-938-5288	羽曳野市野々上2-24-19
	藤井寺	(地独)大阪はびきの医療センター	072-957-2121	羽曳野市はびきの3-7-1
	藤井寺	医療法人青山会 青山こどもクリニック	072-937-0100	藤井寺市野中4-16-32 野中クリニックビル1階
	富田林	(医)ふじおか小児科	0721-28-8671	富田林市久野喜台2-15-26
	富田林	(医)PL病院	0721-24-3100	富田林市新堂2204
	富田林	なかじまこどもクリニック	0721-40-2501	富田林市津々山台2-10-1-102
	富田林	みなみうら小児科	0721-23-8806	富田林市川面町2-3-12パレスイイダ1階
	富田林	独立行政法人国立病院機構　大阪南医療センター	0721-53-5761	河内長野市木戸東町2-1
	富田林	(医)西村小児科	0721-56-1770	河内長野市木戸1-6-1
	富田林	矢ケ崎小児科・アレルギー科	0721-60-3300	河内長野市三日市町56-16
	富田林	近畿大学医学部附属病院	0723-66-0221	大阪狭山市大野東377-2
	富田林	さわもと小児科	0721-93-7723	南河内郡河南町東山691-2
堺市	堺市	樋上小児科	072-273-7100	堺市西区鳳東町2-164-5
	堺市	社会医療法人清恵会　清恵会病院小児科	072-223-8199	堺市堺区南安井町1-1-1
	堺市	明和会　八木医院	072-293-6223	堺市南区高倉台3-3-2
	堺市	いしいこどもクリニック	072-270-7415	堺市西区上野芝町2－3－18　上野芝クリニックモール3階
	堺市	医真会　あかざわ小児科	072-297-7771	堺市南区御池台3-2-4
	堺市	上野内科・小児科クリニック	072-232-1314	堺市堺区南三国ヶ丘町1丁1－13
	堺市	あさだこどもクリニック	072-290-7515	堺市中区福田1100-67
	堺市	将正会　山口こどもクリニック	072-295-7270	堺市南区鴨谷台2-1-5 サンピア2番館2階
	堺市	かなざきこどもクリニック	072-289-3100	堺市中区土塔町3327
	堺市	ベルランド総合病院小児科	072-234-2001	堺市中区東山500-3
	堺市	一隅会　川上クリニック	072-250-6211	堺市北区北花田町4-99-15
	堺市	大阪労災病院小児科	072-252-3561	堺市北区長曽根町1179-3
	堺市	いけだこどもクリニック	072-250-4152	堺市北区北花田町3-45-40
	堺市	医療法人社団ワッフル　ぐんぐんキッズクリニック	072-275-8502	堺市北区中百舌鳥町2丁21大休ビル1階
	堺市	同仁会 みみはらファミリークリニック	072-252-1507	堺市北区蔵前町3－5－47
	堺市	(医)たけなかキッズクリニック	072-240-0080	堺市北区長曽根町1467番地1メディカルエイトワンビル2F
	堺市	(地独)堺市立病院機構　堺市立総合医療センター	072-272-1199	堺市西区家原寺町1丁1番1号
	堺市	石村小児科医院	072-258-4752	堺市堺区向陵東町2-2-11
	堺市	同仁会　みみはら高砂クリニック	072-241-4990	堺市堺区高砂町4-109-2

感染症発生動向調査指定届出機関（小児科定点） 2024 年 12 月末現在

ブロック名	保健所	医 療 機 関 名	電話番号	所　在　地
泉州	和泉	(医)かわい病院	0725-21-6222	泉大津市豊中町2-6-5
	和泉	(医)吉村医院	072-261-8434	高石市高師浜3-18-23
	和泉	川西医院	072-544-8888	和泉市伯太町2-25-18
	和泉	和気河合医院	0725-41-0357	和泉市和気町3-11-18
	和泉	和泉市立総合医療センター	0725-41-1331	和泉市和気町4丁目5番1号
	和泉	なかじまクリニック小児科・循環器科	0725-51-0081	和泉市唐国町2-7-86
	和泉	中川クリニック	0725-22-1611	泉北郡忠岡町忠岡東2丁目22-15-13
	岸和田	木村医院	072-420-6010	岸和田市上松町463－3
	岸和田	市立岸和田市民病院小児科	072-445-1000	岸和田市額原町1001番地
	岸和田	おおまちこどもクリニック	072-443-2030	岸和田市大町3-15-4
	岸和田	(医)久松マタニティークリニック	072-422-3006	岸和田市野田町1-11-1
	岸和田	あぶみ小児科クリニック	072-439-0031	岸和田市下松町1-3-9
	岸和田	川崎こどもクリニック	072-421-2033	貝塚市木積656-7
	岸和田	くぼこどもクリニック	072-433-2255	貝塚市畠中1-2-6
	泉佐野	みやけファミリークリニック	072-473-7176	阪南市黒田387-1
	泉佐野	(地独)りんくう総合医療センター 小児科	072-469-3111	泉佐野市りんくう往来北2-23
	泉佐野	竹井クリニック	072-451-2765	泉南郡熊取町五門東 1-7-23
	泉佐野	(医)中井医院	072-471-7376	阪南市尾崎町8-1-2
	泉佐野	阪南市民病院小児科	072-471-3321	阪南市下出17
	泉佐野	(医)笠松産婦人科・小児科	072-471-3222	阪南市鳥取中192-2
	泉佐野	(医)にわ小児科	072-467-2806	泉佐野市日根野7089番地アラモード日根野1F
大阪市北部	大阪市	あさいこどもクリニック	06-6926-1850	大阪市都島区友渕町2-1-5ともぶちクリニックビル2階
	大阪市	こおりやま小児科	06-6926-1155	大阪市都島区善源寺町2-2-22善源寺メディカルモール2階
	大阪市	(地独)大阪市立総合医療センター	06-6929-1221	大阪市都島区都島本通2-13-22
	大阪市	森川こどもクリニック	06-6327-0415	大阪市東淀川区淡路2-16-6-101
	大阪市	淀川キリスト教病院	06-6322-2250	大阪市東淀川区柴島1-7-50
	大阪市	(医)前田こどもクリニック	06-6990-1115	大阪市東淀川区上新庄2-15-18旭丘ﾋﾞﾙ4階
	大阪市	樋口医院	06-6351-3931	大阪市北区長柄中1-6-6
	大阪市	かよう内科・小児科	06-6954-7776	大阪市旭区清水4-3-29
	大阪市	大阪旭こども病院	06-6952-4771	大阪市旭区新森4-13-17
	大阪市	市立十三市民病院	06-6150-8000	大阪市淀川区野中北2-12-27
	大阪市	鈴木小児クリニック	06-6396-7555	大阪市淀川区宮原4-4-2新大阪グランドハイツ1F
	大阪市	のだこどもクリニック	06-6136-7205	大阪市北区本庄東1－1－10 RISE88ビル1階
	大阪市	医療法人はるなクリニック	06-4807-5130	大阪市淀川区西三国1-3-13-302
	大阪市	北野病院	06-6312-1221	大阪市北区扇町2-4-20

感染症発生動向調査指定届出機関（小児科定点）　2024 年 12 月末現在

ブロック名	保健所	医 療 機 関 名	電話番号	所　在　地
大阪市西部	大阪市	(独)JCHO大阪病院	06-6441-5451	大阪市福島区福島4-2-78
	大阪市	(公財)中央急病診療所	06-6534-0321	大阪市西区新町4-10-13
	大阪市	さかざきこどもクリニック	06-6584-4550	大阪市西区九条1-27-6住金興産九条ビル303
	大阪市	多根総合病院	06-6581-1071	大阪市西区九条南1-12-21
	大阪市	日本生命病院	06-6443-3446	大阪市西区江之子島2-1-54
	大阪市	にいつクリニック	06-6571-0549	大阪市港区港晴1-1-23
	大阪市	大塚医院	06-6571-0977	大阪市港区市岡2-6-21
	大阪市	大正病院	06-6552-0621	大阪市大正区三軒家東5-5-16
	大阪市	ひの小児科	06-6464-8655	大阪市此花区高見2-13-3
	大阪市	千船病院	06-6471-9541	大阪市西淀川区福町3-2-39
大阪市東部	大阪市	大阪赤十字病院	06-6774-5111	大阪市天王寺区筆ケ崎町5-30
	大阪市	ひげのこどもクリニック	06-6774-1980	大阪市天王寺区烏ヶ辻1-1-1 MIビル4階
	大阪市	大阪警察病院	06-6771-6051	大阪市天王寺区北山町10－31
	大阪市	(医)寺田町こども診療所	06-6775-2221	大阪市天王寺区寺田町2-4-7寺田町第2ビル2F
	大阪市	川田医院	06-6641-1873	大阪市浪速区日本橋東3-7-7川田ビル1F
	大阪市	寺口小児科クリニック	06-6753-8241	大阪市東成区大今里西1-26-5ロハスプラザ今里2階
	大阪市	(医)松本医院	06-6731-3830	大阪市生野区桃谷2-19-20
	大阪市	共和病院	06-6718-2221	大阪市生野区勝山南4-16-10
	大阪市	深江こどもクリニック	06-6224-3455	大阪市東成区大今里南5-1-10 2階
	大阪市	大阪府済生会野江病院	06-6932-0401	大阪市城東区古市1-3-25
	大阪市	福田クリニック	06-6930-1120	大阪市城東区関目1-3-11
	大阪市	(医)にしじまファミリークリニック	06-6786-1115	大阪市城東区中央2-13-19
	大阪市	わかばこどもクリニック	06-6180-3505	大阪市城東区関目5-16-19-101
	大阪市	(医)かめおかクリニック	06-6911-2585	大阪市鶴見区諸口3-4-38
	大阪市	田中小児科医院　たなかキッズクリニック	06-6761-4671	大阪市中央区谷町6-14-23
大阪市南部	大阪市	大阪公立大学大医学部附属病院	06-6645-3816	大阪市阿倍野区旭町1-5-7
	大阪市	(医)冨吉医院	06-6651-4304	大阪市阿倍野区丸山通1-3-46
	大阪市	勇村医院	06-6691-2021	大阪市阿倍野区阪南町5-25-17
	大阪市	(医)武田小児科医院	06-6691-6551	大阪市住吉区南住吉2-14-19平成ハイツ壱番館1階
	大阪市	(地独)大阪急性期・総合医療センター	06-6692-1201	大阪市住吉区万代東3-1-56
	大阪市	畑小児科	06-6691-5919	大阪市住吉区長居3-9-3
	大阪市	武知小児科・内科	06-6691-9471	大阪市東住吉区鷹合2-17-4
	大阪市	おうぎもと小児科	06-6760-6220	大阪市東住吉区今川3丁目12－12　クリニックモール今川3F
	大阪市	(医)川合内科・小児科医院	06-6797-8512	大阪市東住吉区中野4-5-18
	大阪市	西成民主診療所	06-6659-1010	大阪市西成区松2-1-7
	大阪市	はまだ小児科	06-6653-5285	大阪市西成区岸里東2-5-16
	大阪市	矢木クリニック	06-6675-6198	大阪市住之江区安立1-4-3
	大阪市	藤山小児科医院	06-6682-7850	大阪市住之江区新北島3-8-21アネックス六兵衛三番館101
	大阪市	大阪市立住之江診療所	06-6681-1000	大阪市住之江区東加賀屋1－2－22
	大阪市	(医)長浦小児科	06-6793-0555	大阪市平野区平野宮町1-6メガロコープ平野1号棟1F
	大阪市	(医)長吉総合病院	06-6709-0301	大阪市平野区長吉長原1-2-34
	大阪市	(医)にしかわこどもクリニック	06-6707-3741	大阪市平野区平野西3－9－11
	大阪市	井藤医院	06-6703-3387	大阪市平野区瓜破2-1-65ミタカホーム8番1F

感染症発生動向調査指定届出機関（眼科定点） 2024 年 12 月末現在

ブロック名	保健所	医 療 機 関 名	電話番号	所　在　地
豊能	池田	箕面市立病院	072-728-2001	箕面市萱野5-7-1
	豊中市	安藤眼科医院	06-6852-0559	豊中市岡町北3-2-11
	豊中市	(医)木村眼科医院	06-6852-5986	豊中市中桜塚1-7-1
	吹田市	治村眼科	06-6337-0022	吹田市片山町1-13-7
	吹田市	宮浦眼科	06-6338-8750	吹田市豊津町13-44ユカミ江坂ビル205
三島	茨木	(医)吉原会吉原眼科医院	072-634-1112	茨木市舟木町2-7
	茨木	澤眼科医院	072-622-1132	茨木市庄2丁目26-24 小明ビル
	高槻市	大阪医科薬科大学病院	072-683-1221	高槻市大学町2-7
	高槻市	(医)視生会丸山眼科医院	072-696-2149	高槻市登美の里町2-8
北河内	枚方市	市立ひらかた病院	072-847-2821	枚方市禁野本町2-14-1
	枚方市	山岸眼科	072-861-2157	枚方市岡東町5-23 アーバンエース枚方ビル3階
	枚方市	医療法人光瞳会 城眼科	072-848-5535	枚方市禁野本町1-2-38
	寝屋川市	(医)加賀眼科医院	072-822-0852	寝屋川市早子町21-6
	守口	松下記念病院	06-6992-1231	守口市外島町5-55
	守口	関西医科大学総合医療センター	06-6992-1001	守口市文園町10-15
中河内	八尾市	(医)上江田眼科医院	072-991-1265	八尾市陽光園2-1-23
	八尾市	宮澤眼科クリニック	072-997-7980	八尾市光町1-10-1
	東大阪市	医療法人　つじかわ眼科	06-6748-0101	東大阪市小阪本町1-4-1-2F
	東大阪市	医療法人　石田眼科医院	06-6721-1244	東大阪市菱屋西1-20-14
	東大阪市	医療法人　さほり眼科	06-6725-8898	東大阪市若江本町1-1-35-105
南河内	藤井寺	(地独)大阪はびきの医療センター	072-957-2121	羽曳野市はびきの3-7-1
	藤井寺	藤本眼科	072-952-2131	藤井寺市御舟町4-2
	富田林	(医)PL病院	0721-24-3100	富田林市新堂2204
	富田林	(医)井出眼科	0723-65-0168	大阪狭山市金剛2-9-17

感染症発生動向調査指定届出機関（眼科定点）　2024 年 12 月末現在

ブロック名	保健所	医 療 機 関 名	電話番号	所　在　地
堺市	堺市	当麻眼科医院	072-258-1352	堺市北区金岡町893
	堺市	武田眼科	072-285-0806	堺市東区日置荘西町1-47-17
	堺市	(地独)堺市立病院機構　堺市立総合医療センター	072-272-1199	堺市西区家原寺町1丁1番1号
	堺市	米寿会　米本眼科	072-224-2282	堺市堺区香ヶ丘町1-3-5
	堺市	山田眼科医院	072-246-8866	堺市北区百舌鳥赤畑町4-254
泉州	和泉	さかい眼科クリニック	0725-20-3103	泉北郡忠岡町忠岡東1丁目20-23
	和泉	南眼科医院	0725-43-7853	和泉市太町158-18
	和泉	森川眼科	0725-41-1110	和泉市府中町7-3-19
	岸和田	(医)岩﨑眼科くめだ	072-444-4955	岸和田市小松里町461番地の11
	岸和田	医療法人　ひかり眼科	072－426-3636	岸和田市土生町1－5－34プリマード105
	貝塚	すわ眼科	072-421-2227	貝塚市水間258
大阪市北部	大阪市	(地独)大阪市立総合医療センター	06-6929-1221	大阪市都島区都島本通2-13-22
	大阪市	(医)春田眼科医院	06-6328-5281	大阪市東淀川区小松1-10-38
	大阪市	坂本眼科医院	06-6953-0888	大阪市旭区清水3-2-9
	大阪市	市立十三市民病院	06-6150-8000	大阪市淀川区野中北2-12-27
	大阪市	(医)森下眼科	06-6353-1399	大阪市北区天神橋5-6-13
大阪市西部	大阪市	森山眼科医院	06-6461-0723	大阪市福島区野田3-16-5
	大阪市	はぶ眼科	06-6195-2228	大阪市西淀川区千舟2-15-28
大阪市東部	大阪市	第二大阪警察病院	06-6773-7111	大阪市天王寺区鳥ヶ辻2-6-40
	大阪市	脇本眼科	06-6765-8393	大阪市天王寺区玉造元町2-4 トップス玉造ビル3階
	大阪市	(医)沢井眼科	06-6646-3634	大阪市浪速区日本橋東3-7-7川田ビル2F
	大阪市	黒田眼科	06-6967-0501	大阪市鶴見区今津中5-1-33
	大阪市	(独)大阪医療センター	06-6942-1331	大阪市中央区法円坂2-1-14
	大阪市	大手前病院	06-6941-0484	大阪市中央区大手前1-5-34
大阪市南部	大阪市	(地独)大阪急性期・総合医療センター	06-6692-1201	大阪市住吉区万代東3-1-56
	大阪市	杉浦眼科	06-6628-2881	大阪市東住吉区駒川3-1-7
	大阪市	(医)マツシマ眼科クリニック	06-6682-5345	大阪市住之江区御崎4-10-4サンライズ住之江公園1階
	大阪市	吉田眼科医院	06-6707-3834	大阪市平野区背戸口1-21-21メゾン平野1階

感染症発生動向調査指定届出機関（STD 定点） 2024 年 12 月末現在

ブロック名	保健所	医 療 機 関 名	電話番号	所　在　地
豊能	池田	(医)なかクリニック	072-724-8822	箕面市箕面5-1-52みのおアルコスビル1階
	池田	(医)松崎産婦人科クリニック	072-750-2025	池田市菅原町3-1ステーションN2階202-2
	池田	大里クリニック	072-753-2553	池田市上池田1-8-13
	豊中市	志水医院	06-6855-2334	豊中市本町1-11-1本町ビル4階
	豊中市	北村皮膚科医院	06-6334-9250	豊中市庄内東町4-13-24
	豊中市	田中医院	06-6850-0088	豊中市中桜塚2-2-2
	吹田市	おはな泌尿器クリニック	06-6836-8700	吹田市千里山東2-27-10　千里山医療ビル3F
三島	茨木	友紘会総合病院産婦人科	072-641-2488	茨木市西豊川町25番1号
	茨木	(医)サンタマリア病院	072-627-3459	茨木市新庄町13-15
	高槻市	(医)健栄会三康病院	072-676-0001	高槻市野見町3-6
	高槻市	(社)仙養会北摂総合病院	072-696-2121	高槻市北柳川町6-24
	高槻市	田辺レディースクリニック	072-668-4651	高槻市白梅4-13　ジオ高槻ミューズEX4F
	高槻市	楢原産婦人科	072-672-5000	高槻市春日町1-27
北河内	枚方市	市立ひらかた病院泌尿器科	072-847-2821	枚方市禁野本町2-14-1
	枚方市	(医)徳志会 折野産婦人科	072-857-0243	枚方市楠葉朝日3-6-28
	枚方市	(医)FAGW のだ女性クリニック	072-843-3267	枚方市岡東町14-48山口ビル4階
	寝屋川市	土井クリニック	072-832-1290	寝屋川市香里新町22番12号フィルシティ香里園1階
	守口	松下記念病院	06-6992-1231	守口市外島町5-55
	守口	喜多診療所	06-6908-3825	門真市本町10-22　本町ビル2F
	守口	(医)飯藤産婦人科	06-6909-0815	門真市末広町2-7
	四條畷	小林産婦人科クリニック	072-872-0268	大東市赤井2-2-20
中河内	八尾市	(医)清祐会 甲野クリニック	072-994-0234	八尾市光町2-32パストラル光町1階
	八尾市	(医)正田医院	072-993-3000	八尾市本町5-5-5
	八尾市	瀬口クリニック	072-922-2112	八尾市本町4-1-14
	東大阪市	医療法人恵生会　恵生会病院(産婦人科)	072-982-5101	東大阪市鷹殿町20-29
	東大阪市	安井クリニック	06-6721-0001	東大阪市岸田堂西2-1-6
	東大阪市	医療法人爽健会　つじかわ医院	06-4307-5817	東大阪市若江西新町1-2-4瓜生堂クリニックビルSOUTH3階
	東大阪市	地方独立行政法人　市立東大阪医療センター(泌尿器科)	06-6781-5101	東大阪市西岩田3-4-5
南河内	藤井寺	高田泌尿器科	072-337-0020	松原市上田2-2-22松原北駅前ビル2階
	富田林	(医)三軒医院	0721-52-2252	河内長野市寿町3-46
	富田林	(医)うえむらクリニック	0721-29-5500	富田林市久野喜台2-15-20
	富田林	(医)斎田マタニティークリニック	0721-55-7000	河内長野市昭栄町1-19

感染症発生動向調査指定届出機関（STD 定点）　2024 年 12 月末現在

ブロック名	保健所	医 療 機 関 名	電話番号	所　在　地
堺市	堺市	はしもとクリニック	072-275-5031	堺市西区上野芝向ケ丘町5-6-26
	堺市	今井医院	072-257-1682	堺市北区百舌鳥赤畑町4丁343-5
	堺市	(医)大貴会ほり泌尿器科クリニック	072-253-7890	堺市北区中百舌鳥町2-39 クリスタルなかもず502
	堺市	児玉泌尿器科	072-222-1717	堺市堺区三国ヶ丘御幸通8三国ヶ丘ビル4F
	堺市	たにわレディースクリニック	072-233-0080	堺市堺区三国ヶ丘御幸通2－1　谷和ビル5階
	堺市	(医)もりもと泌尿器科クリニック	072-268-2000	堺市南区鴨谷台2-1-3光明池アクト2階
	堺市	大槻レディースクリニック	072-290-6000	堺市南区茶山台1-2-4 パンジョ西館3階
泉州	和泉	和泉市立総合医療センター	0725-41-1331	和泉市和気町4丁目5番1号
	和泉	泉大津市立周産期小児医療センター	0725-32-5622	泉大津市下条町16-1
	岸和田	市立岸和田市民病院泌尿器科	072-445-1000	岸和田市額原町1001
	岸和田	久松マタニティークリニック	072-422-3006	岸和田市野田町1-11-1
	岸和田	市立貝塚病院泌尿器科	072-422-5865	貝塚市堀3-10-20
	泉佐野	(医)谷口病院	072-463-3232	泉佐野市大西町1-5-20
大阪市北部	大阪市	(地独)大阪市立総合医療センター	06-6929-1221	大阪市都島区都島本通2-13-22
	大阪市	しおじレディースクリニック	06-6355-5010	大阪市都島区東野田町2－3－19　MFK京橋駅前ビル3階
	大阪市	河島医院	06-6326-6931	大阪市東淀川区小松2-5-2　米田ハイツ2F
	大阪市	こおりたクリニック	06-6394-0055	大阪市淀川区東三国5-15-27
	大阪市	大阪中央病院泌尿器科	06-4795-5505	大阪市北区梅田3丁目3－30
	大阪市	(医)さたクリニック	06-6358-2503	大阪市北区長柄中1-5-16
大阪市西部	大阪市	勝瀬クリニック	06-6581-6059	大阪市西区九条1-12-3
	大阪市	岸医院	06-6571-2736	大阪市港区市岡1-1-20
大阪市東部	大阪市	早川クリニック	06-6245-2100	大阪市中央区西心斎橋1-4-5御堂筋ビル3F
	大阪市	(独)大阪医療センター	06-6942-1331	大阪市中央区法円坂2-1-14
	大阪市	こうむら女性クリニック	06-6966-3063	大阪市中央区石町1-1-1天満橋千代田ビル2号館2F
	大阪市	内田皮膚科クリニック	06-6767-8282	大阪市中央区谷町7-1-44ﾀﾝﾁｴ谷町ビル2F
	大阪市	速水皮膚科	06-6971-8817	大阪市東成区大今里南1-12-13-201
大阪市南部	大阪市	(医)レディースクリニックさわだ	06-6641-0981	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-1-100
	大阪市	なかがわレディースクリニック	06-6671-0158	大阪市住吉区長峡町5-5
	大阪市	原田皮フ科クリニック	06-6955-8321	大阪市東住吉区矢田2-9-14アセンドプラザビル3階
	大阪市	北野皮フ・泌尿器科	06-6659-7760	大阪市西成区岸里東二丁目3番22号メディカル天神の森コットンビル5階
	大阪市	(医)小川産婦人科	06-6791-0567	大阪市平野区平野本町2-6-32

感染症発生動向調査指定届出機関（基幹定点） 2024 年 12 月末現在

ブロック名	保健所	医 療 機 関 名	電話番号	所　在　地
豊能	池田	箕面市立病院	072-728-2001	箕面市萱野5-7-1
	吹田市	大阪大学医学部附属病院	06-6879-5111	吹田市山田丘2－15
三島	高槻市	(社)愛仁会高槻病院	072-681-3801	高槻市古曽部町1-3-13
	高槻市	大阪医科薬科大学病院	072-683-1221	高槻市大学町2-7
北河内	枚方市	市立ひらかた病院	072-847-2821	枚方市禁野本町2丁目14-1
	守口	関西医科大学総合医療センター	06-6992-1001	守口市文園町10-15
中河内	八尾市	八尾市立病院	072-922-0881	八尾市龍華町1-3-1
	東大阪市	地方独立行政法人　市立東大阪医療センター	06-6781-5101	東大阪市西岩田3-4-5
南河内	藤井寺	(地独)大阪はびきの医療センター	072-957-2121	羽曳野市はびきの3-7-1
	富田林	(医)PL病院	0721-24-3100	富田林市新堂2204
堺市	堺市	ベルランド総合病院	072-234-2001	堺市中区東山500-3
	堺市	(地独)堺市立病院機構　堺市立総合医療センター	072-272-1199	堺市西区家原寺町1丁1番1号
泉州	岸和田	岸和田徳洲会病院	072-445-9915	大阪府岸和田市加守町4ー27ー1
	泉佐野	(地独)りんくう総合医療センター	072-469-3111	泉佐野市りんくう往来北2-23
大阪市北部	大阪市	(地独)大阪市立総合医療センター	06-6929-1221	大阪市都島区都島本通2-13-22
大阪市西部	大阪市	(独)JCHO大阪病院	06-6441-5451	大阪市福島区福島4-2-78
大阪市東部	大阪市	大阪赤十字病院	06-6774-5111	大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30
大阪市南部	大阪市	(地独)大阪急性期・総合医療センター	06-6692-1201	大阪市住吉区万代東3-1-56

感染症発生動向調査指定届出機関（疑似症定点）　2024 年 12 月末現在

ブロック名	保健所	医 療 機 関 名	所　在　地
豊能	豊中市	市立豊中病院	豊中市柴原町四丁目14番1号
	吹田市	大阪大学医学部附属病院	吹田市山田丘2番15号
三島	高槻市	大阪医科薬科大学病院	高槻市大学町2番7号
北河内	守口	関西医科大学総合医療センター	守口市文園町10番15号
	枚方市	市立ひらかた病院	枚方市禁野本町2丁目14番1号
	枚方市	関西医科大学附属病院	枚方市新町二丁目3番1号
中河内	東大阪市	地方独立行政法人　市立東大阪医療センター	東大阪市西岩田3-4-5
南河内	藤井寺	地方独立行政法人　大阪府立病院機構　大阪はびきの医療センター	羽曳野市はびきの三丁目7番1号
	富田林	近畿大学医学部附属病院	大阪狭山市大野東377番地の2
堺市	堺市	堺市立総合医療センター	堺市西区家原寺町1丁1番1号
泉州	岸和田	医療法人徳洲会　岸和田徳洲会病院	岸和田市加守町四丁目27番1号
	泉佐野	りんくう総合医療センター	泉佐野市りんくう往来北2番地の23
大阪市北部	大阪市	大阪市立総合医療センター	大阪市都島区都島本通2丁目13－22
	大阪市	済生会中津病院	大阪市北区芝田2丁目10－39
	大阪市	北野病院	大阪市北区扇町2丁目4－20
	大阪市	淀川キリスト教病院	大阪市東淀川区柴島1丁目7－番50号
大阪市西部	大阪市	JCHO　大阪病院	大阪市福島区福島4丁目2－78
	大阪市	日本生命病院	大阪市西区江之子島2丁目1－54
大阪市東部	大阪市	独立行政法人国立病院機構　大阪医療センター	大阪市中央区法円坂二丁目1番14号
	大阪市	医療法人警和会　大阪警察病院	大阪市天王寺区北山町10－31
大阪市南部	大阪市	地方独立行政法人大阪府立病院機構　大阪急性期・総合医療センター	大阪市住吉区万代東三丁目1番56号
	大阪市	大阪公立大学医学部附属病院	大阪市阿倍野区旭町一丁目5番7号

本報告書のデータ集計日

大阪府の定点及び全数把握感染症（2025 年 2 月 5 日時点）

全国の定点及び全数把握感染症（2025 年 3 月 8 日時点）

大阪府の病原体サーベイランス情報（2025 年 2 月 6 日時点）

執筆者一覧

執筆分担個所	執筆分担者	所　属
Ⅰ　2024 年に注目された感染症	西田　陽子	大阪健康安全基盤研究所
Ⅱ　五類定点把握感染症（性感染症を除く）		
1．2024 年の総括	本村　和嗣	大阪健康安全基盤研究所
1）感染症別・週別患者報告状況	本村　和嗣	大阪健康安全基盤研究所
2）感染症別・ブロック別患者報告状況	本村　和嗣	大阪健康安全基盤研究所
3）感染症別・年齢別別患者報告状況	本村　和嗣	大阪健康安全基盤研究所
2.　各感染症状況報告		
1）インフルエンザ／COVID-19 定点把握疾患		
インフルエンザ	安井　良則	大阪府済生会中津病院
新型コロナウイルス感染症	皐月　由香	大阪健康安全基盤研究所
2）小児科定点把握疾患		
RS ウイルス感染症	山本　憲	堺市衛生研究所
咽頭結膜熱	山本　憲	堺市衛生研究所
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	冨吉　泰夫	大阪小児科医会
感染性胃腸炎	大野　利佐子	大阪市保健所
水痘	康　史朗	大阪市保健所
手足口病	安井　良則	大阪府済生会中津病院
伝染性紅斑	康　史朗	大阪市保健所
突発性発しん	冨吉　泰夫	大阪小児科医会
ヘルパンギーナ	本村　和嗣	大阪健康安全基盤研究所
流行性耳下腺炎	冨吉　泰夫	大阪小児科医会
3）眼科定点把握疾患	宮浦　徹	大阪府眼科医会
4）基幹定点報告（週報）対象疾患	塩見　正司	大阪府医師会
5）基幹定点報告（月報）対象疾患	平井　佑治	大阪健康安全基盤研究所
2024 年　感染症の動向	東野　博彦	大阪府医師会
Ⅲ　五類　定点把握感染症（性感染症）	皐月　由香	大阪健康安全基盤研究所
Ⅳ　全数把握感染症	河合　高生	大阪健康安全基盤研究所
	皐月　由香	大阪健康安全基盤研究所
	西田　陽子	大阪健康安全基盤研究所
	山中　靖貴	大阪健康安全基盤研究所
Ⅴ　検　査　情　報		
1．ウイルス検査情報	廣井　聡	大阪健康安全基盤研究所
2．細菌検査情報	河合　高生	大阪健康安全基盤研究所